

ISSN 1883-132X

沖縄県立博物館・美術館年報

(平成31・令和元年度実績報告)

No. 13

2020

沖縄県立博物館・美術館

目 次

概要	1
I 沿革	2
II 日誌抄	8
III 施設・設備	10
IV 組織	13
V 沖縄県立博物館・美術館協議会	18
VI 予算	19
VII 収蔵資料現在高	20
利用統計	21
I 入館者統計	22
1. 総入館者集計	
2. 団体別入館者集計	
3. 展覧会別入館者集計	
4. 2019年度（平成31・令和元）月間別入館者数	
5. 年間入館者数の年次推移	
6. 減免申請集計	
7. 団体入館内訳	
II 施設利用者統計	28
1. 月別施設利用集計	
2. 当館主催及び施設貸出内訳	
3. 県民ギャラリー貸出件数	
博物館	51
I 調査研究等の活動	52
1. 調査研究の概要	
2. 博物館総合調査－宮古諸島総合調査－	
3. 「一括交付金」活用事業	
4. 調査・研究・講演・著作論文等	
5. 職員研修	
II 展示活動	69
1. 展示活動概要	
2. 常設展	
3. 常設展 部門展示替え／ミニ企画／エントランスホール展示	
4. 特別展 「グスク・ぐすく・城 一動乱の時代に生み出された遺産－」	
5. 琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 「手わざ 一琉球王国の文化－」	
6. 企画展 「新収蔵品展 一平成30年度収蔵資料－」	
7. 企画展 「大嶺薫コレクション 一探求するこころとその世界－」	
8. 企画展 「台湾展 一黒潮でつながる隣（とうない）ジマー」	
III 教育普及活動	84
1. 博物館教育普及活動の概要	
2. 学校連携事業	
3. 博物館体験学習教室	
4. 博物館文化講座	
5. 学芸員講座	
6. 学芸員による常設展示解説会	
7. 学芸員によるバックヤードツアー	
8. 夏休み！博物館学芸員教室	
9. 博物館ボランティア活動	
10. ふれあい体験室	
11. 常設展に関する取り組み	
12. 普及資料の貸出	
13. 職場体験受入	
14. ボランティアによる展示ガイド	
IV 資料収集・保存管理	91
1. 収蔵資料現在高	
2. 2019年度（平成31・令和元）新収蔵資料高	
3. 2019年度（平成31・令和元）新収蔵資料目録	
4. 所蔵指定文化財	
5. 修理事業	
6. 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）	
7. 資料収集事業	
8. 資料貸出	
9. 写真貸出	
美術館	101
I 調査研究等の活動	102
1. 調査研究の概要	
2. 調査・研究・講演・著作論文等	
II 展示活動	106
1. 展示活動概要	
2. コレクション展（常設展）	
3. 企画展 「上條文徳と波多野泉 現代彫刻展」	
4. 企画展 「作家と現在」	
III 教育普及活動	111
1. 美術館教育普及活動の概要	
2. 鑑賞活動支援	
3. ミュージアム・ツアー	
4. コレクション・企画展関連催事	
5. ワークショップ	
6. 美術館招待事業（美術館へ行く2018）	
7. アートコンクール	
8. 移動展 in 伊平屋島	
9. 学芸員講座	
10. 教職員講座・実技研修会	
11. ボランティア活動	
12. 職場体験	
13. 出前授業	
14. 複製制作	

IV 資料収集・保存管理	125
1. 収蔵作品現在高	2. 2019年度（平成31・令和元）新収蔵作品高
3. 2019年度（平成31・令和元）新収蔵作品目録	4. 作品収集事業
5. 保存管理事業	
6. 作品貸出	

一般財団法人 沖縄美ら島財団（指定管理者） 133

I 沖縄美ら島財団概要	134
II 運営方針	134
1. 管理運営の基本方針	2. 管理理念
3. 運営方針	
III 組織	137
1. 管理組織図	
IV 展示活動	138
1. 展示活動概要	2. 指定管理者主催企画展等
V 教育・イベント活動	145
1. ワークショップ等	
VI 広報事業に関する業務	151
VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動	155
1. 調査・研究等	2. 職員研修（研修会）

全館共同事業 159

I 学芸員実習	160
1. 博物館実習	2. 美術館実習
II 国際博物館の日	161
III 移動展	162
IV 燻蒸・消毒処理	166
V 全体研修	166
VI 刊行物	167
VII 展示会一覧	168

その他の活動 171

I 沖縄県博物館協会	172
II 全国の組織との関わり	173
1. 日本博物館協会	2. 九州博物館協議会
III 沖縄県立博物館友の会	173
IV 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ	175

関係法規抄録 181

○博物館法	182
○博物館法施行令	184
○博物館法施行規則	184
○博物館の登録に関する規則	187
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則	191
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則	191
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例	193
○沖縄県立博物館・美術館管理規則	196
○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程	204
○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領	204
○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領	212
○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱	215

概 要

- I 沿革
- II 日誌抄
- III 施設・設備
- IV 組織
- V 沖縄県立博物館・美術館協議会
- VI 予算
- VII 収蔵資料現在高

I 沿革

【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・A・ハンナ少佐とJ・T・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）8月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）3月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

【創設】

1946年（昭和21）4月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年（昭和22）12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。5月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）9月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に2階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）3月に閉館した。

2007年（平成19）11月1日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

【あゆみ】

- | | | |
|------------|-----|--|
| 1946（昭和21） | 4月 | 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日） |
| 1947（昭和22） | 12月 | 前年3月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。 |
| 1953（昭和28） | 3月 | 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。 |
| | 5月 | 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。
落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日） |
| 1954（昭和29） | 8月 | ハワイから三線「江戸与那」が返還される。 |
| 1955（昭和30） | 9月 | 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。 |
| 1963（昭和38） | 4月 | 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。 |
| 1965（昭和40） | 9月 | 大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。 |
| 1966（昭和41） | 10月 | 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。 |
| | 11月 | 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（3日） |
| 1968（昭和43） | 9月 | 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日） |
| 1970（昭和45） | 10月 | 沖縄タイムス社及びG. H. カー博士より前庭に花園を贈呈される。 |
| 1971（昭和46） | 2月 | 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。 |
| 1972（昭和47） | 2月 | サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。
サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日） |
| | 5月 | 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日）
日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。 |
| 1973（昭和48） | 2月 | 国庫補助により2階部を増築し、展示室を3室増設する。 |
| | 5月 | 「田名家文書」の寄託をうける。（9日） |
| | 7月 | 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日） |
| | 12月 | 琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の3巻を寄贈される。（17日） |

1973 (昭和48)	12月	多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。(19日)
1974 (昭和49)	11月	大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。(27日) 糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
1976 (昭和51)	4月	創立30周年記念式典を行う。(24日)
	7月	大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。
	12月	『博物館30年の歩み展』開催。
1977 (昭和52)	9月	玉陵石獅子を玉陵へ移管。
	11月	円覚寺の鐘、前庭に展示。
1978 (昭和53)	3月	G. H. カー博士より資料寄贈。
	7月	円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
1979 (昭和54)	2月	尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ 2 体が寄贈される。
	6月	特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。
1980 (昭和55)	1月	特別展『日本の美－救世熱海美術館名品展－』及び『沖縄県立博物館名品展』開催。
	2月	「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する。(2008年度からは「移動展」に改称)
	8月	特別展『琉球のシダ植物』開催。
	11月	特別展『失われた生物たち－大恐竜展』開催
1981 (昭和56)	3月	博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。(3月30日付け)
	5月	仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。
	8月	G. H. カー博士より図書、写真等が寄贈される。
	10月	特別展『沖縄の美－日本民芸館蔵－』及び『戦前の沖縄写真展』開催。
1982 (昭和57)	5月	新たに常設展として自然部門を設置。
	7月	企画展『沖縄の昆虫』開催。
	10月	特別展『熊本県・沖縄県交流展－熊本の歴史と文化』開催。
1983 (昭和58)	5月	企画展『琉球の漆工芸』開催。
	11月	特別展『沖縄県・熊本県交流展－沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
1984 (昭和59)	6月	企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展－琉球芸能の世紀』開催。
	7月	企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。
	10月	企画展『今帰仁グスク展』開催。
1985 (昭和60)	2月	企画展『紅型衣装と型紙展』開催。
	3月	大嶺薫コレクションが贈呈される。
	11月	特別展『グスクグスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
1986 (昭和61)	2月	特別展『大嶺薫コレクション－美術工芸の美を求めて』開催。
	12月	天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。
1987 (昭和62)	7月	「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。 天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。
	10月	スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然・歴史・文化』『沖縄近代の絵画－物故作家』開催。 企画展『田名家収蔵品展－ある首里士族の400年』開催。
	12月	企画展『現代沖縄の陶芸－天野鉄夫コレクション』開催。
1988 (昭和63)	8月	特別展『ヤンバルの自然』開催。
	11月	特別展『三線名器100挺展』開催。
1989 (平成元)	11月	特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。
	12月	企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
1990 (平成2)	1月	特別展『大アンデス文明展』開催。
	6月	湧田窯搬入。
	8月	企画展『沖縄の野鳥』開催。
	11月	企画展『沖縄の祭り』開催。
1991 (平成3)	2月	企画展『技と美－大城志津子の世界－』開催。
	8月	企画展『沖縄のチョウ展』開催。
	9月	企画展『壺屋陶工遺作展』開催。
	10月	特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
1992 (平成4)	2月	企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。
	3月	仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。
	4月	旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第1次埋蔵文化財発掘調査開始。(～7月3日)
	6月	特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

1992 (平成4)	8月	特別展『沖縄の貝類―海からの贈りもの』開催。
	10月	復帰20周年記念特別展『琉球王国―大交易時代とグスク』開催。
1993 (平成5)	1月	特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。
	2月	企画展『謝花雲石展』開催。
	3月	ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクションが寄贈される。
	7月	旧中城御殿石垣工事にかかる第2次発掘調査開始。(～9月2日) 企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。
	8月	特別展『沖縄の川と生きもの』開催。
	10月	企画展『刻まれた歴史―沖縄の石碑と拓本』開催。 企画展『琉球王朝時代の楽器―三線と御座楽』開催。
1994 (平成6)	7月	特別展『子どもの世界』開催。 旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始。(～8月20日)
1995 (平成7)	3月	横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。
	6月	戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
1996 (平成8)	3月	栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。
	7月	特別展『大久米島展―しぜん・ひと・もの』開催。
	10月	『新収蔵品展・ワラザン展』開催。 福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈
	12月	企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
1997 (平成9)	4月	特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
1998 (平成10)	7月	企画展『琉球王国時代の植物標本―ペリーが持ち帰った植物たち』開催。
	11月	特別展『包むころろ ふろしき』開催。
1999 (平成11)	8月	特別展『三線のひろがり可能性』開催。
	10月	企画展『日本の技―伝統のかたち』開催。 (第7回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展)
	11月	ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション(考古資料6,000点余)寄贈。
2000 (平成12)	2月	企画展『工芸王国―きらめく手わざの世界を沖縄から』開催。
	7月	サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。
	11月	ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民1世紀展―From Bento to Mixed Plate』開催。
2001 (平成13)	2月	企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。
	3月	企画展『工芸王国―人・技・心』開催。
	11月	特別展『かざりとかたち』開催。
2002 (平成14)	8月	特別展『港川人展』開催。
	10月	企画展『沖縄の文化財展』開催。
2003 (平成15)	2月	企画展『おきなわナースものがたり』開催。
	7月	企画展『旅する種子―運ばれるための巧妙なしかけ』開催。
	10月	企画展『あじまゝ 沖縄の伝統とくらし―沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。 特別企画展『沖縄織物へのメッセージ―田中俊雄の研究』開催。
2004 (平成16)	2月	企画展『戦前・戦後の文化財保護―仲座久雄の活動をとおして』開催。
	3月	企画展『工芸王国―てわざの今、そして未来へ』開催。
	8月	企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。
	11月	企画展『自然界のエイリアン―海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
2005 (平成17)	2月	特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会―入江正彦 児童文化史コレクション』開催。
2006 (平成18)	2月	閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼―柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。
	3月	『ありがとう・さよなら』キャンペーン。(22日～31日 無料入館) 企画展『わたしの宝もの展』(博物館友の会主催)開催。 4月1日から博物館新館移転準備のため2007年(平成19)10月末まで休館する。
	7月	博物館新館展示工事安全祈願祭。(於：波之上)
	8月	宮城宏友氏より鳥籠7点寄贈。(11日)
	10月	尚順男爵関係資料寄贈。(19日) 謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。(26日)
	12月	稲嶺一郎関係資料寄贈。(26日)
2007 (平成19)	2月	坂口總之輔氏カメラ寄贈。(16日)

2007（平成19）	3月	新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
	4月	新館での事務を開始する。（1日）
	7月	沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
	8月	指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめ。
	11月	那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。（1日） 同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅ー港川人の来た道ー』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
2008（平成20）	2月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成17・18年度収蔵資料』開催。
	3月	指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。 美術館常設展開会式。（25日）
	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成19年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間でー無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。 美術館企画展『新収蔵品展 ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
	7月	指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。 指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
	9月	博物館企画展『ずしがめの世界』開催。 開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
2009（平成21）	11月	美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
	1月	博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。 博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。 美術館企画展『移動と表現ー変容する身体・言語・文化』開催。
	4月	指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ in 沖縄』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成20年度資料』開催。 指定管理者自主事業『王昭展』開催。
	7月	指定管理者企画展『豊潤の美を求めてー金城安太郎と高島華宵』開催。 指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
2010（平成22）	9月	指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
	10月	博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く！』開催。 美術館企画展『名渡山愛順展ー名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
	12月	博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
	1月	美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
	2月	博物館企画展『造礁サンゴ展ー楽園をつくった偉大な建築家』開催。 博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
2011（平成23）	4月	総務班が設置され、3班体制となる。 指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。 指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成21年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『遠き道ーはて無き精進の道程』開催。
	7月	指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
	9月	指定管理者企画展『風土と建築』開催。 博物館特別展『海のクロスロード 八重山展』開催。
	11月	美術館企画展『母たちの神ー比嘉康雄』展開催。
2011（平成23）	12月	博物館・指定管理者企画展『アイヌー美を求める心』開催。
	1月	美術館企画展『安谷屋正義』展開催。 博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
	2月	博物館企画展『骨の科学』開催。
	3月	博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
	4月	博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。 指定管理者企画展『國古清尚』開催。
2011（平成23）	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成22年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『生誕100年記念展 岡本太郎と沖縄ーここが世界の中心だ』開催。
	7月	指定管理者企画展『ロボット展』開催。 指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
	9月	美術館企画展『東松照明展<太陽へのラブレター>』開催。

2011（平成23）	10月	博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。 博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国－受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
	11月	博物館特別展『宇宙－遙かなるロマンを求めて』開催。
2012（平成24）	1月	博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人－エイサーの起源をさぐる」』開催。 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ3 玉那覇正吉』開催。
	3月	指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展－琉球弧で開花した美の世界」』開催。
	4月	博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA 琉球王朝のいろとかたち」』開催。
	5月	指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
	6月	博物館企画展『新収蔵品展－平成23年度収蔵資料』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
	7月	指定管理者企画展『旅する仮面』開催。 指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。（沖縄テレビ共催）
	9月	美術館企画展『山田實展－人と時の往来』開催。 博物館特別展『本土復帰40年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
	11月	美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐ－境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
	12月	博物館企画展『大山盛保生誕100年記念 発見への情熱』開催。
2013（平成25）	2月	指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。（沖縄タイムス共催） 指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
	5月	博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』展開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成24年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『佐川美術館蔵 平山郁夫－大唐西域画への道－』開催。
	7月	博物館特別展『海山川のおくりもの 目からウロコの大生き物展－生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。 指定管理者自主事業『ジミー大西作品展－挑戦と革新－』開催。
	9月	美術館企画展『沖縄の美術シリーズ4 安次嶺金正展－緑の抒情－』開催。
	11月	指定管理者企画展『京都 清水寺展』開催。
2014（平成26）	1月	美術館企画展『森山大道 終わらない旅 北/南』開催。
	2月	博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。 博物館企画展『三線のチカラー形之美と音の妙－』開催。
	4月	指定管理者企画展『木下晋展 生命の旅路』開催。
	5月	指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶－鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成25年度収蔵資料』開催。
	7月	指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展－山形美術館 服部コレクション－』開催。
	9月	博物館企画展 久米崇聖会創立100周年記念『久米村（クニンダ）－琉球と中国の架け橋－』開催。 美術館企画展『色彩と風のシンフォニー 内間安理の世界』開催。
	11月	博物館企画展『大嶺薫コレクション－アジアへの眼差し－』開催。 博物館特別展『水中文化遺産－海に沈んだ歴史のカケラ－』開催。
2015（平成27）	1月	美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展 こどもを通して見る世界』開催。
	2月	博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
	3月	指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展－二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
	4月	博物館企画展『うちくいー沖縄のふろしきー』開催。 指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展－ミッキーマウスからピクサーまで』開催。
	6月	美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
	7月	指定管理者企画展『深海探検 海底二万里の世界』開催。 指定管理者自主事業『大哺乳類展 ぼくらのなかまたち』開催。
	9月	美術館企画展『石田尚志 渦まく光』開催。 博物館特別展『琉球弧の葬墓制－風とサンゴの吊いー』開催。

2015（平成27）	11月	美術館企画展『沖縄の美術シリーズ5 大嶺政寛展－情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて－』開催。
	12月	博物館企画展『新収蔵品展－平成26年度収蔵資料－』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』開催。
2016（平成28）	1月	博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。
	2月	美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものとひとをつくる～』開催。
	3月	美術館企画展『パブロ・ピカソ ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－』開催。
	4月	沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として一般財団法人沖縄美ら島財団が指定を受ける。 美術館企画展 文化勲章受章記念『志村ふくみー母衣への回帰－』開催。
	5月	博物館企画展『大嶺コレクション展－美をもとめて－』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－』開催。
	7月	博物館企画展『目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！』開催。
	9月	博物館企画展 日本民藝館80周年『沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。
	11月	博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－』開催。
	12月	美術館企画展『夢の美術館－めぐりあう名画たち－ 福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション』開催。
2017（平成29）	1月	博物館企画展『琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～』開催。
	2月	博物館常設展示の充実強化を図るため、県指定文化財の梵鐘7口を加えて展示をリニューアル。屋外に大聖禅寺鐘（実物）を設置。
	3月	美術館企画展 沖縄の美術シリーズVI『山元恵一展－まなざしのシュルレアリスム－』開催。
	4月	美術館特別展『写真家が見つめた沖縄1972～2017』開催。 美術館特別企画展『開館十周年企画 安次富長昭展』開催。
	5月	指定管理者企画展『やんばるの森の美』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成28年度収蔵資料－』開催。 博物館企画展『博物館70年のあゆみ』開催。 美術館『《今帰仁城盛衰記》－知られざる金城安太郎の仕事』開催。 指定管理者企画展『やんばるの森の美－写真展－』開催。
	7月	美術館『ベトナム絵画展』開催。 指定管理者企画展『水族館でも出会えない、海のビックリ生物展』開催。 大阪府立弥生博物館共催『沖縄の旧石器人と南島文化』（場所：弥生博物館）開催。
	9月	博物館企画展『ウィルソンが見た沖縄』開催。
	11月	博物館特別展『開館10周年特別展 海の沖縄』開催。 美術館企画展『開館10周年特別企画展 彷徨の海－旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』開催。
	12月	美術館企画展『開館10周年特別企画展 邂逅の海－交差するリアリズム』開催。
2018（平成30）	1月	人間国宝島袋正雄氏より県指定有形文化財「三線 与那城型 名玉城與那」の寄贈を受ける。
	2月	博物館企画展『大嶺コレクション展－かざる－』開催。 美術館『大和コレクションⅧ』開催。
	4月	美術館企画展『涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－』開催。
	7月	美術館『儀間比呂志の世界』開催。
	9月	美術館企画展『宮城健盛展』開催。
	11月	博物館特別展『縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道』開催。 サキタリ洞遺跡の発掘調査で、県内最古となる5500年前（縄文時代前期）の赤色顔料を確認。
	12月	新島ユキ氏より、亡き夫で植物学者の新島義龍氏の植物関係写真資料9,881点が寄贈される。

2019（平成31）	1月	美術館『伊志嶺隆と平敷兼七』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－吉祥－』開催。
2019（平成31）	2月	博物館企画展『琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念事業 沖縄が誇る家宝の三線展』開催。
	3月	指定管理者企画展『ホキ美術館名品展』開催。
	4月	博物館企画展『新収蔵品展－平成30年度収蔵資料－』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－探求する心とその世界－』開催。
2019（令和元）	7月	美術館コレクション展『金城安太郎展』、『沖縄を描いた画家 1930 - 1950's』開催。
	9月	博物館企画展『台湾－黒潮でつながる隣（とうない）ジマー』開催。 美術館企画展『上條文穂と波多野泉 現代彫刻展』開催。 美術館コレクション展『真喜志勉 ドローイング展』開催。
	10月	美術館コレクション展『作家の視点、作品の視点』開催。
	11月	博物館特別展『グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－』開催。
	12月	美術館企画展『作家と現在』開催。
2020（令和2）	2月	博物館特別展『手わざー琉球王国の輝きー』開催。 美術館コレクション展『石田尚志展』開催。 美術館コレクション展『大城精徳の仕事』開催。 指定管理者企画展『みんなのレオ・レオーニ展』開催。

【歴代館長】

東恩納博物館

大嶺 薫（1946年4月～1953年3月）

首里博物館

豊平 良顕（1947年12月～1948年3月）

原田 貞吉（1948年8月～1953年3月）

沖縄民政府立首里博物館

原田 貞吉（1953年3月～1955年5月）

琉球政府立博物館

山里 永吉（1955年5月～1958年8月）

大城 知善（1962年2月～1969年11月）

金城増太郎（1958年9月～1961年12月）

外間 正幸（1969年12月～1972年4月）

沖縄県立博物館

外間 正幸（1972年5月～1981年3月）

大城 立裕（1983年4月～1986年3月）

宜保榮治郎（1992年4月～1994年3月）

當間 一郎（1996年4月～1999年3月）

平田 興進（2000年4月～2002年3月）

名嘉 政修（2005年4月～2006年3月）

新垣 隆雄（2007年4月～2007年10月）

大城徳次郎（1981年4月～1983年3月）

大城 宗清（1986年4月～1992年3月）

糸数 兼治（1994年4月～1996年3月）

大城 将保（1999年4月～2000年3月）

當眞 嗣一（2002年4月～2005年3月）

宮城 清志（2006年4月～2007年3月）

沖縄県立博物館・美術館

牧野 浩隆（2007年11月～2011年3月）

安里 進（2013年5月～2016年3月）

白保 台一（2011年4月～2013年2月）

田名 真之（2016年4月～）

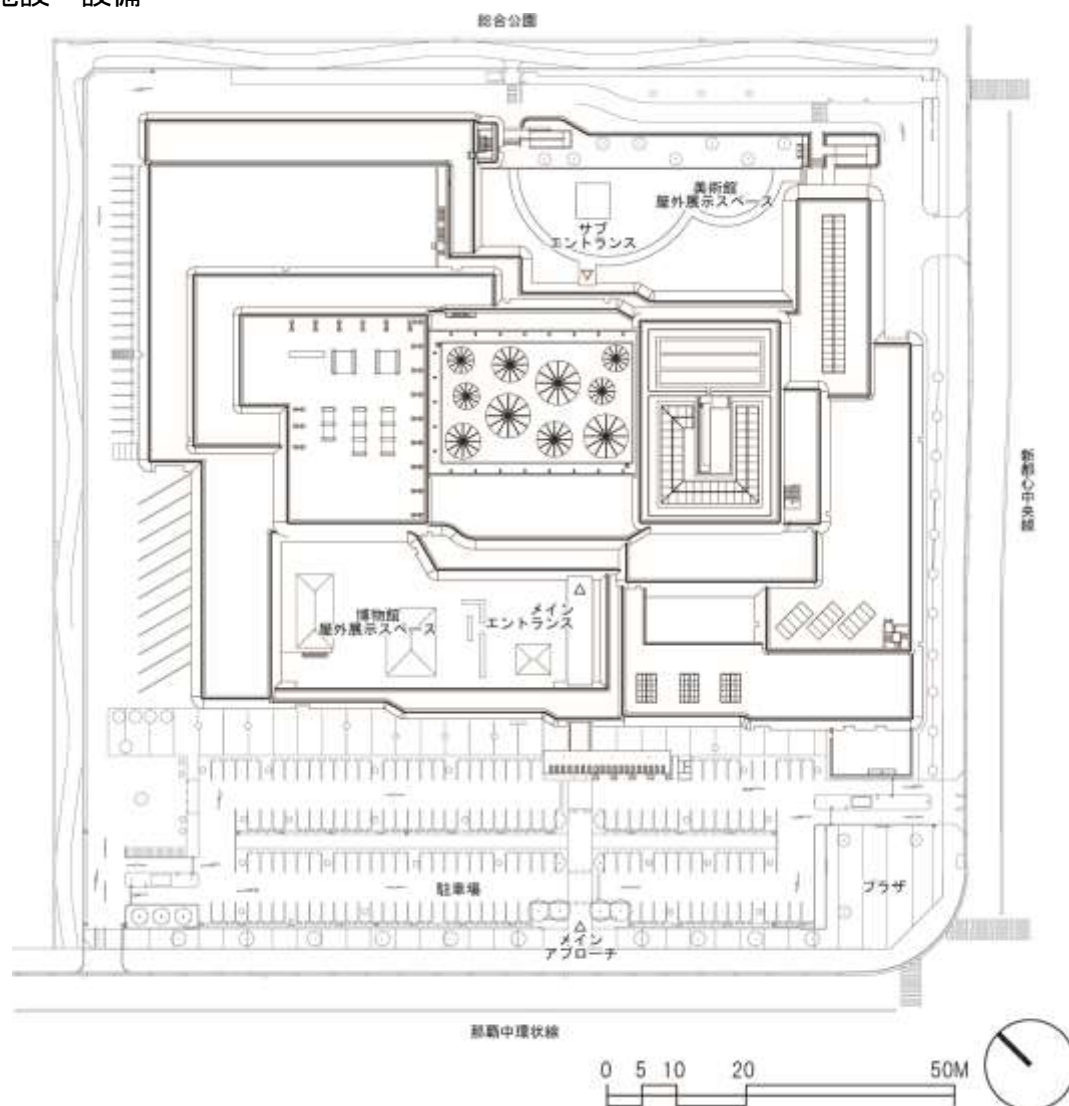
II 日誌抄（2019年4月1日～2020年3月31日）

2019年（平成31・令和元）

4月	1日	令和元年度人事異動発令式
	6日	「ホキ美術館名品展」開会式（館長）
	11日	日本国際媽祖会館長表敬
	30日	「平成30年度新収蔵品展」開会式（館長）
5月	15日	組踊上演300周年記念事業開幕式典
	15日	九州博物館協議会（理事会、総会）（～17日）
	16日	沖縄県博物館協会総会・研修会（～17日）
	18日	国際博物館の日 常設展・コレクション展無料開放
6月	11日	済州島美術館関係者 館長表敬
	12日	慰霊の日特別展示「大田昌秀と平和創造」（～6月23日）
	23日	宮腰光寛沖縄担当大臣視察（館長）

6月	28日	全体避難訓練
7月	1日	全館燻蒸（～8日）
	11日	「THE KUMIODORI 300」開会式（館長）
	12日	「ジブリの大博覧会」開会式・内覧会（玉城知事、館長）
	13日	「沖縄を描いた画家 1930-1950's」、 「金城安太郎展」開会
	23日	文化振興会理事長又吉民人氏就任あいさつ（館長）
	23日	JICA沖縄事務所長来館（館長）
	29日	指定管理者制度運用委員会
8月	3日	組踊上演300周年記念特別講演「玉城朝薫と組踊」（館長）
	5日	美術館収集委員会
	6日	組踊上演300周年記念特別展示「朝薫踊り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー」開会
	8日	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会視察（館長）
	9日	宮腰光寛沖縄担当大臣視察（館長）
	26日	台北駐日経済文化那覇分処長館長表敬
9月	6日	「台湾展－黒潮でつながる隣シマ－」開会式（玉城知事、館長）
	12日	国立科学博物館海部陽介氏副知事表敬
	20日	「上条文穂と波多野泉展」開会式（館長）
	20日	台湾観光協会会長葉菊蘭氏視察
10月	25日	沖縄県台北事務所長仲本正尚氏館長表敬
	27日	衛藤晟一沖縄担当大臣視察（館長）
	31日	沖縄県博物館協会
11月	3日	沖縄県功労者表彰式出席（館長）
	6日	滋賀県議会教育・文化スポーツ常任委員会視察（副館長）
	14日	別府充彦内閣府審議官視察（館長）
	11日	韓国文化財団来館
	16日	県芸術文化祭開会式
	16日	沖縄考古学会50周年記念大会（館長）
	19日	グスク展開会式（館長）
	19日	「作家の視点、作品の視点」、「眞喜志勉ドローイング展」開会
	20日	福岡県議会県民生活商工委員会視察（副館長）
	20日	長崎県文教厚生委員会視察
	20日	在沖縄米国総領事来館（館長）
	25日	参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との意見交換会（館長）
12月	2日	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との意見交換会（館長）
	9日	米国務省次官補代理ウッドワード氏館長表敬、視察（館長）
	11日	国営沖縄記念公園事務所長来館
	21日	グスク展開連シンポジウム「形から見たグスクの原点を探る」（玉城知事）
	22日	宮地毅内閣府政策統括官視察（館長）
	23日	「作家と現在展」内覧会
	28日	仕事納め
2020年（令和2年）		
1月	4日	仕事始め
	16日	千葉県文教常任委員会視察（副館長）
	21日	平和祈念資料館館長来館
	21日	夜間火災訓練
2月	4日	「手わざー琉球王国の文化ー」開会式（富川副知事）
	6日	琉球歴史文化の日検討委員会
	8日	第11代斎藤用之助関係資料寄贈式（館長）
	10日	はこわっち研修会
	12日	沖縄県立芸術大学卒展開会式（館長）
	15日	「石田尚志展」、「大城精徳の仕事」開会
	28日	「みんなのレオ・レオーニ展」開会式（館長）
	25日	全館燻蒸・消毒（～27日）
3月	2日	美術館感謝状贈呈式（館長）
	24日	デジタルミュージアムwebサイト開設記者発表（館長）

Ⅲ 施設・設備



建築概要

●敷地面積……………	31,287㎡
●建築面積……………	13,452㎡
●延床面積……………	23,721㎡
博物館専有面積……	10,478㎡
美術館専有面積……	7,537㎡
共有面積……………	5,708㎡
●高さ・最高高さ……	GL+21.8m
●駐車場	
一般駐車場……………	158台
(うち身障者用4台)	
大型バス駐車場……	10台
駐輪場……………	25台
関係者駐車場………	22台
供用施設	
●エントランスホール	724㎡
●情報センター………	217㎡
●講堂 (212席) ……	349㎡

博物館の主たる施設

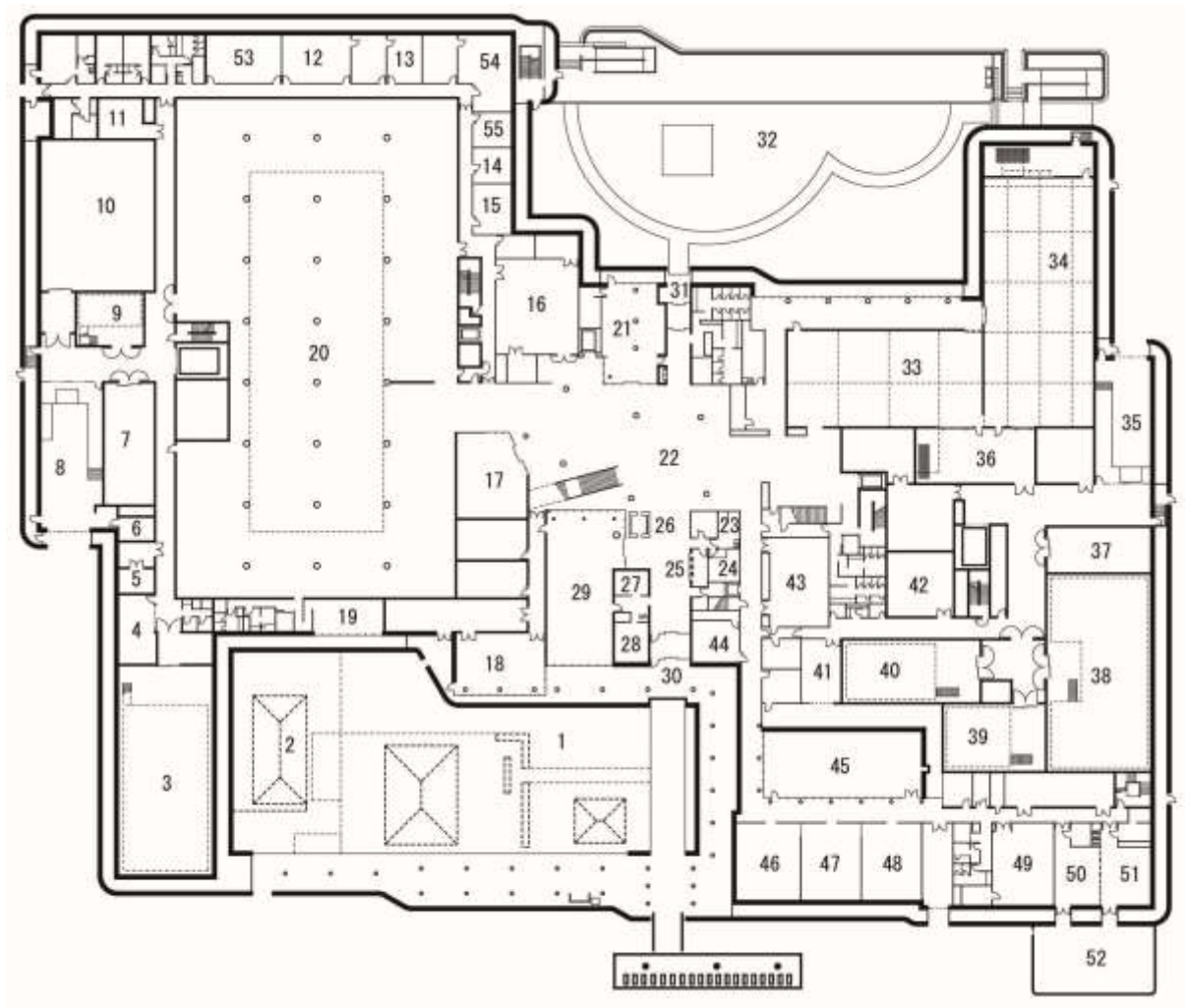
●展示施設	
総合展示室………	1,252㎡
部門展示室………	1,344㎡
自然史部門………	360㎡
考古部門………	262㎡
美術工芸部門………	180㎡
歴史部門………	120㎡
民俗部門………	421㎡
屋外展示場………	1,425㎡
企画展示室………	351㎡
特別展示室………	459㎡
●教育普及施設	
ふれあい体験室……	110㎡
博物館講座室………	191㎡
実習室……………	108㎡

●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)

自然史収蔵庫……………	417㎡
化石収蔵庫……………	245㎡
考古・陶磁器収蔵庫……	613㎡
特別収蔵庫……………	439㎡
民俗収蔵庫……………	668㎡
大型収蔵庫……………	358㎡
液浸標本室……………	97㎡
一時保管庫……………	119㎡
●調査研究施設	
研究室……………	176㎡
研究資料室……………	111㎡
会議室……………	72㎡

美術館の主たる施設

●展示施設	
企画ギャラリー1……………	394㎡
企画ギャラリー2……………	490㎡
コレクションギャラリー1……	164㎡
コレクションギャラリー2……	284㎡
コレクションギャラリー3……	370㎡
県民ギャラリー(1～3)………	277㎡
県民ギャラリー(スタジオ)……	111㎡
県民アトリエ……………	65㎡
こどもアトリエ……………	70㎡
屋外展示場……………	1,368㎡
●教育普及施設	
美術館講座室……………	109㎡
●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)	
収蔵庫A……………	683㎡
収蔵庫B……………	248㎡
収蔵庫C……………	204㎡
●調査研究施設	
研究室……………	98㎡
研究資料室……………	98㎡
会議室……………	58㎡



1 階

1 階

(博物館)

- 1 博物館野外展示
- 2 湧田古窯
- 3 民俗収蔵庫
- 4 写真撮影室
- 5 冷凍庫
- 6 石工室
- 7 一時保管庫
- 8 トラックヤード
- 9 液浸標本室
- 10 大型収蔵庫
- 11 修理修復室
- 12 博物館・美術館庶務室
- 13 館長室
- 14 支援会室
- 15 博物館ボランティア室
- 16 博物館講座室
- 17 博物館ふれあい体験室
- 18 博物館実習室
- 19 博物館常設展示休憩室
- 20 博物館常設展示室

(共有)

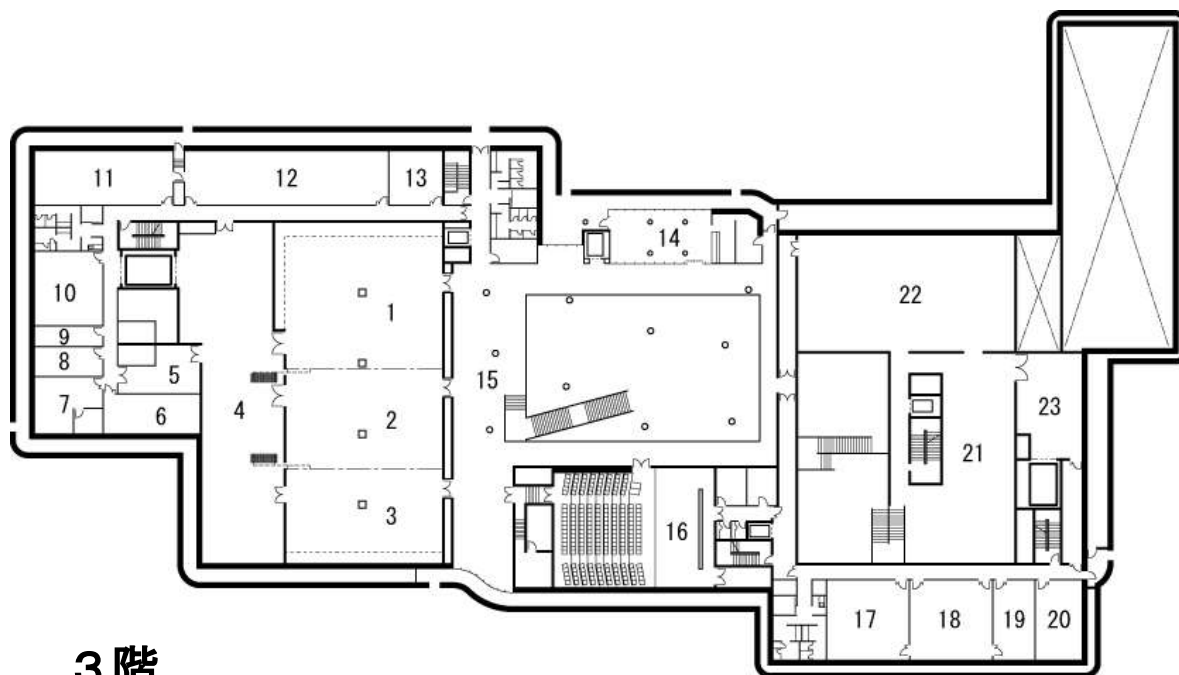
- 21 ミュージアムショップ
- 22 エントランスホール
- 23 授乳室
- 24 託児室
- 25 券売
- 26 総合案内
- 27 救護室
- 28 コインロッカー
- 29 情報センター
- 30 メインエントランス
- 31 サブエントランス

(美術館)

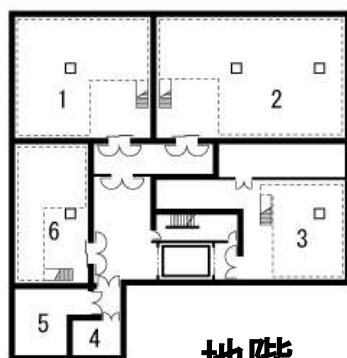
- 32 美術館野外展示
- 33 美術館企画ギャラリー1
- 34 美術館企画ギャラリー2
- 35 トラックヤード
- 36 展示準備室
- 37 一時保管庫
- 38 収蔵庫A
- 39 収蔵庫B
- 40 収蔵庫C
- 41 保存修復室
- 42 工作室
- 43 美術館講座室
- 44 美術館ボランティア室
- 45 中庭
- 46 県民ギャラリー1
- 47 県民ギャラリー2
- 48 県民ギャラリー3
- 49 県民ギャラリー (スタジオ)
- 50 県民アトリエ
- 51 こどもアトリエ
- 52 屋外活動スペース

(指定管理者)

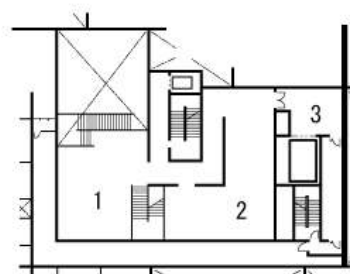
- 53 会議室
- 54 事務室
- 55 展示交流員控室



3階



地階



2階

3階

(博物館)

- 1 企画展示室
- 2 特別展示室 1
- 3 特別展示室 2
- 4 展示準備室
- 5 工作室
- 6 自然史実験室
- 7 保存科学室
- 8 フィルム保管庫
- 9 映像編集室
- 10 学芸員会議室
- 11 研究資料室
- 12 学芸員研究室
- 13 研修室

(共有)

- 14 喫茶室
- 15 ホワイエ
- 16 講堂

(美術館)

- 17 研究資料室
- 18 学芸員研究室
- 19 情報処理室
- 20 学芸員会議室
- 21 コレクションギャラリー 2
- 22 コレクションギャラリー 3
- 23 展示準備室

地階

(博物館)

- 1 特別収蔵庫
- 2 考古陶磁器収蔵庫
- 3 自然史収蔵庫
- 4 劣化フィルム収蔵庫
- 5 写真パネル収蔵庫
- 6 化石収蔵庫

2階

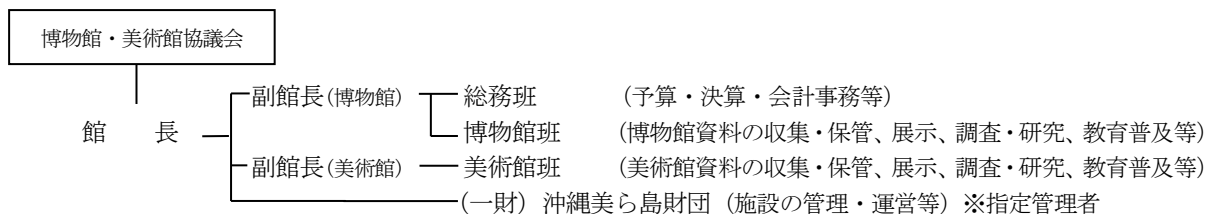
(美術館)

- 1 ホワイエ
- 2 コレクションギャラリー 1
- 3 展示準備室

Ⅳ 組 織

【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団の4つにより構成されている。なお、（一財）沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照頂きたい。



【職員構成】

2019年4月1日現在

職 名	氏 名	担 当 業 務
館 長	田名 真之	◎博物館・美術館の総括に関すること
参 事 兼 副 館 長	金城 健	◎博物館業務の統括に関すること ◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること
副 館 長 兼美術館班長	仲嶺 香代	◎美術館業務の統括に関すること ◎美術館班の総括に関すること

(総務班)

職 名	氏 名	担 当 業 務
総 務 班 長	大城 美千代	◎総務班の総括に関すること ◎出納員に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎指定管理者制度に関すること ◎視察対応の総括に関すること ◎博物館・美術館協議会に関すること ◎博物館・美術館の広報宣伝に関すること ◎防災・危機管理に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
主 任	野原 寿浩	◎予算及び決算に関すること ◎美術館班の会計業務に関すること ◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること ◎監査に関すること ◎文書の管理業務に関すること ◎労働安全衛生業務に関すること ◎公印の管理に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
主 任	上原 隆大	◎出納業務に関すること ◎博物館・美術館保全・修繕事業に関すること ◎博物館班の会計業務に関すること ◎情報管理に関すること ◎物品に関すること ◎歳入に関すること ◎施設・財産関連業務に関すること ◎公用車の管理業務（支出含む）に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
事務補助員	古波蔵 奈央子	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。

(博物館班)

職 名	氏 名	担 当 業 務
班 長	大湾 ゆかり	◎博物館班の総括に関すること ◎令和元年度博物館班牙算に関すること ◎沖縄県博物館協会、九州博物館協会、日本博物館協会に関すること ◎県議会対応に関すること ◎視察対応に関すること ◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること ◎博物館特別展示室・企画展示室の管理・運営に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎学芸員ゼミの運営に関すること ◎毒物劇物管理責任者（博物館班）に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主 幹 (歴 史)	久部良 和子	◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎常設展総合・部門展示（歴史「古琉球・近世」）に関すること ◎令和元年度企画展「台湾展」に関すること ◎資料収集事業に関すること ◎歴史資料の購入に関すること ◎新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関すること ○全国歴史民俗系博物館協議会・沖縄県博物館協会に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 (歴 史)	外間 一先	◎歴史資料（近・現代）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関すること ◎「国際博物館の日」関連事業に関すること ◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること ◎博物館『年報』の編集・発行に関すること ◎新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（一括交付金）の総括に関すること ○令和元年度企画展「台湾展」に関すること ○沖縄県博物館協議会等に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (美術工芸)	園原 謙	◎博物館年報の編集・発行の支援に関すること ◎美術工芸資料の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等の支援に関すること ◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等の支援に関すること ◎博物館部門展示（美術工芸）の支援に関すること ◎博物館資料収集事業の支援に関すること ◎一括交付金「琉球王国文化遺産・集積再興事業」及び「デジタルミュージアム推進事業」の支援に関すること ◎公文書の整理に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 (美術工芸)	與那嶺一子	◎美術工芸資料の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等の支援に関すること ◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）の支援に関すること ◎写真資料等の整理の支援に関すること ◎大嶺薫コレクション展の支援に関すること ◎博物館資料収集事業の支援に関すること ◎「琉球王国文化遺産修正・再興事業」（一括交付金）の支援に関すること ◎公文書の整理に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員 (美術工芸)	篠原 あかね	◎美術工芸（絵画・染織・陶芸・三線）の収集・保管・整理・調査研究・公開等 に関すること ◎常設展総合・部門展示（美術工芸等）に関すること ◎「琉球王国文化遺産集積・再興事業」（一括交付金）の絵画、染織、陶芸、三線 分野及び特別展「手わざ展」に関すること ◎博物館資料収集事業（美術品購入基金）に関すること ◎情報化推進リーダーに関すること

職 名	氏 名	担 当 業 務
学 芸 員 (美術工芸)	篠原 あかね	○博物館資料修復事業に関すること ○組踊300年事業の展示（美術工芸の部門展示）に関すること（副） ◎新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員 (美術工芸)	伊禮 拓郎	◎美術工芸（書跡・彫刻・漆芸）の収集・保管・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること ◎組踊300年事業の展示（美術工芸の部門展示）に関すること ◎写真資料等の整理に関すること ◎博物館資料修理事業に関すること ◎新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関すること ◎「琉球王国文化遺産集積・再興事業」（一括交付金）の石彫・木彫・金工・漆芸分野及び特別展「手わざ展」に関すること ○博物館資料収集事業(博物館美術品購入基金)に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 (考 古)	山本 正昭	◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門（考古分野）・屋外展（湧田窯）に関すること ◎特別展「グスク展」に関すること ◎移動展に関すること ◎考古資料の複製・修復に関すること ◎新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関すること ○文化財公開承認施設及び登録博物館に関すること ○情報センターの図書・データに関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 (教育普及)	大川 剛	◎教育普及資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理に関すること ◎学校連携事業に関すること ◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関すること ◎展示ガイド養成、博物館友の会・ボランティア活動事業に関すること ◎体験学習教室の企画及び野外展示の活用に関すること ◎学校連携及び博物館教育普及モデル事業に関すること ◎ふれあい体験室の運営に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員 (民 俗)	阿利 よし乃	◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（民俗資料・屋外展示等）に関すること ◎保存環境調査（展示室・収蔵庫）に関すること ◎一括交付金事業「デジタルミュージアム推進事業」に関すること ○IPM及び博物館資料のくん蒸・消毒に関すること（副） ○九州博物館協議会に関すること（副） ○新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関すること ○収蔵品データの総括管理（収蔵品台帳）に関すること（副） ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (自然史・地学)	宇佐美 賢	◎自然史資料（岩石・化石）の収集・保管・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門（地質化石等）に関すること ◎収蔵品WEB図鑑発信事業に関すること ◎特別展・企画展（地質・化石分野）に関すること ◎IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること ◎博物館班広報連絡調整に関すること ◎博物館ホームページに関すること ◎情報化推進リーダーに関すること ◎新収蔵品展に関すること ○毒物劇物管理担当に関すること（副） ◎収蔵品データの総括管理（データベース、収蔵品台帳）に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること

職 名	氏 名	担 当 業 務
主任学芸員 (自然史・生物)	菊川 章	◎生物資料の収集・保管・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（自然史「動物・植物」）・屋外展示（植生）に関する こと ◎総合調査に関すること ◎「植物標本」（阪口資料・石垣環境アセス関係資料）の整理に関すること ◎「阪口総一郎植物標本整理・発信事業」（次年度）の企画立案に関すること ◎S-NETに関すること ◎毒物劇物管理担当に関すること ○博物館紀要の編集・発行に関すること（副） ◎新収蔵品展に関すること ○学芸研究資料室の図書に関すること（副） ○沖縄県博物館協会に関すること（副） ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 (人 類)	山崎 真治	◎自然史資料（先史人類学）の収集・保管（港川人骨）・調査研究・公開等に関 すること ◎博物館総合・部門展示（自然史「先史人類学」）に関すること ◎図書の受入・整理に関すること ◎港川人骨の管理に関すること ◎共同研究事業に関すること ◎科学研究費受託機関の認定に関すること ◎公開承認施設の申請に関すること ◎新収蔵品展に関すること ○広報連絡会議に関すること（副） ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員 (人 類)	澤浦 亮平	◎自然史資料（先史人類学）の収集・保管（港川人骨）・調査研究・公開等に関 すること ◎収蔵品データの総括管理（データベース、収蔵品台帳）に関すること ◎博物館紀要の編集・発行に関すること ◎移動展に関すること ◎新収蔵品展に関すること ○特別展「グスク展」に関すること ○人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ○共同研究事業に関すること ○港川人骨の管理に関すること ○博物館ホームページに関すること ◎その他特に上司が命じる事項に関すること
学芸業務 補助員	勝連 涼子	◎『博物館・美術館年報』の編集・発行に関すること。 ◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等の受付に関すること。 ○写真資料等の整理に関すること。 ◎展示公開事業の補佐に関すること。 ○学芸研究資料室の図書に関すること。 ◎学芸員の補佐に関すること。 ◎寄贈図書類の回覧に関すること。
教育普及業務 補助員	玉城 ちひろ	○ふれあい体験室、実習室、講座等に関すること。 ○教育資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること。 ○博物館学習等の調査研究、照会事項対応の補助に関すること。 ◎ボランティア活動の連絡調整に関すること。 ○総合・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること。 ◎教育普及担当学芸員の補佐に関すること。
事務補助員	玉城 知子	○「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の補助に関すること。 ○業務補助に関すること。

(美術館班)

職 名	氏 名	担 当 業 務
副 館 長 兼美術館班長	仲嶺 香代	◎美術館業務の総括に関すること ◎館長の補佐に関すること。 ◎外郭団体等への対応に関すること ◎指定管理者との連絡調整に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	豊見山 愛	◎展示公開活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎展覧会計画策定に関すること ◎「沖縄を描いた画家」展に関すること ◎「大城精徳の仕事」展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	富原 圭子	◎教育普及活動に関すること ◎教育普及活動の調査・研究に関すること ◎移動展に関すること ◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等に関すること ○その他特に上司の命じる事項に関すること
学 芸 員	梶原 正史	◎資料保存管理活動に関すること ◎保存修復の研究に関すること ◎「上條文穂と波多野泉」展、「金城安太郎」展に関すること ◎収蔵作品データベース管理に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員	亀海 史明	◎資料収集活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎「伊志嶺隆と平敷兼七」展、「作家の視点、作品の視点」展、「作家と現在」展に関すること ◎美術品等取得基金に関すること（美術館分） ◎美術館資源発信基盤整備事業に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員	大城 さゆり	◎展示公開活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎「真喜志勉ドローイング、石田尚志、沖縄美術の流れ」展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
美術品調査員	金城 知美	○作品の調査に関すること ○収蔵品のデータベース及び画像管理・貸出に関すること
学芸業務補助員	渡邊 愛依	○美術館資料調査、収集及び整理に関すること。 ○展示公開事業の補佐に関すること。
事務補助員	奥平 こずえ	◎文書の収受、発送に関すること。 ◎図書の受付、整理に関すること。 ○文書等の整理、保管に関すること。 ○業務補助に関すること

※◎は主担当業務、○は副担当業務。

【人事異動】

2019年4月1日現在

	班 名	職 名	氏 名	摘 要
転 出	博物館班	副館長兼班長	池原 盛浩	金城中学校
		主任学芸員	園原 謙	定年退職(※3月31日)
		主任学芸員	與那嶺 一子	定年退職(※3月31日)
	美術館班	主任学芸員	玉那覇 英人	首里高等学校
転 入	美術館班	副館長兼班長	仲嶺 香代	仲西中学校
		学芸員	大城 さゆり	新採用

	班 名	職 名	氏 名	摘 要
転 入	博物館班	学芸員	澤浦 亮平	新採用(※3月1日)
	博物館班	学芸員	阿利 よし乃	新採用
		学芸員	伊禮 拓郎	新採用

V 沖縄県立博物館・美術館協議会

日 時：2020年2月28日（金） 14:00～16:00

※新型コロナウイルス感染症予防のため中止。資料配布及び書面での意見聴取に替えた。

議 題（資料送付）

- ・令和元年度事業実績報告
- ・令和2年度事業計画

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿

（任期：2019年7月10日～2020年7月9日）

分 野	氏 名	所 属	職 名
学識経験者	自然史	○新城 和治	元 教 授
	歴 史	里井 洋一	教 授
	考 古	池田 榮史	教 授
	民 俗	稲福みき子	名誉教授
	人 類	土肥 直美	元准教授
	美術（画）	◎宮城 篤正	元 学 長
	美術（立体）	西村 貞雄	名誉教授
	美術（写真）	仲本 賢	教 授
	観光行政学	下地 芳郎	会 長
学校教育関係者	小学校教育	松原 健蔵	副 会 長
	中学校教育	斉藤 美喜夫	副 会 長
	高校教育	與那嶺 国彦	副 会 長
社会教育・ 家庭教育関係者	社会教育	森田 孟則	会 長
	家庭教育	宮里 憲	会 長

（◎会長、○副会長 2020年3月31日現在）

VI 予 算

2019年度 歳出状況（決算）

単位：千円

	博物館・美術館指定管理費	博物館・美術館費	博物館・美術館管理運営費	博物館・美術館保全修繕事業	琉球王国文化遺産集積・再興事業	デジタルミュージアム推進事業	映像フィルム作品の修復・デジタル化事業	美術館展示物劣化度調査	合 計
報 酬		10,375	6,000		1,641			1,641	19,657
報償費		207			371				578
旅 費		7,847	48		1,498	30		199	9,622
需用費		21,196		5,488				1,130	27,814
役務費		3,182							3,182
委託料	305,271	35,934		34,786	87,972	21,691	948		486,602
使用料及び賃借料		4,317							4,317
備 品購入費		14,793							14,793
負担金、補助及び交付金		123							123
公課費		23							23
繰出金		20							20
合 計	305,271	98,017	6,048	40,274	91,482	21,721	948	2,970	566,731

※本庁執行分を含む

2019年度 歳入状況（決算）

単位：千円

	収入金額	説 明
土 地 使 用 料	32	自動販売機土地使用料等
建 物 使 用 料	3,865	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料等
国 庫 補 助 金	90,563	沖縄振興特別推進交付金
不用品売払代	17	不用品の売り払い
雑 入	2,427	喫茶室、ミュージアムショップ、自動販売機の電気・水道料金等
展示会等助成金	1,005	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興会）
合 計	97,909	※本庁収納分を除く

VII 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2020年3月31日 現在

	分 類	件 数	小 計
博 物 館	自 然 史	57,200	100,345
	人 類	128	
	美 術 工 芸	10,966	
	歴 史	14,388	
	考 古	9,761	
	民 俗	7,902	
美 術 館	平 面	1,854	4,671
	立 体	259	
	写 真 ・ 映 像	2,529	
	そ の 他	29	
総 計			105,016

利用統計

- I 入館者統計
- II 施設利用者統計

I 入館者統計

1 総入館者集計

(単位：人)

年	月	博 物 館												美 術 館												全 体				総入館者	開館日数	入館者数 一日平均
		常 設 展			企 画 展			特 別 展			全 体			コレクション展			企 画 展			全 体			展示室合計			展示以外 (共有)						
		有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	合計							
2019 (平成三十一 令和元)	4	5,297	1,407	6,704	108	116	224	0	0	0	5,405	1,523	6,928	2,336	800	3,136	7,875	377	8,252	10,211	1,177	11,388	15,616	2,700	18,316	20,917	32,676	26	1,257			
	5	5,287	3,648	8,935	2,137	789	2,926	0	0	0	7,424	4,437	11,861	2,115	1,186	3,301	16,998	849	17,847	19,113	2,035	21,148	26,537	6,472	33,009	17,330	47,824	28	1,708			
	6	4,907	1,842	6,749	1,884	436	2,320	0	0	0	6,791	2,278	9,069	2,194	956	3,150	0	0	0	2,194	956	3,150	8,985	3,234	12,219	15,348	25,846	23	1,124			
	7	5,237	2,111	7,348	0	0	0	0	0	0	5,237	2,111	7,348	1,861	632	2,493	0	0	0	1,861	632	2,493	7,098	2,743	9,841	14,189	69,007	21	3,286			
	8	7,679	2,936	10,615	0	0	0	0	0	0	7,679	2,936	10,615	4,105	1,386	5,491	0	0	0	4,105	1,386	5,491	11,784	4,322	16,106	13,651	130,682	27	4,840			
	9	4,178	1,731	5,909	1,714	633	2,347	0	0	0	5,892	2,364	8,256	2,032	788	2,820	328	364	689	2,357	1,152	3,509	8,249	3,516	11,765	13,624	62,046	24	2,585			
	10	5,096	2,605	7,701	3,231	665	3,896	0	0	0	8,327	3,270	11,597	1,554	943	2,497	1,191	517	1,708	2,745	1,460	4,205	11,072	4,730	15,802	17,435	33,161	27	1,228			
	11	12,308	6,678	18,986	1,315	361	1,676	2,026	181	2,207	15,649	7,220	22,869	4,815	2,775	7,590	359	130	488	5,173	2,905	8,078	20,822	10,125	30,947	23,062	56,057	26	2,156			
	12	11,553	2,687	14,240	0	0	0	3,846	314	4,160	15,399	3,001	18,400	5,413	1,154	6,567	335	73	408	5,748	1,227	6,975	21,147	4,228	25,375	21,350	39,038	24	1,627			
2020 (令和元)	1	7,199	3,061	10,260	0	0	0	2,910	355	3,265	10,109	3,416	13,525	2,512	766	3,278	1,880	397	2,277	4,392	1,163	5,555	14,501	4,579	19,080	17,612	35,742	26	1,375			
	2	4,478	1,780	6,258	0	0	0	2,402	441	2,843	6,880	2,221	9,101	1,854	448	2,302	420	114	534	2,274	562	2,836	9,154	2,783	11,937	23,570	30,064	21	1,432			
	3	2,533	446	2,979	0	0	0	1,369	339	1,708	3,902	785	4,687	1,305	258	1,563	2,431	445	2,876	3,736	703	4,439	7,638	1,488	9,126	30,303	15,385	26	592			
合 計		75,752	30,932	106,684	10,389	3,000	13,389	12,553	1,630	14,183	98,694	35,562	134,256	32,096	12,092	44,188	31,813	3,266	35,079	63,909	15,358	79,267	162,603	50,920	213,523	228,391	577,528	299	1,932			
目 標		71,000			10,620			5,160			86,780			18,800			158,886			177,686			264,466									
達成率(%)		106.69%			97.82%			243.28%			113.73%			170.72%			20.02%			35.97%			61.48%									

2 団体別入館者集計

(単位：人)

項目	県内										県外										国外										合計	
	小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		小計					
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数		
4月	0	0	0	0	0	0	3	45	3	45	1	37	1	12	1	30	0	0	3	82	1	30	0	0	0	0	1	30	7	157		
5月	8	428	3	88	0	0	0	0	11	516	3	162	0	0	1	16	0	0	4	178	0	0	0	0	0	0	0	0	15	694		
6月	12	536	2	224	0	0	1	33	15	793	2	138	3	243	0	0	0	0	5	381	1	32	0	0	0	0	1	32	21	1,206		
7月	3	202	6	224	3	89	24	634	36	1,149	1	115	0	0	0	0	0	0	1	115	0	0	0	0	0	0	0	0	37	1,264		
8月	3	75	1	40	0	0	101	2,523	105	2,638	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	2,638		
9月	8	667	3	100	2	71	1	11	14	849	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	849			
10月	21	1,208	5	202	3	91	0	0	29	1,501	1	59	5	188	0	0	0	0	6	247	0	0	0	0	0	0	0	35	1,748			
11月	44	3,265	4	146	2	76	1	21	51	3,508	3	458	38	5,846	2	31	0	0	43	6,335	3	105	2	46	0	0	5	151	99	9,994		
12月	16	1,151	4	514	1	26	1	14	22	1,705	7	384	36	5,472	2	116	0	0	45	5,972	0	0	0	0	0	0	0	67	7,677			
1月	17	1,623	5	170	0	0	0	0	22	1,793	0	0	3	408	1	25	0	0	4	433	2	79	0	0	0	0	2	79	28	2,305		
2月	10	995	1	78	1	33	0	0	12	1,106	3	154	3	258	0	0	0	0	6	412	0	0	1	54	0	0	1	54	19	1,572		
3月	0	0	0	0	0	0	1	47	1	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	47			
合計	142	10,150	34	1,786	12	386	133	3,328	321	15,650	21	1,507	89	12,430	7	218	0	0	117	14,155	7	246	3	100	0	0	10	346	448	30,151		

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体

3 展覧会別入館者集計

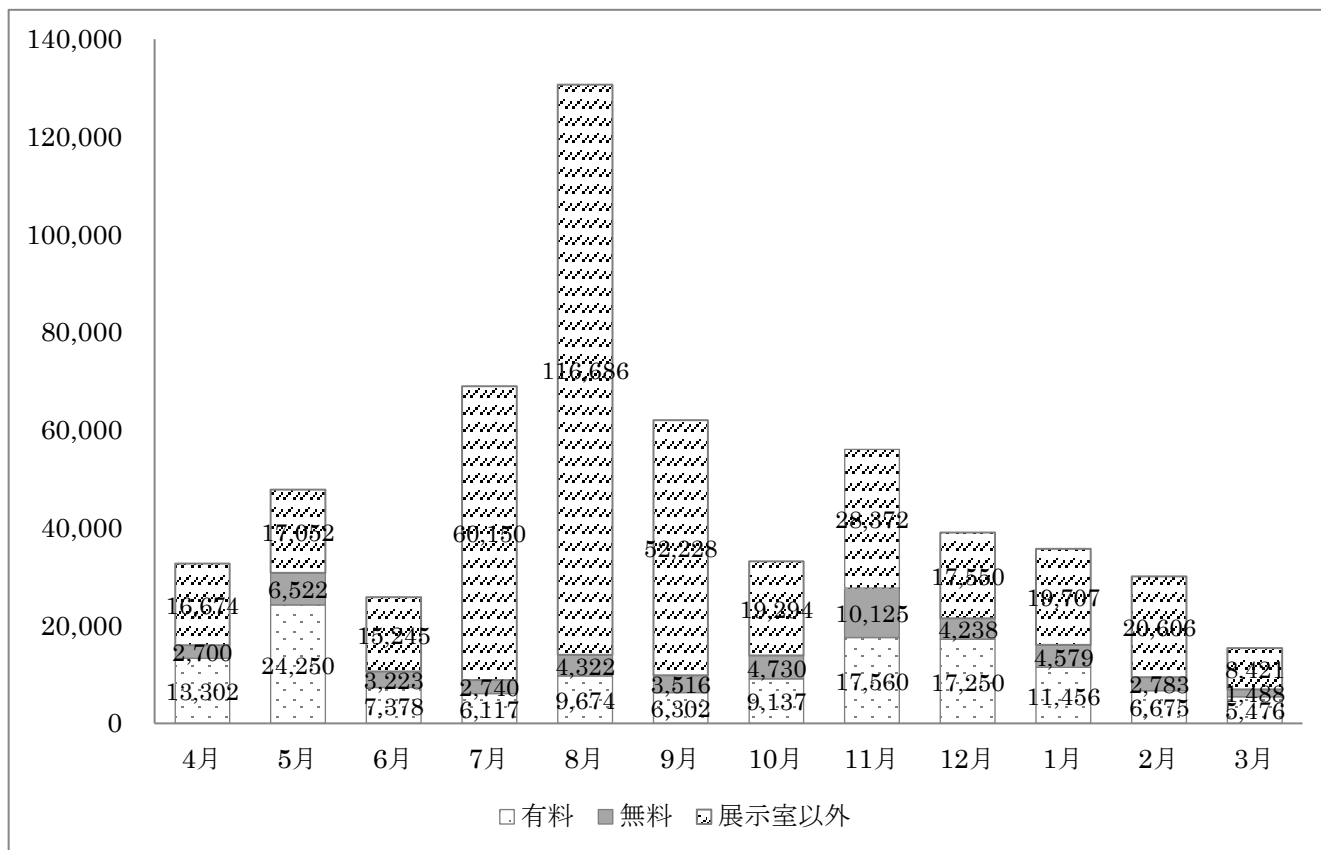
(単位：人)

展覧会名		観覧者区分	当日券	団体券	前売券	1Day passport	年間パス	その他 割引	優待 (障がい)	有料者 合計	優待 (障がい)	無料者数	総合計
博物館	企画展 「大嶺薫コレクション展 －探求する心とその世界－」	一般	749	0	0	0	52	0	0	801	117	192	1,110
		高・大学生	47	0	0	0	0	0	0	47	0	2	49
		小・中学生	28	0	0	0	0	0	0	28	0	78	106
	企画展 「新収蔵品展 －平成30年度収蔵資料－」	一般	865	0	0	1,911	116	17	0	2,909	454	301	3,664
		高・大学生	52	0	0	148	0	20	0	220	1	0	221
		小・中学生	0	0	0	124	0	0	0	124	7	189	320
	企画展 「台湾－黒潮でつながる隣 (とうない) ジマー」	一般	3,353	64	33	1,339	261	274	0	5,324	495	972	6,791
		高・大学生	264	134	1	178	0	172	0	749	6	0	755
		小・中学生	113	15	2	47	0	10	0	187	8	178	373
	特別展 「グスク・ぐすく・城 －動乱に生み出された遺産－」	一般	3,747	50	87	2,865	263	270	240	7,522	0	685	8,207
		高・大学生	292	161	3	314	0	109	6	885	0	0	885
		小・中学生	196	66	2	93	0	13	5	375	0	165	540
美術館	企画展 「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」	一般	1,488	0	14	1,359	128	111	111	3,211	0	701	3,912
		高・大学生	92	0	2	348	0	29	1	472	0	0	472
		小・中学生	45	0	0	33	0	7	3	88	0	79	167
	企画展「作家と現在」	一般	479	0	1	968	142	22	39	1,651	0	958	2,609
		高・大学生	26	0	1	93	0	32	5	157	0	0	157
		小・中学生	33	0	0	30	0	3	0	66	0	53	119
	企画展「作家と現在」	一般	550	0	3	1,303	84	70	42	2,052	0	467	2,519
		高・大学生	77	0	1	162	0	36	1	277	0	0	277
		小・中学生	19	0	0	101	0	3	0	123	0	85	208
指定 管理 者	企画展 「ホキ美術館名品展」	一般	7,508	3	2,678	1,369	340	8,577	1,026	21,501	0	496	21,997
		高・大学生	648	66	84	73	0	250	16	1,137	0	0	1,137
		小・中学生	1,143	23	227	112	0	678	52	2,235	0	730	2,965
	企画展 「みんなのレオ・レオーニ展」	一般	903	6	416	263	83	224	82	1,977	0	77	2,054
		高・大学生	83	22	32	77	0	11	3	228	0	0	228
		小・中学生	189	41	95	23	0	43	18	409	0	400	809
	合 計	一般	19,644	121	3,232	11,377	1,469	9,565	1,540	46,948	1,066	4,849	52,863
		高・大学生	1,603	361	124	1,393	0	659	32	4,172	7	2	4,181
		小・中学生	1,766	145	326	563	0	757	78	3,635	15	1,957	5,607

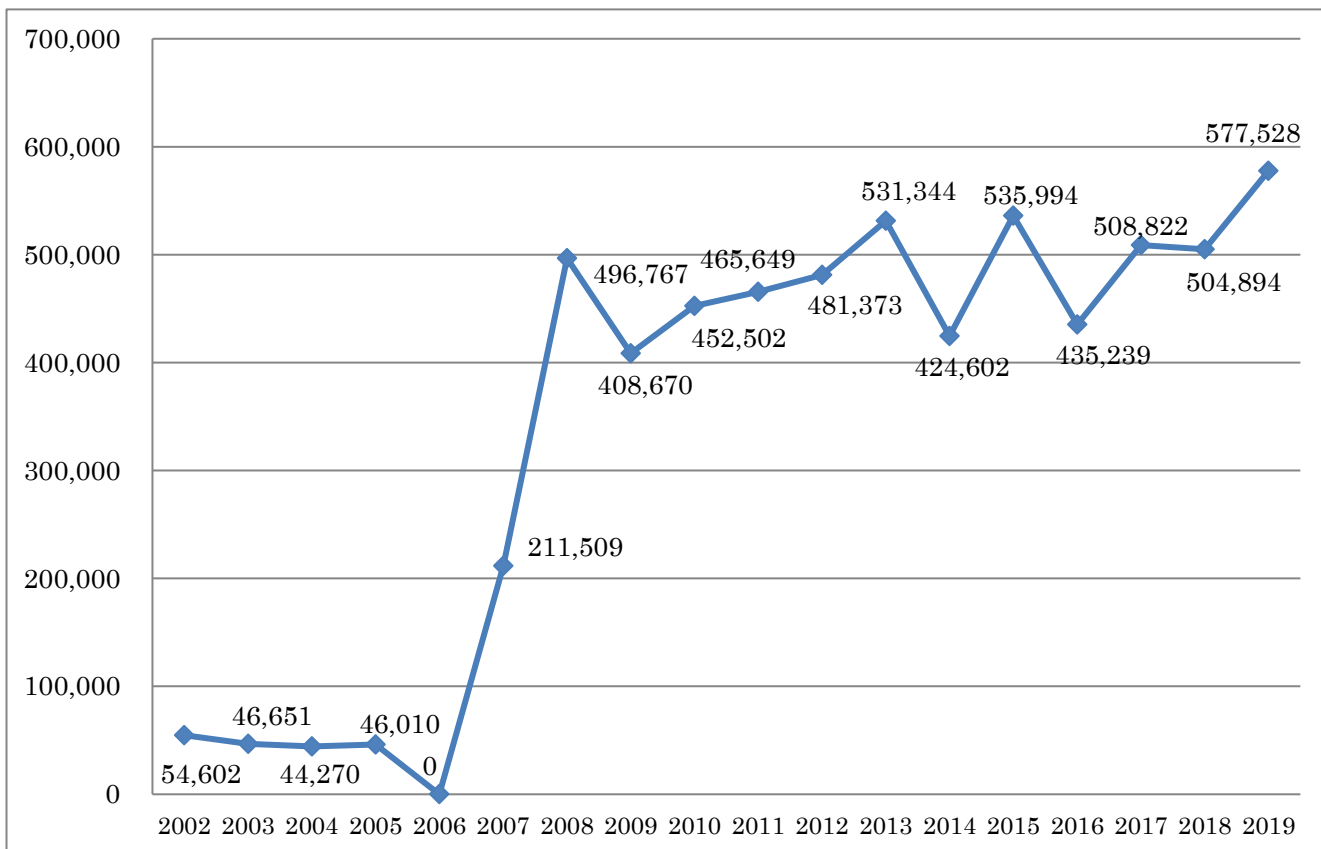
※博物館企画展に関しては、優待（障害者）は無料者数へ含む。

※博物館企画展「大嶺薫コレクション展」は、常設券で観覧できるため無料者へ含む。

4 2019年度（平成31・令和元）月間別入館者数



5 年間入館者数の年次推移



6 減免申請集計

(単位：人)

項 目		学校関係 (下見)		旅行社関係 (視察・引率)		マスコミ関係 (視察)		福祉関係 (引率)		博物館・美術館 関係者 (視察)		その他		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
2017	4 月	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
	5 月	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
	6 月	2	4	1	3	0	0	2	11	0	0	1	1	6	19
	7 月	12	414	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	414
	8 月	26	718	0	0	0	0	0	0	0	0	1	45	27	763
	9 月	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
	10 月	4	8	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11
	11 月	16	83	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	21	90
	12 月	12	57	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	61
2018	1 月	9	36	2	2	0	0	0	0	0	0	2	17	13	55
	2 月	9	57	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	10	60
	3 月	5	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	13
合 計		101	1,407	13	22	0	0	2	11	0	0	4	63	120	1,503

7 団体入館内訳

県内 小学校

のべ130校 9,672名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	10	高良小学校	144	45	10	31	北玉小学校	95	89	12	1	平真小学校	101
2		17	城辺小学校	28	46		1	兼次小学校	27	90		3	座安小学校	93
3		24	鏡原小学校	42	47			長田小学校	113	91		4	大里南小学校	146
4			久松小学校	47	48			諸見小学校	96	92		5	神原小学校	59
5		28	下地小学校	43	49		6	佐敷小学校	76	93			普天間第二小学校	113
6		30	東小学校	90	50			玉城小学校	74	94		6	小緑南小学校	124
7	6	2	砂川小学校	18	51	船越小学校		66	95		那覇小学校	83		
8		7	平良第一小学校	87	52	7	大宜味小学校	25	96	8	石垣小学校	71		
9			カリッ学園海星小学校	12	53		美原小学校	159	97	12	新川小学校	73		
10		14	南小学校	106	54	8	浜川小学校	100	98		竹富小学校	10		
11		19	多良間小学校	12	55		伊江小学校	15	99	13	瀬喜田小学校	13		
12		21	比川小学校	7	56		東小学校	10	100	17	安謝小学校	117		
13			北小学校	53	57		天底小学校	31	101		与那原小学校	53		
14		26	西城小学校	19	58	12	壺屋小学校	40	102	18	神原小学校	25		
15		27	平久保小学校	5	59		長嶺小学校	107	103		潮平小学校	36		
16			伊良部島小学校	40	60		新城小学校 3 年生	60	104	20	久辺小学校	34		
17	7	17	天久小学校	160	61		新城小学校 5 年生	42	105	1	10	石嶺小学校	142	
18		24	沖縄カトリック小学校	36	62	15	神原小学校	58	106		16	仲西小学校	106	
19		26	栗国小学校	6	63		泡瀬小学校	126	107		17	本部小学校	76	
20		8	14	アラビアン イン 林ナ	54		64	天久小学校	64		108		港川小学校	171
21		20	高江小学校	10	65	17	前田小学校	146	109			金城小学校	124	
22	9	19	伊是名小学校	13	66		19	赤道小学校	110		110		曙小学校	55
23		20	北美小学校	86	67	比屋根小学校		130	111		21	宇栄原小学校	62	
24			美里小学校	143	68	北玉小学校	100	112			那覇小学校	89		
25		25	渡慶次小学校	102	69	20	安慶田小学校	86	113		22	天久小学校	162	
26		26	福嶺小学校	12	70		城西小学校	125	114			識名小学校	110	
27			宮里小学校	204	71		天久小学校	66	115		23	城南小学校	80	
28	10	2	沖縄カトリック小学校	103	72		21	北谷第二小学校	98		116		名護小学校	143
29		4	山田小学校	29	73	豊崎小学校		168	117		24	糸満小学校	83	
30			はごろも小学校	159	74	22	具志川小学校	48	118				羽地小学校	58
31		8	真壁小学校	29	75		真地小学校	82	119				喜納小学校	79
32		9	珊瑚舎スコーレ	26	76		とよみ小学校 3 年生	121	120			28	宇栄原小学校	66
33		11	米須小学校 (3 年生)	25	77		とよみ小学校 5 年生	120	121		31	安富祖小学校	17	
34			米須小学校 (4 年生)	29	78	翔南小学校	98	122	2	4	オキワインターナショナルスクール	13		
35				屋我地小学校	11	79	上原小学校	19		123	5	開南小学校	78	
36				大山小学校	110	80	26	さつき小学校		122	124	6	天久小学校	164
37		18	阿波連小学校	4	81	松島小学校		118		125	7	津嘉山小学校	145	
38			中城小学校	67	82		大岳小学校	21		126		沖縄アミューズインターナショナル	83	
39		24	津覇小学校	44	83	28	波照間小学校	19		127	12	銘苅小学校	122	
40		25					安和小学校	16		128	13	上間小学校	93	
41			大北小学校	106	85		大謝名小学校	77		129	14	松川小学校	94	
42			仲里小学校	27	86		奥間小学校	20		130	26	浦城小学校	165	
43			30	志真志小学校	127	87	29	南大東小学校		24				
44	31	今帰仁小学校	51	88		久志小学校		27						

県内 中学校

のべ12校 478名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	3	中城中学校	24	6	9	6	神原中学校	24	10	10	24	豊見城・長嶺・伊良波中学校	24
2			西崎中学校	10	7		13	久辺中学校	83	11	11	5	伊是名中学校	15
3	6	11	大里中学校	155	8	10	4	越来中学校	64	12	2	15	伊良波・西崎・糸満・潮平中学校	38
4			南大東中学校	22	9			金城中学校	8					
5	8	9	興南中学校	11										

県内 高校

のべ21校 1,311名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	14	石川高校	143	8	10	11	首里高校	10	15	12	20	角川ドワンゴN高校	123
2	7	19	沖縄水産高校	58	9	11	13	首里高校	7	16	1	10	北部農林高校	35
3	9	26	泊高校	12	10		19	角川ドワンゴN高校	50	17			具志川高校	27
4		28	開邦高校	49	11		21	ヒューマンキャンパス高校	59	18		23	浦添工業高校	74
5	10	3	具志川高校	12	12	12	6	那覇工業高校	28	19			沖縄水産高校	31
6			普天間高校	17	13		19	南風原高校	40	20		31	泊高校	3
7		9	興南高校	132	14		20	前原高校	323	21	2	13	浦添工業高校	78

県内 専門学校・大学

のべ13校 475名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	17	ヒューマンアカデミー那覇校	33	5	7	10	KBC 学園エルケア医療保育専門学校	39	9	7	25	国際電子ビズネット専門学校	52
2		20	インターナショナルデザインアカデミー	35				沖縄国際大学	17	10	8	21	沖縄福祉保育専門学校	40
3		29	琉球大学	20	6		17	大平特別支援学校	17	11	9	28	沖縄県立芸術大学	39
4	6	14	沖縄看護専門学校	81	7		18	沖縄国際大学	21	12	10	27	放送大学	31
					8		19	インターナショナルデザインアカデミー	37	13	11	1	琉球大学	30

県内 特別支援学校

のべ12校 386名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	7	18	島尻特別支援学校高等部	33	5	9	27	當山小学校特別支援学級	54	9	11	7	美咲特別支援学校小学部	32
2			島尻特別支援学校小学部	28	6	10	9	浦添中学校特別支援学級	25	10		29	美咲特別支援学校はななき分校	44
3		19	富宮中学校特別支援学級	28	7		18	鏡が丘特別支援学校	39					
4	9	26	山内中学校特別支援学級	17	8		30		27	11	12	4	西崎特別支援学校	26
										12	2	13	美咲特別支援学校	33

県内 幼稚園・保育園・その他

のべ133校 3,328名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	13	風の子学童クラブ	13	30	8	1	神森どんぐり学童クラブ	28	60	8	8	ステップ金城	14
2			児童デイサービス	7			2	宮里キッズ学童クラブ第二教室	31	61		9	横田わんぱく広場	26
3		29	コロニーくわえ児童デイサービス	25				神森小すみれ学童	56	62			なないろ児童クラブ	12
4	6	14	つばさ保育園	33	33			みらい児童館	25	63			杉の子幼児学園	20
5	7	17	さくらんぼ3号館	12	34			平安幼稚園	81	64			首里当蔵保育園	23
6		18	首里当蔵保育園	39	35			ちやちやま保育園	10	65			ココイク	12
7		23	那覇市小緑児童館	24	36			デイサービスにこにこ	34	66			八重瀬町社会福祉協議会子ども食堂	25
8			なないろ学童児童クラブ	12	37			ななほしてんとう	30	67			太陽の子児童クラブ	18
9		24	大地の子児童クラブ	48	38			なんじいキッズクラブ	16	68			ビスティスおきなわ	17
10			ハッピー学童	29	39			あい療育センター	19	69			やぶ学童	32
11			すまいるきつずまーる	21	40			いとし子保育園	35	70			児童デイサービスまほろ赤嶺	18
12		25	いしかわ児童館学童クラブ	39	41			コロニー北谷	20	71			さんさん学童クラブ	30
13			なないろ学童児童クラブ	12	42			マーシー保育園	13	72			放課後デイサービスちゅらら	13
14			すまいるきつずかわた	24	43		6	つかさん学童	24	73			児童デイサービスほーぷ	9
15		26	宜野湾市長田児童館	35	44			学童クラブなかよし広場	12	74			児童デイサービスまほろ	10
16			たばる児童クラブ	16	45			little デイジー	16	75			児童デイサービスくるみ	18
17			たばるセンターすまいるきつず	26	46			津嘉山うむさ学童	18	76			コザくら学童クラブ	10
18		30	宮里キッズ学童クラブ第一教室	37	47		7	学童館	85	77			つかさん学童	15
19			つばみ保育園	23	48			ちやちやま保育園	16	78		10	ていーだこども食堂	30
20			なないろ学童児童クラブ	12	49			わくわく学童クラブ	57	79			アメリカンスクール・イン・オキナワ	17
21			児童サービスビルナス	12	50			城北児童クラブ	47	80			桜会あめくジャンプ児童クラブ	66
22			本部町ことばの教室	28	51			多機能型事業所リズム	23	81			ながやま児童クラブ	51
23			みらいりんく糸満	21	52			琴の音保育園	15	82			末吉児童クラブ	18
24			たばるセンターすまいるきつず	25	53			マニアートいさがわ	12	83			多機能事業所桃	29
25			コロニー児童デイサービスちばな	18	54			さくら保育園	12	84			アニマートなかぐすく	14
26		31	第3・4わくわく学童クラブ	72	55		8	つかさん学童	36	85			天久台病院グループSUN	21
27			読谷キッズ学童クラブ	26	56			キッズポート	16	86			童夢児童クラブ	35
28			kids ハウス Goose	23	57			桜会あめく児童クラブ	54	87			オレンジ学童クラブ	47
29	8	1	神森小学童	30	58			桜会あめく第5児童クラブ	54	88			末吉児童クラブ	18

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
89	8	16	識名児童館	29	105	8	21	はごろも保育園	27	120	8	23	ピスティスおきなわ	14
90			学童ミライクラブ	38	106			ゆうゆう児童クラブ	17	121			合同会社笑恵	10
91			いじゅの木みはら	17	107			北丘児童館	29	122			ムーミン保育園	10
92		20	与那原東幼稚園	31	108			学童クラブ・キリン	35	123		27	北丘学童クラブ	84
93			新城児童センター	24	109			末吉児童クラブ	18	124		28	ゆりかご保育園夢組	23
94			ゆうゆう児童クラブ	22	110			あわ学童	33	125			伊良波こども園	16
95			童夢児童クラブ	42	111			多機能型事業所リズム	13	126			支援センターあけぼの	30
96			末吉児童クラブ	12	112		22	ていんがーら保育園	9	127		29	ふれ愛保育園	28
97			いこい学童クラブ	15	113			はごろも保育園	30	128		30	琴の音保育園	15
98			キッズワールド'サボ' Ocean	13	114			末吉児童クラブ	14	129			ナザレ幼稚園	21
99			首里当蔵保育園	17	115			北丘児童館	33	130	9	6	オキナワ・インターナショナル・スクール	11
100			じんぶん塾	20	116			児童デｲｲｰベｽﾞいじゅの木ふるじま	15		11	7	Early Learners International	21
101			サンクスラポ浦添	9				キッズハウス Okay	9	132	12	5	オキナワ・インターナショナル・スクール	14
102			みずきこども園	33	117		23	伊良波こども園	17					
103			ベスノ英会話スクール	18	118			末吉児童クラブ	11	133	3	24	あめく児童クラブ	47
104			放課後デイサービス アダマス plus	11	119									

県外 小学校 のべ2校 189名

No.	月	日	学校名	人数
1	6	21	目黒星美学園小学校(東京都)	97
2	2	4	横浜雙葉小学校	92

県外 中学校 のべ19校 1,318名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	24	川上中学校 (長野県)	37	8	11	7	愛知淑徳中学校(愛知県)	292	14	12	12	西合志中学校(熊本県)	97
2	5	15	大和中学校 (鹿児島県)	15	9		14	瑞穂中学校 (島根県)	33	15			吉賀町連合中学校(島根県)	48
3		22	旭丘中学校 (兵庫県)	12			15	東京学芸大学附属国際中等教育学校 (東京都)	133	16		13	天水中学校 (熊本県)	54
4		30	天王寺中学校(兵庫県)	135						17		20	香蘭女学校 (東京都)	16
5	6	4	井吹台中学校(兵庫県)	41	11	12	8	矢部中学校 (熊本県)	57	18	2	26	活水中学校 (長崎県)	28
6	7	12	順天中学校 (東京都)	115	12		10	嘉島中学校 (熊本県)	82	19			羽黒中学校 (山形県)	34
7	10	31	大谷中学校 (大阪府)	59	13			河内中学校 (広島県)	30					

県外 高校学校 のべ84校 12,344名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	25	明法高校（東京都）	132	31	11	20	巨摩高校（山梨県）	231	60	12	8	誠和福祉高校（埼玉県）	154
2		27	田鶴浜高校（石川県）	85	32		21	甲府商業高校（山梨県）	271	61		10	愛知産業大付属高校（愛知県）	166
3	10	2	君津商業高校（千葉県）	16	33			柏高校（千葉県）	268	62		11	愛知産業大付属高校（愛知県）	171
4		5	清心女子高校（岡山県）	23	34			尾北高校（愛知県）	86				松本第一高校（長野県）	61
5		19	君津商業高校（千葉県）	28	35		23	松阪工業高校（三重県）	243				鹿島台商業高校（宮城県）	72
6		22	横須賀学院高校（神奈川県）	99	36		27	東日本学院有朋高校（福島県）	24	63			農林高校（山梨県）	142
7		30	法政大学国際高校（神奈川県）	22	37			矢板高校（栃木県）	161	65		12	浜松開誠館高校（静岡県）	84
8	11	6	前橋育英高校（群馬県）	34	38			福井商業高校（福井県）	245	66			甲府城西高校（山梨県）	107
9			科学技術学園（東京都）	8	39		28	甲陵高校（山梨県）	31	67		13	吉川学園高校（宮城県）	141
10			池上学院高校（北海道）	71	40			浜松学芸高校（静岡県）	19	68		14	三河高校（愛知県）	163
11		7	市川高校（千葉県）	330	41			岐阜聖徳学園（岐阜県）	3	69		15	東海高校（茨城県）	164
12			柏高校（千葉県）	46	42		30	熊谷工業高校（埼玉県）	243	70			都留興譲館高校（山梨県）	40
13			鎌倉女学院高校（神奈川県）	174	43			宇都宮短大附属高校（栃木県）	544	71		17	長野日本大学高校（長野県）	29
14		8	白根高校（山梨県）	159	44	12	1	川越女子高校（埼玉県）	415	72		18	東京高校（東京都）	54
15			豊岡高校（埼玉県）	334	45			宇都宮短大附属高校（栃木県）	318	73			長野日本大学高校（長野県）	184
16			科学技術学園（東京都）	15	46			浜松啓陽高校（静岡県）	206	74		19	八王子実践高校（東京都）	254
17			豊島高校（東京都）	13	47		3	伊東高校（静岡県）	156	75			若葉総合高校（東京都）	243
18		9	科学技術学園（東京都）	24	48			磐田農業高校（静岡県）	167	76		20	昭和女子大付属昭和高校（東京都）	29
19			一関学院高校（岩手県）	123	49			湖西高校（静岡県）	116	77			八王子実践高校（東京都）	262
20			富士河口湖高校（山梨県）	203	50		4	常陸大宮高校（茨城県）	54	78		21	明治学院高校（東京都）	134
21		12	東海大学山形高校（山形県）	88	51			静岡城北高校（静岡県）	40	79			日々輝学園本校・宇都宮キャンパス（栃木県）	53
22			共栄学園高校（東京都）	332	52			市川高校（山梨県）	141	80	1	16	鷺宮高校（東京都）	277
23			宇治山田高校（三重県）	254	53			富士宮北高校（静岡県）	129			22	日々輝学園神奈川校（神奈川県）	78
24			大崎中央高校（宮城県）	84	54			浜北西高校（静岡県）	203			15	峡南高校（山梨県）	46
25			浜松江之島高校（静岡県）	242	54		6	宇都宮工業高校（栃木県）	125	81		16	南山高校（愛知県）	200
26		13	広陵高校（広島県）	71	55			清水西高校（静岡県）	252	82				
27		15	今市工業高校（栃木県）	143	56		7	富士宮北高校（静岡県）	128					
28			立教女学院高校（東京都）	186	57			嵯峨工業高校（山梨県）	174	83	2			
29		17	志木高校（埼玉県）	265	58		8	高萩清光高校（茨城県）	194	84				
30		19	川越高校（埼玉県）	245	59									

県外 専門学校・大学

のべ5校 86名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	16	東洋さきの専門学校(大阪府)	15	3	11	8	京都造形大学(京都府)	21	5	2	23	京都造形芸術大学(京都府)	12
2	6	8	千葉大学(千葉県)	26	4	11	8	筑波大学(茨城県)	12					

県外 特別支援学校

のべ7校 218名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	24	天竜特別支援学校(静岡県)	30	3	11	28	筑波大附属視覚特別支援学校(茨城県)	5	5	12	4	田園調布特別支援高校(東京都)	49
2	5	30	北茨城特別支援学校高等部(茨城県)	16	4		29	石岡特別支援学校(茨城県)	26	6			支援学校岩沼学園高校(宮城県)	67
										7	1	24	港特別支援学校(東京都)	25

国外 その他(基地内含む)

のべ10校 346名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	18	ホーリークロスルーランスクール(香港)	30	4	11	15	香港日本語学校小学部(香港)	48	7	11	26	Millennia Institute(シンガポール)	19
2	6	18	復旦五浦匯実験学校(中国)	32	5		22	沙田培英中學(香港)	40	8	1	16	香港聖公會主風小学(香港)	44
3	11	6	Sacred Heart Canossion College(香港)	27	6		23	タイ特別支援学校(タイ)	17	9		18	上海文来中学(中国)	35
										10	2	1	カデナハイスクール(米国)	54

Ⅱ 施設利用者統計

1 月別施設利用集計

(単位：日数)

項目	博 物 館					美 術 館										共有		その他								
	企画展示室	特別展示室	博物館講座室	博物館実習室	博物館屋外展示場	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	こどもアトリエ	スタジオ	県民ギャラリー1	県民ギャラリー2	県民ギャラリー3	美術館屋外展示場	中庭	講堂	エントランス	3階回廊	講堂前ホワイエ	正面玄関雨端	計	貸出可能日	貸出可能時間	貸出可能日 (金・土除く)	貸出可能日(金・土)
4月	26	26	15	16	0	26	26	17	7	9	5	12	1	0	0	0	13	19	0	0	0	218	26	250	18	8
5月	28	28	21	12	0	28	28	16	11	11	7	17	17	5	0	0	10	24	0	0	2	265	28	270	19	9
6月	23	23	20	8	0	23	23	21	13	13	6	20	14	13	0	0	15	11	0	0	0	246	23	221	16	7
7月	21	21	20	14	1	21	21	20	13	9	9	17	12	12	0	0	15	21	0	19	0	266	21	201	15	6
8月	27	27	23	12	0	27	27	23	14	9	13	23	21	24	0	5	20	27	0	23	0	345	27	263	17	10
9月	24	24	22	16	1	24	24	22	20	20	20	22	22	16	0	0	20	10	0	0	0	307	24	230	17	7
10月	27	27	19	14	0	27	27	24	11	7	7	24	24	24	0	0	16	27	0	0	1	306	27	259	19	8
11月	26	26	21	24	0	24	24	25	19	16	20	24	24	24	0	0	20	26	0	0	0	343	26	254	16	10
12月	24	24	21	21	1	20	20	18	12	9	14	23	19	18	0	0	15	14	0	24	0	297	24	232	16	8
1月	26	26	22	18	0	26	26	22	10	11	8	20	20	15	0	0	17	22	0	26	0	315	26	250	18	8
2月	21	21	16	15	0	21	21	19	11	8	15	17	17	17	0	0	16	13	0	21	0	269	21	205	13	8
3月	26	26	4	5	0	26	26	9	3	1	1	1	7	2	0	0	4	0	0	0	0	141	26	250	18	8
貸出件数	299	299	224	175	3	293	293	236	144	123	125	220	198	170	0	5	181	214	0	113	3	3,318	299	2,885	202	97
今年度稼働率	100.0%	100.0%	74.9%	58.5%	1.0%	98.0%	98.0%	78.9%	48.2%	41.1%	41.8%	73.6%	66.2%	56.9%	0.0%	1.7%	60.5%	71.6%	0.0%	37.8%	1.0%					

※3階回廊、講堂前ホワイエ、正面玄関、博物館屋外展示場、美術館屋外展示場、中庭は県主催、指定管理者主催イベントのみ稼働。

2 当館主催事業及び施設貸出内訳

【2019年4月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	火	県民アトリエ	グラクソ・スミスクライン(株) RS沖縄エリアKAIZEN会議	3	3	水	博物館実習室	ジブラルタ生命保険㈱ ジブラルタ生命保険から提案するこれからの法人保険提案
2	3	水	博物館講座室	文化振興課との打ち合わせ会議	4	3	水	美術館講座室	株式会社サンビリーフ 社内会議

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
5	4	木	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団採用予定者研修	43	19	金	博 物 館 実 習 室	科学週間 準備
6	4	木	博 物 館 実 習 室	株式会社ツムラ沖縄営業所 期首会議	44	19	金	美 術 館 講 座 室	ジブラルタ生命 4 月度 A T P 研修
7	4	木	美 術 館 講 座 室	オムファム株式会社 第 25 期経営計画発表会	45	19	金	県 民 ア ト リ エ	㈱セブンイレブン沖縄 採用面接
8	5	金	博 物 館 講 座 室	ホキ美術館名品展 展示勉強会	46	19	金	ス タ ジ オ	GW関連催事 準備
9	5	金	美 術 館 講 座 室	株式会社幸健ホーム 経営方針発表会	47	19	金	共 有 講 堂	琉球リハビリテーション病院 平成 31 年度臨 床実習指導者会議
10	6	土	共 有 講 堂	明治安田生命労働組合	48	20	土	博 物 館 講 座 室	科学技術週間（カガクジカン）関連イベント
11	7	日	博 物 館 講 座 室	表千家同門会沖縄県支部 教授者連絡会議	49	20	土	博 物 館 実 習 室	科学週間
12	7	日	博 物 館 講 座 室	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事 講演会	50	20	土	美 術 館 講 座 室	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事「魂のリアリズム」 上映会・画家・野田弘志氏の制作に迫ったドキュメンタリー
13	7	日	共 有 講 堂	2020 年度 沖縄ワタベウエディング株式会社 会社説明会	51	20	土	こ ど も ア ト リ エ	沖縄県造形教育連盟
14	10	水	博 物 館 講 座 室	盛和塾沖縄 定例会	52	20	土	ス タ ジ オ	有限会社おきなわ教育ラボ 新学習指導要領におけるキャリア教育
15	10	水	美 術 館 講 座 室	㈱沖縄銀行 支店長研修	53	20	土	共 有 講 堂	第 502 回文化講座カガクジカン関連催事「極低温 の不思議な世界」
16	11	木	博 物 館 実 習 室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会	54	20	土	共 有 講 堂	株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2019/4 月会 「林竹二の授業 アマラとカマラ」
17	12	金	共 有 講 堂	(株)エフアンドエム F&M マネジメントスクール成果発表&合同修了式	55	21	日	県 民 ア ト リ エ	GW関連催事 準備
18	13	土	博 物 館 講 座 室	学芸員講座「沖縄先史・原史時代の墓と人骨」	56	21	日	こ ど も ア ト リ エ	GW関連催事 準備
19	13	土	美 術 館 講 座 室	山口裕子／パンドラ マイクリッティーズ講演会	57	21	日	ス タ ジ オ	株式会社バンダイナムコミュージズメント 接客 研修
20	13	土	美 術 館 講 座 室	リフリース工業会九州沖縄支部 技術研修会	58	21	日	共 有 講 堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会
21	13	土	こ ど も ア ト リ エ	沖縄県造形教育連盟	59	21	日	共 有 講 堂	琉球歌劇保存会
22	13	土	共 有 講 堂	(株)エフアンドエム F&M マネジメントスクール成果発表&合同修了式	60	23	火	博 物 館 実 習 室	㈱カワサキモータースジャパン九州営業所 カワ サキテクニカルアドバイザー講習会
23	14	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	61	23	火	美 術 館 講 座 室	沖縄県中小企業団体中央会 平成 24～27 年度も のづくり補助事業事業化報告システム入力説明会
24	14	日	共 有 講 堂	新崎誠実 ビアノ発表会	62	23	火	県 民 ア ト リ エ	内間みどり保育園 G.W ワークショップ体験
25	14	日	ス タ ジ オ	NLA 運動実行委員会沖縄県 NLA 企画会合	63	23	火	こ ど も ア ト リ エ	内間みどり保育園 G.W ワークショップ体験
26	16	火	博 物 館 講 座 室	那覇市倫理法人会 平成 31 年度倫理経営講演会	64	24	水	博 物 館 講 座 室	南部徳洲会病院 医療講演会
27	16	火	博 物 館 実 習 室	AWJ 恩田先生講演会	65	24	水	博 物 館 実 習 室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会
28	16	火	美 術 館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム安 全衛生協議会	66	24	水	美 術 館 講 座 室	メットライフ生命 コンプライアンス研修
29	16	火	共 有 講 堂	マイン高等学院 入学式	67	24	水	美 術 館 講 座 室	E アファン 非分解ブラセンタの勉強会
30	17	水	博 物 館 講 座 室	沖縄弁護士会 遺言の日記念講演会・無料法律相 談会	68	24	水	ス タ ジ オ	株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セミナー
31	17	水	博 物 館 実 習 室	錢づくり体験のリハーサル	69	25	木	博 物 館 講 座 室	株式会社 Iani グラントフォーラム
32	17	水	美 術 館 講 座 室	ボランティア	70	25	木	博 物 館 実 習 室	㈱リリアン 健康セミナー沖縄の食文化を学ぶ勉 強会
33	17	水	美 術 館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 安 全衛生協議会	71	25	木	美 術 館 講 座 室	南部徳洲会病院 医療講演会
34	17	水	共 有 講 堂	沖縄弁護士会 遺言の日記念講演会・無料法律相 談会	72	25	木	県 民 ア ト リ エ	再生科学研究所 研修会
35	18	木	博 物 館 講 座 室	大和ハウス工業九州地区沖縄支部協力会 安全研 修	73	26	金	博 物 館 実 習 室	とめよう戦争への道百万人署名運動・沖縄の会 総会
36	18	木	博 物 館 実 習 室	イオン琉球㈱人事部 J1 登用研修	74	26	金	美 術 館 講 座 室	メットライフ生命 コンプライアンス研修
37	18	木	美 術 館 講 座 室	株式会社テラ・ウェブクリエイト 営業生産向上の仕組みづくりで 業績アップ～マーケティングオートメーション/クラウド活用術～	75	26	金	美 術 館 講 座 室	盛和塾沖縄 勉強会
38	18	木	県 民 ア ト リ エ	第一生命保険㈱那覇支社 スタッフミーティング	76	26	金	共 有 講 堂	情報労連沖縄県協議会 「4.28 平和行動」に伴う講演会の開催のため
39	18	木	こ ど も ア ト リ エ	第一生命保険㈱那覇支社 スタッフミーティング	77	27	土	博 物 館 実 習 室	おきみゅーGW ワークフェスタ 企画班
40	18	木	共 有 講 堂	第一生命保険㈱那覇支社 第一生命認知症セミナ ー	78	27	土	美 術 館 講 座 室	伊志嶺隆と平敷兼七展ギャラリートーク
41	18	木	共 有 講 堂	ボランティア全体会	79	27	土	県 民 ア ト リ エ	沖縄県造形教育連盟 総会
42	19	金	博 物 館 講 座 室	琉球リハビリテーション病院 平成 31 年度臨床 実習指導者会議	80	27	土	ス タ ジ オ	NPO 法人沖縄県マンション管理組合 第 4 回マン ション管理講座

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
81	28	日	博 物 館 講 座 室	宮城知子ピアノコンサート 控室	95	23 (火) ～ 29 (月)		博 物 館 企画展示室	新収蔵品展 準備
82	28	日	博 物 館 実 習 室	おきみゅーGW ワークフェスタ 企画班	96	30	火	博 物 館 企画展示室	新収蔵品展
83	28	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	97	23 (火) ～ 30 (火)		博物館特別 展 示 室 1	新収蔵品展 準備
84	28	日	美 術 館 講 座 室	沖縄スピリチュアルケア研究会 設立記念講演会	98	2 (火) ～ 29 (月)		博物館特別 展 示 室 2	展示環境調整期間
85	28	日	共 講 有 講 堂	医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院 南部徳洲会病院 40 周年記念公開講座	99	30	火	博 物 館 特別展示室	大嶺薫コレクション展 準備
86	28	日	スタジオ	㈱Hobby World Marine 沖縄 海洋セミナー	100	1	火	美術館企画 キ・ャラー1	茅原南龍傘寿記念書展愛弟子代表 2000 人展 片 付け
87	29	月	博 物 館 講 座 室	一般社団法人皇室崇敬会 第 25 回「昭和天皇のご聖徳を伝えつぐ集い」	101	3 (水) ～ 5 (金)		美術館企画 キ・ャラー1	驚異の写実 ホキ美術館名品展 搬入・準備
88	29	月	博 物 館 実 習 室	おきみゅーGW ワークフェスタ 企画班	102	6 (土) ～ 30 (火)		美術館企画 キ・ャラー1	驚異の写実 ホキ美術館名品展
89	30	火	博 物 館 実 習 室	おきみゅーGW ワークフェスタ 企画班	103	2	火	美術館企画 キ・ャラー2	茅原南龍傘寿記念書展愛弟子代表 2000 人展 片 付け
90	9 (火) ～ 12 (金)		こ ど も ア ト リ エ	ゴールデンウィーク催事準備	104	3 (水) ～ 5 (金)		美術館企画 キ・ャラー2	驚異の写実 ホキ美術館名品展 搬入・準備
91	9 (火) ～ 21 (日)		エントランス ホ ー ル	科学技術週間 (カガジカン) パネル展【階段下】	105	6 (土) ～ 30 (火)		美術館企画 キ・ャラー2	驚異の写実 ホキ美術館名品展
92	16 (火) ～ 30 (火)		エントランス ホ ー ル	「みんなでつくるキラキラこいのぼり」【一角】	106	19	金	共有正面 玄関雨端	科学週間 準備
93	28	日	エントランス ホ ー ル	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事 宮城知 子ピアノコンサート	107	20	土	共有正面 玄関雨端	科学週間
94	2 (火) ～ 21 (日)		博 物 館 企画展示室	展示環境調整期間					

【2019年 5 月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	水	県 民 ア ト リ エ	おきみゅーG.W ワークショップフェスタ 2019 「こいのぼり紅型染め体験」	23	11	土	博 物 館 実 習 室	ふれあい体験室専属ボラ養成講座①
2	1	水	こ ど も ア ト リ エ	おきみゅーG.W ワークショップフェスタ 2019 「こいのぼり紅型染め体験」	24	11	土	博 物 館 実 習 室	マリアズリーアロマテラピースクールアロマ DE 楽しくセ ルフケア血流改善、冷え&むくみ緩和のブレンドオイル作り
3	1	水	スタジオ	おきみゅーG.W ワークショップフェスタ 2019 控 室	25	11	土	県 民 ア ト リ エ	㈱セブンイレブン沖縄 採用面接
4	2	木	共 講 有 講 堂	SPEAK easy LLc WEED THE PEOPLE 自主上 映会	26	11	土	こ ど も ア ト リ エ	沖縄県造形教育連盟
5	3	金	こ ど も ア ト リ エ	おきみゅーG.W ワークショップフェスタ 2019 こ いのぼり作成	27	11	土	共 講 有 講 堂	㈱海燕社 海燕社の小さな映画会 2019/5 月会 『草・つる・木の恵み』-飛騨国白川郷-
6	3	金	共 講 有 講 堂	自主憲法制定沖縄県民会議 新しい憲法をつく る沖縄県民の集い	28	11	土	共 講 有 講 堂	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事 上映 会・野田弘志講演会
7	4	土	こ ど も ア ト リ エ	ほっち Kiss アートヨガ	29	12	日	博 物 館 講 座 室	琉球新報社 新報サイエンスクラブ事前講演会
8	4	土	スタジオ	おきみゅーG.W ワークショップフェスタ 2019 控 室	30	12	日	美 術 館 講 座 室	2019 年度 全体研修
9	5	日	県 民 ア ト リ エ	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事 写実絵 画教室	31	15	水	博 物 館 講 座 室	2019 年度 沖縄県立博物館友の会 総会
10	5	日	こ ど も ア ト リ エ	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事 写実絵 画教室	32	16	木	博 物 館 講 座 室	IT プロフェッショナルコンソーシアム ガリレオスコー プ株式会社 IT キャリア沖縄 2019 年度事業説明会
11	5	日	スタジオ	おきみゅーG.W ワークショップフェスタ 2019 控 室	33	16	木	博 物 館 実 習 室	博物館ガイドボランティアミーティング
12	6	月	博 物 館 講 座 室	驚異の写実 ホキ美術館名品展関連催事 安彦文 平講演会	34	16	木	博 物 館 実 習 室	高江洲 周作 沖縄畳研修会
13	7	火	博 物 館 講 座 室	2019 年度 全体研修	35	16	木	美 術 館 講 座 室	マニュアルライフ生命 外貨商品研修会
14	8	水	博 物 館 講 座 室	盛和塾沖縄 定例会	36	16	木	県 民 ア ト リ エ	サンパール 勉強会
15	8	水	美 術 館 講 座 室	会議	37	16	木	共 講 有 講 堂	JAIFA 沖縄県協会 H30 年度の JAIFA 協会の活動 報告会
16	8	水	美 術 館 講 座 室	ボランティア勉強会	38	17	金	博 物 館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 2019 年度サンコム上期安全大会
17	9	木	博 物 館 講 座 室	ガイドボランティア養成講座	39	17	金	博 物 館 実 習 室	高江洲 周作 沖縄畳研修会
18	9	木	博 物 館 実 習 室	デジタルミュージアム	40	17	金	美 術 館 講 座 室	沖縄県中小企業団体中央会 沖縄県交易促進事業 協同組合・設立総会
19	10	金	博 物 館 講 座 室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部 相続支援コンサルタント認定試験	41	17	金	県 民 ア ト リ エ	㈱セブンイレブン沖縄 採用面接
20	10	金	博 物 館 実 習 室	AWJ 恩田先生講演会	42	18	土	博 物 館 講 座 室	干瀬の会 第 32 回講演会～伊勢物語を読む～
21	10	金	共 講 有 講 堂	ジブラルタ生命保険株式会社 2019 年度 沖縄支社キックオフミーティング	43	18	土	博 物 館 講 座 室	沖縄対外問題研究会/島嶼地域科学研究所沖縄対外問題研 究会 20 周年記念シンポジウム「辺野古を止める構想力」
22	11	土	博 物 館 講 座 室	学芸員講座「今、明かされる琉球王国の手わざ」 ～琉球王国文化遺産集積・再興事業について～	44	18	土	博 物 館 実 習 室	高江洲 周作 沖縄畳研修会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
45	18	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会	79	26	日	県民アトリエ	㈱セブンイレブン沖縄 採用面接
46	18	土	こどもアトリエ	ほっち Kiss アートヨガ	80	26	日	こどもアトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 勉強会
47	18	土	こどもアトリエ	ヴェーネレ沖縄 スタッフ勉強会	81	26	日	スタジオ	㈱Hobby World Marine 沖縄 海洋セミナー
48	18	土	共有講堂	沖縄対外問題研究会/島嶼地域科学研究所 沖縄対外問題研究会 20 周年記念シンポジウム「辺野古を止める構想力」	82	26	日	スタジオ	大高酵素㈱福岡支店/沖縄 OE 研究会 沖縄 OE 研究会研修会
49	18	土	共有講堂	博物館文化講座「洞窟の謎と魅力」	83	26	日	共有講堂	しまくとうばプロジェクト しまくとうば鼎談
50	19	日	博物館講座室	株式会社りゅうせき管理本部 人事担当 2019 年度りゅうせきネットワーク会議採用試験会場（小論文・グループ討議）	84	26	日	共有講堂	沖縄ドローンプロジェクト 「ドローン規制法と沖縄の基地」
51	19	日	博物館実習室	BDC/ドローン検定協会 ドローン検定協会 無人航空従事者試験	85	28	火	博物館講座室	株式会社りゅうせきビジネス・サービス 若手社員の未来をかえるプロジェクト 2019
52	19	日	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	86	28	火	美術館講座室	株式会社サンビリーフ 社内会議
53	19	日	共有講堂	真の家庭運動推進協議会 家庭講演会	87	28	火	美術館講座室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 平成 31 年度地域見守り交流事業 他民児協との懇談会 in 那覇&首里地区
54	19	日	共有講堂	年金者組合沖縄県本部 年金者組合第 3 回文化祭	88	29	水	博物館講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー うちなー観光ナビゲーターミニ講座「自然」
55	20	月	美術館講座室	YK ワールドビジョン 腸内フローラ勉強会	89	29	水	美術館講座室	大鏡建設株式会社 CRE セミナー
56	21	火	博物館講座室	㈱ソフィア通信 平成 30 年度 決算報告会	90	30	木	博物館実習室	再生科学研究所 研修会
57	21	火	博物館講座室	沖縄産業立地・地域活性化推進協議会/内閣府沖縄総合事務局経済産業部企画振興課令和元年度沖縄産業立地・地域活性化推進協議会通常総会	91	30	木	美術館講座室	一般社団法人沖縄オープンラボラトリ 社員総会
58	21	火	スタジオ	㈱プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セミナー	92	30	木	県民アトリエ	再生科学研究所 研修会
59	22	水	博物館講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー うちなー観光ナビゲーターミニ講座（歴史）	93	31	金	博物館講座室	株式会社 SRJ 株式会社 SRJ 地方研修会～成功事例から学ぶ！教室運営の深化～
60	22	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会	94	31	金	美術館講座室	一般社団法人沖縄オープンラボラトリ 会員意見交換会
61	22	水	美術館講座室	弁護士法人 琉球法律事務所 第 19 回 企業法務実務セミナー	95	31	金	共有講堂	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 沖縄地区用地対策連絡会通常総会/沖縄所有者不明土地連携協議会・所有者不明土地説明会
62	22	水	県民アトリエ	研修	96	22（水）～24（金）	県民アトリエ	シスメックス㈱ Sysmex アップデートミーティング	
63	22	水	スタジオ	㈱ノビア沖縄支店 社内資格の更新研修	97	22（水）～24（金）	こどもアトリエ	シスメックス㈱ Sysmex アップデートミーティング	
64	23	木	博物館講座室	日本郵便㈱沖縄支社 郵便商品+α による新規顧客の獲得手法	98	1（水）～6（月）	エントランスホール	おきみゅーGWワークショップフェスタ「みんなでつくる巨大キラキラこいのぼり」【一角】	
65	23	木	博物館実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会	99	8（水）～26（日）	エントランスホール	愛鳥週間（愛鳥週間にちなんだ鳥剥製の展示）	
66	23	木	美術館講座室	全国断捨離トレーナー会 研修会	100	8（水）～26（日）	エントランスホール	国際博物館の日パネル展【一角】	
67	24	金	博物館講座室	沖縄県文化協会 沖縄県文化協会の 2019 年度定期総会	101	1（水）～31（金）	博物館企画展示室	新収蔵品展－平成 30 年度新収蔵資料－	
68	24	金	博物館実習室	オリエンテーション/宮古島市立鏡原小学校	102	1（水）～31（金）	博物館特別展示室 1	新収蔵品展－平成 30 年度新収蔵資料－	
69	24	金	美術館講座室	盛和塾沖縄 勉強会	103	1（水）～6（月）	博物館特別展示室 2	大嶺薫コレクション展 準備	
70	24	金	スタジオ	ヒューマンライフ少額短期保険㈱ 代理店 新人 3 ヶ月研修	104	8（水）～31（金）	博物館特別展示室 2	大嶺薫コレクション展	
71	25	土	博物館講座室	株式会社大央ハウジング 第 4 回 オーナーセミナー	105	1（水）～20（月）	美術館企画ギャラリー 1	驚異の写実 ホキ美術館名品展	
72	25	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 2019 年度総会	106	21（火）～24（金）	美術館企画ギャラリー 1	驚異の写実 ホキ美術館名品展 撤収	
73	25	土	県民アトリエ	ミス・アース・ジャパン沖縄大会実行委員会 ミス・アース・ジャパン沖縄代表選出大会 控室	107	25（土）～31（金）	美術館企画ギャラリー 1	展示環境調整期間	
74	25	土	こどもアトリエ	ミス・アース・ジャパン沖縄大会実行委員会 ミス・アース・ジャパン沖縄代表選出大会	108	1（水）～20（月）	美術館企画ギャラリー 2	驚異の写実 ホキ美術館名品展	
75	25	土	共有講堂	ミス・アース・ジャパン沖縄大会実行委員会 ミス・アース・ジャパン沖縄代表選出大会	109	21（火）～24（金）	美術館企画ギャラリー 2	驚異の写実 ホキ美術館名品展 撤収	
76	26	日	博物館講座室	NPO 法人総合医療と健康を考える会 がん治療の鍵 講演会	110	25（土）～31（金）	美術館企画ギャラリー 2	展示環境調整期間	
77	26	日	博物館実習室	公益社団法人日本リウマチ友の会沖縄支部 総会	111	4（土）～5（日）	共有正面玄関両端	おきみゅーGWワークショップフェスタ 2019 「ソテツのおもちゃづくり」	
78	26	日	美術館講座室	SPROUTURE（スプラウチャー） 発毛・育毛最前線知識勉強会					

【2019年6月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	土	博物館講座室	全管連九州ブロック会議/NPO 法人沖縄県マニション管理組合連合会 マニション管理運営シンポジウム全管連九州ブロック会議	3	1	土	スタジオ	全管連九州ブロック会議/NPO 法人沖縄県マニション管理組合連合会九州ブロック会議
2	1	土	美術館講座室	沖縄内観研究会 内観懇談会	4	1	土	共有講堂	日本魚類学会 市民公開講座

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
5	2	日	県民 アトリエ	華音音楽教室 宮里郁子門下生発表会控室	43	12	水	博 物 館 実 習 室	サンパール
6	2	日	共 講 有 堂	華音音楽教室 宮里郁子門下生発表会	44	12	水	美 術 館 講 座 室	税理士法人ビジネスパートナー 経理塾
7	4	火	博 物 館 講 座 室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成31年度国 保担当新任職員研修会	45	13	木	博 物 館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 高 所・キョロク講習会
8	4	火	美 術 館 講 座 室	沖縄大学/Yale-SNu College Yale-SNu College Summer Fieldwork	46	13	木	博 物 館 講 座 室	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ ブライダルトレンドセミナー 2019
9	5	水	博 物 館 講 座 室	フコク生命沖縄支社 ベビーマッサージイベント 準備	47	13	木	博 物 館 実 習 室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会
10	5	水	博 物 館 講 座 室	グラフィソフトジャパン株式会社 GRAPHISOFT 全国ロードショー2019	48	13	木	博 物 館 実 習 室	博物館ガイドボランティアミーティング
11	5	水	美 術 館 講 座 室	株式会社AS ファクトリー Ravissa サロン 勉強 会	49	13	木	美 術 館 講 座 室	有限会社ホーセル APARTMENT OKINAWA プレス リリース
12	6	木	博 物 館 講 座 室	フコク生命沖縄支社 ベビーマッサージイベント	50	13	木	美 術 館 講 座 室	株式会社サンビリーフ 社内会議
13	6	木	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー うちなー観光ナビゲーターミニ講座（歴史）	51	14	金	博 物 館 講 座 室	株式会社りゅうせきビジネスサービス 若手社員 の未来をかえるプロジェクト 2019
14	7	金	博 物 館 講 座 室	株式会社ケイオーパートナーズ 就業体験受入事 業所向け説明会	52	14	金	博 物 館 実 習 室	AWJ 恩田先生講演会
15	7	金	美 術 館 講 座 室	株式会社アステッド 安全につくられた美味しい お米がどうして日本で一番安くなるのか？講習会	53	14	金	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和元年アジア等 IT 人材交流育成事業 説明会
16	7	金	美 術 館 講 座 室	沖縄朝鮮友好の会 沖縄朝鮮友好のつどい	54	14	金	共 講 有 堂	薬膳琉花 江戸時代の食文化～琉球の養生書、御 前本草に触れて～
17	7	金	共 講 有 堂	沖縄県保健医療部衛生業務課 平成31年度 (2019年度) ハブ・ハブクラゲ等危険生物講習会	55	15	土	博 物 館 講 座 室	首里城公園友の会 定期総会及び記念講演会
18	8	土	博 物 館 講 座 室	内閣府沖縄総合事務局経済産業部企画推進課 令和元年度 RESAS 活 用セミナー～ビッグデータを活用した新しい大学教育と地域分析～	56	15	土	美 術 館 講 座 室	㈱ビードゥー 美容、健康に関しての勉強会
19	8	土	博 物 館 実 習 室	ふれあい体験室専属ボラ養成講座③	57	15	土	県 民 アトリエ	『OKINAWA』アートワークショップ 2019 鍋で豆 皿をつくろう
20	8	土	美 術 館 講 座 室	株式会社ハウ フォローアップ講習会	58	15	土	県 民 アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハー メルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館
21	8	土	美 術 館 講 座 室	中山・吉岡研究室 19年度卒業論文中間発表	59	15	土	こ ど も アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハー メルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館
22	8	土	県 民 アトリエ	SCSK サービスウェア㈱/SCSK ニアショアシシステムズ㈱/㈱ベリサー プ沖縄テストセンター CAMP 沖縄開催クリケットワークショップ	60	15	土	こ ど も アトリエ	『OKINAWA』アートワークショップ 2019 鍋で豆 皿をつくろう
23	8	土	こ ど も アトリエ	SCSK サービスウェア㈱/SCSK ニアショアシシステムズ㈱/㈱ベリサー プ沖縄テストセンター CAMP 沖縄開催クリケットワークショップ	61	15	土	共 講 有 堂	博物館文化講座「人に生まれて良かったと思える 虫のはなし」
24	8	土	共 講 有 堂	伊志嶺・平敷シンポジウム	62	16	日	博 物 館 講 座 室	株式会社トリムフーズ 社員総会
25	8	土	共 講 有 堂	新城榮一古典音楽研究所 琉球古典音楽野村流音 楽協会新城榮一研究所公演 準備	63	16	日	美 術 館 講 座 室	有限会社シフト 第16回 ハイサイセミナー2019
26	9	日	博 物 館 講 座 室	沖縄県眼科医会 第138回 沖縄眼科集談会	64	16	日	県 民 アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハー メルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館
27	9	日	博 物 館 実 習 室	沖縄県眼科医会 第138回 沖縄眼科集談会 託 児室	65	16	日	こ ど も アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハー メルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館
28	9	日	博 物 館 実 習 室	マリアズリリアアロマテラピースクール アロマDE楽しく セルフケア ストレス緩和のためのミスト（ローション）作り	66	16	日	ス タ ジ オ	㈱プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セ ミナー
29	9	日	美 術 館 講 座 室	株式会社ADS 沖縄 IMD トレーニング	67	16	日	共 講 有 堂	㈱海燕社 海燕社の小さな映画会 2019/6 月会『ふ じ学徒隊』『広島原爆魂の撮影メモ』
30	9	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	68	18	火	博 物 館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム安 全衛生協議会
31	9	日	県 民 アトリエ	SCSK サービスウェア㈱/SCSK ニアショアシシステムズ㈱/㈱ベリサー プ沖縄テストセンター CAMP 沖縄開催クリケットワークショップ	69	18	火	博 物 館 実 習 室	NIKKEN 沖縄 アボラクトフェリンの勉強会と AGE 測定会
32	9	日	こ ど も アトリエ	SCSK サービスウェア㈱/SCSK ニアショアシシステムズ㈱/㈱ベリサー プ沖縄テストセンター CAMP 沖縄開催クリケットワークショップ	75	18	火	美 術 館 講 座 室	株式会社アル・ビー・アイ 平成31年度国内・海外富裕層向け プロモーション事業における第1回ネットワーク会議参加者募集
33	9	日	ス タ ジ オ	ミキワルド沖縄 食を通して健康についての勉 強会	76	18	火	県 民 アトリエ	一般社団法人 IIOT 第7期定時社員総会
34	9	日	共 講 有 堂	新城榮一古典音楽研究所 琉球古典音楽野村流音 楽協会新城榮一古典音楽研究所 公演	77	18	火	共 講 有 堂	台湾展映像チェック
35	11	火	博 物 館 講 座 室	学芸員実習開講式	78	19	水	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 三者会議
36	11	火	博 物 館 講 座 室	（一財）沖縄観光コンベンション・ビューロー う ちなー観光ナビゲーターミニ講座「自然」	79	19	水	博 物 館 講 座 室	㈱求人沖縄 2020年度新卒採用試験
37	11	火	美 術 館 講 座 室	沖縄銀行 新任渉外係研修	80	19	水	美 術 館 講 座 室	一般社団法人建築コスト管理システム研究所/理想沖縄 株式会社 2019年度営繕積算システム RIBC2 講習会
38	11	火	共 講 有 堂	南城市立大里中学校/オリエンテーション	81	20	木	美 術 館 講 座 室	一般社団法人建築コスト管理システム研究所/理想沖 縄株式会社 2019年度営繕積算システム RIBC2 講習会
39	11	火	共 講 有 堂	沖縄県都市計画協会 沖縄県まちづくり講演会	82	21	金	博 物 館 講 座 室	盛和塾沖縄 勉強会
40	11	火	共 講 有 堂	台湾連映像チェック	83	21	金	博 物 館 講 座 室	税理士法人ビジネスパートナー 経理塾
41	12	水	博 物 館 講 座 室	消防訓練事前説明会	84	21	金	美 術 館 講 座 室	一般社団法人建築コスト管理システム研究所/理想沖 縄株式会社 2019年度営繕積算システム RIBC2 講習会
42	12	水	博 物 館 講 座 室	盛和塾沖縄 定例会	85	21	金	共 講 有 堂	沖縄県建設業企業年金基金 機材環境確認のため

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
86	22	土	美術館講座室	沖縄戦遺骨収収ボランティア「ガマフヤー」戦没者遺族のDNA鑑定集団申請説明会	108	27	木	県民アトリエ	琉球エアースタジオ 採用試験面接会場
87	22	土	県民アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館	109	27	木	スタジオ	琉球エアースタジオ 採用試験受験者 控室
88	22	土	こどもアトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館	110	27	木	共有講堂	公益財団法人沖縄県建設技術センター 令和元年度災害復旧事業実務講習会
89	22	土	こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟	111	11 (火) ～ 14 (金)		県民アトリエ	JAL スカイエアポート沖縄株式会社 2020 年度新卒採用一次面接
90	22	土	共有講堂	食育～癒がふ家/有限会社ツカヤマ 本当に大丈夫？みんな食べてる食品添加物	112	11 (火) ～ 14 (金)		こどもアトリエ	JAL スカイエアポート沖縄株式会社 2020 年度新卒採用一次面接
91	23	日	博物館講座室	しまくとうばプロジェクト 「しまくとうば鼎談」	113	13 (木) ～ 14 (金)		スタジオ	JAL スカイエアポート沖縄株式会社 2020 年度新卒採用一次面接
92	23	日	美術館講座室	有限会社ライブアップ かしい保険の利用の仕方	114	1	土	エントランスホール	エントランスコンサート
93	23	日	県民アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館	115	2	日	エントランスホール	「チェンバロと声楽（ソプラノ）」で奏でるクラシックコンサート
94	23	日	こどもアトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館	116	19 (水) ～ 20 (木)		エントランスホール	前期 学芸員実習生のロビー展 準備
95	23	日	共有講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会	117	21 (金) ～ 23 (日)		エントランスホール	前期学芸員実習生のロビー展
96	25	火	博物館講座室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 平成 31 年度那覇市生活支援体制整備事業第 12 回 第一層協議体	118	23	日	エントランスホール	フルートデュオ「ニットキャッパー」エントランスコンサート【中央】
97	25	火	共有講堂	公益社団法人沖縄建築士会／ボゾリスソリューションズ 沖縄の鉄筋コンクリート高耐久化シンポジウム	119	25 (火) ～ 27 (木)		エントランスホール	めざせ与那国！！徹底再現プロジェクト-3 万年の航海を応援しよう-パネル展【一角】/ジブリ展開連展示【階段下】
98	26	水	博物館講座室	公文教育研究会 BK 特別講座	120	23	日	エントランスホール	6/23 (日) 慰霊の日関連「平和ってなに？」美術館えほん読み聞かせ
99	26	水	博物館講座室	沖縄労働局職業安定部職業対策課 令和元年度新たな外国人材受入の雇用管理セミナー	121	25 (火) ～ 27 (木)		こどもアトリエ	県産業廃棄物仮置場
100	26	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線調査会	122	1 (土) ～ 23 (日)		博物館企画展示室	新収蔵品展－平成 30 年度新収蔵資料－
101	26	水	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング 700MHZ 安全衛生協議会	123	25 (火) ～ 27 (木)		博物館企画展示室	新収蔵品展 片付け
102	26	水	美術館講座室	那覇商工会議所沖縄県事業承継ネットワーク事務局 第 2 回沖縄県事業承継ネットワーク実務者会議	124	1 (土) ～ 23 (日)		博物館特別展示室 1	新収蔵品展－平成 30 年度新収蔵資料－
103	27	木	博物館講座室	全国貸貸管理ビジネス協会沖縄支部 若手社員向け貸貸管理教育セミナー	125	1 (土) ～ 23 (日)		博物館特別展示室 2	大嶺薫コレクション展
104	27	木	博物館実習室	オリエンテーション/石垣市立 平久保小学校	126	25 (火) ～ 27 (木)		博物館特別展示室 1	新収蔵品展 撤収
105	27	木	博物館実習室	オリエンテーション/宮古島市立伊良部小学校	127	25 (火) ～ 27 (木)		博物館特別展示室 2	大嶺薫コレクション展 撤収
106	27	木	美術館講座室	琉球エアースタジオ 試験会場	128	1 (土) ～ 27 (木)		美術館企画ギャラリー 1	展示環境調整期間
107	27	木	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会 消費税の軽減税率制度セミナー	129	1 (土) ～ 27 (木)		美術館企画ギャラリー 2	展示環境調整期間

【2019年7月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	7	日	博物館講座室	（一財）沖縄美ら島財団 新規採用者マニュアル研修	15	10	水	共有講堂	沖縄県地域保健課/株式会社沖縄コングレ 母子保健コーディネーター養成研修
2	7	日	博物館実習室	マリアズリリーアロマテラピースクール アロマ DE 楽しくセルフケア精油を使って手作り石鹸作り	16	11	木	博物館講座室	沖縄県地域保健課/株式会社沖縄コングレ 母子保健コーディネーター養成研修
3	7	日	美術館講座室	㈱ナチュラリープラス 健康セミナー	17	11	木	博物館実習室	ボランティア養成講座
4	7	日	県民アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館	18	11	木	美術館講座室	沖縄県地域保健課/株式会社沖縄コングレ 母子保健コーディネーター養成研修
5	7	日	こどもアトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館	19	11	木	県民アトリエ	沖縄県地域保健課/株式会社沖縄コングレ 母子保健コーディネーター養成研修
6	7	日	スタジオ	株式会社 E アファン 非分解プレゼンタの勉強会	20	11	木	スタジオ	AWJ 恩田先生講演会
7	9	火	博物館講座室	メットライフ生命保険株式会社沖縄支社 沖縄メットライフ会 プロデューサーミーティング	21	12	金	博物館講座室	キャンノン電子テクノロジー 働き方改革セミナー実践編～クラウドで始める IT を利用した業務の効率化～
8	9	火	博物館講座室	株式会社沖縄ファミリーマート 沖縄ファミリーマート新卒採用試験	22	12	金	博物館実習室	組踊展開連催事（雨天時）
9	9	火	博物館実習室	（一財）沖縄美ら島財団 令和元年度（一財）沖縄美ら島財団 事業説明会・意見交換会	23	12	金	美術館講座室	㈱阪急交通社 海外旅行説明会
10	9	火	美術館講座室	南部徳洲会病院 医療講演会	24	12	金	県民アトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館
11	10	水	博物館講座室	盛和塾沖縄 定例会	25	12	金	こどもアトリエ	一般社団法人沖縄オペラアカデミー 子供音楽劇「ハーメルンの笛吹おとこ」出演子役ワークショップ in 美術館
12	10	水	博物館実習室	ボディープロ沖縄 健康セミナー	26	12	金	スタジオ	㈱阪急交通社 海外旅行説明会
13	10	水	美術館講座室	南部徳洲会病院 医療講演会	27	12	金	共有講堂	琉球放送㈱ ジブリの大博覧会関連催事「トークショー」
14	10	水	県民アトリエ	沖縄県地域保健課/株式会社沖縄コングレ 母子保健コーディネーター養成研修	28	13	土	博物館講座室	学芸員講座「実践！骨考古学～初級編～」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
29	13	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会	67	24	水	美術館 講座室	日本メナード化粧品㈱ 健康セミナー③
30	13	土	共有 講堂	Rスタジオ（宮崎利恵） Rスタジオ	68	25	木	共有 講堂	沖縄県商業教育研究会（教科研究部） 第61回沖縄県商業教育研究大会（リハーサル）
31	14	日	博物館 講座室	組踊展関連催事「組踊コスプレ」	69	26	金	博物館 講座室	沖縄県商業教育研究会（教科研究部） 第61回沖縄県商業教育研究大会
32	14	日	美術館 講座室	泉崎ファミリー歯科/W&M 歯ならび相談会	70	26	金	博物館 実習室	夏休み！こどもフェスタ 2019 学芸員教室
33	14	日	美術館 講座室	オメガベネフィットシステム 会社説明会及び商品紹介	71	26	金	美術館 講座室	盛和塾沖縄 勉強会
34	14	日	スタジオ	沖縄聴覚障害者情報センター 手話通訳士を目指す「ステップアップ研修」	72	26	金	美術館 講座室	沖縄県商業教育研究会（教科研究部） 第61回沖縄県商業教育研究大会
35	14	日	共有 講堂	さのギター教室（佐野周作） クラシックギター発表会	73	26	金	県民 アトリエ	組踊展関連催事 「県立芸大生による琉球伝統芸能公演（組踊展 Ver.）」 控室
36	15	月	博物館 講座室	長崎健一写真展カギナナムイ実行委員会 ナナムイのカギウグナーイ	74	26	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 社内会議進捗会議
37	15	月	美術館 講座室	グリーンワークおきなわ 第24回例会	75	26	金	こども アトリエ	沖縄県造形教育連盟
38	15	月	美術館 講座室	熊谷和・琉裁きもの専門学院 設立記念日/パネルディスカッション	76	26	金	スタジオ	沖縄県商業教育研究会（教科研究部） 第61回沖縄県商業教育研究大会
39	17	水	博物館 講座室	沖縄総合事務局農林水産部農政課 平成30年度「食料・農業・農村白書」「食育白書」「森林・林業白書」「水産白書」に関する沖縄ブロック	77	26	金	共有 講堂	沖縄県商業教育研究会（教科研究部） 第61回沖縄県商業教育研究大会
40	17	水	博物館 実習室	学芸員教室 勉強会	78	27	土	博物館 実習室	王国文化遺産展プレイベント（ワークショップ①）
41	17	水	美術館 講座室	ボランティア3 勉強会	79	27	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 第12回沖縄語教養講座
42	17	水	美術館 講座室	PC リースに関する入札	80	27	土	県民 アトリエ	夏休みこどもフェスタ 2019
43	17	水	スタジオ	㈱プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セミナー	81	27	土	こども アトリエ	夏休みこどもフェスタ 2019
44	17	水	共有 講堂	琉球放送㈱ ジブリ展関連催事 米良美一&大萩康司トークコンサート リハーサル	82	27	土	共有 講堂	那覇市市民文化部文化振興課 那覇市文化芸術講演会
45	18	木	博物館 講座室	りゅうぎんビジネスクラブ/沖縄ホンザキ㈱/大和リース㈱ HACCP 制度実践セミナー	83	28	日	博物館 実習室	㈱ Hobby World Marin 沖縄 海洋セミナー
46	18	木	博物館 実習室	学芸員教室 勉強会	84	28	日	博物館 実習室	沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」 沖縄戦遺族 DNA 鑑定集団申請説明会
47	18	木	美術館 講座室	株式会社リクルートキャリア 『新卒採用セミナー』～新卒採用の現状と予測	85	28	日	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
48	18	木	県民 アトリエ	サンパール（寺田良江） サンパール健康講座	86	28	日	美術館 講座室	聖書と日本フォーラム沖縄支部 「聖書と日本フォーラム」と行く沖縄本島・宮古島合同セミナー
49	18	木	共有 講堂	琉球放送㈱ ジブリ展関連催事『米良美一&大萩康司トークコンサート』	87	28	日	県民 アトリエ	夏休みこどもフェスタ 2019
50	19	金	博物館 講座室	寄宮中学校オリエンテーション	88	28	日	こども アトリエ	夏休みこどもフェスタ 2019
51	19	金	博物館 講座室	沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課/株式会社アール・ピー・アイ 令和元年度国内・海外富裕層向けプロモーション事業における第二回ネットワーク会議	89	28	日	スタジオ	一般社団法人琉球フィルハーモニック 那覇ジュニアオーケストラ練習会
52	19	金	美術館 講座室	一般社団法人日本損害保険協会/一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 第一回コンサルティングコースセミナー	90	28	日	スタジオ	アウラーインターナショナル 事業説明会
53	19	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社 沖縄支店 社内会議進捗会議	91	28	日	共有 講堂	宮良長包協会 宮良長包フォーラム
54	20	土	博物館 実習室	久米島研究会 定例研究発表会	92	30	火	博物館 講座室	㈱琉球銀行 第17回りゅうぎんキッズスクール
55	20	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 第12回沖縄語教養講座	93	30	火	美術館 講座室	琉球放送株式会社 ジブリ展関連催事『アプロサイエンス時代の先生 空を飛べるのはなぜ？-空への希望-』
56	20	土	スタジオ	特定非営利活動法人沖縄県マンション管理組合連合会 マンション管理組合のための情報交換会	94	30	火	共有 講堂	沖縄県特別支援学校中学部文化文化連盟 2019年度第25回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭
57	20	土	共有 講堂	組踊展関連催事「子ども組踊」仕込、リハーサル	95	31	水	博物館 講座室	㈱琉球銀行 第17回りゅうぎんキッズスクール
58	20	土	共有 講堂	博物館文化講座「人類学特論」	96	31	水	美術館 講座室	沖縄労働局/㈱沖縄コングレ 人材不足の時代に良い人材を育て定着させるセミナー
59	21	日	博物館 講座室	㈱DENT-EASE ～選べれ続ける歯科医院へ～歯科医院経営改善セミナー	97	31	水	共有 講堂	沖縄県建設業企業年金基金 AI ロボットによる「公的年金と資産運用」に関するセミナー
60	21	日	美術館 講座室	ドローン検定協会 無人航空従事者試験	98	7	日	エントランス ホール	合唱コンサート【中央】
61	21	日	県民 アトリエ	組踊展関連催事「子ども組踊『銘苺子』」控室	99	14	日	エントランス ホール	ヤギフミトモライブ
62	21	日	こども アトリエ	組踊展関連催事「子ども組踊『銘苺子』」控室	100	27	土	エントランス ホール	大度室内楽団クラシックコンサート
63	21	日	共有 講堂	組踊展関連催事「子ども組踊『銘苺子』」	101	23(火)～ 25(木)		博物館 実習室	「夏休み！こどもフェスタ」 学芸員教室
64	23	火	美術館 講座室	税理士法人ビジネスパートナー 研修会	102	23(火)～ 28(日)		博物館 講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ 2019 国際児童・青年演劇フェスティバルおきなわ
65	23	火	スタジオ	第一生命保険㈱ 那覇支社 第一生命 スタッフ勉強会	103	23(火)～ 25(木)		県民 アトリエ	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ 2019 国際児童・青年演劇フェスティバルおきなわ
66	23	火	共有 講堂	第一生命保険㈱ 那覇支社 第一生命 研修会	104	23(火)～ 25(木)		こども アトリエ	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ 2019 国際児童・青年演劇フェスティバルおきなわ

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
105	7（日）～ 13（土）		エントランス ホール	めざせ与那国！！徹底再現プロジェクト	113	13（土）～ 31（水）		美術館企画 ギャラリー1	ジブリ大博覧会-ナウシカからマーニーまで-
106	7（日）～ 31（水）		エントランス ホール	ジブリの大博覧会関連展示【階段下】	114	7（日）～ 12（金）		美術館企画 ギャラリー2	ジブリ大博覧会-ナウシカからマーニーまで- 準備
107	7（日）～ 31（水）		エントランス ホール	組踊展関連催事 動画放映	115	13（土）～ 31（水）		美術館企画 ギャラリー2	ジブリ大博覧会-ナウシカからマーニーまで-
108	7（日）～ 10（水）		博物館 企画展示室	THE KUMIODORI300 組踊展 準備	116	10	水	共有講堂前 ホワイエ	サメ肌のふしぎ展 準備
109	11（木）～ 31（水）		博物館 企画展示室	THE KUMIODORI300 組踊展	117	11（木）～ 31（水）		共有講堂前 ホワイエ	サメ肌のふしぎ展
110	7（日）～ 10（水）		博物館 特別展示室	THE KUMIODORI300 組踊展 準備	118	26	金	共有講堂前 ホワイエ	組踊展関連催事『県立芸大生による琉球伝統芸能公演（組踊展 Ver）』
111	11（木）～ 31（水）		博物館 特別展示室	THE KUMIODORI300 組踊展	119	12	金	博物館 屋外展示場	組踊展関連催事 58（ゴ・パッチ）組踊
112	7（日）～ 12（金）		美術館企画 ギャラリー1	ジブリ大博覧会-ナウシカからマーニーまで- 準備					

【2019年8月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	木	博物館 講座室	博物館班 教職員向け講座	29	7	水	博物館 実習室	第57回沖縄県造形教育研究大会
2	1	木	博物館 実習室	博物館班 教職員向け講座	30	7	水	美術館 講座室	弁護士法人琉球法律事務所 第6回 社労士セミナー
3	1	木	美術館 講座室	独立行政法人中小企業基盤整備機構沖縄事務所 実務者会議	31	7	水	県民 アトリエ	沖縄県造形教育連盟 沖縄県造形教育研究大会
4	1	木	共有 講堂	遠藤隆明 ピアノコンサート	32	7	水	こども アトリエ	沖縄県造形教育連盟 沖縄県造形教育研究大会
5	2	金	博物館 講座室	株式会社マイナビ沖縄支社 マイナビ市場動向報告会 2020 年採用戦線報告会	33	7	水	スタジオ	内閣府沖縄型産業中核人材育成事業 IIOT 事業 説明会
6	2	金	美術館 講座室	㈱サンビリーフ 社内会議	34	8	木	博物館 講座室	沖縄タイムス社/㈱エスエフシー タイムス就職ナビ人 事・採用担当者セミナー大学・高専と企業の合同相談会
7	2	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 社内会議進捗会議	35	8	木	博物館 実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会 総会
8	2	金	県民 アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団 おきみゅーでほうかご 美術の教室「えほんをつくろう 2019」	36	8	木	美術館 講座室	株式会社りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェ クト 人手不足に打ち勝つ女性高齢者の活用セミナー
9	2	金	こども アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団 おきみゅーでほうかご 美術の教室「えほんをつくろう 2019」	37	8	木	県民 アトリエ	沖縄県造形教育連盟 第57回沖縄県造形教育研 究大会
10	2	金	スタジオ	第57回 沖縄県造形教育研究大会 打ち合わせ	38	8	木	こども アトリエ	沖縄県造形教育連盟 第57回沖縄県造形教育研 究大会
11	2	金	共有 講堂	第6回特定健診研究班報告会	39	8	木	スタジオ	沖縄 フィールドワークの中間報告会
12	3	土	博物館 講座室	LGBTQ フォーラム 2019 実行委員会 「LGBTQ フォ ーラム 2019」	40	8	木	共有 講堂	タイムス就職ナビ 人事・採用担当者セミナー 講演「人材採用のセオリー」～採用の奥の手(仮)」
13	3	土	美術館 講座室	学芸員講座「玉城朝薫と組踊」（第2会場）	41	9	金	博物館 講座室	盛和塾沖縄 定例会
14	3	土	県民 アトリエ	アートキャンプ 2001 実行委員会 第10回夏休み 造形ワークショップ	42	9	金	博物館 実習室	（一財）沖縄美ら島財団 エントランス定期コン サート 控室
15	3	土	こども アトリエ	アートキャンプ 2001 実行委員会 第10回夏休み 造形ワークショップ	43	9	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 社内会議進捗会議
16	3	土	共有 講堂	学芸員講座「玉城朝薫と組踊」	44	9	金	スタジオ	ウチナンチュ子弟等留学生 歴史講座
17	4	日	博物館 講座室	多良間村教育委員会/株式会社 Nansei 多良間島 よみがえる古文書の世界	45	9	金	共有 講堂	おきみゅー誕生祭関連上映会 機材チェック
18	4	日	美術館 講座室	HappyStyle 研究所 幸せに生きる力と才能の土 台になる子宮内反射と愛着形成の話	46	10	土	博物館 講座室	博物館班/（一財）沖縄美ら島財団 学芸員ってな んだらう？
19	4	日	美術館 講座室	しまくとうばプロジェクト 「下地勇で学ぶみや ーくふつ入門」	47	10	土	美術館 講座室	沖縄朝鮮友好の会 美ら島講座
20	4	日	県民 アトリエ	多良間村教育委員会/株式会社 Nansei 多良間島 よみがえる古文書の世界 控室	48	10	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人 沖縄語普及協議会 第12回 沖縄語教養講座
21	4	日	共有 講堂	ムジカリオン ピアノ発表会	49	10	土	県民 アトリエ	組踊展関連催事 控室
22	6	火	博物館 講座室	沖縄県造形教育連盟 第57回沖縄県造形教育研 究大会（那覇大会）	50	10	土	こども アトリエ	組踊展関連催事 控室
23	6	火	博物館 実習室	（一財）沖縄美ら島財団 エントランス定期コン サート 控室	51	10	土	共有 講堂	組踊展関連催事「子ども組踊『糸浦の縁』」
24	6	火	美術館 講座室	協同組合沖縄産業計画/㈱サン・エージェンシー 平成31年度ウチナージュニアスタディ事業	52	11	日	博物館 講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会 市民公開講座「鼻の日」講演会
25	6	火	県民 アトリエ	沖縄県造形教育連盟 第57回沖縄県造形教育研 究大会	53	11	日	美術館 講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会 市民公開講座「鼻の日」講演会 相談会
26	6	火	こども アトリエ	沖縄県造形教育連盟 第57回沖縄県造形教育研 究大会	54	11	日	スタジオ	～絵本 de リトミック感謝祭～
27	7	水	博物館 講座室	公文教育研究会 公文 認定テスト	55	12	月	共有 講堂	サメ肌のふしぎ展講演会
28	7	水	博物館 講座室	沖縄県造形教育連盟 第57回沖縄県造形教育研 究大会	56	14	水	共有 講堂	ジブリの大博覧会関連催事 上映会『もののけ姫』

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
57	16	金	博物館 講座室	【入門編】古文書勉強会～博物館の収蔵・展示資料をよむきっかけ～『玉城朝薫の家譜』	95	24	土	こども アトリエ	おきみゅーで大人の美術の教室「銀の葉脈ペン画」
58	16	金	美術館 講座室	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展シンポジウム、講演会	96	24	土	共 講 有 堂	琉球王国文化遺産集積・再興事業（平成30年度実績報告会①）
59	16	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 社内会議進捗会議	97	25	日	博物館 講座室	独立行政法人国立病院機構琉球病院 ト라우マフォーカスト認知行動療法研修会（沖縄県子どもの心の診療ネットワーク事業）
60	16	金	共 講 有 堂	組踊展関連催事 語り組踊「執心鐘入」	98	25	日	美術館 講座室	有限会社ライブアップ 講座（老後に備える資産運用セミナー）
61	17	土	博物館 講座室	㈱サーベイリサーチセンター/東京農業大学/JICA 沖縄SDGs×「食」を通じたアフリカと沖縄をつなぐセミナー	99	25	日	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
62	17	土	博物館 実習室	組踊展関連催事 「組踊かるた」	100	25	日	スタジオ	ミキワールド沖縄 食を通して健康についての勉強会
63	17	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人 沖縄語普及協議会 第12回 沖縄語教養講座	101	25	日	共 講 有 堂	沖縄県建設業企業年金基金 2019年度AIロボットによる「公的年金と資産運用」に関するセミナー
64	17	土	県民 アトリエ	OKINAWA アートワークショップ「沖縄の植物（クロトン）で押し花アート」	102	27	火	博物館 講座室	那覇市民生委員児童委員連合会 令和元年度児童福祉部・主任児童委員研修会
65	17	土	こども アトリエ	OKINAWA アートワークショップ「沖縄の植物（クロトン）で押し花アート」	103	27	火	博物館 実習室	琉球放送 ジブリ展関連撮影 控室
66	17	土	共 講 有 堂	博物館文化講座「石にかわって話したい」	104	27	火	美術館 講座室	㈱地域科学研究所 令和元年度 MIA 地方公会計制度研修会
67	17	土	共 講 有 堂	海燕社の小さな映画会 2019/8月会「南島残照 女たちの針灸（ハジチ）」	105	27	火	県民 アトリエ	サンパール(寺田良江) 勉強会
68	18	日	博物館 講座室	沖縄クイズ愛好会 RyuQ Youth 3rd	106	28	水	博物館 講座室	嘉新琉球 COLLECTIVE(株) ホテルコレクティブ会社 説明会
69	18	日	博物館 実習室	サメ肌のふしぎ展関連催事「サメの解剖教室」	107	28	水	博物館 実習室	三線楽器保存育成会 三線調査会
70	18	日	美術館 講座室	沖縄クイズ愛好会 RyuQ Youth 3rd 控室	108	28	水	美術館 講座室	内閣府沖縄総合事務局 総務部跡地利用対策課/玉野総合コンサルタント株式会社 跡地関係市町村個別会議（第1回）
71	18	日	こども アトリエ	韓心怡 第13回 CDA 養成講座生（特別編）	109	29	木	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) 第4回サンワコム安全衛生協議会
72	18	日	共 講 有 堂	金城由美子琉舞道場 おさらい会 リハーサル	110	29	木	美術館 講座室	大鏡建設株式会社 CRE セミナー
73	20	火	博物館 講座室	学芸員実習開講式	111	30	金	博物館 講座室	沖縄県子ども生活福祉部子育て支援課 幼児教育・保育の無償化に係る市町村情報交換会
74	20	火	博物館 実習室	ボディーブロ沖縄 健康セミナー	112	30	金	美術館 講座室	辻・本郷理士法人 沖縄事務所 会社設立セミナー
75	20	火	美術館 講座室	弁護士法人琉球法律事務所 第20回企業法務実務セミナー	113	30	金	スタジオ	タマホール沖縄株式会社 社内会議進捗会議
76	20	火	美術館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 700MTV 受信対策安全衛生協議会	114	30	金	共 講 有 堂	沖縄県立総合精神保健福祉センター 令和元年度自死遺族支援講演会
77	20	火	県民 アトリエ	琉球ニッケン ニッケンAGEアボラクトフェリン	115	31	土	博物館 講座室	FROGS Academy ゲーム形式で学ぶ！お金の教室
78	20	火	スタジオ	経営者・担当者向けワークライフ・バランスセミナー	116	31	土	博物館 実習室	フリーベル天久新都市第2管理組合 定期総会
79	20	火	共 講 有 堂	舞台カーテン補修	117	31	土	美術館 講座室	美術館班 「沖縄を描いた画家 1930-1950's」キュレータートーク 学芸員講座
80	21	水	美術館 講座室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー	118	31	土	美術館 講座室	HappyStyle 研究所 ～夏休みの終わりと不登校～『こどもの輝きを消さない親としての在り方』
81	21	水	共 講 有 堂	ジブリの大博覧会関連催事 上映会『千と千尋の神隠し』	119	31	土	共 講 有 堂	プレゼンテーション大会
82	22	木	博物館 講座室	沖縄県保健医療部衛生業務課 令和元年度食品の安全安心講習会「正しく知ろう！食品添加物」	120	14（水）～ 18（日）	スタジオ		「美術の先生が作った作品展 VOL.7」
83	22	木	美術館 講座室	「私のための私時間 私のための私時間 presents 親子で楽しく♪学べて！作れて！癒やされる♪「なつフェスタ2019」	121	1（木）～ 29（木）	博物館 企画展示室		THE KUMIODORI300 組踊展
84	22	木	美術館 講座室	沖縄県文化観光スポーツ部/株式会社オリコム 2019ILTM 出展事業者会議	122	30（金）～ 31（土）	博物館 企画展示室		企画展『台湾展 -黒潮でつながる隣ジマ-』準備
85	22	木	共 講 有 堂	沖縄県主催地域巡回マッチングプログラム事業 採用力アップセミナー	123	1（木）～ 29（木）	博物館 特別展示室		THE KUMIODORI300 組踊展
86	23	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄県環境科学センター 生物多様性おきなわブランド発信事業シンポジウム	124	30（金）～ 31（土）	博物館 特別展示室		企画展「台湾展 -黒潮でつながる隣ジマ-」準備
87	23	金	博物館 講座室	一般財団法人日本科学技術連盟/㈱シーヴィ・コンベンション JSTQB 認定テスト技術者資格試験 準備のため案内掲示は不要	125	1（木）～ 31（土）	美術館企画 ギャラリー1		ジブリ大博覧会-ナウシカからマーニーまで-
88	23	金	美術館 講座室	盛和塾沖縄 勉強会	126	1（木）～ 31（土）	美術館企画 ギャラリー2		ジブリ大博覧会-ナウシカからマーニーまで-
89	23	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 社内会議進捗会議	127	1（木）～ 31（土）	エントランス ホール		ジブリの大博覧会 関連展示【階段下】
90	23	金	共 講 有 堂	那覇市民生委員児童委員会連合会 令和元年度地区別合同研修会「那覇地区」	128	1（木）～ 12（月）	エントランス ホール		組踊関連動画【一角】
91	24	土	博物館 講座室	一般財団法人日本科学技術連盟/㈱シーヴィ・コンベンション JSTQB 認定テスト技術者資格試験	129	3	土	エントランス ホール	古琉球と祈りの調べと首里の旅うた【一角】
92	24	土	博物館 実習室	ジブリの大博覧会 待機列	130	14（水）～ 25（日）	エントランス ホール		貝の標本展【一角】
93	24	土	美術館 講座室	独立行政法人国立病院機構琉球病院 ト라우マフォーカスト認知行動療法研修会（沖縄県子どもの心の診療ネットワーク事業）	131	27（火）～ 29（木）	エントランス ホール		博物館学芸員実習生による展示 準備
94	24	土	県民 アトリエ	おきみゅーで大人の美術の教室「銀の葉脈ペン画」	132	30（金）～ 31（土）	エントランス ホール		博物館学芸員実習生による展示

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
133	1（木）～ 27（火）		共有講堂前 ホワイエ	サメ肌のふしぎ展	135	11	日	共有講堂前 ホワイエ	サメ肌のふしぎ展開連催『サメの歯化石のレプリカづくり』
134	3（土）～ 4（日）		共有講堂前 ホワイエ	組踊展開連催『県立芸大生による琉球伝統芸能公演（組踊展 Ver）』	136	12	月	共有講堂前 ホワイエ	組踊展開連催『県立芸大生による琉球伝統芸能公演（組踊展 Ver）』

【2019年9月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	博物館 講義室	デジタル民話上映会②	35	12	木	博物館 実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会
2	1	日	博物館 実習室	道流流道扇会金城由美子琉舞道場 第3回おさらい控室	36	12	木	美術館 講義室	㈱ピータイム 社内研修
3	1	日	美術館 講義室	しまくとうばプロジェクト「下地勇で学ぶみゃーくふつ入門」	37	13	金	博物館 講義室	【入門編】古文書勉強会～博物館の収蔵・展示資料をよむきっかけ～『野村工四上巻』三線名人12人の略伝
4	1	日	共講 有堂	道流流道扇会金城由美子琉舞道場 第3回おさらい	38	13	金	博物館 講義室	かいぎんビジネス倶楽部 かいぎんビジネスセミナー
5	3	火	博物館 講義室	沖縄タイムス社第33回沖縄県トータルリビングショウ出張社説明会	39	13	金	博物館 実習室	タマホーム㈱沖縄支店 進捗会議
6	3	火	美術館 講義室	沖縄労働局/㈱沖縄コングレ 人材不足の時代に良い人材を育て定着させるセミナー	40	13	金	美術館 講義室	社・本郷税理士法人沖縄事務所 社会福祉法人セミナー
7	3	火	共講 有堂	沖縄県環境部環境保全課 赤土等流出防止交流集会	41	13	金	共講 有堂	台湾展開連催 台湾映画祭「心の故郷」
8	4	水	博物館 講義室	㈱金秀本社 金秀グループ人事考課者研修	42	14	土	博物館 講義室	TSUNAGU OKINAWA 人もねこともに幸せに！ねこサミット2019
9	4	水	美術館 講義室	那覇商工会議所 那覇市プレミアム付商品券事業取り扱い説明会	43	14	土	博物館 実習室	薬膳琉花 国際中医薬膳師受験対策勉強会
10	5	木	博物館 講義室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター ISCO Forum2019	44	14	土	美術館 講義室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会
11	5	木	美術館 講義室	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 サイバーセキュリティ 防犯対策セミナー	45	14	土	共講 有堂	在沖米国総領事館 映画上映会「ステップ」(STEP) + 監督のトーク
12	5	木	共講 有堂	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター ISCO Forum2019	46	14	土	共講 有堂	台湾展開連催 台湾映画祭「湾生いきものがたり」
13	6	金	博物館 講義室	情報労連沖縄県協議会 情報労連「9・7 平和行動」	47	15	日	博物館 講義室	沖縄県眼科医会/琉球大学眼科 「第139回 沖縄眼科集談会」
14	6	金	博物館 講義室	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局/内閣府地方創生推進事務局 次期「地方版総合戦略」策定に向けた地方公共団体等への説明会	48	15	日	博物館 講義室	しまくとうばプロジェクト 「しまくとうば鼎談」
15	6	金	博物館 実習室	おきみゅーでほうかご美術の教室「おきみゅーでえほんをつくらう 2019」	49	15	日	博物館 実習室	沖縄県眼科医会/琉球大学眼科 「第139回 沖縄眼科集談会」における託児室
16	6	金	博物館 実習室	神原中学校／オリエンテーション	50	15	日	美術館 講義室	株式会社Compas お金の貯め方増やし方
17	6	金	美術館 講義室	肝疾患相談室（琉球大学医学部第一内科） 沖縄県肝炎医療コーディネーターミーティング	51	15	日	共講 有堂	一般社団法人日本肝臓学会/琉球大学医学部附属病院第一内科 肝疾患相談室 肝臓の病気を正しく理解するために
18	6	金	共講 有堂	那覇東地区宅地建物取引業者会/公益社団法人沖縄県宅地建物取引業協会 那覇東地区合同地域研修会「民法改正について」	52	16	月	博物館 実習室	㈱西鉄ホテルズ 2020 年度新規採用試験
19	6	金	共講 有堂	台湾展開連催 台湾映画祭「湾生 いきものがたり」	53	16	月	美術館 講義室	㈱ハウ フォローアップ講習会
20	7	土	博物館 講義室	学芸員講座「八重山における神役の継承」	54	18	水	博物館 講義室	株式会社オリコム 令和元年度国内・海外富裕層向けプロモーション事業における第3回ネットワーク会議
21	7	土	博物館 実習室	協同組合沖縄産業計画/㈱サン・エージェンシー 平成31年度ウチナーズジュニアスタディ事業	55	18	水	美術館 講義室	BDC/ドローン検定協会 ドローン検定協会 無人航空従事者試験
22	7	土	美術館 講義室	金城安太郎展 ギャラリートーク	56	18	水	共講 有堂	公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 JAIFA 沖縄県協会
23	7	土	共講 有堂	沖縄県立博物館友の会 文化講演会「近世琉球の罪と罰」	57	19	木	博物館 講義室	沖縄県保健医療部国民健康保険課/沖縄県国民健康保険団体連合会 令和元年度国保税（料）徴収担当者研修会
24	8	日	博物館 講義室	玉木流琉装からじ結い研究所 くしの日 美ら姿結い遊び	58	19	木	美術館 講義室	島嶼芸術展記者会見会場
25	8	日	博物館 実習室	Body make salon くくる 緩めて痩せる10日間の定期ダイエットプログラム勉強会	59	19	木	美術館 講義室	㈱プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セミナー
26	8	日	美術館 講義室	第48回沖縄県芸祭文化祭	60	19	木	共講 有堂	沖縄県/光文堂コミュニケーションズ株式会社 沖縄県アジア経済戦略構想セミナー
27	8	日	共講 有堂	沖縄産婦人科学会/沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る市民公開講座	61	20	金	博物館 講義室	沖縄県立看護大学附属図書館 第47回（2019年度）沖縄県大学図書館協議会総会及び講演会
28	10	火	博物館 講義室	繋和会 沖縄事例研究	62	20	金	美術館 講義室	沖縄県キャリアセンター 早期離職防止セミナー 「部下との信頼関係を築き、定着率をアップさせるコミュニケーション術」
29	10	火	博物館 講義室	I COM	63	20	金	美術館 講義室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 現場マネジメント研修
30	10	火	博物館 実習室	（一財）沖縄美ら島財団 ジブリ展会議	64	20	金	共講 有堂	堀下社会保険労務士事務所 出版記念講演＆シンポジウム
31	10	火	美術館 講義室	那覇商工会議所 那覇市プレミアム付商品券取り扱い説明会	65	22	日	博物館 講義室	（一財）沖縄美ら島財団 総合研究センター 令和元年度 沖縄美ら島財団助成事業成果報告会
32	11	水	博物館 講義室	盛和塾沖縄 定例会	66	22	日	博物館 実習室	友利とモーリーのゆかいな仲間たち/久田病院 おっさん二人の写真展 スピンオフトークショー
33	11	水	共講 有堂	SMBC 日興証券 電話応対コンクール 社内発表会	67	22	日	美術館 講義室	第48回 沖縄県芸祭文化祭 公開審査会
34	12	木	博物館 講義室	株式会社地域科学研究所 第36回 MIA 固定資産評価全国実務研修会	68	22	日	共講 有堂	在日本大韓民国民団沖縄県地方本部 第13回韓国語評論大会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
69	23	月	美術館 講座室	第48回 沖縄県芸術文化祭 審査会	93	29	日	博物館 実習室	北陸先端科学技術大学院大学 白肌研究室(沖縄 フィールドワーク)JAIST 白肌研 ワークショップ
70	23	月	共有 講堂	TV 沖縄 勉強会(金子講師)	94	29	日	博物館 実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 第6回理事会
71	23	月	共有 講堂	子供科学技術人材育成事業(中学校及び高校プロジェクト)コンソーシアム/一 般財団法人沖縄県公衆衛生協会 サイエンスリーダー育成講座2 全体報告会	95	29	日	共有 講堂	(一財)沖縄美ら島財団 総合研究センター 総合 研究センター活動報告会
72	25	水	博物館 実習室	那覇市民生委員児童委員連合会/那覇市 令和元 年度地域福祉部会研修会	96	6(金)～ 29(日)		県民 アトリエ	第48回沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管
73	25	水	博物館 講座室	美術館ボランティア打合せ	97	6(金)～ 29(日)		こども アトリエ	第48回沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管
74	25	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会 三線調査会	98	6(金)～ 29(日)		スタジオ	第48回沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管
75	25	水	美術館 講座室	沖縄県交易促進事業協同組合/沖縄県中小企業団体中 央会 沖縄県交易促進事業協同組合 第2回運営会議	99	1(日)～ 2(月)		エントランス ホール	博物館学芸員実習生による展示
76	25	水	共有 講堂	2019年度 土木学会西部支部沖縄会 特別講演 会	100	1(日)～ 8(日)		エントランス ホール	ジブリの大博覧会 関連展示【階段下】
77	26	木	博物館 講座室	(株)グローバルBIM 施工BIM活用セミナー	101	14	土	エントランス ホール	テリヤ重田エントランスコンサート
78	26	木	博物館 実習室	サンパール	102	29	日	エントランス ホール	古琉球の祈りの調べと首里の旅うた【階段下】
79	26	木	美術館 講座室	沖縄国税事務所 消費税の軽減税率制度説明会	103	1(日)～ 5(木)		博物館 企画展示室	企画展『台湾展 ー黒潮でつながる隣ジマー』準備
80	26	木	美術館 講座室	沖縄県中小企業家同友会 那覇支部 北地区例会	104	6(金)～ 29(日)		博物館 企画展示室	企画展『台湾展 ー黒潮でつながる隣ジマー』
81	26	木	共有 講堂	台湾展関連催事 台湾映画祭「心の故郷」	105	1(日)～ 5(木)		博物館特別 展示室1	企画展『台湾展 ー黒潮でつながる隣ジマー』準備
82	27	金	博物館 講座室	一般社団法人 WAOJE Okinawa WAOJE Okinawa カン ファレンス 2019	106	6(金)～ 29(日)		博物館 特別展示室	企画展『台湾展 ー黒潮でつながる隣ジマー』
83	27	金	博物館 実習室	タマホーム(株)沖縄支店 進捗会議	107	1(日)～ 8(日)		美術館企画 ギャラリー1	ジブリ大博覧会ーナウシカからマーニーまでー
84	27	金	美術館 講座室	地域連携プラットフォーム事業 受託コンソーシアム/株式会社ワ ンスペース 地域連携プラットフォーム事業コーディネーター研修	108	10(火)～ 13(金)		美術館企画 ギャラリー1	ジブリ大博覧会ーナウシカからマーニーまでー 撤収
85	27	金	美術館 講座室	盛和塾沖縄 勉強会	109	14(土)～ 19(木)		美術館企画 ギャラリー1	現代彫刻展ー上條文徳・波多野泉ー 準備
86	27	金	共有 講堂	AWJ 美と健康長寿講演会	110	20(金)～ 29(日)		美術館企画 ギャラリー1	現代彫刻展ー上條文徳・波多野泉ー
87	28	土	博物館 講座室	琉球王国文化遺産集積・再興事業(平成30年度実 績報告会②)	111	1(日)～ 8(日)		美術館企画 ギャラリー2	ジブリ大博覧会ーナウシカからマーニーまでー
88	28	土	博物館 実習室	おきみゅーで大人の美術の教室「テキスタイルタ ペストリー」	112	10(火)～ 13(金)		美術館企画 ギャラリー2	ジブリ大博覧会ーナウシカからマーニーまでー 撤収
89	28	土	美術館 講座室	沖縄を描いた画家関連催事 美術講座「南洋群島 と美術家(仮)」	113	14(土)～ 19(木)		美術館企画 ギャラリー2	現代彫刻展ー上條文徳・波多野泉ー 準備
90	28	土	共有 講堂	台湾展関連催事 台湾座談会「残された記憶と記 録 台湾総督府文書の利活用」	114	20(金)～ 29(日)		美術館企画 ギャラリー2	現代彫刻展ー上條文徳・波多野泉ー
91	29	日	博物館 講座室	沖縄県立博物館友の会 沖縄県立博物館友の会主 催 学芸員講座「琉球王国の貨幣」	115	29	日	博物館 屋外展示場	パナリヌ楽団ライブ
92	29	日	博物館 講座室	沖縄小児科学会(琉球大学員医学研究科 育成医学(小児科)講座) こどもの健康週間「知っておきたいこどものアレルギーのおはなし」					

【2019年10月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	火	美術館 講座室	安藤結花 インクルーズ	13	5	土	博物館 講座室	沖縄税理士会 成年後見及び相続税に関する無料 相談会
2	1	火	美術館 講座室	メットライフ生命沖縄支社 10月度プロデュー サーミーティング	14	5	土	スタジオ	第43回沖縄県高等学校総合文化祭美術・工芸部門 作品展
3	2	水	美術館 講座室	株式会社SRJ 地域勉強会-言葉と共に成長でき る ICT 教育を目指して-	15	5	土	美術館 講座室	金城安太郎キュレータートーク (学芸員講座)
4	3	木	博物館 講座室	BENESU 沖縄 BENESU～ウォーキング1day～正しいス テップポジション足腰の筋肉、脂肪燃焼、免疫力UP	16	5	土	美術館 講座室	ワークショップ打合せ
5	3	木	スタジオ	沖縄県高等学校文化連盟美術・工芸専門部 展示 準備	17	6	日	共有 講堂	沖縄県整形外科医会/エーザイ(株) 骨と関節の日 市民フォーラム
6	3	木	美術館 講座室	第43回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部 門 作品展	18	6	日	共有 講堂	第43回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部 門表彰式
7	4	金	共有 講堂	沖縄県地域史協議会 第2回研修会	19	6	日	博物館 講座室	しまくとぅばプロジェクト しまくとぅば鼎談
8	4	金	博物館 講座室	沖縄県経営品質研究会 経営品質研究会 10月度 定例会	20	6	日	博物館 実習室	沖縄県整形外科医会/エーザイ(株) 骨と関節の日市民 フォーラム関連催事「骨密度測定・ロコモ度テスト」
9	4	金	博物館 実習室	タマホーム(株)沖縄支店 進捗会議	21	6	日	スタジオ	第43回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部 門作品展
10	4	金	スタジオ	第43回沖縄県高等学校総合文化祭美術・工芸部門 作品展	22	6	日	美術館 講座室	第43回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部 門 作品展
11	4	金	美術館 講座室	(株)リクルートマーケティングパートナーズ スタ ディサプリ活用勉強会 in 沖縄	23	8	火	博物館 実習室	電波測定調査
12	5	土	共有 講堂	博物館文化講座「台湾から見える沖縄 現地取材 レポート」	24	9	水	博物館 講座室	美術ボランティア打ち合わせ

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
25	9	水	博物館 講座室	沖縄県商工労働部労働政策課/㈱Life is Love 経営者・担当者向け ワークライフバランスセミナー	63	19	土	共有 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄平和協力センター 「平和への思い」発信・継承シンポジウム
26	9	水	美術館 講座室	沖縄県/しまのわ・プロモーションうま合同企業体 中間支援機能拡大に向けた支援プログラム 第2回	64	19	土	県民 講 座 室	『OKINAWA』アートワークショップ 石獅子守り神づくり
27	10	木	共有 講 座 室	㈱シーエー・アドバンス CA ADVANCE Tech Award 2019	65	19	土	美術館 講 座 室	特定非営利活動法人 沖縄語普及協議会 第12回 沖縄語教養講座
28	10	木	博物館 講座室	公益財団法人沖縄県産業支援センター 働き方改革勉強会	66	19	土	美術館 講 座 室	南小山企画 沖縄支店 I Life/IFA唐沢祐香 米国経済の長期的な展望とそれを支える経済トレンド。AI革命、スペース革命で世界が変わる！
29	10	木	博物館 実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会	67	19	土	こども アトリエ	『OKINAWA』アートワークショップ 「石獅子守り神づくり」
30	10	木	博物館 実習室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和元年度 第3回生活支援サポーター養成講座	68	20	日	博物館 講 座 室	琉球大学熱帯生物圏研究センター 市民公開シンポジウム
31	10	木	美術館 講座室	満喜株式会社 「消費税セミナー」	69	20	日	博物館 講 座 室	琉球大学眼科/沖縄県眼科医会 沖縄県眼科医会臨時懇談会
32	11	金	共有 講 座 室	興南高等学校 台湾研修事前学習会	70	20	日	博物館 実習室	沖縄県眼科医会 「第1回沖縄眼科臨床懇話会」における託児室
33	11	金	博物館 講座室	日本郵便㈱ 沖縄支社 あいさつ状1枚から出来るミニブランディングセミナー	71	20	日	博物館 実習室	マリアズリリーアロマテラピースクール アロマDE楽しくセルブケア♪ストレス緩和&認知症予防のためのMy香水作り
34	11	金	博物館 講座室	構文連準備	72	20	日	県民 アトリエ	一般財団法人 理数教育研究所 算数・数学の自由研究 作品コンクール 沖縄県審査会
35	11	金	県民 アトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室「おきみゅーでえほんをつくろう 2019」	73	20	日	スタジオ	AWJ 恩田先生 講演会
36	11	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 進捗会議	74	20	日	美術館 講 座 室	沖縄ハンセン病回復者の会 総会
37	11	金	美術館 講座室	西日本自動車共済 進捗式	75	22	火	美術館 講 座 室	pour le Mieu(プールミュー) 科学的根拠に基づく「ビューティフルエイジング」
38	11	金	こども アトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室「おきみゅーでえほんをつくろう 2019」	76	23	水	共有 講 座 室	沖縄県/光文堂コミュニケーションズ株式会社 沖縄県ちやーがんじゅう地域推進事業 講演会
39	12	土	博物館 講座室	第59回沖縄県生徒科学省作品展(県高文連祭自然科学専門に併催)	77	23	水	博物館 講 座 室	㈱ミロク情報サービス沖縄支社 「働き方改革着せセミナー」
40	12	土	県民 アトリエ	第59回沖縄県生徒科学省作品展(県高文連祭自然科学専門に併催)	78	23	水	博物館 実習室	三線調査会
41	12	土	スタジオ	フリーベル天久新都市管理組合/タマキホーム フリーベル天久新都市 入居説明会	79	23	水	県民 アトリエ	㈱東横イン 九州沖縄エリア支配人会議
42	12	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人 沖縄語普及協議会 第12回 沖縄語教養講座	80	23	水	美術館 講 座 室	㈱ブレナスワールド 健康セミナー
43	13	日	共有 講 座 室	第59回沖縄県生徒科学省作品展(県高文連祭自然科学専門に併催)	81	23	水	こども アトリエ	㈱東横イン ㈱東横イン九州沖縄エリア支配人会議
44	13	日	博物館 講座室	第59回沖縄県生徒科学省作品展(県高文連祭自然科学専門に併催)	82	24	木	共有 講 座 室	沖縄県/㈱アカネクリエーション 沖縄らしい景観まちをみづくり シンポジウム
45	13	日	博物館 実習室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	83	24	木	博物館 講 座 室	社会保険労務士法人 パーソネル・マネジメント勉強会
46	13	日	県民 アトリエ	第59回沖縄県生徒科学省作品展(県高文連祭自然科学専門に併催)	84	24	木	博物館 講 座 室	金城達也税理士事務所 TKC 経営支援セミナー 2019
47	13	日	美術館 講座室	しまくとうばプロジェクト 「下地勇で学ぶまやーくふつ入門」	85	24	木	博物館 実習室	サンパール ムコ多糖の説明会
48	13	日	こども アトリエ	第59回沖縄県生徒科学省作品展(県高文連祭自然科学専門に併催)	86	24	木	美術館 講 座 室	山入端由香 YUKA 講演会
49	16	水	共有 講 座 室	福井コンピュータアーキテクト株式会社 沖縄 BIM事例セミナー	87	24	木	美術館 講 座 室	総務省沖縄総合通信事務所 令和元年度 信書便制度説明会
50	16	水	博物館 講座室	厚生労働省沖縄労働局/一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会沖縄支部 受動喫煙防止対策の説明会	88	25	金	共有 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム 沖縄支店下期安全大会
51	16	水	県民 アトリエ	第3回アートコンクール審査	89	25	金	共有 講 座 室	株式会社 Nansei 企画展「沖縄のハジチ、台湾原住民のタトゥー歴史と今」関連催事「南島残照」上映会
52	16	水	美術館 講座室	第4回おきなわ建設フェスタ 幹事会及び出展者説明会	90	25	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 進捗会議
53	16	水	こども アトリエ	第3回アートコンクール審査	91	25	金	美術館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム 沖縄支店危険体感訓練
54	17	木	博物館 講座室	沖縄県社会保険労務士会 社労士会セミナー	92	25	金	美術館 講 座 室	盛和塾沖縄 盛和塾勉強会
55	17	木	博物館 実習室	琉球王国文化遺産集積・再興事業プロポーザル審査会	93	25	金	こども アトリエ	㈱バンダイナムコミュージアム 企業理念研修III
56	17	木	県民 アトリエ	加登聖子 ドバイ都市からみた発展都市の可能性	94	26	土	共有 講 座 室	現代彫刻展関連催事シンポジウム
57	17	木	美術館 講座室	マニユライフ生命保険 変額保険セミナー	95	26	土	共有 講 座 室	台湾展関連催事 座談会「台湾の過去と現在、未来をみつめて」
58	18	金	博物館 講座室	ボランティア全体会議	96	26	土	博物館 講 座 室	大和ハウスリフォーム協会九州支社/大和ハウスリフォーム㈱ 2019年下期 新規入場者教育
59	18	金	博物館 講座室	【入門編】古文書勉強会～博物館の収蔵・展示資料をよむきっかけ～『野村工四上巻』三線名人12人の略伝	97	26	土	博物館 講 座 室	東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センター 紀要第五号発行記念講演会
60	18	金	博物館 実習室	自主民具体験/中城村立中城小学校	98	26	土	県民 アトリエ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 10月度定例会
61	18	金	県民 アトリエ	タマホーム株式会社沖縄支店 進捗会議	99	26	土	県民 アトリエ	おきみゅーで大人の美術教室「たからものコラージュ」
62	18	金	美術館 講座室	かいぎんビジネス倶楽部 かいぎんビジネスセミナー	100	26	土	スタジオ	フリーベル天久新都市管理組合/タマキホーム フリーベル天久新都市 定期総会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	26	土	美術館 講座室	イソプレノイド研究会 例会	117	31	木	博物館 実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会
102	26	土	こども アトリエ	おきみゅーで大人の美術教室「たからものカラー ージュ」	118	1（火）～ 31（木）		共有情報 センター	「レオ・レオーニ」絵本コーナー
103	27	日	共講 有堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会	119	1（火）～ 13（日）		エントランス ホール	化石の日パネル展【階段下】
104	27	日	博物館 講座室	日本生命保険相互会社 FP セミナー	120	6	日	エントランス ホール	弦楽四重奏コンサート（仮）
105	27	日	博物館 講座室	EQWEL チャイルドアカデミー 保護者セミナー	121	11（金）～ 13（日）		エントランス ホール	高文連・科学作品展【階段下】
106	27	日	博物館 実習室	㈱Hobby World Marine 沖縄 海洋セミナー	122	12（土）～ 27（日）		エントランス ホール	ワークショップ作品展展示【一角】
107	27	日	美術館 講座室	放送大学沖縄学習センター 面接授業（スクーリ ング）	123	14（月）～ 27（日）		エントランス ホール	化石の日パネル展、世界のウチナーンチュの日【階 段下】
108	29	火	共講 有堂	一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会 第 15 回環境衛生シンポジウム	124	29（火）～ 31（木）		エントランス ホール	アートコンクール作品展【一角】
109	29	火	博物館 講座室	博物館ボランティアミーティング	125	1（火）～ 31（木）		博物館 企画展示室	企画展『台湾展 ―黒潮でつながる隣ジマー』
110	29	火	博物館 実習室	焼き物制作	126	1（火）～ 31（木）		博物館特別 展示室 1	企画展『台湾展 ―黒潮でつながる隣ジマー』
111	29	火	美術館 講座室	株式会社プラスキャリア 非正規労働者処理改善 事業 労働環境課題改善セミナー	127	1（火）～ 4（金）		博物館特別 展示室 2	「沖縄のハジチ、台湾原住民族のタトゥーの歴史 と今」準備
112	30	水	共講 有堂	沖縄県環境部環境再生課/県環境エネルギー総合研究所 令和元年度沖縄県地球温暖化防止活動推進員サミット	128	5（土）～ 31（木）		博物館特別 展示室 2	「沖縄のハジチ、台湾原住民族のタトゥーの歴史 と今」
113	30	水	博物館 講座室	沖縄県商工労働部情報産業振興課/沖縄 IT イノベーション戦略セ ンター IT を経営の力とする研修講座（先端 IT 利活用促進事業）	129	1（火）～ 31（木）		美術館企画 ギャラリー 1	上條文穂・波多野泉展
114	30	水	博物館 実習室	焼き物制作	130	1（火）～ 31（木）		美術館企画 ギャラリー 2	上條文穂・波多野泉展
115	30	水	美術館 講座室	株式会社リレーションシップ キルギス人材採用 説明会	131	19	土	共有正面 玄関雨端	科学週間 準備
116	31	木	共講 有堂	沖縄県博物館協会 秋の研修会（当館主催）					

【2019年11月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	博物館 講座室	沖縄県高等学校文化連盟科学専門部/沖縄生物教育研究会/沖縄 県立博物館・美術館 第 66 回 高校生による生物科学展【展示】	21	4	月	スタジオ	ピースボート 地球一周の船旅説明会
2	1	金	博物館 実習室	沖縄県博物館協会 秋の研修会（当館主催）	22	4	月	共講 有堂	沖縄県保健医療部健康長寿課 沖縄県歯科口腔保 健啓発月間講演会
3	1	金	美術館 講座室	沖縄県商工労働部ものづくり推進課 第 42 回沖 縄県工芸公开展表表彰式	23	6	水	博物館 講座室	オリエンテーション/船越小学校
4	1	金	美術館 講座室	沖縄県経営品質研究会 経営品質研究会 11 月度 定例会	24	6	水	博物館 実習室	南城市立玉城小学校／自主民具体験
5	1	金	県民 アトリエ	おきみゅーでほかご美術の教室「おきみゅーで えほんをつくろう 2019」	25	6	水	美術館 講座室	盛和塾 勉強会
6	1	金	こども アトリエ	おきみゅーでほかご美術の教室「おきみゅーで えほんをつくろう 2019」	26	6	水	共講 有堂	光文堂コミュニケーションズ㈱ 沖縄県地産地消 シンポジウム
7	1	金	共講 有堂	沖縄県高等学校文化連盟科学専門部/沖縄生物教育研究会/沖縄 県立博物館・美術館 第 66 回高校生による生物科学展【発表会】	27	7	木	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ フルハーネ ス特別教育
8	2	土	博物館 講座室	日本 EMDR 学会 EMDR Weekend 1 トレーニング	28	7	木	博物館 実習室	東京藝術大学大学院/芳泉文化財団 芳泉文化財 団助成短編映画福地組「BOUNDARY」
9	2	土	博物館 実習室	おきみゅー誕生祭 2019 ※机・イスを利用予定	29	7	木	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 第二回 コンサルティングコースセミナー
10	2	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人 沖縄語普及協議会 第 12 回 沖縄語教養講座	30	7	木	共講 有堂	ちゅうらうちな一安全なまちづくり推進会議 沖縄県子ども 生活福祉部 消費・くらし安全課安全・安心まちづくり講習会
11	2	土	スタジオ	㈱フレイル 美しい女性の食事学	31	8	金	博物館 実習室	ライブジュニア日本語学院 沖縄県内日本語教育 機関連絡協議会
12	2	土	共講 有堂	博物館文化講座「シマクトゥバによる民話の記録 （仮）」	32	8	金	博物館 実習室	タマホーム㈱沖縄支店 進捗会議
13	3	日	博物館 講座室	日本 EMDR 学会 EMDR Weekend 1 トレーニング	33	8	金	美術館 講座室	沖縄県自治研修所 令和元年度沖縄県職員向け歴史・文化講座
14	3	日	博物館 実習室	おきみゅー誕生祭 2019 ※机・イスを利用予定	34	8	金	美術館 講座室	エキスティックエビセンター㈱ 小瀬教育プログ ラム説明会
15	3	日	美術館 講座室	日本 EMDR 学会 EMDR Weekend 1 トレーニング	35	8	金	共講 有堂	文教楽器㈱ ヤマハ英語教室発表会準備
16	3	日	スタジオ	サウンドプロ M' S 株式会社 サウンドプロ・Ms 講習会発達障がい特性と理解	36	9	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会
17	3	日	共講 有堂	おきみゅー誕生祭 2019 上映会	37	9	土	博物館 講座室	学芸員講座「映像の沖縄～記録の中から～」
18	4	月	博物館 講座室	日本 EMDR 学会 EMDR Weekend 1 トレーニング	38	9	土	博物館 実習室	『琉球玩具への招待⑧創作張り子を作ろう』
19	4	月	博物館 実習室	おきみゅー誕生祭 2019	39	9	土	美術館 講座室	北星学園余市高等学校 教育公演・相談会
20	4	月	美術館 講座室	日本 EMDR 学会 EMDR Weekend 1 トレーニング	40	9	土	スタジオ	第 8 回 小原流九州地区青年部野外展受付

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
41	9	土	共講 有堂	文教楽器㈱ ヤマハ英語教室 発表会	79	16	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター わんぱくジュニア留学説明会
42	9	土	共講 有堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 希望の平和講演会	80	16	土	スタジオ	光画文化研究所 FRAGMENT7 展参加者説明会
43	10	日	博 物 館 講 座 室	琉球王国文化遺産集積・再興事業（平成 30 年度実績報告会③）	81	16	土	共講 有堂	海燕社 小さな映画会 2019/11 月会「面打/ men-uchi」
44	10	日	博 物 館 講 座 室	育英義塾教員養成学院 明星大学通信教育学部科目目修了試験	82	16	土	共講 有堂	沖縄県文化振興会 県芸祭開会式
45	10	日	博 物 館 実 習 室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	83	16	土	共講 有堂	沖縄考古学会 創立 50 周年記念式典
46	10	日	美 術 館 講 座 室	(公社)沖縄県柔道整備師会 保険研修会	84	17	日	博 物 館 講 座 室	医療法人かねや屋内科医院 いちの会・二の会講演会「女性のための糖尿病教室」
47	10	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	85	17	日	博 物 館 実 習 室	OKINAWA アートワークショップ「漆喰シーサーに挑戦！」
48	10	日	スタジオ	第 8 回 小原流九州地区青年部野外展 控室	86	17	日	美 術 館 講 座 室	BDC/ドローン検定協会 ドローン検定協会 無人航空従事者試験
49	10	日	共講 有堂	文教楽器㈱ 文教ミュージックサロソソロコンサート	87	17	日	美 術 館 講 座 室	琉球大学学長 P1 プロジェクト/琉球大学戦略的研究プロジェクトセンター 研究シンポジウム：言語学の成果を基にした琉球列島人類史の解明
50	12	火	博 物 館 講 座 室	社会保険労務士法人クローバー 「働き方改革」& 「同一労働同一賃金」丸わかりセミナー	88	17	日	スタジオ	㈱E アファン 非分解ブラセンタ勉強会
51	12	火	博 物 館 実 習 室	(自主民具体験) / 那覇市立壹屋小学校	89	17	日	共講 有堂	おもろ研究会 1800 回 (50 周年) 記念研究発表会
52	12	火	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県労働基準協会 コミュニケーションスキル等向上コース	90	19	火	博 物 館 講 座 室	グスク展オープニングイベント「文献から伺えるグスクの姿」
53	12	火	県 民 ア ト リ エ	沖縄県商工労働部雇用政策課/株式会社琉球新報開発「ひとり親世帯・中高年齢者就職総合支援事業」事業説明会	91	19	火	博 物 館 実 習 室	OCVB との打合せ
54	12	火	こ ど も ア ト リ エ	沖縄県商工労働部雇用政策課/株式会社琉球新報開発「ひとり親世帯・中高年齢者就職総合支援事業」事業説明会	92	19	火	美 術 館 講 座 室	かいぎんビジネス倶楽部/㈱海邦総研 かいぎんビジネスセミナー
55	13	水	美 術 館 講 座 室	美術館ボランティア勉強会	93	19	火	スタジオ	㈱プレナスワールド 健康セミナー
56	13	水	美 術 館 講 座 室	沖縄県商工労働部情報産業振興課沖縄 IT イノベーション戦略センター 先端 IT 活用講座第 3 回	94	19	火	共講 有堂	㈱OJAD 第 5 回アジアンピッチ Pitch Day (5th ASIAN PITCH)
57	13	水	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営 相続・家族信託セミナー	95	20	水	博 物 館 講 座 室	入札
58	13	水	共講 有堂	沖縄総合事務局/沖縄県/琉球大学/一般社団法人日本インフラ保全機構 沖縄県における土木構造物の予防保全対策	96	20	水	博 物 館 講 座 室	沖縄税理士会 北那覇支部年末調整事務 (DVD) 研修会
59	14	木	博 物 館 講 座 室	沖縄税理士会 「税を考える週間」税に関する無料相談会	97	20	水	博 物 館 実 習 室	天久小学校/学校主催民具体験
60	14	木	博 物 館 実 習 室	民具体験/八重瀬町立新城小学校	98	20	水	博 物 館 実 習 室	那覇市社会福祉協議会/おもちゃ病院沖縄那覇/健やか交流塾おもちゃ病院機械いじりが得意なあなたに！おもちゃドクター養成講座《入門編》1 日目
61	14	木	博 物 館 実 習 室	株式会社ライフサロン 店長会議	99	20	水	美 術 館 講 座 室	大鏡建設株式会社 CR セミナー
62	14	木	美 術 館 講 座 室	内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課 地域と再生可能エネルギーに関するセミナー	100	20	水	共講 有堂	オキナワベンチャーマーケット運営事務局/公益財団法人沖縄科学技術振興センター 第 4 回テックピッチ Pitch Day (4th Tech Pitch)
63	14	木	スタジオ	株式会社沖縄吉野家 社員研修	101	21	木	博 物 館 講 座 室	ヒューマンキャンパス高等学校/オリエンテーション
64	14	木	共講 有堂	沖縄税理士会 「税」を考える週間 税に関する講演会	102	21	木	博 物 館 講 座 室	FWD 富士生命 定期保険等の通達改正と今後の法人保険の提案方法
65	15	金	博 物 館 講 座 室	AA 九州・沖縄地域 矯正小委員会 矯正・保護施設メッセージフォーラム	103	21	木	博 物 館 実 習 室	那覇市社会福祉協議会/おもちゃ病院沖縄那覇/健やか交流塾おもちゃ病院機械いじりが得意なあなたに！おもちゃドクター養成講座《入門編》2 日目
66	15	金	博 物 館 講 座 室	【入門編】古文書勉強会～博物館の収蔵・展示資料をよむきっかけ～『尚寧の天罰霊請文』-誓約書-	104	21	木	スタジオ	沖縄三線製作事業協同組合 伝統証紙表示事業三線品質検査委員会
67	15	金	博 物 館 実 習 室	天久小学校/学校主催民具体験	105	22	金	博 物 館 実 習 室	民具体験/南風原町立 翔南小学校
68	15	金	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄ザトウクジラ会議 2019	106	22	金	博 物 館 実 習 室	民具体験/豊見城市 とよみ小学校
69	15	金	県 民 ア ト リ エ	タマホーム㈱沖縄支店 進捗会議	107	22	金	美 術 館 講 座 室	盛和塾 勉強会
70	15	金	共講 有堂	琉大土木同窓会 60 周年記念講演会	108	22	金	県 民 ア ト リ エ	日新火災海上㈱ 代理店研修会（コンプライアンス研修）
71	15	金	共講 有堂	沖縄県文化振興会 第 48 回沖縄県芸術文化祭事前準備	109	22	金	県 民 ア ト リ エ	タマホーム㈱沖縄支店 進捗会議
72	16	土	博 物 館 講 座 室	アレイール浦添リヴィスタ管理組合 入居者セミナー・設立総会	110	22	金	スタジオ	沖縄出版協会 ミーティング
73	16	土	博 物 館 講 座 室	干瀬の会 ～古典文学に親しむ～ 『第 3 回 伊勢物語～喪失と懐古～』	111	23	土	博 物 館 講 座 室	沖縄土業ネットワーク協議会/沖縄県行政書士会 合同よろず相談会
74	16	土	博 物 館 実 習 室	OKINAWA アートワークショップ「漆喰シーサーに挑戦！」	112	23	土	博 物 館 実 習 室	マリアスズリリーアロマテラピースクール アロマ DE 楽しくセルフケア♪感染症予防・緩和のブレンドオイルを作ろう！
75	16	土	美 術 館 講 座 室	幸福の科学グループ 映画上映会	113	23	土	美 術 館 講 座 室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会
76	16	土	県 民 ア ト リ エ	おきみゅーで大人の美術教室「アクリルグワッシュで描く新都心のアコックロー」	114	23	土	共講 有堂	劇団綾船 「しまくとぅば」ワークショップ成果発表会しまくとぅばゆんたくあしびなーと喜劇劇「元の若さ」
77	16	土	県 民 ア ト リ エ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 11 月度定例理事会	115	24	日	博 物 館 講 座 室	公益社団法人日本リウマチ友の会沖縄支部 大会（医療講演）
78	16	土	こ ど も ア ト リ エ	おきみゅーで大人の美術教室「アクリルグワッシュで描く新都心のアコックロー」	116	24	日	美 術 館 講 座 室	しまくとぅばプロジェクト 「下地男で学ぶみゃーくふつ入門」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
117	24	日	スタジオ	沖縄県医師共同組合/RML株式会社/損保ジャパン日本興亜 ひまわり生命保険㈱ 沖縄県医師会会員向け経営セミナー	148	29 (金) ～ 30 (土)		県民 アトリエ	沖縄県文化振興会 第48回沖縄県芸術文化祭入 選作品保管 ※作品返却
118	26	火	博物館 講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 中堅社員向 け賃貸管理実務研修(2日間)	149	29 (金) ～ 30 (土)		こども アトリエ	沖縄県文化振興会 第48回沖縄県芸術文化祭入 選作品保管 ※作品返却
119	26	火	博物館 実習室	那覇市立さつき小学校/自主民具体験	150	1 (金) ～ 27 (水)		エントランス ホール	アートコンクール作品展【一角】
120	26	火	美術館 講座室	弁護士法人琉球法律事務所 第21回企業法務実 務セミナー	151	2	土	エントランス ホール	おきみゅー誕生祭 2019「クラシックコンサート」
121	26	火	スタジオ	(南海山社中 美ら島省エネ大作戦説明会	152	3	日	エントランス ホール	アートコンクール表彰式
122	26	火	共有 講堂	厚生労働省/沖縄労働局/㈱ジェイセブン 沖縄 治療と仕事の両立支援セミナー	153	3	日	エントランス ホール	おきみゅー誕生祭 2019「音楽ライブ」
123	27	水	博物館 講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 中堅社員向 け賃貸管理実務研修(2日間)	154	4	月	エントランス ホール	おきみゅー誕生祭 2019「舞踊&音楽ライブ」
124	27	水	博物館 実習室	久米島町立大岳小学校/オリエンテーション	155	28 (木) ～ 30 (土)		エントランス ホール	平和の祈り芸術展 2019 比企洋子個展『祈りの千 羽鶴』
125	27	水	博物館 実習室	三線調査会	156	1 (金) ～ 30 (土)		共有情報 センター	「レオ・レオーニ」絵本コーナー
126	27	水	美術館 講座室	(一社)沖縄県労働基準協会/(公社)全国労働基準関係団体連合会 沖縄県支部労務 管理セミナー「働き方改革・罰則付きの改正に対応する実務について学びませんか？」	157	1 (金) ～ 4 (月)		博物館 企画展示室	企画展『台湾展 -黒潮でつながる隣ジマ-』
127	28	木	博物館 実習室	サンパール ムコ多糖の説明会	158	6 (水) ～ 10 (日)		博物館 企画展示室	企画展『台湾展 -黒潮でつながる隣ジマ-』 撤 収
128	28	木	美術館 講座室	㈱とちぎテレビ 「平和の祈り芸術展」テレビ収 録出演者控室	159	11 (月) ～ 17 (日)		博物館 企画展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出 された遺産-』 準備
129	28	木	スタジオ	三基商事㈱ ミキグループ沖縄地区代理店会議	160	19 (火) ～ 30 (土)		博物館 企画展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出 された遺産-』
130	28	木	共有 講堂	㈱近代美術/ADLive㈱ 中小企業の重要課題解決セ ミナー「集客」～間違えないWeb活用の簡単ノウハウ～	161	1 (金) ～ 4 (月)		博物館特別 展示室1	企画展『台湾展 -黒潮でつながる隣ジマ-』
131	29	金	博物館 講座室	日本証券新聞リサーチ 日本証券新聞社主催おき ぎん証券協賛株式講演会	162	1 (金) ～ 4 (月)		博物館特別 展示室2	「沖縄のハジチ、台湾原住民族のタトゥーの歴史 と今」
132	29	金	博物館 講座室	(南)ギカン文化施設研究所/あけもどろの花 特別 講座「ノロ・ユタとは何か？」	163	6 (水) ～ 10 (日)		博物館特別 展示室1	企画展『台湾展 -黒潮でつながる隣ジマ-』 撤 収
133	29	金	博物館 実習室	オリエンテーション/沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校	164	5 (火) ～ 6 (水)		博物館特別 展示室2	「沖縄のハジチ、台湾原住民族のタトゥーの歴史 と今」 撤収
134	29	金	美術館 講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 2019年 度電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー	165	11 (月) ～ 17 (日)		博物館 特別展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出 された遺産-』 準備
135	29	金	スタジオ	タマホーム㈱沖縄支店 進捗会議	166	19 (火) ～ 30 (土)		博物館 特別展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出 された遺産-』
136	29	金	スタジオ	㈱森山写真商会 カメラのモリヤマ写真道場 写真展「 チャレンジ企画」第1弾 FUJIFILM X プレミアムセミナー	167	1 (金) ～ 4 (月)		美術館企画 ギャラリー1	上條文穂・波多野泉展
137	30	土	博物館 実習室	日本文教出版株式会社 日文セミナー中学校美術 科 in 沖縄	168	6 (水) ～ 10 (日)		美術館企画 ギャラリー1	上條文穂・波多野泉展 撤収
138	30	土	美術館 講座室	I Life/南山企画沖縄支店 「新興国を知れば世界経済がわか る！」フランス発運用コムジェスト来沖・特別資産形成セミナー	169	11 (月) ～ 14 (木)		美術館企画 ギャラリー1	第48回沖縄県芸術文化祭 準備
139	30	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 第12回 沖縄語教養講座	170	15 (金) ～ 24 (日)		美術館企画 ギャラリー1	第48回沖縄県芸術文化祭
140	30	土	スタジオ	シンジム 「心理学セミナー」	171	26 (火) ～ 27 (水)		美術館企画 ギャラリー1	第48回沖縄県芸術文化祭 撤収
141	30	土	共有 講堂	一般社団法人実践倫理宏正会 実践倫理壮年の集 い準備	172	30	土	美術館企画 ギャラリー1	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 第11回沖 縄ねんりんピックかりゆし美術展 準備
142	30	土	共有 講堂	園ピアノ教室・奈津子ピアノ教室・糸数ピアノ教 室 合同ピアノ発表会	173	1 (金) ～ 4 (月)		美術館企画 ギャラリー2	上條文穂・波多野泉展
143	2 (土) ～ 10 (日)		県民 アトリエ	博物館班 資料保管	174	6 (水) ～ 10 (日)		美術館企画 ギャラリー2	上條文穂・波多野泉展 撤収
144	2 (土) ～ 10 (日)		こども アトリエ	博物館班 資料保管	175	11 (月) ～ 14 (木)		美術館企画 ギャラリー2	第48回沖縄県芸術文化祭 準備
145	6 (水) ～ 8 (金)		スタジオ	博物館班 資料保管	176	15 (金) ～ 24 (日)		美術館企画 ギャラリー2	第48回沖縄県芸術文化祭
146	26 (火) ～ 28 (木)		県民 アトリエ	沖縄県文化振興会 第48回沖縄県芸術文化祭入 選作品保管	177	26 (火) ～ 27 (水)		美術館企画 ギャラリー2	第48回沖縄県芸術文化祭 撤収
147	26 (火) ～ 28 (木)		こども アトリエ	沖縄県文化振興会 第48回沖縄県芸術文化祭入 選作品保管	178	30	土	美術館企画 ギャラリー2	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 第11回沖 縄ねんりんピックかりゆし美術展 準備

【2019年12月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	博物館 講座室	デジタル民話上映会③	6	1	日	共有 講堂	実践倫理壮年の集い
2	1	日	博物館 講座室	表千家同門会沖縄県支部 教授者連絡会議	7	1	日	共有 講堂	透析シンポジウム
3	1	日	博物館 実習室	『琉球玩具への招待⑧創作張り子を作ろう』	8	3	火	博物館 講座室	情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC)
4	1	日	美術館 講座室	令和元年度 中小企業組合検定試験	9	3	火	博物館 実習室	民具体験/豊見城町立座安小学校
5	1	日	スタジオ	鄭氏義才門中会系図製作プロジェクト	10	3	火	共有 講堂	第11回 沖縄ねんりんピック記念大会 かりゆし 美術展オープニングセレモニー&表彰式

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
11	4	水	博物館 講 座 室	情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会 （CSEC）	49	12	木	博物館 講 座 室	ジブンハウス加盟説明会 in 沖縄
12	4	水	美術館 講 座 室	コミュニケーション力 UP セミナー&労働法ミニ 講座	50	12	木	美術館 講 座 室	かいぎんビジネスセミナー
13	4	水	共講 有 堂	オリエンテーション 南城市立大里南小学校	51	12	木	共講 有 堂	「種子是谁のもの？食と農のシンポジウム」
14	5	木	博物館 講 座 室	2019 年 火薬学会秋季全国大会第一会場【1 日目】	52	13	金	博物館 講 座 室	〔入門編〕古文書勉強会～博物館の収蔵・展示資 料をよむきっかけ～「掟十五条」をよむ
15	5	木	博物館 実 習 室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会	53	13	金	博物館 講 座 室	令和元年度 内閣府沖縄型産業中核人材育成事業 成果報告会
16	5	木	美術館 講 座 室	2019 年 火薬学会秋季全国大会 第二会場【1 日 目】	54	13	金	美術館 講 座 室	智創クラブ 研修及び討議
17	5	木	スタジオ	沖縄県外国人材インターンシップ活用セミナー	55	13	金	美術館 講 座 室	令和元年度 内閣府沖縄型産業中核人材育成事業 第 3 回 IIOT 実行委員会
18	6	金	博物館 講 座 室	2019 年 火薬学会秋季全国大会 第一会場【2 日 目】	56	14	土	博物館 講 座 室	学芸員講座「館所蔵「石碑」について～残された 「拓本」から考える～
19	6	金	博物館 講 座 室	経営品質研究会 12 月度定例会	57	14	土	美術館 講 座 室	智創クラブ 研修及び討議
20	6	金	博物館 実 習 室	民具体験/那覇市立 小祿南小学校	58	14	土	県 民 ア ト リ エ	『OKINAWA』アートワークショップ干支紅型でお 正月支度
21	6	金	美術館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議	59	14	土	こ ど も ア ト リ エ	『OKINAWA』アートワークショップ 干支紅型でお 正月支度
22	6	金	美術館 講 座 室	2019 年 火薬学会秋季全国大会 第二会場【2 日 目】	60	14	土	共講 有 堂	睦がんに関する公開講座
23	6	金	こ ど も ア ト リ エ	第 3 回 ISAT プロジェクト会議 ―持続可能な食品 残渣の再利用とタンパク源の回収―	61	14	土	共講 有 堂	宮城若狭音楽教室発表会
24	6	金	スタジオ	コールセンター運営会議 こくみん共済 COOP 全 労済	62	15	日	博物館 講 座 室	第 71 回 GODAC セミナー「南極で活躍する女性 たち」
25	6	金	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議	63	15	日	美術館 講 座 室	「下地勇で学ぶみゃーくふつ入門」
26	7	土	博物館 講 座 室	株式セミナー「年末の株価動向と新年相場の行方 をテクニカルで徹底分析！」	64	15	日	共講 有 堂	第 36 回未来の科学の夢絵画展
27	7	土	博物館 講 座 室	明星大学通信教育学部 科目修了試験	65	15	日	共講 有 堂	ピアノ発表会
28	7	土	博物館 実 習 室	しまくとうは講師養成講座中級	66	17	火	博物館 講 座 室	アートサポーター養成講座
29	7	土	博物館 実 習 室	㈱西鉄ホテルズ「2020 年度新規採用試験」	67	17	火	博物館 実 習 室	民具体験/那覇市立 安謝小学校
30	7	土	美術館 講 座 室	真喜志勉ドローイング展関連催事「真喜志勉 と アメリカーTOM MAX in USA, 1972-73」	68	17	火	博物館 実 習 室	焼き物制作
31	7	土	県 民 ア ト リ エ	企業理念研修 I	69	17	火	美術館 講 座 室	医療講演
32	7	土	スタジオ	わんぱくジュニア留学説明会	70	18	水	博物館 講 座 室	オリエンテーション/潮平小学校
33	7	土	共講 有 堂	障がい児保育への勘違い 現場最前線	71	18	水	博物館 講 座 室	うちなー観光ナビゲーター養成講座 第 2 回 ～ 沖縄の文化をもっと知ろう～
34	7	土	共講 有 堂	「琉球船と首里・那覇を描いた絵図史料」出版記 念シンポジウム	72	18	水	博物館 実 習 室	焼き物制作
35	8	日	博物館 講 座 室	サンゴ礁保全シンポジウム	73	18	水	美術館 講 座 室	沖縄県高等学校地理歴史科公民科教育研究会主催 令和元年度「社会科セミナー」
36	8	日	博物館 実 習 室	イングリッシュフェスティバル 2019 スピーチ・ス トーリーテリングコンテスト	74	18	水	こ ど も ア ト リ エ	株式会社リベル 面接会場
37	8	日	美術館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	75	18	水	スタジオ	医療費削減協議会 健康セミナー
38	8	日	美術館 講 座 室	第 9 回 EIGO コンテスト	76	19	木	博物館 講 座 室	リーダースキルアップセミナー
39	8	日	こ ど も ア ト リ エ	イングリッシュフェスティバル 2019 スピーチ・ ストーリーテリングコンテスト	77	19	木	博物館 実 習 室	焼き物制作
40	8	日	スタジオ	エントランスコンサート ハンドベル（机使用）	78	19	木	美術館 講 座 室	南部徳洲会病院医療講演会
41	8	日	共講 有 堂	HAPPY CONCERT 21	79	19	木	こ ど も ア ト リ エ	株式会社リベル 面接会場
42	10	火	博物館 講 座 室	アグリ技術シーズセミナーin 沖縄	80	19	木	スタジオ	2019 年度 アジア等 IT 人材交流育成事業 プリ ッジ SE 研修報告会
43	10	火	美術館 講 座 室	フォローアップ講習会	81	19	木	共講 有 堂	令和元年度沖縄県高齢者権利擁護研修会
44	10	火	共講 有 堂	令和元年度 沖縄地域エネルギー・温暖化対策推進 シンポジウム	82	20	金	博物館 講 座 室	2019 年度厚生労働省補助事業介護のしごと魅力 発信等事業
45	11	水	博物館 講 座 室	中小企業の重要課題解決セミナー [集客] ～間違 えない Web 活用の簡単ノウハウ～	83	20	金	博物館 実 習 室	焼き物制作
46	11	水	美術館 講 座 室	辻・本郷の税理士セミナー	84	20	金	美術館 講 座 室	沖縄銀行経営者塾「沖縄・山元塾」
47	11	水	共講 有 堂	令和元年度おきなわ子どもみらいサポート研修会「 特別養子縁組研修会～育ててもらうという選択～」	85	20	金	美術館 講 座 室	ふゆフェス 2019 1 日目
48	12	木	博物館 講 座 室	首里城ガイド 動作確認	86	20	金	共講 有 堂	沖縄ロジスティクスセミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
87	21	土	博物館 講 座 室	首里城公園友の会 文化講演会	111	1	日	エントランス ホ ー ル	平和の祈り芸術展 2019 比企洋子個展『祈りの千羽鶴』
88	21	土	博物館 実 習 室	文化講座第 2 会場	112	2 (月) ～ 15 (日)		エントランス ホ ー ル	GODAC セミナーに関する展示
89	21	土	美術館 講 座 室	ふゆフェス 2019 2 日目	113	8	日	エントランス ホ ー ル	おきみゆークリスマスキャロルコンサート
90	21	土	美術館 講 座 室	第 12 回 沖縄語教養講座	114	28	土	エントランス ホ ー ル	旧正月パネル展
91	21	土	美術館 講 座 室	沖縄美術の流れ G T	115	4 (水) ～ 6 (金)		県 民 ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議
92	21	土	共 講 有 堂	グスク展関連シンポジウム 1 「形から見たグスクの原点を探る」	116	4 (水) ～ 6 (金)		こ ど も ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議
93	22	日	博物館 講 座 室	首里城再興緊急学術シンポジウム (仮題) 首里城再興学術ネットワークキックオフ	117	10 (火) ～ 15 (日)		博 物 館 実 習 室	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科 第 35 回卒業作品展
94	22	日	博物館 実 習 室	特別展「グスク・ぐすく・城」関連催事 銭つくり体験「グスクから出土する琉球銭をつくる」	118	10 (火) ～ 15 (日)		ス タ ジ オ	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科 第 35 回卒業作品展
95	22	日	美術館 講 座 室	E アファン 非分解プレゼン勉強会	119	13 (金) ～ 15 (日)		博 物 館 講 座 室	首里城ガイド
96	22	日	共 講 有 堂	オカリナアンサンブル「詰音」コンサート	120	18 (水) ～ 20 (金)		県 民 ア ト リ エ	株式会社リベル 面接会場
97	24	火	博物館 実 習 室	エフコープとコープおきなわの交流会	121	1 (日) ～ 28 (土)		共 有 情 報 セ ン タ ー	「レオ・レオーニ」絵本コーナー
98	24	火	こ ど も ア ト リ エ	ECC ジュニア ホームティーチャー相談会	122	1 (日) ～ 28 (土)		博 物 館 企画展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産-』
99	25	水	博物館 実 習 室	三線調査会	123	1 (日) ～ 28 (土)		博 物 館 特別展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産-』
100	25	水	県 民 ア ト リ エ	㈱リベル 面接会場	124	1 (日) ～ 2 (月)		美術館企画 キ ャ ラ ー 1	第 11 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 準備
101	25	水	こ ど も ア ト リ エ	㈱リベル 面接会場	125	3 (火) ～ 8 (日)		美術館企画 キ ャ ラ ー 1	第 11 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展
102	26	木	県 民 ア ト リ エ	県芸祭作品保管・返却	126	10 (火) ～ 11 (水)		美術館企画 キ ャ ラ ー 1	第 11 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 撤収
103	26	木	ス タ ジ オ	第一生命 スタッフ研修会	127	17 (火) ～ 23 (月)		美術館企画 キ ャ ラ ー 1	作家と現在 準備
104	26	木	共 講 有 堂	第一生命 研修会	128	24 (火) ～ 28 (土)		美術館企画 キ ャ ラ ー 1	作家と現在
105	27	金	博物館 講 座 室	首里城ガイド	129	1 (日) ～ 2 (月)		美術館企画 キ ャ ラ ー 2	第 11 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 準備
106	27	金	博物館 講 座 室	オメガベネフィットシステム会社説明会	130	3 (火) ～ 8 (日)		美術館企画 キ ャ ラ ー 2	第 11 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展
107	27	金	博物館 実 習 室	琉大ハカセ塾	131	10 (火) ～ 11 (水)		美術館企画 キ ャ ラ ー 2	第 11 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 撤収
108	27	金	県 民 ア ト リ エ	県芸祭作品保管・返却	132	17 (火) ～ 23 (月)		美術館企画 キ ャ ラ ー 2	作家と現在 準備
109	28	土	博物館 講 座 室	首里城ガイド	133	24 (火) ～ 28 (土)		美術館企画 キ ャ ラ ー 2	作家と現在
110	28	土	県 民 ア ト リ エ	県芸祭作品保管・返却	134	28	土	博 物 館 屋外展示場	琉球古典音楽の世界-琉球伝統芸能の新しいカタチとデザイン-

【2020年 1 月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	4	土	博物館 講 座 室	首里城ガイド	13	10	金	博物館 講 座 室	〔入門編〕古文書勉強～博物館の収蔵・展示資料をよむきっかけ～「田里筑登之親雲上渡唐日記」をよむ
2	4	土	美術館 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 第 12 回沖縄語教養講座	14	10	金	博物館 講 座 室	首里城ガイド
3	5	日	博物館 講 座 室	首里城ガイド	15	10	金	博物館 実 習 室	民具体験/那覇市立石嶺小学校
4	5	日	共 講 有 堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 希望の家庭講演会	16	11	土	博物館 講 座 室	首里城ガイド
5	7	火	博物館 実 習 室	面接	17	11	土	博物館 講 座 室	沖縄朝鮮友好の会 沖縄朝鮮友好のつどい
6	7	火	美術館 講 座 室	メットライフ生命沖縄支社 2020 年 1 月度プロヂューサーミーティング	18	11	土	博物館 実 習 室	沖縄朝鮮友好の会 沖縄朝鮮友好のつどい
7	8	水	博物館 講 座 室	沖縄県教育委員会/㈱ケイオーパートナーズ 令和元年度 就職活動キックオフ推進事業内定者向け研修会	19	11	土	美術館 講 座 室	株式会社 IMI CORPORATION 「GOOD&NEW : 私の幸せ発表会」
8	8	水	博物館 実 習 室	株式会社リベル 面接会場	20	11	土	美術館 講 座 室	美術館コレクションギャラリー 1「真喜志勉 ドローイング展」 学芸員講座 キュレータートーク
9	8	水	美術館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 楽天勉強会	21	11	土	こ ど も ア ト リ エ	沖縄国税労働組合 第 3 回常任委員会
10	9	木	博物館 講 座 室	経営品質研究会 1 月度定例会	22	11	土	共 講 有 堂	アクア音楽院 第 16 回アクア音楽院発表会
11	9	木	博物館 講 座 室	株式会社 JTB 沖縄旅行営業部 第 13 回社の賑い沖縄関係機関向け説明会	23	12	日	博物館 講 座 室	琉球文化日本遺産推進協議会 球文化日本遺産シンポジウム市民講座
12	9	木	美術館 講 座 室	体験ツアーリズム普及推進事業 公共路線バスによる沖縄・日本遺産周遊体験ツアーリズム構築実証事業	24	12	日	博物館 講 座 室	第 109 回かりゆし倶楽部

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
25	12	日	博物館実習室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	63	19	日	共有講堂	グスク展関連シンポジウム2「遺跡から見た琉球列島のグスク時代」
26	12	日	美術館講座	（公社）沖縄県柔道整復師学術部 勉強会	64	19	日	共有講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会
27	12	日	美術館講座	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	65	21	火	博物館講座	沖縄銀行営業推進部預かり資産統括グループ「2020年新春セ共同ミナー」沖縄銀行・おきぎん証券
28	12	日	県民アトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 実技研修	66	21	火	博物館実習室	民具体験/那覇市立那覇小学校
29	12	日	こどもアトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 実技研修	67	21	火	美術館講座	美ら島財団 会議
30	13	月	博物館実習室	特別展「グスク・ぐすく・城」関連催事 銭つくり体験「グスクから出土する琉球銭をつくる	68	21	火	美術館講座	ファーストコールカンパニートップ沖縄
31	13	月	美術館講座	琉球大学医学部保健学科成人がん看護学 中高生・若年世代を対象とした子宮頸がん予防啓発セミナー	69	21	火	県民アトリエ	株式会社リベル 面接会場
32	13	月	県民アトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 実技研修	70	21	火	こどもアトリエ	株式会社リベル 面接会場
33	13	月	こどもアトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 実技研修	71	21	火	共有講堂	ブルームーンパートナーズ㈱ 情報通信産業の専門家によるセミナー
34	13	月	スタジオ	㈱プレナスワールド 医療費削減協議会健康セミナー	72	22	水	博物館講座	株式会社ミロク情報サービス「MJS AI 監査支援」セミナー
35	13	月	共有講堂	眞築城りか ピアノ発表会	73	22	水	博物館実習室	三線調査会
36	15	水	博物館講座	株式会社リベル 面接会場	74	22	水	博物館実習室	民具体験/那覇市立識名小学校
37	15	水	美術館講座	デジタルバンク株式会社/WMW九州（Webマーケティングワークショップ九州）WMW九州オープンセミナー	75	22	水	美術館講座	かいぎんビジネス倶楽部/沖縄海邦銀行/㈱海邦総研 かいぎんビジネスセミナー
38	15	水	共有講堂	沖縄県/公益社団法人沖縄県建築士会 ティーダフラッグス2019 プレゼンテーション&最終審査会（第8回沖縄県アンダー40設計競技）	76	22	水	スタジオ	うちなー芝居 リハーサル
39	16	木	博物館講座	沖縄観光コンベンションビューロー うちなー観光ナビゲーター養成講座	77	23	木	博物館講座	（公財）日本賃貸住宅管理協会 沖縄県支部 不動産賃貸管理業におけるクレーム対応セミナー
40	16	木	博物館実習室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会	78	23	木	博物館実習室	民具体験/城南小学校
41	16	木	博物館実習室	民具体験/浦添市立仲西小学校	79	23	木	美術館講座	地域連携プラットフォーム事業 受託コンソーシアム/沖縄県雇用政策課/㈱ワンスペース 地域連携プラットフォーム事業 コーディネーター研修
42	16	木	美術館講座	福井コンピューターアーキテクト株式会社 A-Style フォーラム 愛知	80	23	木	共有講堂	那覇市/沖縄 IT イノベーション戦略センター 地域未来投資事業（第4次産業革命人材育成事業）一般市民向けセミナー
43	16	木	共有講堂	沖縄県所有不明土地連携協議会/㈱日本能率協会総合研究所 所有者不明土地問題に関する講習会・講演会	81	24	金	博物館講座	㈱阪急交通社 海外旅行大説明会 第一会場
44	17	金	博物館講座	NTT 労組沖縄分会 2019 年度 第2回 全班長研修会議	82	24	金	博物館実習室	オリエンテーション/糸満小学校
45	17	金	博物館講座	ハイスайプロジェクト事務局/㈱ラジカル沖縄 ハイスайプロジェクト女性のための合同企業説明会	83	24	金	美術館講座	㈱阪急交通社 海外旅行大説明会 第二会場
46	17	金	博物館実習室	サンパール 勉強会	84	24	金	スタジオ	株式会社Eファン 非分解プラセンタ勉強会
47	17	金	博物館実習室	民具体験/那覇市立金城小学校	85	24	金	共有講堂	沖縄県/沖縄県文化協会 新春文化講演
48	17	金	美術館講座	沖縄銀行 経営者塾「沖縄・山元塾」	86	24	金	共有講堂	オリエンテーション/読谷村立喜名小学校
49	17	金	スタジオ	うちなー芝居 リハーサル	87	25	土	博物館講座	沖縄県高等学校教頭・副校長会
50	17	金	共有講堂	JA 共済連沖縄/JA おきなわ 令和元年度 JA 共催全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール表彰式準備	88	25	土	博物館講座	公益社団法人映像文化製作者連盟/㈱シネマ沖縄 映画文連アワード2018 受賞作品上映会 in 沖縄
51	18	土	博物館講座	首里城ガイド	89	25	土	博物館実習室	旧正月イベント ナントゥづくり
52	18	土	博物館講座	琉球大学医学部付属病院/沖縄県臨床細胞学会/琉球大学大学院医学研究科腫瘍病理学講座 第4回 AIPO 病理セミナー	90	25	土	美術館講座	久米島研究会 「2019 年度第4 回研究会」
53	18	土	博物館実習室	臨床細胞診断学研究会（定例会）	91	25	土	県民アトリエ	ピーライフアシスト合同会社 社内研修
54	18	土	美術館講座	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会	92	25	土	こどもアトリエ	旧正月イベント
55	18	土	県民アトリエ	九州工業大学/高大接続・教育連携機構 九州工業大学 JSS in 沖縄 2020	93	25	土	スタジオ	沖縄県/㈱環境エネルギー総合研究所 令和元年度沖縄県地球温暖化防止活動推進員研修1 日目
56	18	土	こどもアトリエ	九州工業大学 JSS in 沖縄 2020	94	25	土	共有講堂	旧正月イベント うちなー芝居『棒しばり』
57	18	土	スタジオ	わんぱくジュニア留学説明会	95	26	日	博物館実習室	旧正月イベント ナントゥづくり
58	18	土	共有講堂	JA 共済連沖縄/JA おきなわ 令和元年度 JA 共催全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール表彰式	96	26	日	美術館講座	「下地勇で学ぶみゃーくふつ入門」
59	18	土	共有講堂	博物館文化講座「琉球の刺繍について」	97	26	日	県民アトリエ	ピーライフアシスト合同会社 社内研修
60	19	日	博物館講座	株式会社トリムフーズ 社員総会	98	26	日	こどもアトリエ	旧正月イベント
61	19	日	博物館実習室	グスク展関連シンポジウム「遺跡から見た琉球列島のグスク時代」第2会場	99	26	日	スタジオ	沖縄県/㈱環境エネルギー総合研究所 令和元年度沖縄県地球温暖化防止活動推進員研修2 日目
62	19	日	美術館講座	「作家の視点、作品の視点ギャラリートーク」	100	26	日	共有講堂	小祿高等学校芸術教養コース 第19 回音楽専攻コース発表会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	26	日	共講 有堂	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター/株式会社沖縄コングレ 第31回 IPIC 学術集会市民公開講座	119	31	金	博 物 館 実 習 室	環境省/株式会社ヒップ 令和元年度中皮腫の診断精度向上のための講習会
102	28	火	博 物 館 講 座 室	（仮）株式会社 Nansei 3DCAD 発表会	120	31	金	美 術 館 講 座 室	環境省/株式会社ヒップ 令和元年度中皮腫の診断精度向上のための講習会
103	28	火	博 物 館 実 習 室	（仮）株式会社 Nansei 3DCAD 発表会	121	31	金	博 物 館 講 座 室	エルケア医療保育専門学校 保育発表会
104	28	火	美 術 館 講 座 室	株式会社リベル 面接会場	122	2（木）～ 26（日）		エントランス ホー ル	旧正月パネル展
105	28	火	県 民 ア ト リ エ	株式会社オリトラ 健康セミナー	123	7（火）～ 26（日）		エントランス ホー ル	「シマのムラ～掘り出された八重山の近世集落～」展
106	28	火	こども ア ト リ エ	南条喜久子/南条喜久子バレー研究所 座談会	124	19	日	エントランス ホー ル	おきみゅープロムナードコンサート
107	28	火	スタジオ	ソニー生命保険 法人向け特別研修	125	26	日	エントランス ホー ル	旧正月はおきみゅーに行こう！2020『島唄ライブ』
108	28	火	共講 有堂	内閣府沖縄総合事務局 令和元年度エネルギー管理功績者及びエネルギー管理優良工場等表彰式	126	22（水）～ 24（金）		県 民 ア ト リ エ	旧正月イベント控室
109	28	火	共講 有堂	内閣府沖縄総合事務局/県環境エネルギー総合研究所 令和元年度 エネルギー利用合理化ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ	127	22（水）～ 24（金）		こども ア ト リ エ	旧正月イベント控室
110	29	水	博 物 館 講 座 室	国立大学法人琉球大学医学部/琉球大学医学部先端医学研究センターバイオバンク分野 沖縄県先端医療技術実用化促進事業「沖縄県の健康長寿復興を旨とした疾患ゲノム研究」研究推進委員会	128	2（木）～ 19（日）		博 物 館 企画展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産-』
					129	20（月）～ 26（日）		博 物 館 企画展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産-』 撤収
111	29	水	美 術 館 講 座 室	株式会社サン・エージェンシー 第3 四半期検証会議（定例会議）	130	28（火）～ 31（金）		博 物 館 企画展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー準備
112	29	水	共講 有堂	沖縄県工業教育研究会/沖縄県高等学校文化連盟 第25 回沖縄県工業高等学校生と意見・体験発表大会・第30 回沖縄県工業高等学校生徒研究成果発表会	131	2（木）～ 19（日）		博 物 館 特別展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産-』
113	29	水	共講 有堂	国立大学法人琉球大学医学部/琉球大学医学部先端医学研究センターバイオバンク分野 沖縄県先端医療技術実用化促進事業「沖縄県の健康長寿復興を旨とした疾患ゲノム研究」シンポジウム	132	20（月）～ 26（日）		博 物 館 特別展示室	特別展『グスク・ぐすく・城-動乱の時代に生み出された遺産-』 撤収
					133	28（火）～ 31（金）		博 物 館 特別展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー準備
114	30	木	博 物 館 講 座 室	㈱オリコム 令和元年度国内・海外富裕層向けプロモーション事業における第4 回ネットワーク会議	134	2（木）～ 31（金）		美術館企画 ギャラリー1	作家と現在
115	30	木	美 術 館 講 座 室	㈱あしたのチーム沖縄支社 働き方改革推進セミナー・人事評価制度構築・運用支援サービスを主軸とする事業	135	2（木）～ 31（金）		美術館企画 ギャラリー2	作家と現在
116	30	木	共講 有堂	沖縄県工業教育研究会/沖縄県高等学校文化連盟 第25 回沖縄県工業高等学校生と意見・体験発表大会・第30 回沖縄県工業高等学校生徒研究成果発表会	136	2（木）～ 31（金）		共有情報 センター	「レオ・レオーニ」絵本コーナー
117	31	金	博 物 館 講 座 室	沖縄協同病院リハビリテーション室 2019 年度リハビリ技術者交流会	137	2（木）～ 31（金）		共有講堂前 ホワイエ	『在りし日の首里城』写真パネル展
118	31	金	博 物 館 講 座 室	内閣府沖縄総合事務局/株式会社リゅうせきフロントライン ハイサイプロジェクト事務局 自分らし就職活動の進め方講座					

【2020年2月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	土	共講 有堂	エルケア医療保育専門学校 保育発表会	17	5	水	博 物 館 講 座 室	ハイサイプロジェクト シニアのための合同企業説明会
2	1	土	博 物 館 講 座 室	コープおきなわ 「がんを生きる」講演会	18	5	水	博 物 館 実 習 室	自主民具体験/開南小学校
3	1	土	博 物 館 講 座 室	沖縄協同病院リハビリテーション室 2019 年度リハビリ技術者交流集会	19	5	水	美 術 館 講 座 室	㈱日本デジタル研究所 JDL システム活用セミナー
4	1	土	博 物 館 実 習 室	環境省/株式会社ヒップ 令和元年度中皮腫の診断精度向上のための講習会	20	5	水	県 民 ア ト リ エ	グラクソ・スミスクライン株式会社 A-KAIZEN 会議
5	1	土	美 術 館 講 座 室	環境省/株式会社ヒップ 令和元年度中皮腫の診断精度向上のための講習会	21	5	水	スタジオ	沖縄県芸術文化講座開催等事業運営実行委員会/（一社）沖縄県作業療法士会 第15 回こころの芸術・文化フェスティバル
6	1	土	県 民 ア ト リ エ	日本結び文化学会 日本結び文化学会 in 沖縄	22	6	木	共講 有堂	ブルームーンパートナーズ㈱ キャリア教育支援・キャリアアップ支援イベント
7	1	土	スタジオ	沖縄協同病院リハビリテーション室 2019 年度リハビリ技術者県連法人代表者会議	23	6	木	博 物 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県ホテル協会 令和元年度沖縄型産業中核人材育成「魅力と競争力のある顧客体験を生み出す組織リーダーとしてのホテル GM
8	2	日	共講 有堂	大学コンソーシアム沖縄 公開講座	24	6	木	博 物 館 実 習 室	沖縄県中小企業団体中央会 組織化検討会
9	2	日	博 物 館 講 座 室	沖縄県教育庁生涯学習振興課 「世界遺産×ESD：私たちの宝物を守り活かす学びとは」	25	6	木	美 術 館 講 座 室	沖縄メディカルライブラリー研究会 2020 年度総会・第46 回研修会
10	2	日	美 術 館 講 座 室	琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学 公開講座「いのちの授業」を体験し、親子でがんについて学ぼう	26	6	木	県 民 ア ト リ エ	沖縄県中小企業家同友会 那覇支部北地区例会
11	2	日	県 民 ア ト リ エ	日本結び文化学会 日本結び文化学会 in 沖縄	27	6	木	県 民 ア ト リ エ	一般社団法人倫理研究所 秋津書道・しまなみ短歌指導資格認定試験の筆記実技審査
12	2	日	スタジオ	鄭氏義才門中 系図製作プロジェクト会議	28	6	木	こども ア ト リ エ	沖縄県中小企業家同友会 那覇支部北地区例会
13	4	火	共講 有堂	沖縄県芸術文化講座開催等事業運営実行委員会/（一社）沖縄県作業療法士会 第15 回こころの芸術・文化フェスティバル	29	6	木	スタジオ	沖縄県芸術文化講座開催等事業運営実行委員会/（一社）沖縄県作業療法士会 第15 回こころの芸術・文化フェスティバル
14	4	火	博 物 館 実 習 室	㈱サンペール サンペール勉強会	30	7	金	共講 有堂	沖縄振興開発金融公庫互助会 MADE in うちな～お笑い鑑賞会
15	4	火	美 術 館 講 座 室	弁護士法人琉球法律事務所 第21 回 企業法務実務セミナー	31	7	金	共講 有堂	専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー 卒業制作発表（リハーサル）
16	4	火	スタジオ	沖縄県芸術文化講座開催等事業運営実行委員会/（一社）沖縄県作業療法士会 第15 回こころの芸術・文化フェスティバル	32	7	金	博 物 館 講 座 室	㈱SRJ ㈱エデュケーションアルネットワーク共催 教材展示会・教育セミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
33	7	金	博物館講義室	（南）ギガン文化施設研究所 あけもどろの花（首里王府の芸能とは？）	71	15	土	共有堂	博物館文化講座「博物館文化講座「琉球王国のモノ作り ～金工品とガラス玉を中心に～」」
34	7	金	博物館実習室	民具体験/南風原町立津嘉山小学校	72	15	土	博物館講義室	沖縄県高等学校教頭・副校長会
35	7	金	美術館講義室	経営品質研究会 2 月度定例会	73	15	土	博物館講義室	中部興産株式会社 不動産に強いファイナンシャルプランナーが教える（不動産オーナーの納税資金を減らす方法とお金の残し方）
36	7	金	美術館講義室	一般財団法人日本科学技術連盟/（株）シーヴィ・コンベンション JSTQB 認定テスト技術者資格試験準備	74	15	土	博物館実習室	沖縄県しまくとぅば普及センター/沖縄国際大学南島文化研究所 しまくとぅば講師養成講座初級認定再試験
37	7	金	スタジオ	（株）リベル 面接会場	75	15	土	美術館講義室	沖縄県合同輸血療法委員会/沖縄県赤十字血液センター 沖縄県輸血懇話会 2020
38	8	土	共有堂	那覇市歴史博物館那覇市文化財課 伊江御殿家関係資料重要文化財指定記念シンポジウム	76	15	土	美術館講義室	弁護士法人琉球法律事務所 弁護士による無料相続遺言セミナー
39	8	土	博物館講義室	学芸員講座「博物館における民族研究について～自然と人とのかわり～」	77	15	土	県民アトリエ	『OKINAWA』アートワークショップ 2019「琉球漆器・沈金を楽しもう」
40	8	土	美術館講義室	一般財団法人日本科学技術連盟/（株）シーヴィ・コンベンション JSTQB 認定テスト技術者資格試験	78	15	土	こどもアトリエ	『OKINAWA』アートワークショップ 2019「琉球漆器・沈金を楽しもう」
41	8	土	県民アトリエ	沖縄県造形教育連盟 理事会	79	15	土	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第 31 回卒業・修了作品展
42	8	土	こどもアトリエ	株式会社フクチブランニング リノベセミナー+「個別相談会」	80	16	日	共有堂	特別展記念シンポジウム「模造復元で紐解く琉球の美」
43	9	日	共有堂	上原明美 第 14 回ピアノ発表会	81	16	日	共有堂	沖縄県/沖縄県歯科医師会 糖尿病と歯周病に関する県民公開講座
44	9	日	博物館講義室	はこわち研修準備	82	16	日	博物館講義室	NPO 法人統合医療と健康を考える会 がん治療の鍵講演会
45	9	日	博物館講義室	育英義塾教員養成学院 明星大学通信教育学部科目修了試験	83	16	日	美術館講義室	特別展記念シンポジウム「模造復元で紐解く琉球の美」第二会場
46	9	日	博物館実習室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	84	16	日	県民アトリエ	沖縄県立芸術大学付属研究所/（株）琉球新報 しまくとぅばで学ぶ「踊り・うた・三線」
47	9	日	美術館講義室	しまくとぅばプロジェクト 「下地勇で学ぶみゃーくふ入門」	85	16	日	こどもアトリエ	沖縄県立芸術大学付属研究所/（株）琉球新報 しまくとぅばで学ぶ「踊り・うた・三線」
48	9	日	県民アトリエ	沖縄県高等学校文化連盟美術・工芸専門部/沖縄県高等学校美術工芸教育研究会 第 51 回全沖縄高等学校・特別支援学校美術工芸教育作品展「理事会」	86	16	日	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第 31 回卒業・修了作品展
49	9	日	スタジオ	株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会健康セミナー	87	22	土	博物館講義室	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 設立 10 周年記念シンポジウム
50	11	火	美術館講義室	株式会社 Niche（ニッチ） 沖縄県外国人材インターンシップ事業報告会	88	22	土	博物館実習室	（株）編織工学研究所イシス編集学校 ISIS フェスタエディットツアースペシャル 2020 冬沖縄会場
51	11	火	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第 31 回卒業・修了作品展 展示準備	89	22	土	博物館実習室	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 2 月度定例理事会
52	12	水	共有堂	公益財団法人沖縄県産業振興公社 OKINAWA ソーシャルイノベーションフォーラム～沖縄からみらいを拓く社会価値の創造～	90	22	土	美術館講義室	與那覇利生子 障がい児が楽しく学び、賢く遊ぶ実践型イベント
53	12	水	博物館講義室	県総務会議	91	22	土	県民アトリエ	ZAORIC 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2020『みんなで珊瑚ニットブローチワークショップ』
54	12	水	博物館講義室	那覇商工会議所/沖縄県事業承継ネットワーク 経営者講演会事業承継を経験された社長が語ります！	92	22	土	こどもアトリエ	任意団体 LitteratiJapan 二宮あみ/沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2020『ゴミアートワークショップ』
55	12	水	博物館実習室	民具体験/銘苅小学校	93	23	日	博物館講義室	京都造形芸術大学通信教育学部 芸術学会講座「野良芸術のすめ-芸術の収集から芸術的暮らしへ-社民賢の旅」
56	12	水	美術館講義室	辻・本郷税理士法人沖縄事務所 令和 2 年度税制改正セミナー	94	23	日	博物館講義室	NPO 法人エデンプロジェクト 「ごみを宝に」出版記念会
57	12	水	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第 31 回卒業・修了作品展	95	23	日	博物館実習室	（株）Hobby World Marine 沖縄 地方創生は海洋創生
58	13	木	共有堂	専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー 卒業制作発表（リハーサル）	96	23	日	美術館講義室	本物の幼児教育とは？学ぶことが楽しい！学ぶことがクセになる！
59	13	木	博物館講義室	株式会社エスエフシー ハラスメント対策セミナー・相談会	97	23	日	こどもアトリエ	一般社団法人キョリオス沖縄/沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2020『気になる、だけど名前も知らない！ダイバーや観客者のための「ソフトコーラル」』
60	13	木	博物館実習室	沖縄県立美咲特別支援学校/オリエンテーション	98	24	月	博物館講義室	独立行政法人国際協力機構（JICA）沖縄センター エルサルパドル国を知ろう！！-コーヒーの産地×内戦の記憶
61	13	木	美術館講義室	大鏡建設株式会社 CRE セミナー	99	26	水	共有堂	ステップワールド日本語学院 スピーチコンテスト
62	13	木	県民アトリエ	（株）リベル 面接	100	26	水	博物館講義室	沖縄県行政書士会 令和元年度行政書士記念日講演会
63	13	木	こどもアトリエ	（株）リベル 面接会場	101	26	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線調査会
64	13	木	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第 31 回卒業・修了作品展	102	26	水	美術館講義室	ビッグマリオンぶち沖縄ビトン学習教室 中間支援機能拡大に向けた支援プログラム第 3 回
65	14	金	共有堂	専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー 卒業制作発表	103	26	水	県民アトリエ	株式会社リベル 面接会場
66	14	金	博物館講義室	かいぎんビジネス倶楽部/（株）海邦総研 かいぎんビジネスセミナー	104	26	水	こどもアトリエ	株式会社リベル 面接会場
67	14	金	博物館実習室	民具体験/那覇市立 松川小学校	105	26	水	スタジオ	税理士法人ダイヤモンド経営 相続・家族信託セミナー
68	14	金	美術館講義室	沖縄塾 勉強会	106	27	木	共有堂	サイテックレッジ那覇 国際情報ビジネス科 学習発表会
69	14	金	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第 31 回卒業・修了作品展	107	27	木	博物館実習室	民具体験/那覇市立大道小学校
70	15	土	共有堂	第 34 回人権啓発研究会実行委員会/一般社団法人部落解放・人権研究所 第 34 回人権啓発研究会プレイベント	108	27	木	美術館講義室	大東建設協力会沖縄工事支部 墜落制止用器具特別教育開催報告書

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
109	27	木	スタジオ	絆NMNクラブ絆ジャパン 事業説明会	123	8 (土) ～ 11 (火)		美術館企画 ギャラリー2	沖縄県立芸術大学 第31回卒業・終了作品展準備
110	28	金	共 有 講 座	那覇東地区宅地建物取引業者会/那覇西地区宅地 建物取引業者会 家主セミナー	124	12 (水) ～ 16 (日)		美術館企画 ギャラリー2	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第31 回卒業・終了作品展
111	28	金	共 有 講 座	沖縄県農林水産部 営農支援課 令和元年度農業 危害防止講習会	125	22 (土) ～ 27 (木)		美術館企画 ギャラリー2	みんなのレオ・レオーニ展 準備
112	28	金	博 物 館 実 習 室	協議会	126	28 (金) ～ 29 (土)		美術館企画 ギャラリー2	みんなのレオ・レオーニ展
113	28	金	美 術 館 講 座 室	沖縄県商工労働部ものづくり振興課/ゆいまーる沖縄株 式会社 沖縄県工芸製品新ニーズ創出事業成果報告会	127	9	日	エントランス ホー ル	エントランス定期コンサート「木管五重奏（琉球 交響楽団）」
114	29	土	共 有 講 座	Webrex/CSS Nite 実行委員会/㈱アンカパー/㈱コレボ/ ㈱コンセント/㈱フラッグ CSS Nite Okinawa vol.11	128	11 (火) ～ 16 (日)		エントランス ホー ル	沖縄県立芸術大学 第31回卒業・終了作品展
115	1 (土) ～ 2 (日)		美術館企画 ギャラリー1	作家と現在	129	22 (土) ～ 29 (土)		エントランス ホー ル	サンゴ礁ウィーク パネル展
116	4 (火) ～ 7 (金)		美術館企画 ギャラリー1	作家と現在 撤収	130	1 (土) ～ 29 (土)		共有講堂前 ホワイエ	『在りし日の首里城』写真パネル展
117	8 (土) ～ 11 (火)		美術館企画 ギャラリー1	沖縄県立芸術大学 第31回卒業・終了作品展準備	131	1 (土) ～ 3 (月)		博 物 館 企画展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー準備
118	12 (水) ～ 16 (日)		美術館企画 ギャラリー1	沖縄県立芸術大学 第31回卒業・終了作品展	132	4 (火) ～ 29 (土)		博 物 館 企画展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー
119	22 (土) ～ 27 (木)		美術館企画 ギャラリー1	みんなのレオ・レオーニ展 準備	133	1 (土) ～ 3 (月)		博 物 館 特別展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー準備
120	28 (金) ～ 29 (土)		美術館企画 ギャラリー1	みんなのレオ・レオーニ展	134	4 (火) ～ 29 (土)		博 物 館 特別展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー
121	1 (土) ～ 2 (日)		美術館企画 ギャラリー2	作家と現在	135	1 (土) ～ 27 (木)		共 有 情 報 セ ン ター	「レオ・レオーニ」絵本コーナー
122	4 (火) ～ 7 (金)		美術館企画 ギャラリー2	作家と現在 撤収					

【2020年3月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	美 術 館 講 座 室	しまくとうばプロジェクト 「下地勇で学ぶみや ーくふつ入門」	20	24	火	博 物 館 講 座 室	デジタルミュージアム 記者発表
2	5	木	博 物 館 講 座 室	沖縄県商工会議所連合会 食品表示表 HACCP 対応 セミナー	21	24	火	博 物 館 実 習 室	株式会社リベル 面接会場
3	5	木	博 物 館 実 習 室	株式会社リベル 面接会場	22	24	火	県 民 ア トリエ	株式会社リベル 面接会場
4	6	金	博 物 館 実 習 室	株式会社リベル 面接会場	23	25	水	スタジオ	2021 年度 求人おきなわ 新卒採用試験
5	6	金	美 術 館 講 座 室	沖縄県中小企業団体中央会 事業報告会及び第3 回運営会議	24	25	水	共 有 講 座	ピアノメンテナンス
6	7	土	共 有 講 座	尚学院国際ビジネスアカデミー メディア部作品 「ストレプトカーパス」上映会	25	26	木	博 物 館 講 座 室	株式会社ベストライフ 経営方針発表会 2020
7	8	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	26	29	日	博 物 館 講 座 室	社会福祉法人名護学院障害者就業・生活支援センター ティーダ&チム チム 午前：自閉症の理解と支援 午後：障害者雇用の進め方と職場定着
8	10	火	共 有 講 座	学校法人三幸学園飛鳥未来きずな高等学校沖縄キ ャンパス 2019 年度未来期卒業式	27	29	日	美 術 館 講 座 室	フリーベル大道セルカセントロ管理組合 定期総 会
9	11	水	博 物 館 実 習 室	株式会社リベル 面接会場	28	1 (日) ～ 8 (日)		エントランス ホー ル	サンゴ礁ウィーク パネル展
10	11	水	美 術 館 講 座 室	沖縄塾 勉強会	29	17 (火) ～ 31 (火)		エントランス ホー ル	みんなのレオ・レオーニ展関連展示
11	11	水	共 有 講 座	沖縄県（健康長寿課）/㈱エマエンタープライズ 2020 受動喫煙 防止対策シンポジウム『受動喫煙のない沖縄をめざそう！（仮称）』	30	1 (日) ～ 15 (日)		博 物 館 企画展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー
12	12	木	博 物 館 実 習 室	株式会社リベル 面接会場	31	16 (月) ～ 22 (日)		博 物 館 企画展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー 撤収
13	13	金	美 術 館 講 座 室	大光電機㈱ DAIKOライティングセミナー	32	23 (月) ～ 31 (火)		博 物 館 企画展示室	展示環境調整期間
14	18	水	美 術 館 講 座 室	株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会	33	1 (日) ～ 15 (日)		博 物 館 特別展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー
15	19	木	県 民 ア トリエ	沖縄・離島の子ども派遣基金事業内定実行団体オ リエンテーション	34	16 (月) ～ 22 (日)		博 物 館 特別展示室	琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展 手わざー琉球王国の文化ー 撤収
16	20	金	美 術 館 講 座 室	サルヴァトーレ株式会社/株式会社ライフアカデ ミー 辻・安全食品社長セミナー	35	23 (月) ～ 31 (火)		博 物 館 特別展示室	展示環境調整期間
17	21	土	美 術 館 講 座 室	（公社）日本建築家協会沖縄支部 琉球浪漫 2020「首里城の輪郭」展 ～首里城から考える～第23回卒業設計作品選奨・沖縄未来塾の開催	36	1 (日) ～ 31 (火)		美術館企画 ギャラリー1	みんなのレオ・レオーニ展
18	22	日	県 民 ア トリエ	琉球オペラ	37	1 (日) ～ 31 (火)		美術館企画 ギャラリー2	みんなのレオ・レオーニ展
19	22	日	こ ど も ア トリエ	琉球オペラ	38	1 (日) ～ 31 (火)		共有講堂前 ホワイエ	『在りし日の首里城』写真パネル展

3 県民ギャラリー貸出件数

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
1	県民ギャラリー1	4月16日(火)～4月21日(日)	仲間富美・大坪葉子 作品展	大坪葉子
2	県民ギャラリー1	4月24日(水)～4月28日(日)	公文大里仲間・那覇真嘉比・壺川書写教室成果発表会	公文大里仲間書写教室
3	県民ギャラリー1	4月30日(火)～5月5日(日)	シャドーボックス作品展	四美会
4	県民ギャラリー2	4月30日(火)～5月5日(日)	ひと派展	ひと派の会
5	県民ギャラリー1.2.3	5月8日(木)～5月12日(日)	第15回 龍賓・曹源書道展	龍賓曹源書道会
6	県民ギャラリー1.2	5月16日(木)～5月19日(日)	UMARE Birth Photo 展	牧内 美希
7	県民ギャラリー1	5月29日(水)～6月2日(日)	2019 生命展	アジア新美術交流会
8	県民ギャラリー2	5月29日(水)～5月31日(金)	水と風 そして沖縄	朴 完周
9	県民ギャラリー1.2	6月4日(火)～6月9日(日)	琉球大田焼窯元：平良幸春ファミリー展	平良幸春
10	県民ギャラリー3	6月6日(木)	山東省沖縄書道友好交流	プロデュース沖縄合同会社
11	県民ギャラリー1	6月11日(火)～6月16日(日)	第37回沖縄広告賞展	沖縄広告協会
12	県民ギャラリー3	6月11日(火)～6月16日(日)	國吉清尚・清雲兄弟展	國吉 清雲
13	県民ギャラリー1.2	6月18日(火)～6月23日(日)	36回 日本現代美術協会 沖縄県支部展	日本現代美術協会 沖縄県支部
14	県民ギャラリー3	6月18日(火)～6月23日(日)	沖縄の美ら海・美ら島展	宮里 旭
15	県民ギャラリー1	7月9日(火)～7月14日(日)	色彩のチャンブルー絵画展	佐川 毅彦
16	県民ギャラリー2.3	7月9日(火)～7月15日(月)	カギナナムイ 2008～2019	長崎健一カギナナムイ展 実行委員会
17	県民ギャラリー1.2.3	7月19日(金)～7月21日(日)	国際文化科学コース国際バカロレア・ディプログラムVisual arts 展覧会	学校法人尚学学園沖縄尚学高等学校
18	県民ギャラリー1	7月23日(火)～7月28日(日)	5th ART GROUP MAX国吉真正・大城元臣・目加田博史 3人展	ART GROUP MAX
19	県民ギャラリー1.2.3	7月30日(火)～8月4日(日)	2019年度 第25回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭	沖縄県特別支援学校中学部
20	県民ギャラリー1	8月6日(火)～8月11日(日)	～指で描く世界～ finger painter Yukako 展	西村 由郁子
21	県民ギャラリー2.3	8月6日(火)～8月12日(月)	JAGDA OKINAWAグラフィックデザイン展2019	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 沖縄地区
22	県民ギャラリー1.2.3	8月14日(火)～8月18日(日)	「美術の先生が作った作品展VOL.7」	美術の先生が作った作品展 実行委員会
23	県民ギャラリー 前中庭	8月14日(火)～8月18日(土)	「美術の先生が作った作品展VOL.7」	美術の先生が作った作品展 実行委員会
24	県民ギャラリー1	8月23日(金)～8月25日(日)	Tumunui Art Exhibition 新進気鋭のアーティストによる驚異の表現	社会福祉法人 トゥムヌイ福祉会
25	県民ギャラリー3	8月23日(金)～8月25日(日)	私の好きな写真～合同写真展	小祿 舞音
26	県民ギャラリー1.2.3	8月27日(火)～9月1日(日)	第3回 いずみの森美術館展	医療法人 和泉会
27	県民ギャラリー2.3	9月3日(火)～9月8日(日)	平良武二・平良克之 油彩・写真展	平良武二・平良克之
28	県民ギャラリー1	9月4日(火)～9月8日(日)	筆文字あ～と展	(有)アーバンクラフト
29	県民ギャラリー1.2	9月10日(火)～9月15日(日)	第21回 沖縄県真弓書道展	沖縄県真弓書道会
30	県民ギャラリー3	9月15(日)	市民公開講座「肝臓の病気を正しく理解するために」展示	琉球大学医学部附属病院 肝臓患相談
31	県民ギャラリー1	9月18日(水)～9月23日(月)	写真展「この大地、奪われし人々」	菊池 和子
32	県民ギャラリー2	9月18日(水)～9月28日(土)	島嶼工藝展	国立台東生活美学館
33	県民ギャラリー3	9月19日(木)～9月22日(日)	おっさん二人の写真展	友利ともりの愉快的仲間たち
34	県民ギャラリー1	9月25日(水)～9月29日(日)	山里永作/サンリョンツオ作品展	山里 永作
35	県民ギャラリー3	9月25日(木)～9月29日(日)	第4回太陽展「なんじゃらもんじゃらアート」～ペナント～	NP0法人地域福祉保健推進協会
36	県民ギャラリー1.2.3	10月3日(木)～10月6日(日)	「第43回沖縄県高等学校総合文化祭美術・工芸部門 作品展	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
37	県民ギャラリー1	10月8日(火)～10月13日(日)	くむくくるの会展	くむくくるの会
38	県民ギャラリー2	10月8日(火)～10月13日(日)	昇河展	土と言葉の美術館
39	県民ギャラリー3	10月8日(火)～10月13日(日)	COSMIC ART RIE 展	徳田理江
40	県民ギャラリー1.2	10月16日(水)～10月20日(日)	第26回 肢体不自由児・者の作品展	社会福祉法人 沖縄肢体不自由児協会
41	県民ギャラリー3	10月16日(水)～10月20日(日)	沖縄親子の写真展	株式会社浪漫堂
42	県民ギャラリー1.2.3	10月22日(火)～10月27日(日)	第30回 沖美蓮展	一般社団法人 沖縄県美術家連盟
43	県民ギャラリー1.2.3	10月29日(火)～11月4日(月)	第42回 沖縄県工芸公募展	沖縄県商工労働部ものづくり推進課
44	県民ギャラリー1.2.3	11月6日(水)～11月10日(日)	県立開邦高等学校 芸術科 第10回美術コース作品展	沖縄県立開邦高等学校 芸術科・美術コース
45	県民ギャラリー1.2.3	11月12日(火)～11月24日(日)	第48回 沖縄県芸術文化祭	公益財団法人沖縄県文化振興会
46	県民ギャラリー1.2.3	11月28日(水)～12月1日(日)	「小さな絵本展 Vol.10」	My Piece Art project
47	県民ギャラリー1	12月3日(火)～12月8日(日)	「おきみゅーで大人の美術の教室展」	一般財団法人沖縄美ら島財団
48	県民ギャラリー3	12月3日(火)～12月8日(日)	写真展「夕焼けアパートから眺める沖縄」	夕焼けアパート
49	県民ギャラリー2	12月5日(木)～12月8日(日)	ウェルカルチャー絵画教室絵画展示会	ウェルカルチャースクール
50	県民ギャラリー1	12月10日(火)～12月14日(土)	中学・高校生写真コンクール2019～第19回沖縄ふるさとづくりコンクール～	(一社)沖縄しまたて協会
51	県民ギャラリー2	12月13日(金)～12月15日(日)	第36回未来の科学の夢 絵画展	(一社)沖縄県発明協会
52	県民ギャラリー3	12月10日(火)～12月15日(日)	沖縄県立浦添工業高等学校 インテリア科第35回卒業作品展	沖縄県立浦添工業高等学校 インテリア科
53	県民ギャラリー1.2	12月17日(火)～12月22日(日)	知念 盛一 絵画展	知念 盛一
54	県民ギャラリー1.2.3	12月24日(火)～12月28日(土)	沖縄のこども凧展示会+凧作りワークショップ	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター
55	県民ギャラリー1.2	1月4日(土)～1月5日(日)	沖縄こども美術教室 生徒作品展	沖縄こども美術教室(アーケード)
56	県民ギャラリー1.2	1月7日(火)～1月13日(月)	第16回 創元会沖縄支部展	(一社)創元会沖縄
57	県民ギャラリー3	1月9日(木)～1月12日(日)	act photography 写真展 「写真とともに生きていく」	act photography
58	県民ギャラリー1.2.3	1月17日(金)～1月19日(日)	令和元年度JA共済全国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
59	県民ギャラリー1.2.3	1月23日(木)～1月26日(土)	第19回沖縄県立小禄高等学校 芸術教養コース発表会	沖縄県立小禄高等学校 芸術教養コース
60	県民ギャラリー1.2.3	1月28日(火)～2月2日(日)	第15回日本結び文化展 in 沖縄	日本結び文化学会
61	県民ギャラリー1	2月4日(火)～2月9日(日)	沖美連 新春展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
62	県民ギャラリー2.3	2月4日(火)～2月6日(木)	第15回こころの芸術・文化フェスティバル	一般社団法人沖縄県作業療法士会
63	県民ギャラリー2.3	2月7日(金)～2月9日(日)	「第5回沖縄県高等学校美術工芸教育生徒セク品・第20回沖縄県高等学校教員作品展」	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部
64	県民ギャラリー1.2.3	2月11日(火)～2月16日(日)	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究第31回卒業・修了作品展	沖縄県立芸術大学
65	県民ギャラリー1.2.3	2月27日(木)～3月1日(日)	第12回卒業：進級展示会	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校
66	県民ギャラリー2	3月17日(火)～3月22日(日)	写真展「御嶽巡歴」	長見 有方
67	県民ギャラリー3	3月22日(日)	第8回 沖縄マシーネンクリーガー作品展 会	沖縄マシーネンクリーガー 作品展実行委員会

博 物 館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

I 調査研究等の活動

1 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という4つの大きな柱によって構成されている。これらは相互に関連しあっているが、中でも調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館（博物館班）における調査研究活動は大きく3つに分けられる。全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、学芸員自身がテーマを設けて行う個別の調査研究である。

まず、「博物館総合調査」は、1980年から博物館の学芸員が県内離島各地の自然・歴史・文化について調査・研究し、その成果を記録・報告することを目的に実施しているものである。本調査が、他の学術調査と異なるのは、総合博物館の特性を活かし、自然史から人文まで各分野の学芸員を中心に調査員を構成することで、分野を越えた総合的な調査ができることにある。また、その成果は、報告書や展示会という形で県民へ還元され、島々の自然・歴史・文化について学習する機会を提供するとともに、自然環境の保全や文化的資料の保存に対する理解を深めていただくことに役立てられている。

これまでの「博物館総合調査」は、栗国島を皮切りに2018年度までに20の島々で実施し、各々調査報告書を刊行してきた。主な調査地は、栗国島（1980年）、渡名喜島（1981年）、座間味島（1983年）、伊計島（1987年）、瀬底島（1988年）、与那国島（1989年）、浜比嘉島（1990年）、古宇利島（1991年）、久米島（1992年）、波照間島（1995年）、西表島（1997年）、小浜島（2002年）、与那国島（2005年）、竹富島（2012年）、鳩間島・新城（上地・下地）島・黒島（2016年）、伊是名島・伊平屋島（2018年）である。

さらに、2019年度から2023年度までは、宮古諸島（宮古島市および多良間村）を対象地とし、5か年計画で調査を実施している。初年度となる2019年度には、自然史分野（生物・地学・人類）と歴史、民俗分野が多良間島で、考古と民俗分野が宮古島での調査を行った。今後の課題は、多良間島からさらに渡海する予定であった水納島での調査を実施し、これまでに踏査されていない自然や歴史上の遺跡等を記録することである。

つぎに、共同研究事業として、国立科学博物館及び東京大学と共同で、南城市玉城のハナダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を対象とした調査を行った。さらに、2012年度からは、沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本格的な調査を実施。これまでに9千年前よりさらに前のものと考えられる人骨や、世界最古級（2.3万年前）の釣針、先史時代の貝器などが出土し、全国的にも世界的にも注目される貴重な成果をあげている。一括交付金による事業の終了後も、国立科学博物館等と連携して調査を継続している。

一括交付金を活用した事業は他にも2件ある。このうち「琉球王国文化遺産集積・再興事業」では、琉球王国時代の文化遺産を科学的根拠に基づいて現代の人々の手で模造復元するもので、そのための調査研究が8分野65件の資料を対象に実施されている。2019年度は、今年完成した24件を含めてこれまでに計60件の文化財の模造復元が終わり、同時に2018年度までに製作した36件を中心に、特別展「手わざー琉球王国の美」を開催し、模造復元における調査分析の結果や製作工程等を展示して本事業の成果を広く紹介した。同事業は2021年度までの計画で、2020年度には残り5件の模造復元品の完成と県内各地での発信事業を行う予定である。

もう一つの事業は、2016年度から5か年計画で実施している「デジタルミュージアム推進事業」である。この事業は、1973年から沖縄各地で収集された伝承話の音声資料をもとに動画コンテンツを制作して、無形文化遺産の保存と活用を図るもので、3年目を迎えた2019年度には、25話の民話をもとに動画コンテンツを制作し、またこれまでに制作した31話の動画コンテンツと約3.3万話の伝承話音声資料のデータベースを検索できるウェブサイト「ウチナー民話のへや」を開設した。これにより、沖縄の多様な言語文化や伝承話の世界を広く紹介することができた。2020年度はさらに24話のコンテンツを制作するとともに、次世代への教育普及や沖縄の言語文化の研究に多くの方が活用してもらえるよう、コンテンツの内容の充実を図り、上映の機会を増やして貴重な無形文化財の発信に力を注ぐこととする。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形で生かされている。

2019年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は、以下のとおりである。

（大湾 ゆかり）

2 博物館総合調査 ー宮古諸島総合調査ー

博物館総合調査事業は県内離島の自然・歴史・文化について、博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城島、黒島、伊是名島、伊平屋島について現地調査をおこない、それらの成果をもとに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2019年度からは5年計画で宮古諸島の調査を実施することとしており、2019年度は

多良間島を中心に調査を実施した。

【組 織】

本調査の組織は博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成することとしている。また、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマに沿ったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集(借用の可能性)や撮影にも努めている。

【2019年度調査実績】

山崎 真治(博物館班 主任学芸員)	2019年6月11日～6月13日(多良間島)
	2019年11月26日～11月28日(宮古島)
菊川 章(博物館班 主任学芸員)	2019年6月25日～6月27日(多良間島)
	2019年10月1日～10月4日(多良間島)
松村 雅史(沖縄昆虫同好会 調査員)	2019年10月1日～10月4日(多良間島)
比嘉 正一(沖縄昆虫同好会 調査員)	2019年10月1日～10月4日(多良間島)
野林 千枝(沖縄昆虫同好会 調査員)	2019年10月1日～10月4日(多良間島)
宇佐美 賢(博物館班 主任学芸員)	2019年6月25日～6月27日(多良間島)
外間 一先(博物館班 主任学芸員)	2019年6月25日～6月27日(多良間島)
阿利よし乃(博物館班 学芸員)	2019年6月25日～6月27日(多良間島)
大湾ゆかり(博物館班 主任学芸員)	2019年11月14日～11月15日(宮古島)
山本 正昭(博物館班 主任学芸員)	2019年12月26日～12月29日(宮古島)
久部良和子(博物館班 主任学芸員)	2020年1月21日～1月23日(多良間島)

(菊川 章)

3 「一括交付金」活用事業

(1) 琉球王国文化遺産集積・再興事業

一括交付金とは、沖縄の実情に即して、沖縄振興に資する沖縄の特殊性に基因する事業等を沖縄県が自主的に実施できる制度として創設された国から地方への交付金のことである。本事業は、それを活用し、戦後70年余を経て、戦災等により失われた王国時代の文化遺産を模造復元し、沖縄の手わざの力を、琉球王国文化のブランドとし、モノ(模造復元品)を通して発信しをアピールする事業である。本事業には模造復元製作業務と発信業務があり、2015年度(平成27)から2021年度(令和3)までの7か年計画で、初年度の実施計画に沿って、模造復元製作(2016～2020年度:製作/2020年～2021年:報告書作成)を実施し、2019～2021年度には模造復元品を活用した発信を予定している。

2019年度(平成31・令和元)は、一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体と契約し、模造復元製作業務を実施した。復元にあたっては、分野ごとに3名の監修者(計24名)を委嘱し、2回(計16回)の監修者会議を開いた。各製作工程の中で、模造製作に当たる工人の選定、試作による製作指導、本製作の技法確認などを行った。

2019年度は、8分野(絵画、木彫、石彫、漆芸、染織、陶芸、金工、三線)65件のうち29件の製作を行い、24件【絵画(四季翎毛花卉図巻)、石彫(玉陵勾欄羽目)、染織(芭蕉桃色地経縞組織衣裳・絹深淺地組織衣裳・紫地段鋸歯繫ぎ文様花織衣裳・絹紺地手縞織衣裳・深淺地アヤヌナーカー衣裳・苧麻桃色地経緯緋衣裳・苧麻黄色地経緯緋衣裳・黄色地破格子文様緋平絹衣裳(裏)赤平絹地・木綿花色地震枝垂桜文様紅型袷衣裳・空色地貝藻紅葉松木目文様紅型木綿袷衣裳(裏)紫地鶴松桜霞文様紅型木綿・黄色地鳳凰蝙蝠宝尽青海波立波文様紅型袷衣裳(裏)紫地鶴松桜霞水文様紅型・白地流水菖蒲蝶燕文様紅型苧麻衣裳・木綿紺地緋衣裳・伊平屋の阿母加那志の繡衣裳・苧麻紺地経緯緋平織衣裳・灰色地経縞織衣裳)、陶芸(淡青釉栗彩絵菊形中皿・面取網代文三彩抱瓶・緑釉四方燭台・円覚寺鬼瓦・線彫雲龍文呉須差手焙)、金工(玉御冠)】が完成した。

また今年度は、これまでに復元した資料を活用した発信業務がスタートした。当館の企画展示室及び特別展示室1・2において「手わざ-琉球王国の文化」展を開催(2020年2月4日～3月15日)。展示は模造復元資料に加え、製作工程を記録した映像や製作道具など230件を紹介した。32日間の会期中にのべ4,551名の来館があった。アンケートには「琉球王国文化への理解が深まった」96%、「満足、やや満足」85%の回答を得ており、同事業は琉球王国文化の発信に成果をあげているといえる。

さらに製作者による報告会やワークショップ、監修者によるシンポジウムを開催し、手わざを復元する過程で得られた琉球王国文化や工芸に関する知見や情報を公開した。ただ残念ながら新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために年度後半の講演会とワークショップは実施できなかった。

〔報告会〕「手わざの秘密を探る」

○第1回

日 時：2019年8月24日（土）

場 所：講堂

講 師：平良美恵子（染織・芭蕉布）、濱元朝和（石彫・龍淵橋勾欄羽目）、比嘉知重（染織・縫製）、
松田共司（陶芸・丁子風炉）、仲嶺幹（三線・富盛開鐘）

参 加 者：75名

○第2回

日 時：2019年9月28日（土）

場 所：博物館講座室

講 師：宜保聡（染織・紅型風呂敷）、前田貴子（漆芸・朱漆巴紋沈金大御供飯）、桃原禎子（久米島紬）、
松島朝義（陶芸・円覚寺鬼瓦）、高田明（金工・御玉貫）※体調不良のため代理で照屋勝秀（共
同企業体）が行った

参 加 者：114名

○第3回

日 時：2019年11月10日（日）

場 所：博物館講座室

講 師：新垣幸子（染織・八重山上布）、知念績人（染織・紅型）、山田聡（陶芸・面取抱瓶）、久下有
貴（絵画・孔子及び四聖配像）、岡田靖（木彫・円覚寺仁王像）

参 加 者：93名

〔文化講座〕「琉球の刺繍について」

日 時：2020年1月18日（土）

場 所：講堂

講 師：寺田貴子（活水女子大学）

参 加 者：133名

〔文化講座〕「琉球の金工について」

日 時：2020年2月15日（土）

場 所：講堂

講 師：久保智康（京都国立博物館名誉館員）

参 加 者：81名

〔シンポジウム〕手わざ展記念シンポジウム「模造復元で紐解く琉球の美」

日 時：2020年2月16日（日）

場 所：講堂

講 師：早川泰弘（分析）、荒井経（絵画）、山田葉子（染織）、久保智康（金工）、室瀬和美（漆芸）

参 加 者：160名

〔ワークショップ〕彫金体験ワークショップ「金のかざりをつくってみよう！」

日 時：2019年7月27日（土）

場 所：博物館実習室

講 師：松田聖、松田浩介（鋳屋）

参 加 者：15名

〔ワークショップ〕「琉球古刺繍をやってみよう」 ※新型コロナウイルスの影響で中止

日 時：2020年3月8日（日）14:00～17:00

場 所：博物館実習室

講 師：寺田貴子（活水女子大学）

〔展 示〕琉球王国文化遺産集積・再興事業 博物館特別展「手わざー琉球王国の文化ー」

日 時：2020年2月4日（火）～3月15日（日）

場 所：博物館企画展示室、特別展示室1・2

参 加 者：4,551名

〔論 文〕

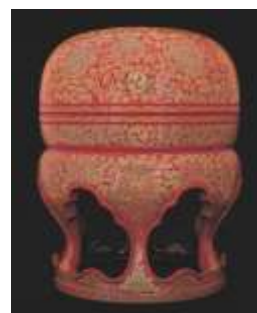
- ・園原謙「琉球王国時代の継ぎ棹三線の技術について－東京国立博物館所蔵「蛇皮線」のCT画像の解析を中心に－」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月
- ・寺田貴子 下山進 下山裕子 大下浩司 與那嶺一子 篠原あかね「琉球王国文化遺産集積・再興事業における琉球古刺繍の復元」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月



第3回報告会（2019年11月）の様子



手わざ展開式（2020年2月）の様子



模造復元品：
朱漆巴紋沈金御供飯

（外間 一先）

（2）デジタルミュージアム推進事業

本事業は、2015年度に当館に寄贈された沖縄の伝承話音声資料の保存と活用を目的としている。2016年度から2020年度までの5か年計画でデジタルミュージアムを開設し、資料の体系的な保存・管理と80話の民話の動画コンテンツを制作してWeb上や常設展示室等で公開することにより、遠隔地へのサービス提供や来館者誘致、顧客満足度向上の実現を目指している。

題材とした伝承話音声資料は、1973年から故遠藤庄治とその協力者たちが沖縄各地で収集した76,000話余の音声記録のうち、デジタル化済みの33,000話分の記録（カセットテープとデジタルデータ）である。沖縄では、戦争や標準語励行運動、生活の画一化等で口承伝承されてきた民話や伝説等が急速に失われつつある。また、方言の話し手が減少し、地域性が薄くなった現代では、口承だけで民話を残すことが難しくなった。それゆえ、40年余の間に収集されたこれらの資料は沖縄県民にとって貴重な財産であり、その保存と活用は博物館の重要な使命である。当館ではその伝承話音声資料を無形文化遺産の一つとして捉えて適切な保管とデジタルデータを活用した展示コンテンツの開発を進めている。

2019年度は、優良民話に選定した80話のうち、以下に掲げた25話の動画コンテンツを制作した。さらには、博物館のホームページ内に「ウチナー民話のへや」を開設した。

「ウチナー民話のへや」では、これまでに作成した31話の動画コンテンツを自由に閲覧できるコーナーと当館所蔵の民話の情報を自由に検索できるデータベースシステムを構築した。

【2019年度制作の動画コンテンツ】

	地区	市町村	題 名		地区	市町村	題 名
1	北部	国頭村浜	灰坊	14	南部	那覇市小禄	クスクエー由来
2	北部	大宜味村塩屋	団子どっこいしょ	15	南部	粟国村西	チブル蜂由来
3	北部	大宜味村田嘉里	古宇利島始祖伝説 一天から餅一	16	宮古	伊良部町	竜宮の神の寿命決め
				17	宮古	多良間村塩川	蚤と虱と南京虫
4	北部	伊平屋村我喜屋	武蔵水由来	18	宮古	多良間村仲筋	マジムヌと火ー火の 起源一
5	北部	伊是名村勢理客	ホトトギスになった兄弟				
6	北部	伊是名村勢理客	塩が一番うまい	19	宮古	多良間村仲筋	古家の漏りー漏い加 那志一
7	北部	恩納村恩納	火の神の話				
8	中部	読谷村長浜	赤犬子	20	八重山	石垣市宮良	赤馬節由来
9	中部	読谷村長浜	わらしべ長者	21	八重山	石垣市川平	背負い比べ
10	中部	北中城村喜舎場	犬と猫と宝	22	八重山	石垣市登野城	人魚と津波
11	中部	北谷町上勢頭	抱死（だちじん）の話	23	八重山	石垣市白保	ゴカリ鳥の話
12	中部	宜野湾市大謝名	天人女房	24	八重山	竹富町竹富	雲雀と若水
13	南部	南風原町大名	渡嘉敷ペークーの話	25	八重山	与那国町祖納	宝瓢箪

【上映会】

2019年度は、館内及び伊江島で行った移動展の際に、制作した動画コンテンツの上映会を行った。

(1) 館内での上映

日 付	開催場所	参加人数
4月29日(水)～6月23日(日)	新収蔵品展	210
7月23日(火)	夏休み学芸員教室	16
9月1日(日)	上映会 ①	126
12月1日(日)	上映会 ②	151

(2) 移動展での上映

日 付	開催場所	参加人数
1月29日(水)	通所介護事業所 いえしま	55
1月30日(木)	伊江村 合同ミニデイ	100
	伊江村立中央保育所	45
1月31日(金)	伊江村立東保育所	21



伊江村立東保育園での上映会の様子

(阿利 よし乃)

4 調査・研究・講演・著作論文等

大湾 ゆかり(博物館班班長/民俗)

○調査・研究等

- ・玉陵清明祭調査(那覇市) (2019年4月6日)
- ・眞境名家の位牌調査(浦添市) (2019年4月16日)
- ・玉城前川の古墓調査(南城市) (2019年5月23日)
- ・琉球藍の製造調査(本部町・名護市・大宜味村) (2019年5月20日、6月5～7日)
- ・県立芸大での琉球藍の藍建て研修(那覇市) (2019年7月12日、19日、26日)
- ・安謝の厨子甕調査(那覇市) (2019年7月18日)
- ・塩屋湾のウングミ調査(大宜味村) (2019年8月17、18日)
- ・石垣市・小浜島のインド藍調査(石垣市・竹富町) (2019年10月5、6日)
- ・上米次腹門中ジョーアキー調査(糸満市) (2019年10月18日)
- ・藍展関連調査(大阪府・京都府) (2019年10月22～25日)
- ・南風原文化センターでのタイの泥藍の藍染め研修(南風原町) (2019年11月3、4日)
- ・宮古島総合調査(宮古島市) (2019年11月14、15日)
- ・宇久田家古墓調査(南風原町) (2019年11月26日)
- ・台湾展資料返却・台湾の藍染料調査(2019年12月17～21日)
- ・県立芸大にて琉球藍関係の調査(2020年3月10日)
- ・琉球藍関係調査(本部町) (2020年3月13日)

○講演等

- ・名 称：沖博協会の研修会報告Ⅱ「博物館の防災ネットワーク」
期 日：2019年10月31日(木)
- ・名 称：博物館学芸員講座「博物館における民俗研究について」
期 日：2020年2月8日(土)

○著作論文等

- ・「糸満市上米次腹門中の墓とジョーアキー(墓開き)儀礼について」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2012年3月

久部良 和子(主幹/歴史)

○調査・研究等

- ・平成31年度企画展「台湾～黒潮でつながる隣ジマ～」における台湾文化センターとの調整等(東京) (2019年5月8～10日)
- ・平成31年度企画展「台湾～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料借用及び返却、琉球藍の調査(台湾) (2019年7月2、3日、2019年12月17～20日)

- ・平成31年度企画展「台湾 ～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料借用及び返却（宮古島・石垣島・与那国島）（2019年7月10日、7月24、25日、11月20日、11月21、22日、12月2日～25日）
- ・平成31年度企画展「台湾 ～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料借用及び返却（国立民族学博物館）（2019年8月26～28日、11月7、8日）
- ・平成31年度企画展「台湾 ～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料借用及び返却（東京）（2019年7月6、7日、12月6日）
- ・平成31年度（令和元年）総合調査（宮古島・多良間島）（2020年1月21～23日）
- ・平成31年度（令和元年）移動展展示作業（伊江島調査）（2020年1月29日～2月1日）

○講演・学会発表等

- ・名称：台湾原住民族との交流会主催 講演「台湾と私 台湾展への取り組みについて」
期 日：2019年7月7日（土）14:00～17:00
場 所：明治学院大学
- ・名称：沖縄県地域史協議会第2回巡見 講師「那覇市内の台湾と沖縄に関連する史跡等」
期 日：2019年10月4日（金）9:00～12:00
場 所：那覇市内
- ・名称：学芸員講座「沖縄県立博物館・美術館所蔵の石碑について残された「拓本」から考える」
期 日：2019年12月14日（土）14:00～16:00
場 所：博物館講座室
- ・名称：「台湾原住民族の音楽について」
期 日：2020年2月27日（木）18:00～20:30
場 所：国立劇場おきなわ 3階会議室

外間 一先（主任学芸員／歴史）

○調査・研究等

- ・歴史部門展示『沖縄とスポーツ～国体・オリンピックの記憶から』展に関する調査（東京都、那覇市、名護市、沖縄市、今帰仁村等）（2019年7月26日～9月29日）
- ・歴史部門展示『記録の中の沖縄』展に関する調査（東京都、那覇市、中城村等）（期間：2019年12月3日～2020年3月1日）
- ・沖縄県博物館協会総会及び春の研修会（宜野湾市及び沖縄県立博物館・美術館）（2019年5月16、17日）
- ・沖縄平和国際研究所資料（大田昌秀関係）の調査研究（那覇市、宜野湾市、うるま市、浦添市、金武町等）（期間：2019年4月14日～2020年2月9日）
- ・『台湾-黒潮でつながる隣ジマ-』展に関する調査（台湾基隆市、台北市2019年5月29日～6月1日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業模造復元製作に関する調査（沖縄本島及び久米島、宮古島、石垣島、愛知県、福岡県、東京都等）（期間：2019年5月17日～2020年3月19日）
- ・総合調査：「多良間村の石碑とリン鉱石発掘の歴史」（多良間村）（2019年6月25～27日）
- ・第11代斎藤用之助資料に関する調査（糸満市、与那原町等）（期間：2019年6月30日～2020年2月20日）
- ・令和元年度第49回九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会（鹿児島県）（2019年10月31日、11月1日）
- ・劣化フィルムのデジタル化に関する調査（東京都、沖縄市等）（期間：2019年11月5日～2020年1月16日）
- ・坂口新聞資料の調査（沖縄県立博物館・美術館）（期間：2019年11月26日～2020年3月23日）
- ・刀剣修繕に関する調査（福井県小浜市）（2020年3月11、12日）

○講演・学会発表等

- ・名称：出前授業 那覇市立城北中学校 平和学習「沖縄戦を生きた子どもたちから学ぶ」
期 日：2019年6月6日（木）
依頼機関：那覇市立城北中学校
- ・名称：出前授業 本部町立本部小学校 平和学習「沖縄戦を生きた子どもたちから学ぶ」
期 日：2019年6月20日（木）
依頼機関：本部町立本部小学校
- ・名称：出前授業 本部町立上本部中学校 平和学習「沖縄戦を生きた子どもたちから学ぶ」
期 日：2019年7月16日（火）
依頼機関：本部町立上本部中学校
- ・名称：FM沖縄 Sh@reTIME（シェアタイム）「オリンピックに関する展示」（歴史部門展示）
期 日：2018年7月31日（水）
依頼機関：株式会社エフエム沖縄
- ・名称：こどもフェスタ夏休み学芸員教室「おきみゅージャーナリスト体験」新聞づくり
期 日：2019年7月25日（木）

- ・名 称：出前授業 沖縄県立宮古高等学校「明治維新と琉球・日本・宮古島～誇り高きアララガマ精神」
期 日：2019年10月24日（木）～25日（金）
依頼機関：沖縄県立宮古高等学校
- ・名 称：博物館学芸員講座「記録に残る沖縄 Okimuおきみゅーコレクションから」
期 日：2019年11月9日（土）
- ・名 称：出前授業 沖縄県立首里高等学校 社会人講和
期 日：2020年2月14日（金）
依頼期間：沖縄県立首里高等学校

○著作論文等

- ・「記録の中の沖縄 クラッターバック写真アルバムと紀行文『旅と冒険』」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月31日
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業「手わざー琉球王国の文化」展 図録 2020年2月
- ・琉球新報「南風」2020年1月1日～3月25日

園原 謙（主任学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業の製作調整（東博所蔵の蛇皮線のCTスキャンの解析調査・奈良国立博物館／2019年9月10、11日）、（木彫仁王像の進捗調整・名古屋市／2019年12月15、16日）
- ・エルサルバドルの博物館施設等の平和教育推進支援の助言（中米エルサルバドル／2019年9月16～24日／独立行政法人 国際協力機構JICA沖縄依頼）

○講演・学会発表等

- ・名 称：三線のはなし
期 日：2019年4月5日（金）
場 所：沖縄市池原公民館
依頼機関：沖縄市池原老人会
- ・名 称：伝統組踊保存会（伝承者養成事業第5回座学研修会）「沖縄が誇る家宝の三線とその文化」
期 日：2019年9月26日（木）
場 所：結いの街 大研修室（3階）
依頼機関：一般社団法人伝統組踊保存会
- ・名 称：沖縄本ナビ2019年度版～知るための10冊（第1回講演会）「三線の三つのふしぎ」
期 日：2019年11月6日（水）
場 所：沖縄県立図書館 講堂（3階）
依頼機関：沖縄タイムス社
- ・名 称：歴史・文化講座（県立博物館・美術館見学）
期 日：2019年11月8日（木）
場 所：美術館講座室・博物館常設展示室
依頼機関：沖縄県自治研修所
- ・名 称：【自治体間連携セミナー】中米エルサルバドル国を知ろう!!ーコーヒーの名産地×内戦の記憶ー「エルサルバドルの内戦を伝える博物館等施設の現状」
期 日：2020年2月24日（月）
場 所：博物館講座室
依頼機関：独立行政法人国際協力機構JICA沖縄

○著作論文等

- ・沖縄本ナビ2019年度版「沖縄の三線を知るための10冊」沖縄タイムス 2019年9月18日
- ・「手わざ」展の背景と意義（上・下）沖縄タイムス 2020年3月10日、11日
- ・「琉球王国時代の継ぎ棹三線の技術についてー東京国立博物館所蔵「蛇皮線」のCT画像の解析を中心にー」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

與那嶺 一子（主任学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・「重要無形文化財干立の節祭衣装新調事業」衣装新調委員会（干立公民館（竹富町西表）、竹富町教育委員会）（2019年4月23日、7月11日、8月6日、2020年3月19日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業 縫製ワーキング（沖縄県立博物館・美術館、那覇市歴史博物館）（2019年8月8日、8月22日、8月28日、9月3日、9月18日、10月4日、10月29日、11月8日、11月13～15日、11月27日、12月14日、2020年1月15日、1月23日）

- ・首里城火災対応に伴う沖縄美ら島財団蔵染織品の状態確認調査（依頼：一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター）（沖縄県立博物館・美術館）（2020年2月26日、3月4日、3月6、7日、3月14日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：記念講演「沖縄の染織」
期 日：2019年9月8日（日）
依 頼：渋谷区立松濤美術館
場 所：同上

○著作論文等

- ・與那嶺「沖縄の染織」『美ら島からの染と織一色と文様のマジック』渋谷区立松濤美術館 2019年8月
- ・寺田貴子・大下浩司・下山進・下山裕子・與那嶺・篠原「琉球王国文化遺産集積・再興事業における琉球古刺繍の復元」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

篠原 あかね（学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・館蔵陶磁器悉皆調査（2019年4月23日、6月18日、6月25日、8月9日、2020年2月7日、3月12日）
- ・公益財団法人陽明文庫所蔵琉球関係資料調査（2019年6月4、5日）
- ・「朝薫踊り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー」展に係る金武町所蔵染織品調査（2019年6月12日）
- ・琉球王国文化遺産集積再興事業関連
縫製ワーキング（2019年6月13日、6月19日、7月12日、7月19日、11月8日、11月13日、11月15日、11月20日）／（孫億「花鳥図巻」調査（2019年7月26日）／紅型ワーキング（2019年10月17日、11月28日）／緑釉燭台調査（2019年10月25日）／東京国立博物館所蔵蛇皮線調査（2020年2月12日）
- ・沖縄県博物館協会 総会及び春の研修会（真志喜公民館・宜野湾市立博物館／宜野湾市）（2019年6月16、17日）、秋の研修会（沖縄県立博物館・美術館／那覇市）（2019年10月31日、11月1日）
- ・石垣島宮良殿内板戸絵調査（2019年8月26日）
- ・ICOM京都大会（2019年9月3日）
- ・松濤美術館「美ら島からの染と織」展示替え（2019年9月23～25日）
- ・指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（2019年10月7～11日）

○講演・学会など

- ・名 称：学芸員講座「今、明かされる琉球王国の手わざー琉球王国文化遺産集積・再興事業についてー」
期 日：2019年5月11日（土）
場 所：博物館講座室
- ・名 称：常設展示解説会
期 日：2019年8月8日（木）
場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：夏休み学芸員教室「やきものを作ろう！」
期 日：2019年7月24日（水）
場 所：博物館実習室
- ・名 称：博物館特別展「手わざー琉球王国の文化ー」展示解説会
期 日：2020年2月9日（火）、2月23日（火）
場 所：博物館常設展示室

○著作論文等

- ・作品解説『美ら島からの染と織一色と文様のマジック』渋谷区立松濤美術館 2019年8月
- ・「厨子甕に込められた祈り」『祈りの造形 日本民藝館所蔵・厨子甕』公益財団法人 日本民藝館 2020年1月
- ・連載「手わざの秘密 上」2020年2月26日 琉球新報
- ・連載「手わざの秘密 中」2020年2月27日 琉球新報
- ・連載「手わざの秘密 下」2020年3月3日 琉球新報
- ・寺田貴子・大下浩司・下山進・下山裕子・與那嶺・篠原「琉球王国文化遺産集積・再興事業における琉球古刺繍の復元」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

伊禮 拓郎（学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・「朝薫踊り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー」展に係る調査（屋嘉区公民館／金武町）（2019年

6月12日)／(沖縄県公文書館／南風原町) (2019年7月12日)

- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査(期間:2019～2020年)

石彫部門監修者会議(2019年6月14日、2020年3月6日)／漆芸部門監修者会議(2019年7月5日、2020年3月14日)／金工部門(2019年7月23日、2020年2月24日)／木彫監修者会議(2019年8月23日)／石彫ワーキング 玉陵勾欄羽目調査(2019年8月20日)／木彫ワーキング 円覚寺関係資料調査(2019年8月22日)、仁王像造形確認調査(2019年12月15、16日)／漆芸ワーキング 透彫足付盆沈金彫確認調査(2020年1月11日)／金工ワーキング 玉御冠製作状況確認調査(2020年1月15日)

- ・館蔵漆器のレントゲン調査(沖縄県立博物館・美術館／那覇市) (2019年9月17日)
- ・沖縄県博物館協会 総会及び春の研修会(真志喜公民館・宜野湾市立博物館/宜野湾市) (2019年6月16、17日)、秋の研修会(沖縄県立博物館・美術館／那覇市) (2019年10月31日、11月1日)
- ・北京故宫博物院所蔵の琉球漆器調査(北京故宫博物院／中国) (2019年8月11～14日)
- ・ホノルル美術館所蔵の琉球漆器調査(ホノルル美術館／アメリカ) (2019年9月8～12日)
- ・館蔵朱漆巴紋沈金大御供飯修理方針検討会議(沖縄県立博物館・美術館／那覇市) (2020年2月17日)
- ・浦添市美術館所蔵 朱漆牡丹唐草沈金皿 調査(浦添市美術館／浦添市) (2020年2月19日)
- ・個人所蔵御供飯の調査(個人宅／南風原町) (2020年2月27日)

○講演・学会など

- ・名 称: 沖縄文化協会2019年度公開研究発表会「貝摺奉行所製中央卓の様式的研究」
日 時: 2019年6月30日(日)
場 所: 沖縄国際大学 13号館3階302教室
- ・名 称: 夏休み学芸員教室「本日のお軸は?ミニ掛け軸をつくろう!」
日 時: 2019年7月23日(火)
場 所: 博物館実習室
- ・名 称: 「朝薫踊り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー」展に係る展示解説会
日 時: 2019年10月6日、20日、11月3日、12月1日
場 所: 常設展示室 美術工芸部門展示室
- ・名 称: 美術工芸部門展示室 第Ⅲ期展示「手わざの秘密」に係る展示解説会
日 時: 2020年1月5日、19日

○著作論文等

- ・「館蔵 黒漆雲龍螺鈿盆2点についてー貝摺奉行所製黒漆雲龍螺鈿盆の編年に関する構想ー」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

山本正昭(主任学芸員／考古)

○調査・研究等

- ・沖縄県博物館協会春の研修会(宜野湾市立博物館) (2019年5月16、17日)
- ・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査:久米島町(2019年5月8、9日)、中国福建省(2019年7月11～17日)、鹿児島県大島郡与論町(2019年7月25、26日)、大阪府東大阪市・京都府木津川市(2019年8月16～18日)
- ・国立歴史民俗博物館展示プロジェクト「海の帝国琉球ー八重山・宮古・奄美からみた中世ー」展示監修者会議(2019年6月24、25日)、(2019年12月9、10日)
- ・新北市立十三行博物館「海上瑰寶ー臺灣古代海路交流特展ー」展示活動(台湾新北市) (2019年9月22～24日)
- ・「アジア民衆史の多重境界性に関する実証的研究」(宮古島市) (2019年12月26～29日)
- ・宮古島市教育委員会「平良・伊良部・下地地区で確認されている戦争遺跡についての現場指導」(2020年3月13、14日)
- ・「シンポジウム 宮古・八重山諸島におけるグスク文化の多様性ー13世紀から15世紀にかけての東アジア海域の動向ー」(宮古島市) (2020年3月15、16日)
- ・令和2年度博物館特別展「岩石展」に係る資料調査(渡嘉敷村) (2020年3月17日)
- ・鎌田誠史科研・基盤研究B「統一手法を用いた景観復元による琉球弧の伝統的村落空間に関する普遍的原理の探究」(鹿児島県喜界町) (2020年3月26、27日)

○講演・学会発表等

- ・名 称: 今帰仁城跡案内ガイド養成講座「グスクの城壁を見るー城壁構造を考古学から読み解くー」
期 日: 2019年6月30日(日)
依頼機関: 今帰仁グスクガイドの会
会 場: 今帰仁村文化センター講座室
- ・名 称: 沖縄考古学会7月研究定例会「石積み構造からみたグスクの特徴ーグスクと福建省の城郭遺跡との比較を通してー」

- 期 日：2019年7月19日（金）
 会場：沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・名称：平成31年度県立糸満青少年の家自主事業「浦添グスクの歴史を訪ねる－琉球王国の原点を探る－」
- 期 日：2019年7月28日（日）
 依頼機関：学校法人KBC学園 沖縄県立糸満青少年の家
 会場：浦添グスク
- ・名称：第59回古代山城研究会例会『古代山城と祭祀・寺院－神籠石論争から四天王信仰まで－（プログラム・予稿集）』『いわゆるグスクとは何か－グスク論争から半世紀を経て－』
- 期 日：2019年9月7日（土）
 会場：大野城心のふるさと館・講座学習室
- ・名称：沖縄県立博物館友の会 学芸員講座「琉球王国の貨幣」
- 期 日：2019年9月29日（日）
 依頼機関：沖縄県立博物館友の会
 会場：博物館講座室
- ・名称：令和元年度 地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業第3回シンポジウム『海域アジアの倭寇について考える』『福建省に分布する倭寇関連の城郭遺跡－14世紀後半から16世紀半ばにかけて－』
- 期 日：2019年10月6日（木）
 依頼機関：宮古島市教育委員会
 会場：宮古島市未来創造センター研修室
- ・名称：令和元年度博物館特別展『グスク・ぐすく・城』関連シンポジウム「形から見たグスクの原点を探る」「福建省に分布する明代の城郭遺跡について－14世紀後半に構築された所城を中心にして－」
- 期 日：2019年12月19日（木）
 会場：講堂
- ・名称：沖縄県立博物館・美術館学芸員講座「令和元年度博物館特別展『グスク・ぐすく・城』展示解説会」
- 期 日：2020年1月11日（月）
 会場：企画展示室1・2、特別展示室
- ・名称：与謝郷土研究会 臨時研修会「令和元年度沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展『グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－』展示報告会」
- 期 日：2020年2月27日（土）
 会場：ゆんぬ体験館
- ・名称：令和元年度 沖縄県立博物館友の会主催ワークショップ「グスクから出土する琉球銭をつくる」
- 期 日：2019年12月22日（日）（計2回）、2020年1月13日（水）（計2回）
 依頼機関：沖縄県立博物館友の会
 会場：博物館実習室
- ・名称：沖縄県立博物館・美術館エントランスミニ展示「シマのムラー掘り出された八重山の近世集落－」ギャラリートーク
- 期 日：2020年1月26日（火）（計2回）
 会場：沖縄県立博物館・美術館エントランスホール

○著作論文等

- ・「琉球のグスクを見る－土木遺産の視点から－」『土木技術』74巻5号 土木技術社
- ・「コラム 発掘された八重山の近世集落－網取村跡と安良村跡－」『企画展 掘ったらわかった戦前の沖縄』沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・「いわゆるグスクとは何か－グスク論争から半世紀を経て－」『古代山城と祭祀－神籠石論争から四天王信仰まで－プログラム・予稿集』古代山城研究会
- ・「コラム 14世紀後半の中国沿岸部で見られた築城ラッシュ」／「コラム グスクに見られる防御のテクニック」／「『グスクとは何か』をめぐって－グスク論争を中心にして－」『グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－』沖縄県立博物館・美術館
- ・新聞記事「沖縄県立博物館・美術館特別展に寄せて グスク・ぐすく・城 上」『南海日々新聞』2019年11月5日
- ・新聞記事「沖縄県立博物館・美術館特別展に寄せて グスク・ぐすく・城 中」『南海日々新聞』2019年11月6日

- ・新聞記事「沖縄県立博物館・美術館特別展に寄せて グスク・ぐすく・城 下」『南海日々新聞』2019年11月7日
- ・新聞記事「南島考古への招待③ 沖縄考古学会50年 グスク時代」『沖縄タイムス』2019年11月21日
- ・新聞記事「グスクの城郭を語る」『沖縄タイムス』2019年12月19日
- ・『展示図録 シマのムラー掘り出された八重山の近世集落一』城西大学経営学部石井龍太研究室(共著 石井龍太ほか)
- ・新聞記事「首里城とは」『毎日新聞』西部福岡版 2020年1月26日朝刊
- ・新聞記事「①13世紀後半～15世紀初め 首里城現る 沖縄文化の原点そろろう」『沖縄タイムス』2019年1月31日
- ・新聞記事「②15世紀初め～1470年 第一尚氏王統 国内統合政策に転換」『沖縄タイムス』2020年2月28日
- ・「明朝が設置した福建省における城郭の特徴とその成立背景－14世紀後半・洪武期の築城ラッシュを考える－」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月
- ・「グスクの石積みと石質とグスク周辺の地質と地形との関係」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第13号 (共著 宇佐美賢) 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

阿利よし乃(学芸員/民俗)

○調査・研究等

- ・清明調査：尚家清明調査、砂辺門中清明調査(2019年4月6日)／砂辺門中調査(2019年4月7日、9月11、12日、12月19日)
- ・浦添市位牌調査(2019年4月16日)
- ・古墓調査：玉城前川古墓調査(2019年5月23日)／南風原町宇久田家の墓調査(2019年11月26日)
- ・琉球藍調査(2019年5月30日、10月22～25日)
- ・平安座島調査：トゥダチ墓調査報告会(2019年6月14日)／トゥダチ墓調査(11月22、23日)／旧正月調査(2020年1月25日)／カーヌイー門中ウビー調査(1月27日)
- ・多良間島スツウプナカ調査(2019年6月25～27日)
- ・塩屋湾ウンガミ調査(2019年8月17、18日)
- ・奥武島シヌグ調査(2019年9月14日)
- ・南城市安里綱引き調査(2019年9月14、15日)
- ・糸満上米次腹ジョーアキー調査(2019年10月18日)
- ・デジタルミュージアム推進事業調査：国頭村浜、大宜味村田嘉里、恩納村太田(2020年3月18日)、石垣市宮良、川平、登野城(3月26、27日)

○講演等

- ・名 称：沖縄文化協会2019年度公開研究発表会「波照間島の共同労働－サトウキビ収穫ユイマールの現在－」
日 時：2019年6月29日(土)
場 所：沖縄国際大学
- ・名 称：夏休み！学芸員教室「オリジナル民具ノートをつくろう！」
日 時：2019年7月23日(火)
場 所：博物館実習室
- ・名 称：学芸員講座「八重山における神役の継承」
日 時：2019年9月7日(土)
場 所：博物館講座室
- ・名 称：日本民俗学会第71回年会個人発表「門中墓の移動と継承－那覇・読谷の士族系門中の事例」
日 時：2019年10月13日(日)
場 所：筑波大学春日キャンパス ※台風19号の影響により発表要旨掲載のみ

○著作論文等

- ・「第二章村落の祭祀 第四節八重山諸島の村落祭祀」『沖縄県史民俗編』各論編第九巻 沖縄県教育委員会 2020年
- ・「7、アレーキ・シュニの祭場におけるスツウプナカ祭祀の過程と行事食」、「八重山諸島の行事食」『沖縄の行事食に関する総合調査報告書』沖縄県教育委員会 2020年3月
- ・「門中墓の移動と継承－那覇・読谷の士族系門中の事例－」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

宇佐美 賢(主任学芸員/地学)

○調査・研究等

- ・博物館総合調査（地質・地形調査 多良間島）（2019年6月25～27日）
- ・学芸員講座（フィールドツアー）の下見
 - ①八重瀬町 ぐしちゃん浜（2019年4月4日、5月30日）
 - ②名護市・本部町 本部カルスト（2019年5月31日、10月8日）
- ・貝化石発見場所現場確認（今帰仁村運天港 2019年4月4日）
- ・令和2年度特別展に係る資料調査：久高島（2019年4月6日）、国立科学博物館（5月8日）、神奈川県立生命の星地球博物館（5月9日）、本部町・今帰仁村（5月14日）、伊江島（5月24日）、国立科学博物館（7月17日）、恩納村（8月3日）、名護市砕石場、国頭村（8月7日）、名護市嘉津宇岳（8月22日）、今帰仁グスク（8月30日）、座間味島（9月3日）、伊計島（10月5日）、京都益富地学会館（11月4日）、国立科学博物館（つくば収蔵庫）・産総研地質調査センター地質標本館、群馬県立自然史博物館、国立科学博物館（11月20～22日）、東京ミネラルショー（12月13日）、伊江島（2020年1月29日）、石垣島・西表島（2月18日～20日）シミズ貴石、宝石博物館・奇石博物館・神奈川県立生命の星・地球博物館（3月9日～11日）、渡嘉敷島（3月17日）、阿嘉島・慶留間島（3月25日）、座間味島（3月27日）

○講演等

- ・名称：IPM研修（新任職員・博物館ボランティア対象）
期 日：2019年4月18日（木）、5月18日（土）
- ・名称：科学技術週間イベント・カガクジカン「自然史系バックヤードツアーと収蔵品の重要性」
期 日：2019年4月20日（土）小学生以上 15名
場 所：博物館バックヤード
- ・名称：博物館学芸員講座「学芸員といくフィールドツアー① 沖縄本島南部の自然観察に行こう！」
期 日：2019年6月8日（土） 20名
場 所：八重瀬町 ぐしちゃん浜～ホロホローの森
- ・名称：夏休み学芸員教室「石と友達になろう！ 石割り体験と黒曜石のアクセサリ作り」
期 日：2019年7月25日（木）小・中学生 20名
場 所：博物館実習室
- ・名称：普天間高等学校生徒対応（バックヤードツアー）
期 日：2019年7月26日（金）10名
場 所：博物館バックヤード
依頼機関：沖縄県立普天間高等学校
- ・名称：宜野湾市立博物館わらばー体験じゅく（沖縄の石と化石の不思議に迫ろう）
期 日：2019年7月27日（土）30名
場 所：宜野湾市立博物館、森川公園
依頼機関：宜野湾市立博物館
- ・名称：博物館学芸員講座「学芸員といくフィールドツアー② 沖縄本島北部の自然観察に行こう！」
期 日：2019年10月12日（土） 20名
場 所：名護市～本部町 本部カルスト
- ・名称：こどものためのジオ・カーニバル
期 日：2019年11月2日（土）～3日（日）
場 所：大阪市立科学館
- ・名称：座間味島の地質地形観察会
期 日：2020年1月10日（金）～11日（土）15名
場 所：座間味島
依頼機関：環境省
- ・名称：移動展 in 伊江島 フィールドツアー
期 日：2020年2月1日（土）
場 所：伊江島
- ・名称：コザ高等学校定時制出前授業「沖縄の地質について」
期 日：2020年2月6日（木）15名
場 所：コザ高等学校
- ・名称：はこわっち研修会「常設展示の魅力再発見！一ひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー」（NPO法人大阪自然史センターと共催） 県内博物館関係者 36名
期 日：2020年2月10日（月）
場 所：博物館講座室および博物館常設展示室

○著作論文等

- ・「グスクの石積みの石質とグスク周辺の地質・地形との関係」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』

第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月（共著）

- ・「旧石器時代の貝製釣り針の機能に関する検証」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月（共著）

菊川 章（主任学芸員／生物）

○調査・研究等

- ・博物館総合調査（爬虫類分布状況調査 多良間島）（2019年6月25～27日、10月1～4日）
- ・学芸員講座（フィールドツアー）の下見
 - ①八重瀬町 ぐしちゃん浜（2019年4月4日、4月12日、5月30日）
 - ②名護市・本部町 本部カルスト（2019年5月31日、9月25日、10月8日）
- ・沖縄生物教育研究会「野外研修会」（名護市嘉津宇岳 2019年8月22日）
- ・貝化石発見場所現場確認（今帰仁村運天港 2019年4月4日）
- ・令和3年度特別展に係る資料調査：琉球大学風樹館（2019年8月2日）、バードカービング作家 内山氏宅（9月10日）、茨城県自然博物館（11月20日）、群馬県立自然史博物館（11月21日）、伊丹市昆虫館（12月4日）、国立科学博物館（2020年1月14日）、我孫子市鳥の博物館・山階鳥類研究所（1月16日）、栃木県立博物館（1月17日）
- ・ユニバーサルミュージアム研修参加（2020年1月27日）

○講演等

- ・名称：科学技術週間イベント・カガクジカン「自然史系バックヤードツアーと収蔵品の重要性」
期 日：2019年4月20日（土）小学生以上 15名
場 所：博物館バックヤード
- ・名称：博物館学芸員講座「学芸員といくフィールドツアー① 沖縄本島南部の自然観察に行こう！」
期 日：2019年6月8日（土） 20名
場 所：八重瀬町 ぐしちゃん浜～ホロホローの森
- ・名称：夏休み学芸員教室「ダンゴムシのふしぎにせまってみよう！」
期 日：2019年7月25日（木）小・中学生 20名
場 所：博物館実習室
- ・名称：那覇市立内間小学校職員研修「自然史系常設展示の解説」
期 日：2019年7月31日（水） 20名
場 所：博物館常設展示室
依頼機関：那覇市立内間小学校
- ・名称：東海大学学生実習対応（バックヤードツアー）
期 日：2019年8月29日（木） 20名
場 所：博物館バックヤード
依頼機関：東海大学
- ・名称：沖縄市サイエンスフェスタ2019 出展
期 日：2019年9月8日（日）
場 所：沖縄市立体育館（アリーナ）
依頼機関：沖縄こどもの国
- ・名称：清心女子高等学校SSH対応（常設展示解説ほか）
期 日：2019年10月5日（土） 40名
場 所：博物館常設展示室
依頼機関：学校法人清心学園 清心女子高等学校
- ・名称：博物館学芸員講座「学芸員といくフィールドツアー② 沖縄本島北部の自然観察に行こう！」
期 日：2019年10月12日（土） 20名
場 所：名護市～本部町 本部カルスト
- ・名称：琉大ジュニアドクター育成塾 特別講義「生物の形について考える」 小中学生 15名
期 日：2019年12月27日（金）
場 所：博物館実習室および常設展示室
依頼機関：琉球大学
- ・名称：はこわっち研修会「常設展示の魅力再発見！一ひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー」（NPO法人大阪自然史センターと共催） 県内博物館関係者 36名
期 日：2020年2月10日（月）
場 所：博物館講座室および博物館常設展示室
- ・名称：コザ高等学校定時制出前授業「沖縄の自然について」
期 日：2020年2月17日（月）13名

場 所：コザ高等学校

○著作論文等

- ・「沖縄島及び多良間島におけるハマダングムシ *Tylos granuriferus* の色彩変異」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

山崎 真治（主任学芸員／人類）

○調査・研究等

- ・2019新北市考古生活フェスティバル参加 新北市立十三行博物館（台湾）（2019年5月22～27日）
- ・人間文化研究機構機関拠点型基幹研究プロジェクト関連プロジェクト「海域アジアにおける人類の海洋適応と物質文化—東南アジア資料と中心に」に係る打ち合わせ 国立民族学博物館（大阪）（2019年5月30日）
- ・総合調査 多良間島の人類遺跡調査（2019年6月11～13日）
- ・沖縄の打製石器に係る資料調査 宜野湾市博物館（2019年6月25日）
- ・沖縄の打製石器に係る資料調査 北谷町教育委員会（2019年7月2日）
- ・沖縄の打製石器に係る資料調査 与那城資料館（うるま市）（2019年7月3日）
- ・第13回 日韓新石器時代研究会参加 熊本大学（2019年7月13、14日）
- ・沖縄の打製石器に係る資料調査 おきなわワールド（2019年7月17日）
- ・共同研究事業 サキタリ洞遺跡発掘調査（2019年8月27～10月9日）
- ・第45回九州旧石器文化研究会（佐賀大会）伊万里市歴史民俗資料館（2019年11月9、10日）
- ・資料調査（大分県の洞穴遺跡現地踏査および出土品調査）（2019年11月11～14日）
- ・総合調査 宮古島市の人類遺跡調査（2019年11月26～28日）
- ・遺跡出土品の理化学分析（株）パレオ・ラボ東海支店（岐阜県羽島市）（2019年12月10～13日）
- ・サキタリ洞遺跡発掘調査に係る調整（東京大学）（2019年12月16、17日）
- ・勝連城跡東の郭出土人骨の調査（2019年12月25日、2020年1月7日、2月6日）
- ・移動展 in 伊江島 撤収作業（2019年2月4、5日）
- ・共同研究事業 サキタリ洞遺跡発掘調査（2020年2月11～18日）
- ・第30回九州縄文研究会鹿児島大会 天城町防災センター（鹿児島県徳之島）（2020年2月23、24日）
- ・知名町遺跡出土品資料調査（沖永良部島）（2020年2月25、26日）
- ・沖縄の先史文化研究に係る関連資料調査 中央研究院、国立自然科学博物館（台湾）（2020年3月1～4日）
- ・先史時代の海洋文化に関する資料調査 長崎県平戸市、熊本県玉名市（2020年3月7～10日）
- ・「貝塚展」に係る資料調査 東京大学（2020年3月11、12日）
- ・科学研究費補助金基盤（A）ホモ・サピエンス躍進の初源史 ミーティング 国立科学博物館（2020年3月17日）

○講演・学会など

- ・名 称：学芸員講座「沖縄先史時代の墓と人骨」
日 時：2019年4月13日（土）
場 所：博物館講座室
- ・名 称：「人類はいかに海を越えたか—琉球列島からの展望」
日 時：2019年5月19日（日）
場 所：駒沢大学
依頼機関：日本考古学協会 第85回総会
- ・名 称：国際島嶼教育研究センター第198回研究会「琉球列島における人類文化の起源を探る」
日 時：2019年7月8日（月）
場 所：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター
依頼機関：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター
- ・名 称：「沖縄本島サキタリ洞遺跡の調査」（日本学術会議シンポジウム）
日 時：2019年7月28日（日）
場 所：日本学術会議
依頼機関：日本学術会議（自然人類学分科会）
- ・名 称：「沖縄の島々をめぐる縄文コネクションと近海ネットワーク」
日 時：2020年2月23日（日）
場 所：天城町防災センター（鹿児島県大島郡天城町天城）
依頼機関：九州縄文文化研究会

○著作論文等

- ・「沖縄の土器研究と胎土分析」『考古学ジャーナル』724 2019年4月
- ・「沖縄の化石調査」『日本旧石器学会ニュースレター』41 日本旧石器学会 2019年4月
- ・「2018 新北市考古生活節 参加記」『博物館ボランティア通信』 2019年
- ・「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡ーガンガラーの谷ー」『考古学ジャーナル』732 2019年10月
- ・「人骨から見たグスク時代人」 特別展『グスク・ぐすく・城』図録 2019年11月
- ・「沖縄本島サキタリ洞遺跡の調査」『学術の動向』25（2） 公益財団法人日本学術協力財団 2020年2月
- ・「沖縄の島々をめぐる縄文コネクションと近海ネットワーク」『第30回九州縄文文化研究会鹿児島（徳之島）大会 島々の考古学ー一人はなぜ島を目指すのかー』 発表要旨・資料集 九州縄文研究会 2020年2月
- ・「南城市武芸洞遺跡採集の黒曜石製石器」『博物館紀要』13 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月（大岡素平と共著）
- ・「北谷町伊礼原E遺跡出土の赤色顔料付着土器と安山岩製石鏃」『博物館紀要』13 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月（山城安生と共著）
- ・沖縄タイムス 「南島考古への招待ー沖縄考古学会50年ー旧石器時代」 2019年11月

○競争的研究資金の獲得状況

- ・「更新世ー完新世の環境激変期における人類適応史の解明」『（公財）住友財団2019年度環境研究助成』（2019年11月～2020年11月）

澤浦 亮平（学芸員／人類）

○調査・研究等

- ・尻労安部洞窟調査会議への出席（慶應義塾大学）（2019年4月13日）
- ・「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」の打ち合わせ（当館）（2019年4月18日）
- ・Johannes Krause氏（Max Planck Institute）来館対応（当館）（2019年4月24日）
- ・当館所蔵哺乳類化石等のマイクロX線CT撮影（東北大学歯学部）（2019年5月7～9日、25～27日、11月27～29日、2020年3月17～19日）
- ・日本考古学協会総会への参加（駒澤大学）（2019年5月19日）
- ・「New Taipei City International Archaeology Forum 2019」への参加（台湾新北市立十三行博物館）（2019年5月22日）
- ・「New Taipei City Archaeology Festival」でのワークショップの実施（台湾新北市立十三行博物館）（2019年5月25、26日）
- ・古墓調査（石垣市：2019年6月12日、うるま市：2020年3月4、5日）
- ・日本動物考古学会第7回大会への参加・発表（千葉市）（2019年6月15、16日）
- ・ケラマジカ標本の受取（阿嘉島）（2019年6月19日）
- ・沖縄考古学会総会・研究発表会への参加（北中城村）（2019年6月30日）
- ・青森県尻労安部洞窟の発掘調査（青森県下北郡東通村）（2019年8月1～12日）
- ・南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査（南城市ガンガラーの谷）（2019年8月27日～10月9日、10月16日、2020年2月10～23日）
- ・沖縄市サイエンスフェスタへの参加（沖縄市体育館）（2019年9月8日）
- ・白保竿根田原洞穴出土人骨の調査（文化財サービス沖縄営業所）（2019年9月14日）
- ・当館ロビー展「石灰岩の大地と化石」に係る資料借用（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2019年9月24日）
- ・「こどものためのジオカーニバル」への参加（大阪市立科学館）（2019年11月2、3日）
- ・当館特別展「グスク・城・ぐすく」に係る資料借用（沖縄市・うるま市：2019年11月6日、北谷町・恩納村・宜野湾市：11月7日、今帰仁村・浦添市：11月8日）
- ・資料調査：美ら海水族館（2019年12月11日）、八重瀬町（2019年12月12日）、琉球大学風樹館（2019年12月13日）、群馬県立自然史博物館（2020年2月29日、3月1日）、花巻市総合文化財センター（2020年3月7、8日）
- ・港川遺跡のドローンによる撮影（八重瀬町）（2019年12月25、26、29日）
- ・勝連城跡出土人骨の発掘調査（うるま市）（2020年1月7日、2月6、7日）
- ・当館特別展「グスク・城・ぐすく」に係る資料返却（琉球大学風樹館・浦添市・沖縄県立図書館：2020年2月5日、うるま市：2020年2月6日）
- ・次年度移動展に関する打ち合わせと会場の下見（渡嘉敷村）（2020年3月24日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：日本動物考古学会第7回大会「更新世シカ化石に観察された傷の実験考古学的研究」

- 期 日：2019年6月15日（土）
- 場 所：千葉県千葉市 生涯学習センター
- ・名 称：向陽高等学校 地歴・公民科巡検事前学習会「港川人はどのような人だったのか？」
- 期 日：2019年11月15日（金）
- 場 所：向陽高等学校
- ・名 称：学芸員講座「実践！骨考古学～入門編～」
- 期 日：2019年7月13日（土）
- 場 所：博物館講座室
- ・名 称：法政大学国際高等学校SGHプログラム「武芸洞遺跡・サキタリ洞遺跡・港川遺跡の巡検」
- 期 日：2019年10月28日（月）
- 場 所：武芸洞遺跡・サキタリ洞遺跡・港川遺跡他
- ・名 称：法政大学国際高等学校SGHプログラム「博物館常設展示の見学」
- 期 日：2019年10月30日（水）
- 場 所：当館常設展示室
- ・名 称：令和元年度 青森県埋蔵文化財発掘調査報告会「安部遺跡（尻労安部洞窟）」（後藤千遥他との共著による発表）
- 期 日：2019年12月7日（土）
- 場 所：青森県総合社会教育センター
- ・名 称：第33回東北日本の旧石器文化を語る会「青森県尻労安部洞窟」（鈴木伸太郎他との共著による発表）
- 期 日：2019年12月22日（日）
- 場 所：秋田県秋田市中央市民サービスセンター

○著作論文等

- ・「更新世シカ化石に観察された傷の実験考古学的研究」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第13号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月

○競争的研究資金の獲得状況

- ・「後期更新世大型シカ類の動物考古学的研究」『科学研究費助成事業 若手研究 平成30年度～令和3年度』

○兼任

- ・国立科学博物館 人類研究部 協力研究員
- ・東北大学大学院歯学研究科 口腔器官解剖学分野 大学院非常勤講師

5 職員研修

（1）沖縄県博物館協会

① 総会・春の研修会・現地研修

日 時：2019年5月16日（木）～17日（金）

場 所：宜野湾市立博物館

参 加 者：園原謙、久部良和子、外間一先、宇佐美賢、菊川章、山本正昭、澤浦亮平、篠原あかね、伊禮拓郎、阿利よし乃、勝連涼子、玉城ちひろ

② 秋の研修会・現地研修

日 時：2019年10月31日（木）～11月1日（金）

場 所：沖縄県立博物館・美術館

参 加 者：田名真之（館長）、以下博物館班・美術館班職員全員

（2）九州博物館協議会

① 総会・春の研修会・現地研修

日 時：2019年5月16日（木）～17日（金）

場 所：長崎歴史文化博物館

参 加 者：田名真之（館長）、大湾ゆかり（博物館班長）

② 秋の研修会・現地研修

日 時：2019年10月31日（木）～11月1日（金）

場 所：鹿児島県歴史・美術センター黎明館

参 加 者：田名真之（館長）、外間一先（主任学芸員）

(3) ICOM京都大会2019

期 間：2019年9月3日(火)
場 所：国立京都国際会館
参 加 者：篠原あかね(学芸員)

(4) 第11回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー第2年度

期 間：2019年10月7日(月)～11日(金)
場 所：京都国立博物館
参 加 者：篠原あかね(学芸員)

(5) ユニバーサルミュージアム研修

期 間：2020年1月27日(月)
場 所：沖縄市立郷土博物館
参 加 者：菊川章(主任学芸員)

(6) 博物館ゼミ(仮称) 以下「回、期日、担当者、題」の順に記す(原則毎週月曜日に実施)

回	累計回	月日	曜日	担当者	備 考
第1回	272	04/08	月	大川 剛	博物館ボランティアの育成と常設展示室を活用した取組みの工夫改善について
第2回	273	04/15	月	勝連 涼子	フィルム保管室の現状と問題ーデジタルデータの利用と保存ー
第3回	274	04/22	月	玉城ちひろ	ボランティアについて『10年のあゆみ』でまとめたこと+αー西安の写真
第4回	275	05/13	月	園原 謙	三線のふしぎ発見
第5回	276	05/27	月	田名 真之	『野村工工四』について
第6回	277	06/03	月	山崎 真治	沖縄先史時代の墓と人骨
第7回	278	06/10	月	宇佐美 賢	令和2年度特別展「沖縄の石-島々の知られざる魅力、石ころと化石から見える大きな世界-」
第8回	279	06/17	月	菊川 章	学芸員といくフィールドツアー 沖縄本島南部の自然観察に行こう！ー他分野連携の可能性ー
第9回	280	07/08	月	澤浦 亮平	博物館資料の活用の幅をひろげるフォトグラメトリー
第10回	281	07/22	月	山本 正昭	あらためてグスクとは何かー展示に向けて考えるー
第11回	282	07/29	月	與那嶺一子	第二次世界大戦後の復興と課題
第12回	283	08/19	月	篠原あかね	陽明文庫所蔵琉球関係資料について
第13回	284	08/26	月	伊禮 拓郎	貝摺奉行所製螺鈿漆器の編年の可能性
第14回	285	09/02	月	外間 一先	第11代斎藤用之助資料について
第15回	286	09/09	月	久部良和子	「台湾～黒潮でつながる隣ジマ～」の展示解説
第16回	287	10/07	月	阿利よし乃	波照間島の共同労働ーサトウキビ収穫ユイマールの現在ー
第17回	288	10/21	月	大湾ゆかり	2019年度泥藍製造者の悉皆調査
第18回	289	11/18	月	大川 剛	パープルでレッドなブラック(オキナワンロックの歴史)
第19回	290	12/02	月	勝連 涼子	デジタル・アーキビスト資格取得講座について
第20回	291	12/09	月	玉城ちひろ	博学連携の課題と展望
第21回	292	01/06	月	園原 謙	中米エルサルバドル共和国の平和教育推進支援に係る調査概要について
第22回	293	01/20	月	田名 真之	琉球・沖縄史の中の首里城
第23回	294	01/27	月	山崎 真治	2019年度サキタリ洞遺跡の調査
第24回	295	02/10	月	澤浦 亮平	伊江島具志原貝塚の埋葬人骨・首里城の再建に関するアンケート結果
第25回	296	03/02	月	宇佐美 賢	岩石鉱物Web図鑑について
第26回	297	03/09	月	菊川 章	令和3年度博物館特別展「みんなの進化～命はつながっている(仮称)」の企画について
第27回	298	03/16	月	與那嶺一子	染織資料の受入 1949年度～1969年度(復帰まで)を整理して・・・
第28回	299	03/23	月	園原 謙	博物館常設展の魅力を探そう！「展示解説の勘所」

II 展示活動

1 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展1本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び、新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度（平成20）からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きる－豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2019年度（平成31・令和元）は特別展2本と企画展を2本、ロビー展、部門展示の展示替えを行った。具体的には特別展「グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－」、琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展「手わざー琉球王国の文化－」、企画展「新収蔵品展」、企画展「大嶺薫コレクション」を開催した。

2 常設展

【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つひとつが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きる－豊かさ、美しさ、平和を求めて－」とした。常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年（平成29）2月に展示の魅力アップをはかるため、旧首里城正殿鐘を単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘7口を新たに追加、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外（駐車場側）に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘（実物）を吊り、対外的に博物館の魅力の発信を図った。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然と暮らし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

○海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海に暮らした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる2万2,000年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが築かれるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の3つに収斂し、激しい抗争を繰り返した。しかし、15世紀はじめ頃に、これらの3つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

○王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制をつくりあげていった。展示リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

○薩摩の琉球支配と王国（近世琉球期）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀、蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていた。

○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年（明治12）に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した（琉球処分）。琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果、沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年（昭和20）、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年（昭和47）に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年（平成12）には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

○自然史部門展示 「生物が語る沖縄2億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル（沖縄島北部）、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

○考古部門展示 「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

○美術工芸部門展示 「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

○歴史部門展示 「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとく、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

○民俗部門展示 「沖縄の伝統と暮らし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

3 常設展 部門展示替え／ミニ企画／エントランスホール展示

【美術工芸部門】

沖縄は、潤湿亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮、日本、東南アジアの中継地点に位置している。かつては琉球王国として独自の文化を育んでいた。美術工芸部門展示室では、展示資料を通して琉球の美を紹介している。

当館が収蔵する美術工芸品をテーマに合わせて選定し、下記のテーマで展示替えを行った。

(1) 「時代を越える名品」

展示期間：2019年（平成31・令和元）4月16日（火）～7月28日（日）

主 旨：絵画、染織、漆器などそれぞれの分野から学芸員が選んだ「名品」を展示した。王府の貝摺奉行所を中心に様々な美術工芸品が製作された中で、100年以上の時を越えて今に受け継がれる「名品」を選び、琉球王国の歴史と文化を今に伝える作品として紹介した。

展示資料：31件36点

「虎の図」、「牡丹の図」、山田真山「達磨図」／鄭嘉訓「七言対句」、尚育「四時」、冊封使の書、尚温「寿」、宜湾朝保の書、魏学賢「春日」、鄭元偉の書、扁額「徳高」／円覚寺 唐獅子羽目板、魚身変龍隅飾／木綿白地経縞衣裳、芭蕉朱地経縞衣裳、桐板白地格子に緋衣裳、木綿浅地経縞緋衣裳、木綿紺地格子に緯浮花織袴衣裳、木綿染分地震に遠山菊水模様胴衣、桐板白地菊菱繋ぎに菊桜葵流水模様衣裳、木綿紺地緯縞に縫織織ティサジ、木綿白地緋ティサジ／朱漆山水楼閣人物箔絵丸形東道盆、黒塗薔薇堆錦椀、黒塗菊花堆錦椀、黒塗山水絵堆錦椀、黒漆開閉式六角提重／古我地焼水甕、パナリ焼壺、緑釉嘉瓶、陶製異人像、赤絵竹梅文茶家、三島渡名喜瓶、金城次郎作「魚文大皿」



(2) 「朝薫踊り、順則詩う -琉球王国時代の偉人-」

展示期間：2019年（令和元）8月4日（火）～12月1日（日）

主 旨：組踊上演300周年記念事業の一環として、組踊を創始した玉城朝薫と、朝薫とともに江戸立ちに参加した程順則らにスポットをあてた。組踊の創始者として注目される朝薫であるが、二度の江戸立ちへの参加や那覇港工事の協奉行として活躍し、最終的には親方まで上り詰める優秀な役人であったことも紹介した。順則は、近衛家熙の求めに応じ漢詩を献上しているが、琉球帰国後も家熙と交流があり、孔林楷杯などを献上している。本展では、これらの陽明文庫が所蔵する関係資料を県内初公開した。

展示資料：41件54点

向姓家譜（写真複製版）（那覇市歴史博物館所蔵）／琉球中山王使者絵図（パネル）（国立公文書館所蔵）／辺土名家（朝薫）の墓・玉城朝薫の厨子甕写真（浦添市文化財課所蔵）／琉球国来聘記事（沖縄県公文書館所蔵）／黒漆草花螺鈿沈金八角食籠／芭蕉布／德利／『中山傳信録』／徐葆光『五言律詩二首』／冠船之時御座構之図／三線（盛鳴開鐘）／三線（志多伯開鐘）／野村工工四／屋嘉の芸能衣装（金武町屋嘉区所蔵）／琉球切手原画（組踊シリーズ）／新湊那覇港碑文／新湊那覇港碑文（拓本パネル）（沖縄県立図書館所蔵）／首里那覇港図屏風／琉球楽器／物外楼記（程順則）（公益財団法人陽明文庫所蔵）／物外楼記（蔡温）（公益財団法人陽明文庫所蔵）／物外楼記（蔡肇功、曾曆、蔡淵）（公益財団法人陽明文庫所蔵）／孔林楷杯（公益財団法人陽明文庫所蔵）／孔林楷杯題字（公益財団法人陽明文庫所蔵）／物外楼楷杯為木假山記（公益財団法人陽明文庫所蔵）／程順則の肖像（寄託）／程氏家譜（寄託）／物外楼記（程順則）／『六諭衍義大意』／程順則（聖諭）の書／徐葆光「立雪堂」／琉球新建儒学碑記（拓本）／曾曆「松」／『四本堂家礼』／『四本堂詩文集』／『中山詩文集』／蔡鐸本『中山世譜』／蔡温本『中山世譜』



(3) 「手わざの秘密」

展示期間：2019年（令和元）年12月10日（火）～2020年（令和2）年4月5日（日）

主 旨：特別展「手わざー琉球王国の文化ー」の開催に併せて、琉球王国文化遺産集積・再興事業にて模造復元した作品の関連作や、琉球王国の文化と当時の手わざを伝える作品を紹介した。

展示資料：26件30点

伝自了「寿老人」、「美女の図」、佐渡山安健「仲田青毛之図」、長嶺華国「花鳥図」／鄭嘉訓「福」、鄭嘉訓「梅花開く」、中山尚慎「梅花」／三線 拝領南風原型（寄託品）／絹木綿経縞ロートン織袴衣裳、芭蕉経縞細織子供着、木綿紺地格子に緯浮花織袴衣裳（裏木綿黄色地紅型）、木綿紺地緋に経浮花織袴衣、木綿白地カカン、木綿紺地花織ウッチャキ、木綿紺地手縞衣裳、桐板白地経緯緋衣裳、木綿染分地山波に鶴松竹梅文様子供着、木綿浅地震に枝垂桜模様衣裳、苧麻紺地巴紋に牡丹模様ウチュキ／丁子風炉、赤絵急須、線描抱瓶／朱漆巴紋牡丹沈金足付盆、朱漆巴紋牡丹沈金食籠、黒漆雲龍螺鈿盆／旧円覚寺釈迦三尊像



（篠原 あかね、伊禮 拓郎）

【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解く展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。また、様々なテーマに沿って年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

歴史部門では、「那覇港～往来する人とモノ～」というテーマの展示を通年で展示しつつ、令和元年度はオリンピック東京大会2020開催の1年前にあたることや南部九州高校総体が沖縄開催だったことを受け、「沖縄とスポーツ-国体・オリンピックの軌跡」展を行った。内容は沖縄のスポーツの歴史について1964年東京オリンピックの聖火リレーや復帰記念特別国体などの資料を紹介した。

また、当館が所蔵する写真資料86件、映像フィルム390本を紹介する「記録の中の沖縄Okimuおきみゅーコレクションから」展も開催。戦前の沖縄を撮影した写真、ガラス乾板、カメラなどを出展。戦争によって多くのものを失った沖縄にとって、戦前の光景を記録した写真は貴重な資料である。終戦から次第に復興していく沖縄の街並を撮影したカラー写真など色鮮やかな原風景をパネルにて展示した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

(1) 「那覇港～往来する人とモノ～」

展示期間：通年展示

主 旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に引き上げ、3つのテーマに分けて紹介する。「1 王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「2 往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「3 那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。

展示資料：首里那覇港図屏風、間切図（町方・島尻西）（複製）、「琉球国全図」（琉球列島并三十六島之図）、他

(2) 「沖縄とスポーツ-国体・オリンピックの軌跡」展

展示期間：2019年（令和元）7月30日（火）～9月29日（日）

主 旨：「スポーツには世界と未来を変える力がある」をテーマに2020年オリンピックは、東京で開催される予定であった。また2019年夏には「響かせろ我らの魂 南の空へ」をテーマに全国高等学校総合体育大会（南部九州総体）も開催することを記念して、当館ではオリンピックや沖縄のスポーツ行事に関する展覧会を実施した。展示資料は1964年東京オリンピック関連資料や1973年の若夏国体関連資料を中心に構成。

64年当時、沖縄の施政権はアメリカにあり、祖国復帰運動を展開する沖縄では多くの人が日本全国と感動を分かちあい



たいと願い、聖火リレーに沸き、日本国旗を掲揚した。聖火リレーに沸いた当時の様子やオリンピック記念資料、また復帰記念沖縄特別国体等の資料を通して、世相を振り返ることを目的とし、また当館の常設歴史部門展示室において、展示内容の充実強化をはかるものだった。

展示資料：1964年東京オリンピック金メダル、1988年ソウルオリンピック選手用ブレザーネクタイ等、1964年東京オリンピック体操競技用ユニフォーム、1972年ミュンヘンオリンピック具志堅氏スパイクシューズ、2016年リオデジャネイロ・パラリンピック車椅子ラグビー銅メダル、リオデジャネイロ・パラリンピック選手用ブレザー、若夏国体の大会役員用ブレザー海邦国体の大会役員用ネクタイ、若夏国体ネクタイピン、若夏国体ワッペン他



(3) 「記録の中の沖縄Okimuおきみゅーコレクションから」展

展示期間：2019年（令和元）12月3日（火）～2020年（令和2）3月1日（日）

主 旨：明治から大正、昭和初期、終戦直後、復帰前後までの沖縄を記録した写真を紹介する。当館は数千点におよぶ写真や390本の映像フィルムを所蔵している。

その中から1898年来琉した英国人・クラッターバックのアルバムや大正時代の坂口總一郎が愛用したカメラと撮影した写真、その他終戦後に沖縄の植物調査に訪れたEHウォーカーのカメラや写真等を展示する。

展示資料：クラッターバック写真アルバム『Old Japan』、坂口總一郎愛用カメラ及び『沖縄写真帖』、本山桂川写真パネル、坂元商店絵葉書、E・H・ウォーカー愛用カメラ、タイプライター、仲座久雄収集写真、仲座久雄愛用カメラ、カバン他



（外間 一先）

【民俗部門展示室】

民俗分野の「沖縄のすまい」コーナーでは、毎年季節の行事にあわせて仏壇前にお供え物等を展示している。令和元年度も以下のように行った。

主 旨：沖縄では旧暦の1日・15日をはじめとして、季節の行事ごとに仏壇などに様々な供え物を飾って祖先を祀り、家族の健康などを願う習わしがある。民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネルを展示した。

展示期間：正月（新・旧）、清明祭、5月4日（ユッカヌヒー）と5月5日（グングワチグニチ）、旧盆、十五夜、冬至、ムーチャー等



旧盆（昭和初期の供物を再現）



旧盆のウンケーजूシーや重箱など



旧正月の供え物とパネルによる写真紹介



旧正月の位牌の前の様子



正月の膳にはクーブイリチーや豚肉、赤飯などが並ぶ

（阿利 よし乃）

【常設展示室入口ミニ企画／エントランスホール展】

(1) 「愛鳥週間ミニ展示 大鳥類展!〜「愛鳥週間」は、博物館で鳥(とり)三昧(さんまい) 〜」

展示期間：2019年5月8日(水)〜5月26日(日)

展示場所：当館エントランスホール(階段下)

展示内容：「愛鳥週間」(毎年5月10日〜5月16日)にちなみ、当館収蔵の鳥類剥製を展示した。また、県自然保護課において実施された「平成30年度沖縄県愛鳥週間ポスターコンクール」入賞作品も合わせて展示した。



展示の様子

(菊川 章)

(2) 「めざせ 与那国!!ー3万年前の航海徹底再現プロジェクトを応援しよう!ー」

展示期間：2019年6月25日(火)〜7月15日(月)

場 所：エントランスホール(美術館側)

(澤浦 亮平)

(3) 「石灰岩の大地と化石」

展示期間：2019年10月1日(火)〜10月20日(日)

展示場所：エントランスホール(常設展示室入口前)

展示協力：沖縄県立埋蔵文化財センター

展示内容：10月15日の「化石の日」にちなみ、沖縄県内に分布する新旧の石灰岩数種類と、それらから産出する化石、港川人の全身骨格模型、石垣島新空港建設に伴う近年の調査によって発見された白保竿根田原洞穴遺跡出土人骨の全身模型を展示した。



(宇佐美 賢、澤浦 亮平)

(4) ①「冬鳥展」、②「ゆくとしくるとし展」

展示期間：①冬鳥展／2019年10月22日(火)〜12月22日(日)

②ゆくとしくるとし展／2019年12月24日(火)〜2020年2月27日(土)

場 所：エントランスホール(博物館常設展示入口)

展示内容：①冬鳥の飛来する季節にあわせて当館所蔵の剥製を展示した。

②干支にちなんで、イノシシ(幼体)や琉球列島固有種のネズミを展示した。



冬鳥展の様子



ゆくとしくるとし展の様子

(菊川 章)

(5) 第71回 GODACセミナー「南極で活躍する女性たち」関連ミニ展示「南極大陸の石たち」

展示期間：2019年12月3日(火)～15日(日)

展示場所：エントランスホール(階段下)

展示協力：大石林山 沖縄石の文化博物館

展示内容：当館博物館講座室で開催された国際海洋環境情報センター(GODAC)のセミナー「南極で活躍する女性たち」(12月15日開催)に関連し、南極大陸の岩石を展示した。



(宇佐美 賢)

(6) 「シマのムラー掘り出された八重山の近世集落」

展示期間：2020(令和2)年1月7日(火)～26日(日)

展示内容：近年における近世集落遺跡の発掘調査成果は目を見張るほどの進展があり、その成果の一部を紹介していくことで沖縄県内の埋蔵文化財への理解を深めていくことを目的に開催した。近世八重山諸島での歴史的経過とその時期の遺跡の特徴をパネルで紹介した。更に、安良村跡、網取村跡の発掘調査出土遺物を中心に、崎山村跡やG・H・カーが1950年代に八重山諸島各地の集落遺跡で表採した遺物の展示を行った。そして、当展示は沖縄県内の博物館12施設が参加している「令和元年度 沖縄県内埋蔵文化財公開活用合同企画展」の関連展示として位置付けた。

関連催事：ギャラリートーク 2020(令和2)年1月26日(日)14:00、16:00の2回開催

講師 石井龍太(城西大学経営学部)、山本正昭(当館主任学芸員)



展示の様子



ギャラリートーク

(山本 正昭)

4 特別展「グスク・ぐすく・城ー動乱の時代に生み出された遺産ー」

会 期：2019年(令和元)11月19日(火)～2020年(令和2)1月19日(日)

開館時間：9:00～18:00(金、土は20:00)

会 場：博物館企画展示室・特別展示室1・2

観 覧 料：一般1,100円(880円)、高大生600円(480円)、小中学生300円(240円)

※()は前売及び20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方、及び介助者の方は当日料金の半額

観覧者数：9,632名(51日間)

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

協 力：沖縄県立図書館、今帰仁村教育委員会、恩納村教育委員会、うるま市教育委員会、沖縄市教育委員会、読谷村教育委員会、中城村教育委員会、浦添市教育委員会、那覇市立歴史博物館、南城市教育委員会、八重瀬町教育委員会、糸満市教育委員会、久米島町教育委員会、浦添市立図書館、喜界町教育委員会、伊仙町教育委員会、与論町教育委員会、国立歴史民俗博物館

後 援：琉球新報、沖縄タイムス、南海日々新聞、奄美新聞、琉球放送、



開会式の様子

琉球朝日放送、沖縄テレビ、NHK沖縄放送局、FM那覇、沖縄考古学会、琉球・沖縄歴史学会、沖縄県教育委員会

特別協賛：伊平屋村教育委員会、宜野湾市教育委員会、琉球大学工学部知能情報コース 赤嶺研究室、(株)NTTドコモ、シーバーズ・スタジオ

【開催趣旨】

世界遺産として登録されている「琉球王国のグスク及び関連遺産群」にあるように、グスクは琉球列島における代表的な遺跡として挙げることができる。また、多くのグスクが観光スポットとして整備され、国内外から多くの観光客が今も訪れている。これら世界遺産に登録されているグスクを始め、琉球列島各地にあるグスクについては県内の展示施設において個別の展示は行われていない。このことから、グスク全体を概括して発信する機会はこれまで稀であったと言える。

本展示会では琉球列島を代表する歴史遺産であるグスクを全体的に把握する目的の下、展示を構成し、改めてグスクについて考えていくものである。また、近年における発掘調査成果から、グスクがかつて、どのような役割を果たしていたのかを再現し、現在では想像がつかない600年前の琉球の姿を描き出すことを試みる。

【展示構成】

第1章 グスクへの道

権力者が拠るグスクが成立するまでの道程を11世紀後半～13世紀の集落遺跡の展開から見ていきます。

第2章 グスクの形を見る

大規模な構築物であり、巧みな防御施設を有するグスクの実態をジオラマ模型や石積み模型から見ていき、更には海外の城郭遺跡との関係まで読み解いていきます。

第3章 争った人々の痕跡

生々しい戦いの様子をグスクから出土した遺物を中心に紹介し、再現VR映像を用いて見ていきます。

第4章 グスクと権力

グスクに拠る、地域の首長・按司が自らの権威を誇示した様子をグスクから出土した考古資料を中心に見ていきます。

第5章 グスクの中の聖域

グスクにとっての祈りの場についてスポットを当て、グスクと聖域の関係性について民俗資料ならびに考古資料、文献資料から切り込んでいきます。

第6章 伝えられたグスクの姿

近世や近代においてグスクが変容していく、グスク時代のグスクとは異なる姿を、文書や絵画、古写真などを使って紹介していきます。

第7章 これからのグスク像

戦後におけるグスクの史跡整備と今後におけるグスクの研究の展望とグスクの公開活用についての新たな試みについて紹介していきます。



第2章 グスクの形を見る



第3章 グスクと権力

【展示会見取図】



【関連催事】

(1) 特別展開催記念、世界遺産登録20周年記念講演「文献からうかがえるガスクの姿」

日 時：2019年11月19日（火）14:00～16:00

場 所：博物館講座室

講 師：田名真之（当館館長）

参 加 者：100名

(2) 特別展開連シンポジウム①「形から見たガスクの原点を探る」

日 時：2019年12月21日（土）13:00～17:00

場 所：講堂

パネリスト：千田嘉博（奈良大学文学部教授）、向井一雄（古代山城研究会代表）、山元貴嗣（中部大学人文学部准教授）、山本正昭（当館主任学芸員）

討論司会：上里隆史（浦添市立図書館館長）

参 加 者：242名

(3) 特別展開連シンポジウム②「遺跡から見た琉球列島のガスク時代」

日 時：2020年1月19日（日）13:00～17:00

場 所：講堂

基調講演：眞嗣一「ガスク研究の歩み」

パネリスト：村木二郎（国立歴史民俗博物館准教授）、池田榮史（琉球大学国際地域創造学部教授）、久貝弥嗣（宮古島市教育委員会）、小野正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

討論司会：山本正昭（当館主任学芸員）

参 加 者：240名

(4) 特別展展示解説会「特別展の魅力を隅々まで語るガイド」

日 時：2020年1月11日（土）10:00～11:30、14:00～15:30の2回開催

場 所：特別展示室、企画展示室1、2

講 師：山本正昭（当館主任学芸員）

参 加 者：1回目17名、2回目46名

(5) 遺跡ツアー① ガスク見学会 in 宜野湾市

日 時：2019年12月15日（日）13:00～16:30

場 所：宜野湾市内のガスク時代遺跡4か所

講 師：宜野湾市教育委員会文化財課発掘調査専門員ならびに、宜野湾市立博物館学芸員

参 加 者：25名

参 加 費：100円

(6) 遺跡ツアー② グスク見学会 in 伊平屋島
日 時：2020年2月15日（日）13:00～17:30
見学場所：賀陽山（賀陽グスク）
講 師：山本正昭、菊川章（当館主任学芸員）
参 加 者：20名
参 加 費：100円

(7) ワークショップ「グスクから出土する銭をつくる」
主 催：沖縄県立博物館友の会
日 時：2019年12月22日（日）、2020年1月13日（月）10:00～11:30、14:00～15:30の計4回開催
場 所：博物館実習室
講 師：山本正昭
参 加 者：60名
参 加 費：300円

（山本 正昭）

5 琉球王国文化遺産集積・再興事業博物館特別展「手わざー琉球王国の文化ー」

会 期：2020年（令和2）2月4日（火）～2020年3月15日（日） 月曜休館
開館時間：9:00～18:00（金、土は20:00まで）
会 場：企画展示室・特別展示室1・2
観 覧 料：一般800円（650円）、高大生500円（400円）、小中学生300円（250円）
※（ ）は前売及び20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方、及び介助者の方1名は当日料金の半額

観覧者数：4,551名（32日間）

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：NHK沖縄放送局、沖縄県教育委員会、沖縄タイムス社、沖縄
テレビ放送株式会社、株式会社 ラジオ沖縄、琉球朝日放送
株式会社、琉球新報社、琉球放送株式会社

協 力：石垣市立八重山博物館、伊是名村教育委員会、一般財団法人
J・フロントリテイリング史料館、一般財団法人沖縄美ら島
財団、一般社団法人養秀同窓会、沖縄科学技術大学院大学、
沖縄県立芸術大学、沖縄県立埋蔵文化センター、九州国立
博物館、久米島博物館、公益財団法人日本民藝館、サントリー美術館、女子美術大学美術館、デ
ンマテリアル株式会社 色材科学研究所、東京国立博物館、独立行政法人 国立文化財機構 東京
文化財研究所、那覇市市民文化財部文化財課、那覇市歴史博物館、奈良国立博物館、法住寺



開会式でのテープカット

【開催趣旨】

琉球王国文化遺産集積・再興事業によって模造復元した作品を展示して、琉球王国の文化を紹介する。平成27年から実施している王国時代の8つの手わざ（絵画、木彫、石彫、染織、漆芸、陶芸、金工、三線）の復元により、多くの新知見が得られた。模造復元品と製作の参考にした資料、また製作に使う道具などの展示を通し、王国時代のものづくりの様相を紹介する。併せて王国の文化をシンボリックに視覚化し、手わざの素晴らしさとともに琉球・沖縄の美意識を表現する。

【展示構成】

プロローグ

戦災や近代化によって県内の貴重な有形無形の文化財と制作技術（手わざ）が失われてしまったことを紹介し、琉球王国文化遺産集積・再興事業の意義を伝える。

1. 手わざの秘密を探る

「手わざ」とは、ものを製作する技術を指す。模造復元を通して得られた新知見や製作の裏側を資料とともに紹介する。

2. 琉球王国の文化

「石彫の世界」「王都のくらし」「地方のくらし」の3つのパートで、王国時代の豊かな文化を視覚的に紹介する。

3. 琉球王国の美

8分野65件の模造復元事業を通して見えてきた琉球の美意識に焦点を当て、輝きや色の美しさを感じられるように、拡大写真とともに展示する。

エピソード

事業に関わった製作者並びに協力者や、製作した感想などを紹介する。沖縄の手わざの力を、世界へ発信していくことを目指し、手わざが人から人へ伝えられ、レガシーとしてこれからも未来へと引き継がれていくことを伝える。

【展示風景】



1. 手わざの秘密を探る



2. 琉球王国の美

【展覧会見取り図】



【関連催事】※関連催事については53～54頁参照。

(篠原 あかね)

6 企画展「新収蔵品展—平成30年度収蔵資料—」

会 期：2019年（平成31）4月30日（火）～2020年（令和元）6月23日（日）

会 場：企画展示室、特別展示室1

観 覧 料：一般500円(420円)、高校・大学生300円(250円)、小・中学生以下無料

※（ ）は、前売り及び20名以上の団体料金

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展を目指して開催するものである。

【事業内容】

平成30年度に寄贈・収集・購入・修理された諸資料を地学、人類、考古、生物、歴史、美術工芸、民俗の分野ごとに、博物館3階の企画展示室および特別展示室1で展示・公開した。

また、本展の開会日には寄贈者への感謝状贈呈式および開会式、各分野の学芸員による展示解説会等を実施した。



開会式 テープカット

【展示内容】

平成30年度は、寄贈・収集・購入等により131件の新資料を収蔵した。自然史分野の代表的な資料に、地学分野では、港川遺跡産出のカメ化石や同遺跡発掘時の貴重な写真資料のほか、金城ダムのトウファ（炭酸塩堆積物）、生物分野では、新島義龍氏が撮影した膨大な植物写真のコレクション、藤田轟氏が収集した貝類標本がある。人類分野の「港川遺跡出土人骨」は、八重瀬町の石灰岩採石場において大山盛保氏により発見されたもので、人類学研究上、世界的に注目を浴びてきた重要資料である。美術工芸分野では、県指定有形文化財「三線真壁型 銘西平」、をはじめ紅型衣裳、琉球古典焼など多彩な資料を公開した。歴史分野では、「蔡氏家譜 四本堂 具志親雲上」関連資料及び銅製立像、「葛姓家譜 支流」、琉球・沖縄の文学碑（拓本）の寄贈があった。近現代歴史分野の「大田昌秀氏手書き原稿」は、1967年に執筆した『沖縄の民衆意識』の原稿から病に伏す直前の2016年10月までのもので、沖縄戦や辺野古の問題などの内容を中心とし、県知事を務めた大田氏が沖縄問題を全国に発信しようとしたことが読み取れる。また、1963年当時の那覇市長 西銘順治からキャラウェイ高等弁務官に贈った絵画「沖縄風景」（大嶺政寛）がアメリカから寄贈された。民俗分野では、琉球箏曲保存会第四代会長の亀谷ウト氏が愛用していた箏と附属品一式、松竹昇助氏の指導のもと、竹富島の人々が作り上げた脱穀時の敷物：「藁蓆（ニープ）」が出品された。

【学芸員による展示解説会の様子】



【新収蔵品展—平成30年度収蔵資料— 展示平面図】



(澤浦 亮平)

7 企画展「大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー」展

会 期：2019年（令和元）5月8日（水）～6月23日（日）

会 場：特別展示室2

観 覧 料：博物館常設展観覧料金と同じ

観覧者数：560名（20日）

【開催趣旨】

大嶺薫コレクションは、故大嶺薫（1905～1970）が戦前・戦後をとおして収集したものです。氏の没後、その意志をひきついだ遺族によって、1971年（昭和46）、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献してきました。1985年（昭和60）3月、同美術館の閉館にともない、収蔵資料3,000点余のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈されました。

戦後、沖縄の多くの文化遺産が消失あるいは海外へ散逸しましたが、大嶺薫はこれら文化財の流出を憂慮し、収集に努めたことは高く評価されるものです。

本展は大嶺の業績を顕彰するとともに、毎年1回開催するもので、本年度は「探求する心とその世界」をサブテーマに、大嶺が見つめた沖縄、日本、中国や南方諸国の美術工芸、歴史、考古、民俗の各分野の資料を紹介します。

【展示内容】

○絵 画 5件 6点

四季花之図、手籠盛花図、鴨之図、白澤之図、三国志高傑図

○書 跡 7件 13点

尚育の書「朝美老翁静観亭録贈」、全魁の書、鄭嘉訓「海不揚波」、徳富蘇峰「日々是好日」、于右任「七言絶句」、硯、矢立

○漆 器 5件 5点

朱漆宝尽くし山水箔絵八角三段重、黒漆菊蒔絵小硯箱、黒漆牛童子蒔絵印籠、朱漆牡丹小禽唐草漆絵硯屏、黒漆唐草螺鈿刀掛

○陶磁器 6件 6点

白釉家紋入嘉瓶、飴釉飛かな渡名喜瓶、シャム南蛮、青磁壺、古我知焼銭壺、狛犬青磁香炉

○彫 刻 5件 7点

ラクダ像、親子亀、打太鼓童子、女人座像、広目天・持国天

○貨 幣 9件138点

明刀銭、長身方足布、方肩方足布、尖足布、崇寧重宝、崇寧通宝、三鏹、開元通宝、五銖、古銭類

○玉 類 24点

白玉鎮圭、青玉蚕圭、青玉玉取獅子蟠龍四神璧、白紅黒玉螭龍璧、青玉璋、黄玉大磬、白玉磬、白玉浮彫石版、緑白玉器、緑玉管玉、石製動物彫刻、瑪瑙魚彫刻

○民 俗 25件 88点

一提げ煙草入れ、腰差し煙草入れ、懷中、布フゾー、煙管、吸口、雁首

○考 古 3件 20点

西表島採集石器、宮崎県収集古墳出土品（大刀1点、大刀鏢1点、鈴輪1点、石1）、帯鈎

【関連催事】

展示解説会

日 時：2019年5月8日（水）11:00～12:00

（外間 一先）

8 企画展「台湾 ー黒潮でつながる隣（とらない）ジマー」

会 期：2019年9月6日（火）～11月4日（月）

開館時間：9:00～18:00（金・土は20:00まで開館）

会 場：企画展示室・特別展示室1

観 覧 料：一般1,000円（850円）、高大生500円（400円）、小中学生100円（80円）

※（ ）は前売及び20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方、及び介助者の方は当日料金の半額

観覧者数：7,909名

【開催形式】

- 主 催：沖縄県立博物館・美術館
共 催：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
後 援：台北駐日経済文化代表処那覇分処、中琉文化経済協会、琉球華僑総会、中琉協会、沖縄県台湾会、琉球台湾商工協会、那覇日台親善協会、琉球海運株式会社、八重山台湾親善協会
協 力：国史館、国史館台湾文献館、国立台湾博物館、国立台湾歴史博物館、国立台湾史前文化博物館、国立交通大学客家文化学院、亜東技術学院、順益台湾原住民博物館、八斗子漁村文物館、南天書局、国立民族学博物館、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館、沖縄県公文書館、那覇市歴史博物館、石垣市、宮古島市、与那国町、中京大学社会科学研究所台湾史研究センター、都留文科大学、台湾原住民族と交流する会、華思会 他

【開催趣旨】

台湾は人口約2300万人、沖縄最西端の島から111kmの近い距離にあり、本県から最も近い外国である。特にアジアのなかでも沖縄の歴史や文化と深い関係があり、明治政府の「台湾出兵」から第二次世界大戦後まで日本による台湾統治の歴史が深く関係している。本展示会では、まず台湾の歴史と住民について概観し、統治者の度重なる交代によって複雑な変転を遂げてきた台湾の歴史をたどりながら、近年急速な民主化を実現した経緯や背景を紹介する。また沖縄と台湾に関する刻まれた歴史の証跡、双方に見られる新しい文化の萌芽を紹介し、多様な民族と言語を有し、多様な文化を形成しながら発展する隣のリニア・台湾の歴史と文化を理解する機会とする。

【展示構成】

第1章 地理から見る台湾

17世紀から20世紀初頭に描かれた台湾と琉球（沖縄）の古地図を読み解きながら「琉球・流求」の名称が太平洋の西側、中国の東方のどの地域を示していたのか、「台湾」という名称の由来は、いつ頃から呼ばれたのかを古地図を通して紹介する。

第2章 近代の台湾

台湾は、1895年から1945年まで50年間日本の植民地であった。多くの日本人が仕事をもとめ台湾に渡った。日本人は台湾でどのような生活をし、また、台湾の人々とどのように交流し暮らしていたのか写真やモノ資料を通して紹介する。

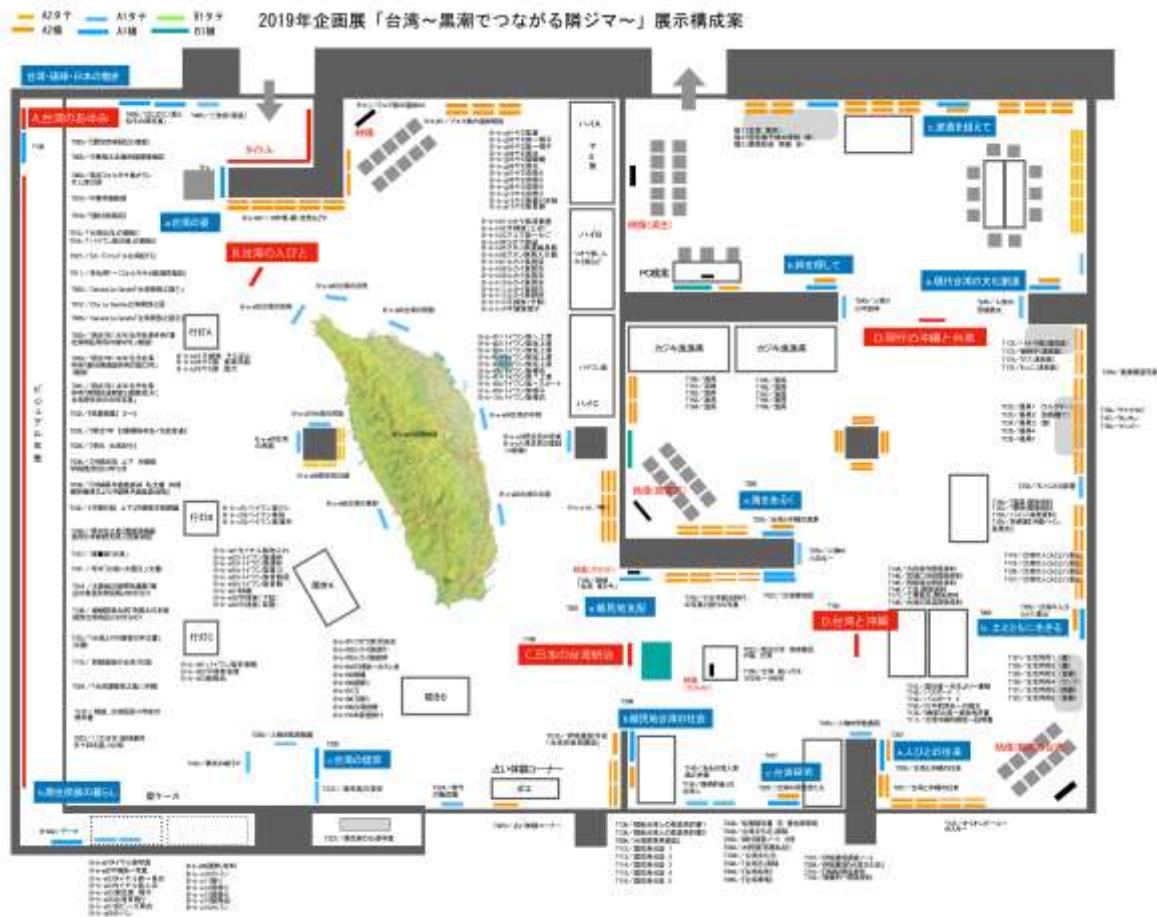
第3章 台湾と沖縄

台湾から沖縄へ本格的に移住が始まったのは、1935年、台湾中部の員林県から集団で石垣島への移住が最初である。彼らは数多くの困難を乗り越え、八重山にパイン産業を興し、戦後沖縄の産業発展に貢献した。また水牛や新種の稲（台中35号）、台風や自然災害に強い甘藷の種や薬草など多くの農産物が技術とともに沖縄にもたらされた。また海上では、宮古・八重山地域と花蓮県南澳地域の漁民たちが黒潮を跨ぎながら双方を行き来し経済交流を行っていたことを紹介する。

第4章 現代の台湾と沖縄

1980年代後半長く続いた戒厳令が解除されると、台湾内外から民主化運動がおこり、長く続いた政権が交代し、台湾出身の総統が選挙によって選ばれる。政界や財界だけではなく教育界からも台湾史・台湾文化を見直す運動「郷土化」が起こる。1982年に花蓮縣と与那国町が姉妹都市を締結し、1995年には蘇澳鎮と石垣市、2007年に基隆市と宮古島市が姉妹都市締結を行いそれぞれ文化の交流を行っている。近年、台湾では、日本統治時代の再評価や東南アジアなどから新しい労働者として移住してきた新住民の文化等を融合した「文創」（文化創造）の活動を紹介する。

【展示会見取図】



【関連催事】

(1) 文化講座

① 「ハイサイ沖縄！ ～台湾から沖縄を見つめて30年～」

日 時：2019年9月21日（土）14:00～16:30 ※台風17号襲来の為、中止

場 所：講堂

講 師：呉密察（国立故宫博物院院長）

② 「台湾から見える沖縄ー現地取材レポート」

日 時：2019年10月5日（土） 14:00～16:30

場 所：講堂

講 師：松田良孝（台湾外交部フェロー・ジャーナリスト）

(2) 台湾映画祭

① 「湾生いきものがたり」

日 時：2019年9月6日（金）、9月14日（土）14:00～16:00

主 催：八重山台湾親善交流協会沖縄支部

共 催：沖縄県立博物館・美術館

場 所：講堂

② 「心の故郷」

日 時：2019年9月13日（金）、9月26日（木）14:00～16:00

主 催：八重山台湾親善交流協会沖縄支部

共 催：沖縄県立博物館・美術館

場 所：講堂

(3) 台湾座談会

① 座談会 I 「台湾の博物館ー博物館の利活用についてー」

日 時：2019年9月14日（土）14:00～16:30

主 催：沖縄県立博物館・美術館

場 所：博物館研修室

演 題 1：「国立民族学博物館と台湾とのつながり」野林厚志（国立民族学博物館教授）

演 題 2：「遺跡、博物館、歴史と人権認識」林志興（国立台湾史前文化博物館副研究員）

演 題 3：「台湾における博物館教育」王雅萍（国立政治大学民族学系准教授）

②座談会Ⅱ「台湾総督府文書の利活用」

日 時：2019年9月28日（土）14:00～16:30

主 催：沖縄県立博物館・美術館

場 所：講堂

演 題 1：「台北昭和町古民家復興の取り組み」黄智慧（社団法人台湾故郷文史協会理事長）

演 題 2：「田代安定 八重山と台湾」陳偉智（台湾大学講師）

演 題 3：「台湾総督府文書の利活用について」東山京子（中京大学社会科学研究所台湾研究所センター長）

③座談会Ⅲ「台湾の過去と現在、未来を見つめて」

日 時：2019年10月26日（土）14:00～16:30

主 催：沖縄県立博物館・美術館

共 催：都留文科大学、NPO法人沖縄東アジア研究センター、株式会社Nansei

場 所：講堂

演 題 1：「構築される歴史認識 牡丹社事件の事例から」宮岡真央子（福岡大学人文学部文化学科教授）

演 題 2：「多言語・多文化社会としての台湾における原住民族言語、文化継承の取り組み」石垣直（沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授）

演 題 3：「イレズミ、台湾と沖縄」山本芳美（都留文科大学文学部比較文化学科教授）

（4）「台湾展」関連展示

特別企画展「沖縄のハジチ、台湾原住民族のタトゥー 歴史と今」

会 期：2019年10月5日（土）～11月4日（月）

主 催：NPO法人沖縄東アジア研究センター、株式会社Nansei

後 援：特別展示室2

観 覧 料：無料

観覧者数：8,006名

【「台湾・沖縄・日本関連略年表」の発刊事業について】

2019年度企画展「台湾～黒潮でつながる隣ジマ～」で製作・展示された「台湾・沖縄・日本関連略年表」を台湾（台北）の公益財団法人沖縄県産業振興公社台北事務所より、台湾で開催される沖縄県のイベント等に活用したいとの依頼があった。当該資料は、日本語で表記していたため、中国語に翻訳し、中国語200部、日本語100部を印刷発行した。

（久部良 和子）

Ⅲ 教育普及活動

1 博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。近年博物館を訪れる来館者のニーズは多様化し、利用者はそれぞれが様々な目的をもって来館する。このような来館者の要求により多くこたえていくため、当館では今年度も多くの教育普及活動を実施してきた。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業と、博物館が企画運営する（文化講座、学芸員講座、体験学習教室、ボランティア養成）事業等、大きく2つの事業に分け推進してきた。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

○県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など） ※重複あり

項 目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見（学習プログラム作成打ち合わせ）	7	0	0	0	0	7
民具体験（小学校3年社会科）	20	0	0	0	0	20
各教科（社会科、理科など）	55	3	7	7	0	72
領域（道徳、特活、総学の時間）	18	2	2	1	0	23
民俗ガイド（小規模校対応）	15	0	0	2	0	17
総合展示部門解説ガイド	25	0	0	1	3	29
修学旅行など	44	0	1	0	0	45
博物館活用学習（自由見学）	0	2	0	0	14	16
その他	12	3	4	5	0	24
合 計	196	10	14	16	17	253

2 学校連携事業

学校連携事業は、大きく二つの事業を実施した。

一つは、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援で、館から提供できる支援内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携していく学習プログラムを実施した。

二つめは、『出前授業等』実施要項の作成及び、『教育普及報告書』『博物館学校団体利用マニュアル』を作成し、沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援校に配布した。

（1）学校団体受入れ

9月頃から2月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学3年生が数多く来館する。この民具体験学習では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。今年度は、11校がボランティアを活用した学習プログラムを行った。

（2）出前授業等

博物館のもつ資源（もの、情報）を学校教育の場で有効に活用することを趣旨とし、昨年度から出前授業等を実施している。今年度は、小学校3校・高等学校5校・その他1施設での授業及び校内研修で出前授業等を実施した。

3 博物館体験学習教室

沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

（1）体験学習教室実施一覧

	題	講師名	内容	参加者
2月29日（日）	OKIMUでサンゴを知ろう！ サンサンゴーゴー！	菊川 章（生物）	各ワークショップ	—

※ 新型コロナウイルス対策のため、中止

4 博物館文化講座

博物館文化講座は、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。

(1) 文化講座開催一覧

回	期日	演 題	講師名	定員	参加
502	4/20 (土)	極低温の不思議な世界	與儀 護	200	70
503	5/18 (土)	洞窟の謎と魅力	石原 与四郎	200	102
504	6/15 (土)	人に生まれて良かったと思える、虫のはなし	宮竹 貴久	200	98
505	7/20 (土)	人類学特論	影山 幾男 奈良 貴史	200	75
506	8/17 (土)	石にかわって話したい！	大城 逸朗	200	80
507	9/21 (土)	ハイサイ沖縄～沖縄を見つめて30年～ ※台風17号接近のため中止	呉 密察	200	—
508	10/5 (土)	台湾から見える沖縄現地取材レポート	松田 良孝	200	200
509	11/2 (土)	シマクトゥバによる民話の記録	加治工 真市 西岡 敏	200	91
510	12/21 (土)	形から見たグスクの原点を探る	千田 嘉博 向井 一雄 山元 貴継 山本 正昭	200	242
511	1/18 (土)	琉球の刺繍について	寺田 貴子	200	133
512	2/15 (土)	琉球王国のモノ作り～金工品とガラス玉を中心に～	久保 智康	200	81
513	3/15 (日)	琉球の仏教彫刻ー木彫刻を中心にー ※新型コロナウイルス感染対策のため中止	長谷 洋一	200	—

5 学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。

(1) 学芸員講座開催一覧

回	期日	演題	講師名	定員	参加
1	4/13 (土)	沖縄先史時代の墓と人骨	山崎 真治	80	79
2	5/11 (土)	今、明かされる琉球王国の手わざ ～琉球王国文化遺産集積・再興事業について～	篠原 あかね	80	63
3	6/8 (土)	フィールドツアー① 沖縄本島南部の自然観察に行こう！	菊川 章 宇佐美 賢	20	18
4	7/13 (土)	実践！骨考古学～入門編～	澤浦 亮平	80	60
5	8/3 (土)	組踊上演300周年記念特別講演 玉城朝薫と組踊	田名 真之	200	164
6	8/10 (土)	博物館バックヤードたんけん	大川 剛	15	14
7	9/7 (土)	八重山における神役の継承	阿利 よし乃	80	58
8	10/12 (土)	フィールドツアー② 沖縄本島北部の自然観察に行こう！	宇佐美 賢 菊川 章	12	12
9	11/9 (土)	映像・写真記録の沖縄 ～OkiMu (博物館) コレクションから～	外間 一先	80	94
10	12/14 (土)	館所蔵「石碑」について～残された「拓本」から考える～	久部良 和子	80	57
11	1/11 (土)	特別展の魅力を隅々まで語るガイド ①10:00 開始 ②14:00 開始	山本 正昭	各回 30	①17 ②46
12	2/8 (土)	博物館における民俗研究について～ものに漲る自然と人の力～	大湾 ゆかり	80	30
13	3/7 (土)	琉球漆器の螺鈿技法のうつりかわり ※新型コロナウイルス感染対策のため中止。	伊禮 拓郎	80	—

(大川 剛)

6 学芸員による常設展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。参加者の内訳は、初めて参加するお客様のみならず年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。各学芸員が1回ずつ担当した。

(1) 学芸員による展示解説会開催一覧

	日 時	分 野	講 師 名	定 員	参 加
1	4/11 (木)	生 物	菊川 章	な し	17
2	5/9 (木)	人 類	山崎 真治		21
3	6/13 (木)	歴 史	久部良 和子		33
4	6/23 (日)	歴 史	外間 一先 慰霊の日関連催事		14
5	7/11 (木)	地 学	宇佐美 賢		29
6	8/8 (木)	美術工芸	篠原 あかね		20
7	9/12 (木)	歴 史	外間 一先		17
8	10/10 (木)	美術工芸	伊禮 拓郎		18
9	11/14 (木)	民 俗	阿利 よし乃		20
10	12/12 (木)	考 古	山本 正昭		12
11	1/9 (木)	民 俗	大湾 ゆかり		8
12	2/13 (木)	教育普及	大川 剛		12
13	3/12 (木)	人 類	澤浦 亮平		-

※3月12日(木)澤浦(人類担当)の常設展示解説会は、新型コロナウイルス感染対策のため中止。

7 学芸員によるバックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務め、建物の構造やIPM(Integrated Pest Management:総合的有害生物管理)の取り組み、資料の修理について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解してもらうための工夫が担当毎に見られた。

(1) 学芸員によるバックヤードツアー開催一覧

	日 時	分 野	講 師 名	定 員	参 加
1	4/27 (土)	人 類	澤浦 亮平	12名	10
2	5/25 (土)	美術工芸	篠原 あかね		15
3	6/22 (土)	考 古	山本 正昭		12
4	7/27 (土)	生 物	菊川 章		11
5	8/24 (土)	人 類	山崎 真治		10
6	9/28 (土)	民 俗	大湾 ゆかり		5
7	10/26 (土)	地 学	宇佐美 賢		11
8	11/23 (土)	歴 史	外間 一先		12
9	12/28 (土)	歴 史	久部良 和子		12
10	1/25 (土)	美術工芸	伊禮 拓郎		12
11	2/22 (土)	民 俗	阿利 よし乃		10
12	3/21 (土)	教育普及	大川 剛		-

※3月21日(土)大川(教育普及担当)の常設展示解説会は、新型コロナウイルス感染対策のため中止。

(大瀨 萌子)

8 夏休み！博物館学芸員教室

夏休み！博物館学芸員教室は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。全9回の教室を開講した。

(1) 夏休み！博物館学芸員教室開催一覧

期日・教室内容・講師	参 加 者
【7月23日(火)】	
①『本日のお軸は？ミニ掛け軸をつくろう！』伊禮 拓郎【美術工芸担当】	16名
②『オリジナル民具ノートをつくろう！』阿利 よし乃【民俗担当】	16名
③『貝の矢じりをつくろう！』山崎 真治【人類担当】	12名
【7月24日(水)】	
④『動物の歯の石膏レプリカをつくろう！』澤浦 亮平【人類担当】	14名
⑤『考古学者体験』山本 正昭【考古担当】	9名
⑥『やきものの絵付けをしよう！』篠原 あかね【美術工芸担当】	20名
【7月25日(木)】	
⑦『ダンゴムシのふしぎにせまってみよう』菊川 章【生物担当】	13名
⑧『石と友達になろう！』宇佐美 賢【地学担当】	11名
⑨『おきみゅージャーナリスト体験』外間 一先【歴史担当】	2名

9 博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、「博物館ボランティア」、当施設であるふれあい体験室での来館者サービスを専属としてサポートする「ふれあい体験室専属ボランティア」がある。

2019年度(平成31・令和元)は、現在登録されている博物館ボランティアより、常設展示(総合展示部門)のガイドを養成するため募集をし、9名のボランティアが新たに総合展示部門ガイドとして登録された。併せて土・日・祝日のみ活動となる、ふれあい体験室専属ボランティアの募集を行ったが、受講者途中棄権のため中止とした。現在は総勢66名(休止を除く継続活動申請者)のボランティアが登録している。

(大川 剛)

10 ふれあい体験室

(1) ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。令和元年度の利用者数は、78,429名であった。

(2) 体験キットの位置づけ

展示物(体験キット)は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」に触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。

体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

(3) ふれあい体験室・体験キットの対象者

基本的に小学校中学年(3年生以上)を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

(4) 体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

11 常設展に関する取り組み

(1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、10,000枚を配布した。また、英語版「ここだけは見逃すな！」も3,000枚を配布した。

(2) 博物館・美術館連携事業「博物館・美術館で平和を考えるイベント」

博物館・美術館連携催事として、慰霊の日「博物館・美術館で平和を考えるイベント」を開催した。美術館で戦争に関する絵画作品を中心に鑑賞ツアーをおこなった後、博物館へ移動し近現代史の展示資料を解説しながら戦前戦後の沖縄について解説した。そして、最後に黙祷を捧げた。

実施日：6月23日（日）13:00～14:00

場 所：博物館常設展示室

担 当：外間 一先（歴史担当学芸員）

参加者：14名（定員なし）

参加費：無料

（比嘉 麻乃）

12 普及資料の活用

(1) 教育普及資料貸出一覧（令和元年度）

博物館の教育普及関係資料等を貸出している。令和元年度の貸出団体数は12件であった。

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	浦添市立神森小学校	民具	民具体験学習	10/1～10/8
2	伊江村立西小学校	DVD（デジタルミュージアム）	地域学習	10/8～10/18
3	豊見城市立とよみ小学校	民具	民具体験学習	11/15～11/22
4	糸満市立潮平小学校	民具	民具体験学習	11/19～11/22
5	沖縄県立沖縄盲学校	本島古地図パズル、石積みパズル	視覚障害者向けワークショップ	11/25～11/29
6	那覇市立松島小学校	民具	社会科授業	11/27～12/4
7	那覇市立垣花小学校	民具	民具体験学習	12/6～12/12
8	那覇市小禄小学校	民具	社会科授業	2/4～2/7
9	南風原町立津嘉山小学校	民具	民具体験学習	2/7～2/14
10	学校法人アミックス国際学園	むかしむんキット	社会科授業	2/15～2/29
11	豊見城市立上田小学校	民具	民具体験学習	3/10～3/17
12	那覇市立大道小学校	民具	民具体験学習	3/13～3/19

(2) 他館における体験キット活用（令和元年度）

博物館の教育普及関係資料等を活用し、学校団体以外にもアウトリーチ活動を展開した。令和元年度の貸出団体数は3件であった。

	開催地	活用資料	活動内容	期日
1	宜野湾市立博物館	化石関連体験キット2種	展示会開催に係る活用	7/10～
2	大阪市立自然史博物館	「化石組み立てパズル」ほか	第20回こどものためのジオカーニバル	11/1～11/3
3	沖縄市民体育館	「化石組み立てパズル」ほか	沖縄市サイエンスフェスタ2019	9/8

（大川 剛）

令和元年度は、中学校・高等学校など4校14人を受け入れた。学生たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他、ふれあい体験室における対応やワークショップの下準備などを体験した。また、博物館・美術館職員による学芸業務の紹介やバックヤード見学なども実施。博物館・美術館に関わる様々な職種を体験することができた。

○もぎり(入場券の確認) ○ふれあい体験室(ワークショップの準備)
○ミュージアムショップ(接客、商品の管理) ○情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)
○博物館・美術館班(バックヤードおよび学芸業務の見学)

①那覇市立小禄中学校 2 学年（4 名） 6 月 25 日（火）～27 日（木）（3 日間）
②沖縄県立沖縄水産高等学校 2 学年（2 名） 7 月 9 日（火）～11 日（木）（3 日間）
③沖縄県立沖縄工業高等学校 2 学年（4 名） 9 月 18 日（水）～20 日（金）（3 日間）
④浦添市立仲西中学校 1 学年（4 名） 12 月 17 日（火）～18 日（水）（2 日間）

14 ボランティアによる展示ガイド

まず、民俗部門展示室においては、民俗勉強会のボランティア有志メンバーが中心となり、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）の子供たちを対象に解説ガイドを実施している。来館当日は、指定管理者のスタッフが引率教員と担当ボランティアとを引き合わせるが、＜教員との打ち合わせ～オリエンテーション～展示ガイド～まとめ＞までボランティアが先導し行っている。

[illegible]

	利用区分	地域	日 付	団体名	対象	人数	ボラ人数	コース
1	研 修	京都府	4/16 (火)	東洋きもの専門学校	学生	15	6	Aコース
2	修学旅行	沖縄県	5/17 (金)	宮古島市城辺小学校	学生	28	7	Aコース
3	研 修	沖縄県	5/29 (水)	琉球大学沖縄の文化 留学生日本語クラス	学生	20	4	Aコース
4	修学旅行	茨城県	5/30 (木)	茨城県立北茨城特別支援学校高等部	学生	16	5	Aコース
5	研 修	沖縄県	6/27 (木)	ペアーレ楽園・幸寿大学校	70歳以上	32	8	Aコース
6	授 業	沖縄県	7/30 (火)	宮里キッズクラブ	学生	37	3	Aコース
7	催 事	沖縄県	9/12 (木)	中城村登又すでい花会	70歳以上	23	4	Aコース
8	修学旅行	大阪府	10/31 (木)	大谷中学校	学生	59	5	Aコース
9	授 業	沖縄県	11/17 (日)	浦添市立前田小学校	学生	146	7	Aコース
10	研 修	福岡県	11/20 (水)	ふくおかアジア文化塾	一般	28	4	Aコース

	利用区分	地域	日 付	団体名	対象	人数	ボラ人数	コース
11	修学旅行	茨城県	11/29 (金)	茨城県立石岡特別支援学校	学生	27	3	Aコース
12	修学旅行	東京都	12/ 4 (水)	東京都立田園調布特別支援学校	学生	49	2	Aコース
13	研 修	沖縄県	12/ 5 (木)	やんばる学びの森	一般	19	4	Aコース
14	研 修	香港	1/22 (水)	友愛交流構築事業実行委員会	一般	10	3	Aコース
15	授 業	沖縄県	1/24 (金)	糸満市立糸満小学校	学生	83	2	Bコース
合 計						592	67	

(大瀨 萌子)

IV 資料の収集・保存管理

1 収蔵資料現在高

分 類		購 入	寄 贈	収 集	移 管	分担管理	小 計	総 計
自然史	地 学	635	27,892	3,079	1	0	31,604	57,200
	動 物	1,517	18,811	523	141	0	20,992	
	植 物	38	4,563	0	0	0	4,601	
	菌 類	3	0	0	0	0	3	
人 類 資 料		92	30	6	0	2	128	128
美術工芸	絵 画	104	587	2	4	0	697	10,966
	書 跡	180	490	49	6	0	725	
	彫 刻	10	115	136	7	0	268	
	陶磁器	639	3,531	466	538	0	5,174	
	漆 器	234	369	195	19	0	817	
	染 織	1,304	1,796	51	27	0	3,178	
	その他	15	92	0	0	0	107	
歴 史 資 料		2,930	10,327	685	456	0	14,388	14,388
考 古 資 料		298	6,642	2,820	1	0	9,761	9,761
民 俗 資 料		595	6,057	1,072	178	0	7,902	7,902
総 計		8,594	81,302	9,071	1,378	2	100,345	100,345

2 2019年度（平成31・令和元）新収蔵資料高

分 類		購 入	寄 贈	収 集	移 管	小 計	総 計
自然史	地 学	0	16	0	0	16	102
	動 物	3	83	0	0	86	
	植 物	0	0	0	0	0	
	菌 類	0	0	0	0	0	
人 類 資 料		0	0	0	0	0	0
美術工芸	絵 画	1	2	0	0	3	34
	書 跡	0	1	0	0	1	
	彫 刻	1	0	0	0	1	
	陶磁器	5	0	0	0	5	
	漆 器	0	2	0	0	2	
	染 織	16	5	0	0	21	
	その他	1	0	0	0	1	
歴 史 資 料		5	109	1	0	115	115
考 古 資 料		1	3	0	0	4	4
民 俗 資 料		1	18	0	0	19	19
総 計		34	239	1	0	274	274

3 2019年度（平成31・令和元）新収蔵資料目録

【購 入】

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
自然史	生物	クロサギ 本剥製	1	委託製作：東京内田科学社	埼玉県
		クロサギ 交連骨格	1	委託製作：東京内田科学社	埼玉県
		ケラマトカゲモドキ レプリカ	1	西尾製作所	京都府
考 古		与論グスクジオラマ模型（1/700）	1	(株)パスコ	那覇市
美術 工芸	絵画	四季翎毛花卉図巻	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
	彫刻	龍淵橋勾欄羽目	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
	染織	芭蕉桃色地経縞組織衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		絹深浅地組織衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		紫地段鋸歯繋ぎ文様花織衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		絹紺地手縞組織衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		絹深浅地アヤヌナーカー衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		苧麻桃色地経緯緋衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		苧麻黄色地経緯緋衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		黄色地破格子文様緋平絹袷衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
美術 工芸	染織	木綿花色地霞枝垂桜文様紅型袷衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		空色地貝藻紅葉木目文様紅型木綿袷衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		黄色地鳳凰蝙蝠宝尽青海波立文様紅型袷衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		白地流水菖蒲蝶燕文様紅型苧麻衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		木綿紺地緋衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		伊平屋阿母加那志繡衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		苧麻紺地経緯緋平織	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		灰色地経緯織衣裳	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
	陶磁器	淡青釉緑彩象嵌粟文菊花皿	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		面取網代文三彩抱瓶	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		緑釉四方燭台	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		円覚寺鬼瓦	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
		線彫雲龍文呉須差手焙	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
	その他	玉御冠	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町
歴 史	豊見城王子（肖像画）		1	榕樹書林	宜野湾市
	『山藍新書』		1	榕樹書林	宜野湾市
	識名園園遊会記念盃		3	第14代齋藤用之助	佐賀県
民 俗	映像「民話の動画コンテンツ」25話一式		1	丸正印刷株式会社・NPO法人沖縄伝承話資料センター	西原町

【寄 贈】

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
自然史	地学	へび類化石（港川遺跡産）	1	長谷川善和	八重瀬町
		鉄石英（赤鉄鉱質片岩）（国頭村産）	1	大城逸朗	国頭村
		石灰岩、緑色千枚岩、黒色頁岩、安山岩、方解石（名護市安和産）	6	株式会社山城砕石鉱業 代表取締役 山城正訓	名護市
		珪化木（西表島産）	2	下地義雄	竹富町
		石灰岩（北大東島産）	2	株式会社与儀組 代表取締役 浅沼義功	北大東村
		赤色チャート（伊江島産）	1	松川一樹	伊江村
		石灰岩、方解石（石垣島産）	3	米盛建材有限会社 代表取締役 米盛博和	石垣市
	生物	アマミトゲネズミ 本剥製	1	環境省奄美野生生物保護センター（委託製作：尼ヶ崎剥製標本社）	鹿児島県
		アマミトゲネズミ 交連骨格	1	環境省奄美野生生物保護センター（委託製作：尼ヶ崎剥製標本社）	鹿児島県
		オオウナギ 本剥製	1	藤田祐樹（委託製作：九州ハクセイ社）	埼玉県

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
自然史	生物	オオウナギ 交連骨格	1	藤田祐樹（委託製作：九州ハクセイ社）	埼玉県
		クロイワトカゲモドキ 液浸標本	1	田中 聡	西原町
		石垣島川平の植物分布図	1	高嶺英恒（製作：故・高嶺英言）	那覇市
		アルゼンチンアリ乾燥標本	1	沖縄県環境科学センター	浦添市
考 古		石斧	2	金城英雄	うるま市
		火矢原寸大模型	1	仲程勝哉	うるま市
美術 工芸	漆器	黒漆山水楼閣堆錦大盆	1	崎田 勝	那覇市
		朱漆進貢船図堆錦茶櫃	1	有馬純彦	東京都
	書跡	謝花雲石落款印（12点）	1	謝花貞子	那覇市
	絵画	「花鳥図」 紙本淡彩 仲宗根真補（查丕烈）	1	長嶺将清	那覇市
		「蘭の図」 紙本墨画 我謝盛保（毛世輝）	1	長嶺将清	那覇市
	染織	絹黄色地蝶花模様衣裳	1	根岸常子	東京都
		麻白地松桜雲滝模様衣裳	1	根岸常子	東京都
		絹紺地ロートン織帯地	1	志織会（代表 多和田淑子）	那覇市
		絹紺地経緋にロートン織タピストリー	1	志織会（代表 多和田淑子）	那覇市
		木綿水色地松皮菱に菊藤燕遠山流水模様衣裳	1	藤原美佐子	東京都
歴 史	方姓家譜（宇久田家）	1	田中典子	兵庫県	
	刀剣	1	田中典子	兵庫県	
	新参阮姓家譜（安次嶺家）	1	照喜納勝子	南風原町	
	新参阮姓家譜（照喜納家）	1	照喜納勝子	南風原町	
	新参阮姓家譜組立	1	照喜納勝子	南風原町	
	照喜名家に伝わる瓦	1	照喜納勝子	南風原町	
	『沖縄縣奉祝天長節實記』	1	比嘉昌晋	糸満市	
	「ニライの海」（16mm）	3	奈良一郎	神奈川県	
	「沖縄はまうり」（35mm）	3	奈良一郎	神奈川県	
	奈良三郎関係資料	1	奈良一郎	神奈川県	
	日本本土における沖縄復帰関連資料	65	町田忠昭	東京都	
	ソウル五輪日本代表選手用ブレザー（赤）	1	泉川寛晃	埼玉県	
	ソウル五輪日本代表選手用ブレザー（紺）	1	泉川寛晃	埼玉県	
	ソウル五輪日本代表選手用パンツ（白）	1	泉川寛晃	埼玉県	
	ソウル五輪日本代表選手用ベルト	1	泉川寛晃	埼玉県	
	ソウル五輪日本代表選手用シューズ（白）	1	泉川寛晃	埼玉県	
	ソウル五輪日本代表選手用ネクタイ	1	泉川寛晃	埼玉県	
	沖縄本島及び周辺離島 空中写真	21	アジア航測株式会社 沖縄営業所 所長 種子田政美	那覇市	
民 俗	徳之島民話事典（PDF）	1	本田碩孝	南風原町	
	酒甕	1	下地義雄	浦添市	
	ブラザーミシンと専用椅子	1	安慶名美幸	うるま市	
	ブラザーミシン領収証と保証書	1	安慶名美幸	うるま市	
	中央洋裁講習所修了證書	1	安慶名美幸	うるま市	
	金武湾服装文化塾「新装」	1	安慶名美幸	うるま市	

分 類	資 料 名	数量	提供者・所在地	
民 俗	洋裁帳	1	安慶名美幸	うるま市
	芭蕉経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	芭蕉経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	芭蕉経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	芭蕉経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	芭蕉経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	経緯着物	1	安慶名美幸	うるま市
	夏絹着物	1	安慶名美幸	うるま市
	ねんねこ	1	安慶名美幸	うるま市
	オーバー	1	安慶名美幸	うるま市

【収 集】

分 類	資 料 名	数量	提供者・所在地	
歴 史	オリンピック東京大会ポスター	1		

4 所蔵指定文化財

【国指定文化財（重要文化財）】

2020年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	1 口	昭53. 6. 15	沖縄県
	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘）	3 口	〃	〃
典 籍	おもろさうし	22冊	昭48. 6. 6	〃
	混効験集	2 冊	〃	〃
古文書	琉球王国時代石碑	22基	令元. 7. 23	〃
歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛	1 卷	平11. 6. 7	〃
	間切図	7 枚	平28. 8. 17	〃

【県指定文化財（有形文化財）】

2020年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
絵 画	絹本着色花鳥図殷元良筆	1 幅	昭54. 4. 9	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	〃	〃	〃
	紙本墨画竹の図殷元良筆	〃	昭57. 3. 4	〃
	紙本着色奉使琉球図	1 卷	昭57. 3. 4	〃
	紙本着色冊封使行列図	1 卷	平15. 7. 11	〃
彫 刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	1 軀 1 枚	昭31. 12. 14	〃
	世持橋勾欄羽目	1 括	〃	〃
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15. 7. 11	〃
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	1 合	昭31. 12. 14	〃
	黒塗堆錦山水絵大文庫	〃	〃	〃
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	〃	〃	〃
	開得大君御殿雲龍黄金簪	1 本	〃	〃

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	三線江戸与那	1 丁	〃	〃
	枝梅竹文赤絵碗	1 口	昭54. 9. 3	〃
	線彫染付魚文皿	〃	〃	〃
	色象嵌粟絵菊花皿	〃	〃	〃
	象嵌色差面取抱瓶	〃	〃	〃
	梵鐘（旧霊応寺鐘）	〃	昭60. 6. 18	〃
	梵鐘（旧普門禪寺鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘（旧天竜精舎鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天尊殿鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天妃宮鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧一品権現鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘 旧大安禪寺鐘（一名 護国寺の鐘）	〃	昭63. 1. 12	〃
	梵鐘（旧永福寺鐘）	1 口	平 2. 2. 6	〃
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	1 基	〃	〃
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	1 枚	〃	〃
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	1 合	〃	〃
	黒漆薔薇堆錦軸盆	1 枚	〃	〃
	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	1 合	〃	〃
	三線盛鳴開鐘附胴	1 丁	平 6. 3. 15	〃
	三線真壁型銘西平	1 丁	平 6. 3. 15	〃
	三線与那城型銘玉城與那	1 丁	平 6. 3. 15	〃
書 跡	程順則の書	1 卷	昭42. 4. 11	〃
	扁額徳高 鄭元偉書	1 面	平元. 9. 29	〃
	扁額凌雲 林麟煥書	1 面	〃	〃
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	1 幅	昭31. 12. 14	〃
	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	1 通	昭53. 4. 1	〃
	羽地間切の屋我のろへの辞令書	1 幅	昭56. 3. 30	〃
典 籍	評定所格護定本 中山世鑑	6 冊	昭31. 12. 14	〃
	評定所格護定本 中山世譜	19冊	〃	〃
歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	1 点	昭60. 6. 18	〃

5 修理事業

戦後、沖縄戦を経て収集された博物館資料は、戦禍をくぐってきた貴重な資料である。特に琉球王国時代の美術工芸資料のなかには類例がない資料が多くある。資料は適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、経年による変化で修理が必要な状態になっているものが多い。資料によっては、当館へ収蔵された時点ですでに劣化している資料もある。

当館では、限られた予算の範囲で沖縄の歴史・文化史上重要な資料の修理事業を実施した。修理を必要とする資料が多くある中で、展示公開の頻度や展示効果の高さを考慮して優先順位をつけて選定した。また博物館活動のひとつである資料の保存活用を推進するための修理事業についての理解を促すために、平成30年度新収蔵品展では修理コーナーを設けて、修理した資料の展示公開を行った。

【予算執行額】 2,110,000円

【事業内容】

修理件数：5件6点

- ① 美術工芸（漆器）沈金茶托（1件2点）
- ② 美術工芸（陶磁器）染付魚文皿（1件）
- ③ 歴史（家譜）葛姓系図支流（1件）
- ④ 歴史（家譜）山陽姓世系図（1件）
- ⑤ 歴史（史料）冠船之時御道具之図（1件）

【修理内容】

- ①漆器：茶托は、高台の一部が欠損し、ぐらつく状態にあったため修理を行った。目視調査から、経年の汚れ、乾燥による素地の収縮、漆塗膜の亀裂・剥離・劣化が生じていたため、素地の安定処置を優先に修理を行った。修理は、塗膜の汚れを取り除くクリーニングを行い、漆固め、塗膜の接着、刻苧、錆下地付け、欠損部分の復元などを行った。
- ②陶磁器：皿は、割れて展示ができない状態にあり、保存にも危険が伴うと判断したため修理を行った。化学塗料などは使用せず、麦漆による接着を行った。
- ③・④家譜：頁を開いて展示する等ができない状態にあったため修理を行った。目視調査から、経年の汚れやシミ、本紙の虫食い・欠損、小口の離れなどが確認されたため、本紙の欠損・欠失部分の補修を行った。保存状態の良い本紙は、風合いを損なわないようにするため全面裏打ちをせず欠損部の繕いを施すなどの処置を行った。なお、各家譜の本紙を科学分析した結果、『葛姓系図支流』は竹紙、『山陽姓世系図』は楮紙であると確認された。
- ⑤史料：令和元年度の展示で使用する予定であったが、本紙が固くなり、頁をめくって展示をすることが危険な状態であった。また、冊子がホッチキスで閉じられており、ホッチキスの芯から生じる錆が本紙に悪影響を与えていたため修理を行った。修理では、冊子装を解体してホッチキスを除去し、虫害欠損部分などの補修を行った。

【修理業者】漆器・陶磁器：琉球漆工藝舎、史料・家譜：石川堂



沈金茶托



冠船之時御道具之図

(伊禮 拓郎)

6 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）

資料収集・保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的としている。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示や研究を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状態の良い物や保存価値のあるもの（希少性の高いもの）から順に、剥製（またはレプリカ）として再生してゆく。

令和元年度は、以下の動物剥製および骨格標本を委託製作した。

名 称	提 供	委託製作
アマミトゲネズミ 本剥製	環境省奄美野生生物保護センター	尼ヶ崎剥製標本社
アマミトゲネズミ 交連骨格	〃	〃
オオウナギ 本剥製	藤田 祐樹 氏	九州ハクセイ社
オオウナギ 交連骨格	〃	〃
クロサギ 本剥製	漫湖水鳥湿地センター	東京内田科学社

名 称	提 供	委託製作
クロサギ 交連骨格	〃	〃
ケラマトカゲモドキ レプリカ		西尾製作所

(菊川 章)

7 資料収集事業

(1) 資料収集

資料収集事業は、文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示等において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。本事業では、沖縄における文化及び歴史的価値の高い資料の購入を計画的に行っている。

令和元年度は、「豊見城王子（肖像画）」及び『山藍新書』の2件を購入した。

豊見城御殿は、尚貞王の次男・尚経、豊見城王子朝良（1662～1687）を元祖とする第二尚氏の分家で代々豊見城間切の按司地頭を務めた琉球王国の士族である。二世・朝匡は、尚敬王の摂政で1710年には謝恩使として江戸上り（江戸立）を経験した。七代・朝春も尚灝王の摂政となり、1832年（天保3、道光12）将軍・徳川家斉の謝恩使の正使として江戸へ向かうが、途中鹿児島で急死した。その時、普天間親雲上（向寛・朝典）が代役として謝恩使を務めた。本資料は、1832年（天保3）11月6日冬に戸田氏庸氏筆によって描かれた。箱の蓋に「慶応四戌辰年四月於大垣藩 大奥様野原茂矩拝領之」の銘で出所が判明できる。琉球王国時代の江戸上り（江戸立）の研究を行う上で貴重な資料である。

石井清吉著『山藍新書』は、1890年（明治23）に発行された琉球藍に関する書籍である。著者の石井は、1888年（明治21）、廃藩置県間もない沖縄（琉球）の山原（名護間切・本部間切）に農作物や薬草となる調査を行い、2年後に同書を出版した。内容は、琉球藍（山藍）と阿波藍の生態系の比較、土壌の調査、他の農産物との輪作などあらゆる方面から琉球藍の産業化を説いている。琉球藍が沖縄の環境に最も適しており、土壌の改良や栽培方法を工夫すれば、高い生産性を上げることができ、高収入を得ることができると強調し、琉球人自ら経済流通を促進できるように行った詳細な調査報告書である。令和2年度に予定している企画展「琉球藍」展での展示や、明治期の産物の一つである琉球藍を知る貴重な資料である。

(久部良 和子)

(2) 基金

当館の収蔵品は、沖縄の歴史・文化を後世に伝える貴重な資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王国時代の資料は現存数が少ないことに加え、文化的・歴史的に非常に価値が高い。当館ではこのような資料を収集し、常設展や企画展において展示公開の機会を設けることにより、沖縄県の文化振興に寄与すると共に県民の学びの場を提供し、豊かな沖縄の創造を目指している。

資料収集活動の一つである沖縄県美術品等取得基金（以下「基金」という）は、貴重な資料を購入し、県外および国外に流失させないことを目的の一つとしている。当館では、調査研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史・文化の豊かさを表す資料を基金により継続的に収集している。なお収集にあたって外部の有識者による収集委員会を招集し、意見を求めて購入の可否を判断している。本年度の新規購入はなく、平成29年度購入分の買戻しの充実にあてた。

(篠原 あかね)

8 資料貸出

○事業名：常設展示一部リニューアル

主 催：久米島博物館

会 場：久米島博物館常設展示室

貸出期間：2019年4月1日（月）～2020年3月31日（水）

貸出資料：体験キット・貝匙 2点

○事業名：ネオパークオキナワ アンモナイト等の化石展

借 用 先：ネオパークオキナワ

貸出期間：2019年4月25日（木）～8月31日（土）

貸出資料：アンモナイト化石（土橋寄託資料）一式

○事業名：2019年度特別展「琉球の美」

主催：岡崎市美術博物館

会場：岡崎市美術博物館展示室内

貸出期間：2019年5月13日（月）～7月31日（水）

貸出資料：首里那覇港図屏風、旧首里城正殿鐘拓本

○事業名：企画展「THE KUMIODORI 300」

主催：一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター

会場：沖縄県立博物館・美術館 企画展示室、特別展示室1、2

貸出期間：2019年7月1日（月）～9月6日（金）

貸出資料：中山第一（拓本）、冠船之時御座構之図、冠船之時御道具之図 3点

○事業名：国立科学博物館の調査研究

主催：国立科学博物館

貸出期間：2019年7月8日（月）～2020年3月31日（火）

貸出資料：栗国層群筆ん崎層中の植物化石標本1点

○事業名：「美ら島からの染と織 - 色と文様のマジック」展

主催：渋谷区立松濤美術館

会場：渋谷区立松濤美術館地下1階展示室、2階サロン展示室・特別陳列室

貸出期間：2019年7月29日（月）～10月5日（土）

貸出資料：苧麻白地稲妻に花の丸模様胴衣ほか染織資料32件

○事業名：特別展住友財団助成30年記念「文化財よ、永遠に」

主催：九州国立博物館・福岡県、公益財団法人住友財団、住友グループ各社、読売新聞社

会場：九州国立博物館 文化交流展示室 第11室

貸出期間：2019年8月3日（土）～11月21日（木）

貸出資料：旧円覚寺釈迦三尊像（1件5点）、旧円覚寺十六羅漢蔵（1件9点）

○事業名：「海上瑰寶－臺灣古代海路交流特展－」

主催：中華民国新北市立十三行博物館

会場：新北市立十三行博物館

貸出期間：2019年9月1日（日）～2020年1月23日（土）

貸出資料：勝連グスク出土中国産青磁、白磁、青花、13点 御物グスク採集中国産青磁、7点

○事業名：第43回 全国育樹祭

主催：第43回 全国育樹祭沖縄県実行委員会

会場：沖縄コンベンションセンター

貸出期間：2019年10月3日（木）～10月18日（金）

貸出資料：旧首里城正殿鐘（万国津梁の鐘）の音源 1点

○事業名：那覇市歴史博物館企画展「琉球船と首里・那覇を描いた絵画史料～目の前に広がるかつての首里・那覇～」

主催：那覇市歴史博物館

会場：那覇市歴史博物館常設展示室及び企画展示室

貸出期間：2019年10月21日（月）～2020年1月15日（金）

貸出資料：進貢船の図、首里那覇鳥瞰図、進貢船の下図、沖縄県那覇湊之図、ほか絵画資料3件

○事業名：第44回企画展「沖縄の土器づくり よみがえる技」（博物館自主事業）

主催：沖縄市教育委員会

会場：沖縄市郷土博物館

貸出期間：2019年10月21日（月）～12月21日（土）

貸出資料：浦添貝塚出土市来式土器 1点

○事業名：「与那国と台湾、歴史と文化の交流史」

主催：一般社団法人与那国フォーラム

会 場：与那国島歴史文化交流館（DiDi与那国交流館）

貸出期間：2019年11月末～2020年3月末

貸出資料：台湾展使用年表及び写真パネル一式

○事業名：令和2年度1・2月企画展「金武家資料展」

主 催：那覇市歴史博物館

会 場：那覇市歴史博物館常設展示室及び企画展示室

貸出期間：2019年12月25日（水）～2020年3月20日（土）

貸出資料：男物帯（紺）、男物帯（水色）、黒朝、赤帕、花押（1件7点）

○事業名：浦添市市制50周年記念プレ企画展「浦添発掘！50年」

主 催：浦添市教育委員会

会 場：浦添市美術館 企画展示室2・3

貸出期間：2020年1月7日（木）～3月6日（土）

貸出資料：浦添貝塚出土土器、石器、貝製品、貝、骨 55点

○事業名：令和2年度 新指定展 ※展示会は新型コロナウイルスの影響で中止

主 催：文化庁

会 場：東京国立博物館

貸出期間：2020年1月17日（日）～2020年6月30日（水）

貸出資料：中山世鑑、蔡鐸本中山世譜、蔡温本中山世譜

○事業名：文化交流展示「海の道、アジアの路」

主 催：九州国立博物館

会 場：九州国立博物館 文化交流展示室

貸出期間：2016年4月1日～2019年11月21日（※2016年度（平成18）から継続）

貸出資料：厨子甕6点

○事業名：常設展示「日本の文化（沖縄のくらし）」

主 催：国立民族学博物館

会 場：国立民族学博物館 本館展示場

貸出期間：平成25（2013）年12月10日～平成35年（2023）3月31日

貸出資料：黒釉嘉瓶、張り子、農具・漁具等計33件35点及び映像「ウミのワザ」

9 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、資料の写真画像等の貸出も行っている。毎年、多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2019年度は博物館班に289件の申請があった。

〔利用区分〕は、「1. 写真原板（デジタルデータ）」、「2. 撮影」、「3. 掲載」に分けられる。内訳は、1. 写真原板（デジタルデータ）は、145件、2. 撮影は29件、3. 掲載は157件となっている（※件数は重複する）。

〔目的〕では、「出版物」が164件、「映画」は3件、「テレビ」が51件、「DVD」が8件、「CD」は5件、「その他」が119件で、調査研究のための資料収集のほか、展示会パネル、インターネットへの使用などがあげられる。ほか「複製」が3件、「グッズ製作」1件、「模写」1件となっている。

申請依頼先は、出版社関係が多く、次いでテレビ番組や映像製作会社、博物館・資料館などの各機関、広告関連会社となっている。

分野ごとに希望の資料をみていくと、歴史分野では、「旧首里城正殿鐘」や「間切図」、「中山世鑑」、「中山世譜」などの指定文化財があり、美術工芸分野では、絵画の申請がもっとも多く、「首里那覇港図屏風」や「冊封使行列図」、「琉球人座楽之図」などで、次いで、染織の紅型衣裳と続く。民俗分野では「三線」が多く、考古では「線刻石版」や土器類、自然史分野では、近年継続して成果報告があげられているサキタリ洞遺跡の出土品や「港川人復元模型」の申請が多い。

また、今年度は、首里城火災の一件があり、首里城に関連するテレビや出版物の制作が多く行われ、それにともない、首里城、琉球王国関連の歴史資料や美術工芸の申請件数が多く行われた。

（勝連 涼子）

美術館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

I 調査研究等の活動

1 調査研究の概要

調査研究事業（以下、本事業とする）を美術館活動の根幹と捉え、開館準備の頃より収集作品調査及び、企画展開催に伴う調査研究に重点を置いて積極的に取り組んできた。今年度は美術品調査員の新任である金城が、業務である収集対象作品の調査補助をこなす傍らで、独自にレジストラーとアーカイブス業務に関する他館の事例を調査し、今後、当館で活かせる業務のありようをまとめ、紀要に記した。

そのほか各学芸員の調査研究については、これまでと同様に、美術館紀要の充実を年度目標に掲げてテーマを設け、考察を進めたが、今年度からはコレクション展・企画展の展覧会計画に基づいて、数年にかかる中長期的な調査研究のビジョンを共有し、研究の深度を改善できるよう努めた。

（１）調査研究の事業内容

- ①美術品の収集に関すること
- ②美術品の保存科学に関すること
- ③美術品の修復に関すること
- ④展示技術に関すること
- ⑤教育普及に関すること
- ⑥美術情報提供システムの活用に関すること
- ⑦ボランティア育成支援に関すること
- ⑧美術館の振興に関すること

（２）学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

No.	氏 名	研 究 テ ー マ
1	富原 圭子	地域の美術や美術文化との出会いを作る学習支援プログラムの工夫 ー美術館鑑賞教材「ニシムイ」の開発と中学校鑑賞授業の連携・協働を通してー
2	金城 知美	レジストラーとアーカイブス業務に関する事例調査報告
3	豊見山 愛	クリマとローカリズム ー 画家・大城精徳の仕事
4	大城 さゆり	真喜志勉作品におけるモチーフの変遷ー「真喜志勉ドローイング展」のための資料調査よりー

（３）調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び美術品調査員で実施した。画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限る、外部のレファレンスにも対応するよう心掛けている。その場合は熟覧申請等、正式な申請をふまえている。

（４）外部からのレファレンス対応

- ①筑波大学大学院博士前期課程・本村佳奈子氏による論文執筆「木版画による人物描写にみる作家の精神性 儀間比呂志調査への協力（2019年6月3日）」
- ②アーティスト・染谷聡氏による沖縄県内の漆を使用した表現の調査協力（2019年6月6日）
- ③ノボテル沖縄所蔵の作家不明作品（木版画）の調査と回答（2019年7月18日）
- ④オオタ・ファインアーツ（2019年9月10日）
- ⑤宜野湾市教育委員会（2019年10月4日）
- ⑥ミネアポリス美術館・クラーク日本美術センター企画展調査協力（2019年11月20日）
- ⑦北海道立近代美術館より沖展出品作家（佐野まさの）の調査協力（2020年2月中）
- ⑧北海道立近代美術館より儀間比呂志について調査協力（2020年2月5日）
- ⑨東京藝術大学国際芸術創造研究科からの調査協力（2020年3月23～25日）
- ⑩NHK名古屋からの久志美紗子及び雑誌「青い海」に関する調査協力（2020年3月27日）
- ⑪沖縄大学経営企画室からの学内彫刻作品に関する調査協力（2020年3月中）

（豊見山 愛）

2 調査・研究・講演・著作論文等

富原 圭子（主任学芸員／教育普及担当）

○調査・研究

【展示関連】

- ・コレクション3鑑賞サポートシート作成（期間：2019年4月～2020年3月）
- ・移動展（伊江島）移動展会場下見①（2019年5月24日）・借用資材調整等・ワークショップ材料資料調査・教育委員会、島内小学校、中学校、幼稚園へ趣旨説明の広報活動
- ・移動展（伊江島）移動展展示会場下見②（2019年10月23日）ゆかりのある作家調査（具志堅清謹）

【中学校鑑賞教材関連】2018年12月～2020年2月

- ・豊見城市立伊良波中学校連携依頼（2019年1月5日）豊見城市伊良波
- ・国頭村立国頭中学校ニシムイ鑑賞授業（2019年1月10日）国頭郡字辺土名
- ・国立琉球大学附属中学校連携依頼（2019年5月15日）西原町字千原
- ・県立開邦中学校連携依頼（2019年5月17日）島尻郡南風原町新川
- ・県立開邦中学校ニシムイ授業中学1年生（2019年5月31日）島尻郡南風原町新川
- ・那覇市立神原中学校連携依頼（2019年6月5日）那覇市樋川
- ・那覇市立城北中学校連携依頼（2019年6月14日）那覇市首里石嶺町
- ・国立琉球大学附属中学校鑑賞授業・検証授業（2019年6月28日）西原町字千原
- ・宜野座村立宜野座中学校ニシムイ授業中学3年生（2019年7月3日）
- ・那覇市立神原中学校ニシムイ授業中学1年生（2019年7月11日）那覇市樋川
- ・那覇市立神原中学校ニシムイ授業中学3年生（2019年9月13日）那覇市樋川
- ・豊見城市立伊良波中学校連携依頼（2019年9月2日）豊見城市伊良波
- ・豊見城市立伊良波中学校ニシムイ関連検証授業（2019年9月12日）豊見城市伊良波
- ・南部美術部（豊見城市・糸満市）連携依頼（2020年1月24日）豊見城市伊良波
- ・「鑑賞学習を通した学びを考える会研究発表会」（2019年11月30～12月3日）国立国際美術館
- ・美術館と学校がつながる学習プログラム開発研究「どこでも」美術館 ティーチャーズ・プラス（2020年3月11～13日）福岡市美術館

○美術館学校支援プログラムに関する研究会の企画・教員講座・実技研修

【幼稚園部会・保育園・こども園部会】2019年8月6日（火）

- ・ワークショップ「画材技法の基礎講座」講師：大塚義孝（ぺんてる株式会社）

【小学部会・特別支援学級・特別支援学校】2019年8月7日（水）

- ・ワークショップ「画材技法の基礎講座」（特別支援教育向け）講師：大塚義孝（ぺんてる株式会社）
- ・「図画工作における基本的技法」造形会員

【中学部会】2019年8月8日（木）

- ・美術館と学校連携の取り組み「沖縄美術の流れ」教育普及プログラムー中学校鑑賞プログラム「ニシムイ」教材ー 県立美術館学芸員：富原圭子
- ・授業実践紹介 * 県立開邦中学校・宜野座中学校教諭：有川愛乃 * 琉球大学附属中学校教諭：酒井織恵
* 那覇市立神原中学校教諭：照屋真紀子 * 那覇市立城北中学校教諭：木村憲一

○「美術館へ行こう2019」・団体プログラム 出前講座・授業（鑑賞レクチャー）

		学校名	使用目的
1	6月30日	那覇市立神原中学校	研究授業に活用
2	9月4日	読谷村立渡慶次小学校	来館前出前授業
3	9月11日	沖縄市立山内中学校特支	来館前出前授業
4	9月25日	浦添市立当山小学校特支	来館前出前授業
5	9月27日	沖縄市立越來中学校	来館前出前授業
6	10月1日	糸満市立真壁小学校	来館前出前授業
7	10月3日	浦添市立浦添中特支	来館前出前授業
8	7月18日	県立島尻特別支援小学部	研究授業及び校内OJT
9	7月18日	県立島尻特別支援高等部	来館前出前授業
10	7月10日	那覇市立寄宮中特支	来館前出前授業
11	7月5日	アメリカジアンスクール	来館前出前授業+研究授業発表
12	9月5日	那覇市立神原中学校特支	授業での鑑賞用

		学校名	使用目的
13	8月22日	豊見城市立伊良波中学校	研究授業に活用
14	9月27日	浦添市立当山小学校特支	研究授業に活用
15	11月6日	うるま市立赤道小学校	来館前出前授業
16	11月7日	沖縄市立安慶田小学校	来館前出前授業
17	11月20日	那覇市立神原小学校	特別支援との交流授業
18	11月28日	那覇市立那覇小学校	来館前出前授業 *中学校プログラムパネル
19	11月29日	県立芸術大学	来館前出前授業 *中学校プログラムパネル
20	1月6日	県立鏡が丘特別支援学校(中)	来館前出前授業 *中学校プログラムパネル

○著作・論文等

- ・第27回沖縄県教育実践研究論文
研究テーマ「地域の美術と美術文化との出会いを作る美術館の学習支援プログラムの工夫」
ー美術館鑑賞教材「ニシムイ」の開発と中学校鑑賞授業の連携と協働を通してー(優秀賞)
- ・『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要』第9号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月
- ・『沖縄県立博物館・美術館 美術館教育普及報告書 2019年度』 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月
- ・光村図書出版「よりよい美術教育のために」美術館と学校が連携している取組執筆依頼 2019年12月

豊見山 愛(主任学芸員)

○調査・研究 (主として研究課題が展覧会企画業務に関わるものを選定し記述)

- ・【小林(當銘)藤子氏】大城精徳展準備に関する調査(2019年4月22～26日)
- ・【収集対象作品調査①】儀間比呂志作品1点に関する調査・分析(2019年5月23日)
- ・【収集対象作品調査②】翁長以清作品20数点に関する調査(2019年5月24日)
- ・【収集対象作品調査③】松岡勇氏所蔵美術品に関する調査(2019年5月29日)
- ・【収集対象作品調査④】翁長以清二次資料に関する調査(2019年6月4日)
- ・【収集対象作品調査⑤】儀間比呂志作品1点に関する調査(2019年6月13、14日)
- ・【収集対象作品調査⑥】儀間比呂志作品1点と浦崎永錫氏に関する調査(2019年9月11～13日)
- ・【収集対象作品調査⑦】宮俊彦作品及び作家に関する調査(2019年9月)
- ・【収集対象作品調査⑧】料亭那覇調査(2020年2月20日)
- ・【収集対象作品調査⑨】大城精徳遺族に関する調査(2020年2月29日)

○著作・論文等

- ・「クリマとローカリズム-画家・大城精徳の仕事」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要』第9号 沖縄県立博物館・美術館 2020年3月31日

梶原 正史(保存修復担当学芸員)

○調査・研究

- ・企画展『上條文穂と波多野泉 現代彫刻展』における県外作品のクーリエ業務(2019年5月10～13日)
- ・平成31年度キュレーター研修(分野:保存修復)(2019年5月13～6月8日)
- ・収集委員会等における県外作品のクーリエ業務(2019年7月28～31日)
- ・ユンタンザミュージアムにて川平恵造絵画作品1点の状態調査(2019年8月19日)
- ・琉球大学にて安次嶺金正作品1点の状態調査(2019年11月21日)
- ・企画展にて借用したブロンズ作品の返却クーリエ業務(2019年11月25、26日)
- ・「照屋勇賢展」についての他館調査(2019年11月27日)
- ・公開シンポジウム「文化財を伝える 修復材料から考える文化財の保存」出席(2019年12月1日)
- ・奈良県元興寺文化財総合センター・美術工房高野にて陶器修復に関しての調査(2019年12月2、3日)
- ・令和元年度古文書保存基礎講座 出席(2020年1月24、25日)
- ・次年度貸出予定作品の輸送調整(2020年1月26日)
- ・那覇市にて嘉数能愛作品8点の状態調査(2020年2月20日)
- ・企画展「作家と現在」借用作品返却クーリエ業務(2020年2月27、28日)
- ・金沢21世紀美術館にて展覧会調査、保存担当学芸員の聞き取り調査(2020年2月29～3月1日)
- ・企画展「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」借用作品返却クーリエ業務(2020年3月18、19日)

○講演・発表等

- ・名 称:学芸員講座《美術品の保存について～保存修復の現場から～》
日 時:2019年10月5日(土)

- 場 所：美術館講座室
- ・名 称：上條文穂と波多野泉 現代彫刻展オープニング・ギャラリートーク
- 日 時：2019年9月20日（金）
- 場 所：エントランス／美術館企画ギャラリー
- ・名 称：上條文穂と波多野泉 現代彫刻展シンポジウム
- 日 時：2019年10月26日（土）
- 場 所：講堂

亀海 史明（学芸員）

○調査・研究

- ・「作家と現在」に関する伊波リンダ調査（沖縄市など）（2019年4月4日、16日、6月16日、9月10日）
- ・石川真生に関するアトリエ調査（豊見城市）（2019年4月18日、6月11日、13日、19日、28日、7月9日、18日、2020年1月19、21日、3月19日、27日）
- ・「作家と現在」に関する石川竜一調査（宜野湾市など）（2019年4月24日、5月17日、22日、25日、9月4日、10月14日）
- ・「作家と現在」に関するミヤギフトシ調査（東京特別区など）（2019年5月9日、6月5、6日、9月15日、20日）
- ・美術館発信基盤整備事業に関する、レジストラ・アーキビスト業務他館事例調査（多摩美術大学アートアーカイヴセンター・東京都八王子市、横浜美術館・神奈川県横浜市、武蔵野美術大学美術館・図書館・東京都小平市）（2019年6月3～5日）
- ・「作家と現在」に関する根間智子調査（うるま市など）（2019年6月14日、22日、27日、8月23日）
- ・平敷兼七に関する作品調査（平敷兼七ギャラリー・浦添市）（2019年6月19日、7月8日、17日）
- ・美術館発信基盤整備事業に関する、データベース事例調査（大阪府大阪市）（2019年7月29日）
- ・「作家と現在」に関する文献調査（東京特別区）（2019年9月14日）
- ・石川真生に関する他館所蔵資料調査（napギャラリー・東京特別区）（2019年9月15日）
- ・平良孝七に関する他館所蔵資料調査（名護博物館・名護市）（2019年10月25日）
- ・田中睦治に関する展覧会調査（沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館・那覇市）（2019年12月5日）
- ・「アートアーカイヴとは何か」（第2回多摩美術大学アートアーカイヴシンポジウム）参加（東京都八王子市）（2019年12月7日）
- ・掛川源一郎に関する展覧会、他館所蔵資料調査（北海道立近代美術館・北海道札幌市、長万部町）（2020年2月28日）
- ・「あーまん」に関する展覧会調査（青森県立美術館・青森県青森市）（2020年2月29日）

○講演・発表等

- ・名 称：「伊志嶺隆と平敷兼七」シンポジウム
- 日 時：2019年6月8日（土）
- 場 所：講堂
- ・名 称：「作家と現在」ギャラリートーク
- 日 時：2020年1月17日（日）
- 場 所：美術館企画ギャラリー
- ・名 称：学芸員講座
- 日 時：2020年1月19日（火）
- 場 所：美術館講座室
- ・名 称：「作家と現在」アーティストリレートーク
- 日 時：2020年1月25日（月）
- 場 所：企画展示室

○著作・論文等

- ・「作家と現在」制作ノート 『作家と現在』（展覧会図録）2019年12月

大城 さゆり（学芸員／近現代美術担当）

○調査・研究

- ・「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」上條文穂作品調査（那覇市）（2019年4月26日）
- ・「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」波多野泉作品調査（那覇市）（2019年5月29日）
- ・稲嶺成祚展覧会調査（那覇市）（2019年5月17日）
- ・石田尚志展覧会調査（青森公立大学国際芸術センター青森・青森県）（2019年6月16日）
- ・平良優季関連聞き取り調査（那覇市）（2019年7月3日）
- ・上條文穂関連聞き取り調査（糸満市）（2019年7月5日）

- ・あいちトリエンナーレ展覧会調査（愛知県美術館ほか・愛知県）（2019年10月10、11日）
- ・真喜志勉関連聞き取り調査（浦添市）（2019年11月18日、2020年1月8日、3月20日）
- ・田中睦治展覧会調査（沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館・那覇市）（2019年12月11日）
- ・稲嶺成祚関連聞き取り調査（那覇市）（2020年2月20日、3月17日）
- ・真喜志勉文献調査（那覇市）（2020年3月18日）
- ・稲嶺成祚作品調査（那覇市）（2020年3月27日）

○講演・発表等

- ・名称：「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」シンポジウム
日時：2019年10月26日（土）
場所：講堂
- ・名称：美術館コレクションギャラリー1「真喜志勉 ドローイング展」学芸員講座＋キュレータートーク
日時：2020年1月11日（月）
場所：美術館講座室

○著作・論文等

- ・「真喜志勉作品におけるモチーフの変遷—『真喜志勉ドローイング展』のための資料調査より—」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要』第9号、pp. 48-64、沖縄県立博物館・美術館、2020年3月31日

II 展示活動

1 展示活動概要

美術館のコレクション展は、通年3期に分けて展示替えを行い、テーマ展示もしくは個展の形式で収蔵作品及び寄託作品を公開している。コレクションギャラリー1では絵画や映像作品を紹介し、コレクションギャラリー2では絵画や立体作品、現代美術等を展示、コレクションギャラリー3では近現代の美術作品を時系列に展示して沖縄の美術史を紹介した。

企画展は学芸員の調査研究を基に、郷土の芸術家や、沖縄ゆかりの国内外の優れた芸術家、あるいは現在活躍する現代美術作家に関する自主企画展を行うほか、他館との連携なども行いながら展示公開している。

（大城 さゆり）

2 コレクション展（常設展）

（1）コレクションギャラリー1

①「金城安太郎展」【絵画】

会 期：2019年7月13日（土）～10月13日（日）

担 当：梶原正史

内 容：金城安太郎は沖縄画壇における数少ない日本画家の一人でもあり、しなやかな線の美しさと緻密な描写で知られている。安太郎には戦争で失われた文化財や沖縄の原風景を描き遺したいという思いがあった。その作品は安太郎自身が独自に調査し、その知識を生かした緻密な描き込みと立体的で説得力のある描写が魅力的であり、生き生きとした安太郎作品の特徴といえるだろう。本展では平成30年度に寄託された日本画を展示するとともに、新聞挿絵、参考資料などもあわせて紹介した。

②「真喜志勉ドローイング展」【絵画】

会 期：2019年10月19日（土）～2020年2月9日（日）

担 当：大城さゆり

内 容：TOM MAXの名で知られる画家・真喜志勉（1941～2015）は、本土復帰後の1972年から73年にかけて渡米した。米国の現代アートに触れたことがその後の作風へ影響を与えて、以後さまざまな技法・素材の作品を制作している。加えて2000年代以降は、基地問題など沖縄を取り巻く問題をモチーフに制作した。本展では数ある作品の中からドローイングに焦点を当て、晩年の作品から高校時代のスケッチまで、年代をさかのぼる形で作品を紹介した。

③「石田尚志展」【映像・立体】

会 期：2020年2月15日（土）～2020年6月28日（日）

担 当：大城さゆり

内 容：10代後半を沖縄で過ごした石田尚志（1972～）は、線を少しずつ描いては撮影する、という行為を繰り返すドローイング・アニメーションの手法で知られ、その作品は「動く絵（ムーヴィング・ピクチャ）」と称されている。本展では、平成30年度に収蔵した3つの映像作品、《渦巻く光》

(2015)、《海の映画》(2007)、《部屋／形態》(1999)を展示した。加えて、《渦巻く光》に関連する立体作品の《ダンス》《彫刻／4：3》と、映像作品《おもちゃ》を特別展示して最新作を紹介した。

(2) コレクションギャラリー2

①「沖縄を描いた画家 1930-1950's」【絵画】

会 期：2019年7月13日(土)～2019年10月13日(日)

担 当：豊見山愛

内 容：当館コレクションの中から、1930年代から50年代にかけて沖縄を描いた画家たちの作品を紹介した。中でも沖縄と本土の画家が共通して描いた画題「沖縄の女性」「墓」「壺屋」に注目し、藤田嗣治、島海青児、名渡山愛順、大嶺政寛などの作品を展示した。加えて、日本美術史上「南」がどのような意味を持っていたかを考察するために、戦前に南洋を訪れた北川民次、和田香苗、儀間比呂志を取り上げた。また、戦前から沖縄画壇で活躍した山里永吉、糸数晴甫の作品も展示し、戦前・戦後の沖縄の画壇史を紹介した。

②「作家の視点、作品の視点」【版画・写真・立体・現代美術】

会 期：2019年10月19日(土)～2020年2月9日(日)

担 当：亀海史明

内 容：あるひとつの作品に対する見方は複数考えられる。作品に対して抱く印象は、観る人に応じてさまざまといえる。本展では、当館所蔵のコレクションから作品をピックアップし、それぞれの作品から浮かび上がってくる視点の多様さについて、作品とともに紹介。アマンダ・ヘン、内間安理、竹川宣彰、野村恵子の作品を出品し、展覧会を構成した。

③「大城精徳の仕事」【絵画】

会 期：2020年2月15日(土)～2020年6月28日(日)

担 当：豊見山愛

内 容：大城精徳(あるいは精豊、1928～2007)は沖縄の画家であり、雑誌『琉球の文化』(全5号、1972～74年、琉球文化社)を創刊した郷土文化研究者としても知られている。本展は、平成30年度に新たに収蔵した絵画を含む22点を展示し、大城精徳が描いた沖縄を検証した。加えてアメリカ留学やグループ展、『琉球の文化』に関する資料類も多数展示し、沖縄文化総体に関わる大城精徳の仕事を幅広く紹介した。

(3) コレクションギャラリー3

①「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・映像・現代美術】

会 期：前期 2019年7月13日(土)～2019年10月13日(日)

中期 2019年10月19日(土)～2020年2月9日(日)

後期 2020年2月15日(土)～2020年10月11日(日)〔新型コロナ感染防止のための臨時閉館により会期延長〕

担 当：大城さゆり

内 容：沖縄には、本土と異なる風土と歴史の中から育まれてきた独特な文化がある。沖縄の美術もまた、その中から生み出され育まれてきた。現代までのさまざまな時代の変容は、沖縄の美術家とその作風に大きく影響を与えてきたと言える。「沖縄美術の流れ」では、沖縄の画家や沖縄を描いた作品を取り上げ、戦前、戦後、復帰後、現代の4章に分けて、沖縄近現代美術の変遷を紹介した。加えて、第5章では沖縄系移民アーティストの作品も展示した。

3 企画展 「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」

会 期：2019年(令和元)9月20日(金)～11月4日(月)

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般¥1,200円(800円) 高校・大学生600円(480円) 小・中学生300円(240円)

※()内は前売・団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は半額

観覧者数：2,880名

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

協 力：沖縄県立芸術大学、現代彫刻研究会、丸沼芸術の森、キャンプタルガニー

後 援：沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、沖縄県文化協会、一般社団法人沖縄県美術家連盟、一般社

団法人沖縄観光コンベンションビューロー、株式会社沖縄タイムス社、株式会社琉球新報社、沖縄テレビ放送株式会社、琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、株式会社ラジオ沖縄、株式会社エフエム沖縄、株式会社エフエム那覇、那覇新都心通り会、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ（順不同）

【開催趣旨】

本展覧会は、沖縄で活動する彫刻家・上條文穂と波多野泉を紹介するものである。

上條文穂（1953ー）は、1986年から2019年3月まで沖縄県立芸術大学で教鞭を執り、石灰岩や漆喰、沖縄の土を使ったテラコッタなど、沖縄の素材を用いた大型彫刻を制作している。また那覇市で野外彫刻展「街と彫刻展」を開催するなど、沖縄の現代彫刻に大きな影響を与えている。

波多野泉（1957ー）は1997年に沖縄県立芸術大学に赴任し、現在は同大学教授を務めて後進を育てている。テラコッタや乾漆など古典的な技法を用いながら現代的な表現を行う波多野は、「現代彫刻研究会」の中心メンバーでもあり、沖縄と台湾の交流展開催にも尽力している。

本展覧会では二人の初期作品から近作まで約70点を展示。それぞれの制作の変遷を辿りながら現代の沖縄彫刻を顧みる内容とした。

【展示構成】

上條文穂ー素材と造形の展開ー

上條文穂の展示スペース（廊下及び企画展示室2）では、創作の出発点である東京時代の作品から退任記念展（2019）出品作までを展示することで、素材と造形の変遷をたどる内容とした。入口から廊下にかけては、沖縄の土で制作したテラコッタ作品を展示し、作品と併せて資料を紹介し、沖縄の公共彫刻に影響を与えた「街と彫刻展」の流れを概観することとした。

企画ギャラリー2では、素材と真摯に向き合う姿勢を深めていった作家の足跡を紹介した。上條は木彫から出発し、次第にパイプや紙といった異素材を木彫と組み合わせた作品を発表していった。1986年に沖縄に移ってからは、石灰岩の白い岩肌に着想を得た《堆積の原》（1988）や、琉球漆喰を用いた《漆喰の扉より》（1993）など、沖縄の風土に向き合った作品を制作した。

加えて1998年のイタリア研修を経ると、原点回帰を思わせる木との対話を始めた。極限まで木を薄く削ぎだして作った木の葉を集めた《八月の果て》（1999-2017）は、その代表作である。本展は、一貫して素材との対話を続ける上條の仕事を一覧する展示とした。

波多野泉ー肖像と観察ー

波多野泉の展示スペース（企画ギャラリー2・1及び、アトリウム）では、学生時代の作品から最新作までを展示することで、肖像彫刻を追求する波多野の道程を紹介することとした。企画展示室2では、FRPによる人物像《鼎》（1983）などの初期作品を展示し、創作の原点となった作品群を紹介した。

続く企画ギャラリー1では、乾漆やテラコッタによる肖像作品を展示した。波多野は仏像の写しを制作し、乾漆などの古典技法を研究した。さらに1989年には、敦煌の石窟から造形的ヒントを得てテラコッタ作品《母になる女》（1989）を制作している。企画展示室1の前半部分では、こうした古典への敬意を込めて研究された技法の変遷を概観した。

ギャラリー1の後半部分では、木彫と乾漆による近年の肖像彫刻を紹介した。「いつも好き（よき）観察者でありたいと思っています」という作家の言葉のとおり、波多野は制作の上で観察を重視した。1997年に沖縄県立芸術大学に赴任して以降は、沖縄の画家・真喜志勉をモデルにした《Okinawa Toleranceー画家の肖像》（2013）や、首里城の瓦を復元したことで知られる奥原崇典をモデルとした《城を葺いた男》（2013）といった肖像彫刻を制作した。いずれも既存の価値観に縛られずに個を貫く「希少な人物」をモデルとしたといい、対象の本質に迫る波多野の肖像彫刻の代表作である。本展ではこれらに加え、今年制作した最新作を展示。波多野の創作の原点から今に至る道程を紹介した。

【関連催事】

（1）オープニングギャラリートーク

日 時：2019年9月20日（水）9:30～10:30

会 場：エントランス／企画ギャラリー

参 加 者：60名

（2）ギャラリートーク＋ワークショップ

日 時：2019年10月12日（土）9:00～18:00

会 場：企画ギャラリー／沖縄県立芸術大学彫刻棟

参 加 者：28名

講師：波多野泉(本展覧会作家)、砂川泰彦（沖縄県立芸術大学彫刻専攻教授）、県芸彫刻科のみなさん
 (3) シンポジウム

日時：2019年10月26日（土）14:00～17:00

会場：美術館講座室／企画ギャラリー

参加者：37名

講師：上條文穂（本展覧会作家）、波多野泉（本展覧会作家）、大田和人（キャンプタルガニー）、西村貞雄（琉球大学名誉教授）、玉那覇英人（首里高校教諭・本展覧会発起人）

司会：梶原正史（当館学芸員）、大城さゆり（当館学芸員）

【展示平面図】

(1) 上條文穂作品ゾーン



(2) 波多野泉作品ゾーン



(梶原 正史)

4 企画展 「作家と現在」

会 期：2019年（令和元）12月24日（火）～2020年（令和2）2月2日（日）

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般¥1,200円（1,000円）高校・大学生800円（700円）小・中学生300円（250円）

※（ ）内は前売・団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は半額

観覧者数：3,004名

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

協 力：赤々舎、ギャラリー小柳

後 援：一般社団法人沖縄県美術家連盟、沖縄女流美術家協会、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、NHK
沖縄放送局、沖縄テレビ放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、琉球放送株式会社、株式会社沖縄
タイムス社、株式会社琉球新報社、株式会社エフエム沖縄、株式会社エフエム那覇、株式会社ラジ
オ沖縄（順不同）

【開催趣旨】

本展では、沖縄県の内外で広く活動し、さらなる活躍が期待されている沖縄の4名のアーティスト：石川竜一、伊波リンダ、根間智子、ミヤギフトシを紹介。作家はそれぞれの現場で制作に取り組み、いまなお探求を続けている。その探求の足跡を、展覧会を通してたどる。

【関連催事】

（1）オープニング＋内覧会

日 時：2019年12月23日（月）17:00～18:00

会 場：エントランス／企画ギャラリー

参 加 者：50名

（2）ギャラリートーク

日 時：2020年1月17日（金）18:00～20:00

会 場：企画展示室

参 加 者：48名

講 師：石川竜一

（3）アーティストリレートーク

日 時：令和2年1月25日（土）14:00～16:00

会 場：企画ギャラリー

参 加 者：48名

講 師：伊波リンダ、根間智子、ミヤギフトシ

【会場風景】



石川竜一展示風景



伊波リンダ展示風景



ミヤギフトシ展示風景



根間智子展示風景

【展示平面図】



(亀海 史明)

Ⅲ 教育普及活動

1 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」「発表活動の支援プログラム」という3つの柱に沿って展開している。

鑑賞活動のプログラムでは、ガイドボランティアによる「対話による鑑賞」を展開し、作品の解説だけではなく、初めて美術館に来る子供たちのために対話の中で作品の楽しみ方を伝えている。

実技体験では、夏休み子どもフェスタにおいて多彩なプログラムで多くの児童生徒が参加し、また、展覧会と関連させたワークショップも実施した。その他、学芸員によるキュレータートーク、作品制作者やその関係者によるアーティストトークやギャラリートークなどを美術館講座室と展示室で実施した。

本年度の教育普及事業では、従来から取り組んでいる学校との連携を図る鑑賞プログラムである「学校団体対応プログラム」や当館がバスを手配し美術館に招待する「美術館へ行こう」を実施するとともに、学校に出向いて先生方に向けた鑑賞授業のサポートを行う「出前授業」を実施した。

また、小学校・中学校・高校・大学と美術館の連携授業としても、キャリア教育、鑑賞プログラムを取り入れた対応が出来た。特に特別支援学校と連携した鑑賞プログラムには大きな成果があった。そして中学生・高校生向けにニシムイ鑑賞プログラムを作成し、出前授業に出向くことができ、館内には鑑賞サポートワークシートの設置も復活し活用することが出来た。

新たな取り組みとして、美術品複製事業を行った。当館収蔵作品の中から、複製作品を制作することにより、「美術館出前授業」や「移動展」にその活用が積極的に行われ、当館の収蔵作品の紹介とともに沖縄の美術作家への興味・関心につながる機会となった。

新たな取り組みを行うことで様々な個人・団体との連携を図ることができ、新規来館者の開拓に繋がったと考えられる。

2 鑑賞活動支援

作品の鑑賞をより深めるために各展示担当によるキュレータートークや、作品の制作を行った作家や関係者を

招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。また来館者に対して鑑賞ボランティアによる「鑑賞ツアー」を、展示室内で作品を観ながら行った。

(1) キュレータートーク・学芸員講座

展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また開催するにあたり進めてきた調査・研究の内容を語る場である。観覧者にとって、学芸員の話聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会への向けての情報収集となる。



豊見山学芸員

回	月 日	曜	展示会名	担 当	参加者
1	8月31日	土	「沖縄を描いた画家1930-1950's」学芸員講座	豊見山愛	21
2	10月5日	土	「金城安太郎」キュレータートーク+学芸員講座	梶原正史	17
3	1月11日	土	「真喜志勉ドローイング展」キュレータートーク+学芸員講座	大城さゆり	32
4	1月19日	土	「コレクションと展示」学芸員講座	亀海史明	2

(2) アーティスト（ギャラリー）トーク

アーティストトーク、ギャラリートークは、作家自身や作家とゆかりがある、あるいは研究している方から話しを聞く機会である。作家自身から作品、制作に関することや思いを直接伺い、ゆかりがある方から作家の人物や思想、歩んできた人生、客観的な事実や制作スタイル、モチーフの変遷などについて聞くことで、作品や作家に対して、新たな気づきや理解がより深まることに繋がっていく。



友寄寛子氏



石川竜一氏



上條文穂氏



波多野泉氏

回	月 日	曜	展覧会名	参加者
1	4月27日	土	「伊志嶺隆と平敷兼七」ギャラリートーク 講師：友寄寛子（写真史）	38
2	9月7日	土	「金城安太郎展」関連催事 ギャラリートーク 講師：金城美奈子（一般財団法人 沖縄美ら島財団 学芸員）	17
3	9月20日	金	「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」関連催事 ギャラリートーク 講師：上條文穂（作家）波多野泉（沖縄県立芸術大学教授）	60
4	9月28日	土	「沖縄を描いた画家 1930-1950's」関連催事 美術講座「南洋群島と沖縄」ギャラリートーク 講師：滝沢恭司（町田市立国際版画美術館担当課長・学芸係長）	20
5	12月7日	土	「真喜志勉 ドローイング展」関連催事 真喜志勉とアメリカーTOM MAX in USA, 1972-73 講師：宮城明（美術家）、仲里効（映像・文化批評家）	39
6	12月21日	土	「沖縄美術の流れ」関連催事 山城知佳子アーティストトーク 講師：山城知佳子（アーティスト）	53

回	月 日	曜	展覧会名	参加者
7	12月23日	月	「作家と現在」内覧会 ギャラリートーク 講師：伊波リンダ、根間智子、石川竜一、ミヤギフトシ（出品作家）	53
8	1月17日	金	「作家と現在」関連催事 ギャラリートーク 講師：石川竜一（出品作家） MITSUGU（《MITSUGU》シリーズのモデル）	41
9	1月25日	土	「作家と現在」関連催事 アーティストトーク 講師：伊波リンダ、根間智子、ミヤギフトシ（出品作家）	55
10	2月29日	土	「大城精徳の仕事」関連催事 美術講座 講師：星雅彦（美術評論家） 宮城篤正（元沖縄県立芸術大学学長・画家）	6月延期
11	3月1日	日	「石田尚志」関連催事 ギャラリートーク 講師：石田尚志（美術家）	5月延期

（３） 学校団体対応

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。鑑賞ボランティア員が案内役となり、コレクション展の中から２～３作品程度を選び、グループ別に「対話による鑑賞」を通してお互いに共感し合いながら作品理解を深めた。

回	月 日	曜	学 校 名	内 容	参加者
1	7月18日	木	沖縄県立島尻特別支援学校（中学部）	コレクション展	28
2	7月18日	木	沖縄県立島尻特別支援学校（高等部）	コレクション展・美術館企画展	43
3	7月18日	木	アメラジアンスクール・イン・オキナワ	コレクション展・美術館企画展	43
4	7月19日	金	那覇市立寄宮中学校（特別支援）	コレクション展・美術館企画展	28
5	9月5日	金	那覇市立神原中学校（特別支援）	コレクション展・美術館企画展	30
6	9月28日	土	沖縄県立開邦高等学校（芸術科1～3年）	コレクション展・バックヤード	49
7	10月11日	金	沖縄県立首里高等学校（染色デザイン科）	企画展・バックヤード	10
8	10月30日	水	沖縄県立鏡が丘特別支援学校（高等部）	コレクション展・美術館企画展	27
9	11月6日	水	南城市立佐敷小学校（4年）	コレクション展	76
10	11月13日	水	沖縄県立首里高等学校（普通科）	コレクション展・バックヤード	6
11	11月21日	木	豊見城市立豊崎小学校（5年）	美術館コレクション展	168
12	12月18日	水	那覇市立神原小学校（特別支援）	コレクション展・美術館企画展	15
13	1月15日	水	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	コレクション展・美術館企画展	中止
14	1月23日	木	沖縄県立浦添工業高校（デザイン科）	コレクション展・バックヤード	78



県立浦添工業高校



県立開邦高校



神原小学校

3 ミュージアム・ツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。前年度からコレクションギャラリーの鑑賞と合わせて行っている。内容は、*トラックヤード*一時保管庫*収蔵庫*工作室*修復室*展示室作品鑑賞

回	月 日	曜	内 容	担当学芸員	参加者
1	5月18日	土	伝える（教育普及）	富原圭子	12
2	7月20日	土	集める（資料収集）	亀海史朗	7
3	9月14日	土	調べる（調査研究）	豊見山愛	3
4	11月3日	日	まもる（保存・修復）	梶原正史	12
5	1月25日	土	みせる（展示公開）	大城さゆり	8



トラックヤード



概要説明



修復室

4 コレクション・企画展関連催事

(1) 「伊志嶺隆と平敷兼七」展

会 期：2019年1月12日（土）～2020年6月24日（月）

① ギャラリートーク

【日 時】2019年4月27日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室・コレクションギャラリー1・2

【参加者】38名

【講 師】友寄寛子（写真史）

② シンポジウム

【日 時】2019年6月8日（土）14:00～16:00

【会 場】講堂

【参加者】64名

【講 師】倉石信乃（明治大学教授）、翁長直樹（元美術館副館長）、仲里効（映像・文化評論家）



(2) 「金城安太郎」展

会 期：2019年7月13日（土）～10月13日（日）

① ギャラリートーク

【日 時】2019年9月7日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室

【参加者】17名

【講 師】金城美奈子（一般財団法人 沖縄美ら島財団学芸員）

② キュレータートーク＋学芸員講座

【日 時】2019年10月5日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室

【参加者】17名

【講 師】梶原正史（美術館修復担当学芸員）



(3) 「沖縄を描いた画家 1930-1950's」展

会 期：2019年7月13日（土）～10月13日（日）

① 学芸員講座・キュレータートーク

【日 時】2019年8月31日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室

【参加者】21名



【講 師】豊見山愛（調査研究担当学芸員）

② ギャラリートーク

【日 時】2019年9月28日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室

【参加者】20名

【講 師】滝沢恭司（町田市立国際版画美術館担当課長・学芸係長）

(4) 「真喜志勉ドローイング」展

会 期：2019年10月19日（土）～2020年2月9日（日）

① ギャラリートーク

【日 時】2019年12月7日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室・コレクションギャラリー1

【参加者】39名

【講 師】宮城明（美術家）・仲里効（映像・文化批評家）

② 学芸員講座＋キュレータートーク

【日 時】2020年1月11日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室・コレクション1

【参加者】32名

【講 師】大城さゆり（美術館展示公開担当学芸員）



(5) 「作家の視点・作品の視点」展

会 期：2019年10月19日（土）～2020年2月9日（日）

① 学芸員講座＋キュレータートーク

【日 時】2020年1月19日（日）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室・コレクション1

【参加者】2名

【講 師】亀海史明（美術館収集担当学芸員）



(6) 「石田尚志」展

会 期：2020年2月15日（土）～6月28日（日）

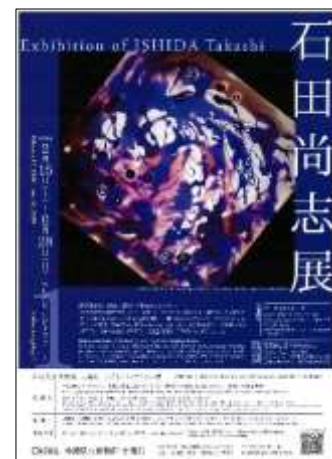
① ギャラリートーク

【日 時】2020年3月1日（日）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室・コレクションギャラリー1

【参加者】新型コロナウイルス感染防止のため延期

【講 師】石田尚志（美術家）



(7) 「大城精徳の仕事」展

会 期：2020年2月15日（土）～6月28日（日）

① ギャラリートーク＋キュレータートーク

【日 時】2020年2月29日（土）14:00～15:30

（新型コロナウイルス感染防止のため延期）5月～6月開催予定

【会 場】コレクションギャラリー2

【講 師】星雅彦（美術評論家）

宮城篤正（元・沖縄県立芸術大学学長）



(8) 沖縄美術の流れ

会 期：前期◆2019年7月13日（土）～10月13日（日）

中期◆2019年10月19日（土）～2020年2月9日（日）

後期◆2020年2月15日（土）～6月28日（日）

① ギャラリートーク

【日 時】2019年12月21日（土）18:00～19:30

【会 場】美術館講座室
【参加者】53名
【講 師】山城知佳子（アーティスト）

（9） 現代彫刻展（上條文穂と波多野泉）

会 期：2019年9月20日（金）～11月4日（月）

① オープニング+ギャラリートーク

【日 時】2019年9月20日（土） 10:30～11:00
【会 場】ホワイエ・企画展示室
【参加者】60名
【講 師】上條文穂（作家）
波多野泉（沖縄県立芸術大学教授）

② ギャラリートーク

【日 時】2019年10月12日（土） 9:00～11:00
【会 場】企画展示室・県立芸術大学彫刻棟
【参加者】28名
【講 師】波多野泉（沖縄県立芸術大学教授）

③ ワークショップ

【日 時】2019年10月12日（土） 9:00～17:30
【会 場】企画展示室・県立芸術大学彫刻棟
【参加者】32名 各地区中学美術部
琉大付属中・与那原中・西崎中・金城中・南星中
【講 師】波多野泉（作家・沖縄県立芸術大学彫刻専攻教授）
砂川泰彦（沖縄県立芸術大学彫刻専攻教授）

④ シンポジウム

【日 時】2019年10月26日（土） 14:00～17:00
【会 場】講堂
【参加者】37名
【講 師】上條文穂・波多野泉（本展作家）
西村貞雄（彫刻家・琉球大学名誉教授）
大田和人（アトリエキャンパルガニー）
玉那覇英人（元美術館学芸員・首里高校教諭）

（10） 「作家と現在」展

会 期：2019年12月24日（火）～2020年2月2日（日）

① 内覧会+アーティストトーク

【日 時】2019年12月23日（月） 18:00～19:30
【会 場】美術館企画ギャラリー
【参加者】53名
【講 師】石川竜一・伊波リンダ・根間智子・ミヤギフトシ（本展出品作家）

② アーティストトーク①

【日 時】2020年1月17日（金） 18:00～19:30
【会 場】美術館企画ギャラリー
【参加者】41名
【講 師】石川竜一（本展出品作家）
MITSUGU（〈MITSUGU〉シリーズのモデル）
亀海史明（担当学芸員）

③ アーティストトーク②

【日 時】2020年1月25日（土） 14:00～16:00
【会 場】美術館企画ギャラリー
【参加者】55名
【講 師】伊波リンダ・根間智子・ミヤギフトシ（本展出品作家）



シンポジウム



5 ワークショップ

(1) OKINAWAアートワークショップ2019

沖縄県立美術館のアトリエには、充実した造形活動が出来るスペースがあり、様々な創造活動を体験することが出来る。今年度より、「知っているようで知らない《おきなわ》を触って作って再発見！」をテーマに沖縄の地域素材を生かした、大人も子どもも楽しめるワークショップを実施した。

身近なモノでモノづくりが出来る素晴らしさや、アイデア・発想につながる考え方の修得につながるようなワークショップを集結！

(2) 夏休みこどもフェスタ

毎年恒例となっている夏休みこどもフェスタがNP0法人美術館支援組織happとの共催で7月26日（金）・27日（土）・28（日）の3日間実施された。今年度より沖縄県立芸術大学の学生を講師として招いた。子どもから大人まで幅広い層の参加があり、楽しむ姿が伺えた。各種実技指導を通して、子どもたちに造形的な技能及び表現力を身につけさせ、子どもたちと美術館との関わりを深めることを目的とした。



錫でつくろう豆皿

① OKINAWAワークショップ「錫で豆皿をつくろう」

【日 時】2019年6月15日（土）

10:00～12:00 / 14:00～16:00

【内 容】琉球王朝時代に盛んに作られた錫細工の歴史、技法を学びながら豆皿を制作

【講 師】上原俊展（金細工まつ）

【対 象】小学校1年から一般

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】24名

② 美術館夏休み こどもフェスタ「漆喰シーサーに挑戦」

【日 時】2019年7月26日（金）10:00～15:00

【内 容】子供たちが馴染みの少ない漆喰を使ってシーサー作りに挑戦

【講 師】田端忠、神里善則（沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合）

【対 象】小学校3年から中学校3年

【会 場】博物館実習室

【参加者】20名



フェルトアート

③ 美術館夏休み こどもフェスタ

「もみもみ、ゴシゴシ針を使わないフェルトアート」

【日 時】2019年7月27日（土）9:00～12:00

【内 容】濡れた羊毛を揉みこみコースターとモバイルを制作

【講 師】有川愛乃、比嘉光里、西原真愛美（中学高校美術講師）

【対 象】5才から中学校3年

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】19名

④ 美術館夏休み こどもフェスタ 「身近な人の似顔絵を描こう！」

【日 時】2019年7月27日（土）13:00～15:00

【内 容】似顔絵の描き方のコツを教えてもらい家族や友人と一緒に似顔絵を描く

【講 師】仲本賢、又吉浩（沖縄県立芸術大学）

沖縄県立芸術大学学生

【対 象】小学校1年から中学校3年

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】15組



似顔絵を描こう

⑤ 美術館夏休み こどもフェスタ④沖縄県立芸術大学 学生企画

「ねんどで山羊博士！ヤギを身近に感じたい」

【日 時】2019年7月28日（日）10:00～15:00

【内 容】山羊の生態や沖縄との関係を学びながら、粘土で山羊を制作

【講 師】坂元蘭、金城辰海（沖縄県立芸術大学 大学院生）

【対 象】小学校1年から中学校3年

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】15名



粘土でヤギ制作

⑥ OKINAWAワークショップ 「沖縄の植物（クロトン）で押し花アート」

【日 時】2019年8月17日（土）9:30～12:00
【内 容】身近な植物「クロトン」の魅力を押し花で表現
【講 師】伊是名教子、中島トモ子
【対 象】小学校1年から一般
【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】25名



クロトン押し花アート

⑦ 「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」 彫刻ワークショップ in 沖縄県立芸術大学

【日 時】2019年10月12日（土）9:00～18:00
【内 容】県内中学校の美術部を対象に生きた山羊をモデルに作品を制作
【講 師】波多野泉（沖縄県立芸術大学教授）
砂川泰彦（沖縄県立芸術大学教授）
【対 象】県内中学校美術部
【会 場】美術館企画ギャラリー、沖縄県立芸術大学崎山キャンパス
【参加者】28名

⑧ OKINAWAワークショップ「石獅子 守り神づくり」

【日 時】令和元年10月19日（土）
*9:30～12:30 *14:00～17:00
【内 容】琉球石灰岩を使って石彫に挑戦
【講 師】若山大地、若山恵里（スタジオde-jin）
【対 象】未就学から一般
【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】10組



石獅子 守り神づくり

⑨ OKINAWAワークショップ「漆喰シーサーに挑戦！」

【日 時】2019年11月16日（土）～17日（日）10:00～15:00
【内 容】首里城復元に携わった職人から本格的な漆喰シーサーの作り方を学ぶ
【講 師】山城富嗣、大城幸祐、田端忠、神里善則
城間盛行（沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合）
【対 象】小学校5年から一般
【会 場】博物館実習室
【参加者】20名



漆喰シーサーに挑戦

⑩ OKINAWAワークショップ「干支紅型でお正月の仕度」

【日 時】2019年12月14日（土）
*10:00～12:00 *14:00～16:00
【内 容】紅型の歴史を学び、次の干支「子」の紅型に挑戦
【講 師】山城信吾、吉濱愛（城紅型染工房）
【対 象】5才から一般
【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】40名



干支紅型

⑪ 沖縄県立博物館・美術館 第12回移動展in伊江島 OKINAWAワークショップ「伊江島の石で石獅子をつくろう！」

【日 時】2020年2月1日（土）
*9:00～11:00 *12:00～14:00
【内 容】伊江島の石を使って石彫に挑戦
【講 師】若山大地（スタジオde-jin）津波夏希（彫刻家）
【対 象】小学校1年から一般
【会 場】伊江村農村環境改善センター
【参加者】14名

⑫ OKINAWAワークショップ「琉球漆器 沈金を楽しもう」

【日 時】2020年2月15日（土）9:30～12:30
【内 容】琉球漆器の技法の中から沈金に挑戦
【講 師】前田春城・前田貴子（琉球漆紀行）
森田敦子（工房ぬりトン）
【対 象】小学校4年から一般
【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ



沈金を楽しもう

【参加者】20名

6 美術館招待事業（美術館へ行こう2019）

児童生徒をバスで送迎し、コレクション展示作品を鑑賞しながら学習指導を行う。今年度は本島中部・那覇地区・南部の小中学校に対して公募を行った。そして博物館との連携も図り博物館常設展示室の見学もプログラムに導入した。9月から2月にかけて11校（673名）の児童生徒が美術館に足を運び、作品の鑑賞を楽しんだ。当日、児童生徒は対話による鑑賞を通して多くの気づきと感動が生まれた。児童にとってこの体験が美術館鑑賞のスタートとなり、今後の美術館での鑑賞に大きな期待をもたらすきっかけとなると推察される。



ボランティア紹介

【対 象】：本島域内小中学校、特別支援学校等

【方 法】：公募により学校を選定

【場 所】：コレクション展示室

【内 容】：鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援

回	月 日	曜日	学校名	見学者
1	9月25日	水	読谷村立渡慶次小学校（5年）	102
2	9月26日	木	沖縄市立山内中学校（特別支援学級1～2年）	17
3	9月27日	金	浦添市立当山小学校（特別支援学級1～6年）	54
4	10月4日	金	沖縄市立越来中学校（3年）	64
5	10月8日	火	糸満市立真壁小学校（6年）	29
6	10月9日	水	浦添市立浦添中学校（特別支援学級1～3年）	25
7	11月19日	火	うるま市立赤道小学校（6年）	110
8	11月20日	水	沖縄市立安慶田小学校（6年）	86
9	12月5日	木	那覇市立神原小学校（4年）	59
10	12月6日	金	那覇市立那覇小学校（4年）	83
11	2月15日	金	美術部（伊良波中・糸満中・西崎中・潮平中）	44



鑑賞ボランティア



ワークショップボランティア

7 アートコンクール

児童・生徒にアートコンクールへの参加の機会を提供し、親しめる美術館づくりを目指した。引き続き実施することとし、第3回目のテーマは「未来」。あなたにとっての未来とは・・・で募集した。沖縄県造形教育連盟と美術館班職員が審査に携わり、936作品の中から特に色彩豊かで独創性に優れた作品が入賞に選ばれ、11月3日に表彰式を挙行了した。当日は、入賞者のご家族がたくさん列席いただき、晴れやかな表彰式となった。

令和元年度 沖縄県立博物館・美術館企画 第3回アートコンクール 入賞者

展示期間2019/10/28～11/27

賞	小学校の部	中学校の部	高校の部	特別支援の部
最優秀賞	◎山城大空 国頭村立辺土名小5年	◎知花美沙 国頭村立国頭中3年	◎大城杏奈 沖縄県立那覇高3年	◎高橋琉華 沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校 高等部2年
優秀賞	◎東江健太 沖縄市立安慶田小6年 ◎金原はな 浦添市立港川小4年	◎根路銘諒香 那覇市立石田中3年 ◎屋良美稀乃 那覇市立那覇中3年 ◎名城咲希 那覇市立那覇中3年 ◎中村唯梨乃 私立昭和薬科附属中3年	◎伊良波 藍 沖縄県立首里高3年 ◎山田春香 沖縄県立開邦高1年 ◎大城百合愛 沖縄県立球陽高1年 ◎山川 凛 私立興南高1年	◎伊禮魁成 沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校 高等部3年 ◎新垣仙太郎 沖縄県立島尻特別支援学校 小学部6年
優良賞	◎仲程一樹 西原町立坂田小2年 ◎山田琉友 私立デモクラティック スクールみいち3年 ◎高江洲七海 沖縄市立高原小3年	◎宮城里采 那覇市立上山中2年 ◎寺田詩望 那覇市立上山中2年 ◎金城ナキア 那覇市立上山中2年 ◎古元創史 那覇市立上山中2年 ◎玉城春陽 糸満市立西崎中1年 ◎趙 蘭 沖縄県立開邦中1年	◎喜納政太 沖縄県立首里高2年 ◎城間千裕 沖縄県立首里高1年 ◎與那嶺莉来 沖縄県立首里高1年 ◎上原蒼良 沖縄県立北谷高2年 ◎平良珠朱 沖縄県立開邦高3年 ◎福島あかり 沖縄県立小禄高1年	◎儀間栄晃 伊江村立伊江小学校 特別支援学級2年 ◎前代音藍 沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校 高等部1年 ◎金城悠介 浦添市立当山小学校 特別支援学級4年
優秀 団体賞	◎沖縄市立安慶田小学校 ◎糸満市立真壁小学校	◎那覇市立上山中学校 ◎宜野座村立宜野座中学校 ◎沖縄県立開邦中学校	◎沖縄県立首里高等学校	◎浦添市立当山小学校 特別支援学級



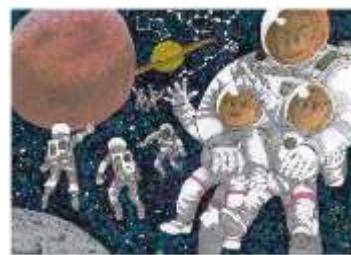
入賞者記念撮影



美術館長挨拶



審査の様子



中学部 入賞作品

8 「移動展 in 伊江島」

博物館や美術館に日常的に足を運ぶことが難しい離島の方々へ博物館資料や美術作品を公開する機会を提供する趣旨から、毎年開催している。今回は、伊江島で3日間に渡り開催した。

今年度は3年ぶりに美術館収蔵作品を公開することができた。そして美術館所蔵の修復映像をデジタル化した映画を開催期間中上映した。主会場となった伊江村環境改善センターには、多くの来館者が集まった。

【場 所】伊江村農村環境改善センター

【会 期】2020年1月31日（金）～2月2日（日）

【開催地】伊江島

【内 容】①美術館展示 収蔵作品（彫刻5点・絵画複製2点）



- ②これまでの展覧会概要パネル
- ③県出身映画監督作品 《執念の毒蛇》上映
- ④教育普及教材「ニシムイ」
- ⑤教育普及活動 ワークショップ（石獅子づくり）

【来場者数】910名

- 1/31日（金）/301名（70歳以上8名、一般83名、高大5名、小中135名、未就学児70名）
- 2/1日（土）/302名（70歳以上11名、一般104名、高大6名、小中118名、未就学児63名）
- 2/2日（日）/307名（70歳以上24名、一般106名、高大43名、小中97名、未就学児37名）



開会式



幼稚園生鑑賞会



美術館鑑賞案内

（1）複製作品展示

移動展初披露！沖縄の美術を知るために重要なコレクション2点の絵画を複製画で楽しんでいた。学芸員の作品解説や、絵画鑑賞の楽しみ方を伝えることができた。



複製絵画鑑賞



（2）ワークショップ

海とサンゴが作り出した伊江島の石で、石獅子づくりに挑戦した。講師に若山大地氏、津波夏希氏をお招きし、午前7組、午後7組の親子、一般が自分のオリジナルの守り神づくりに楽しんだ。



石獅子講師：若山大地氏



地元の琉球石灰岩



9 学芸員講座

学芸員とは、美術館や博物館において展示する作品・資料のお世話をする仕事である。英語では学芸員を『キュレーター』と呼び、語源は『ケア（世話・配慮）』からきている。

学芸員室や研究室と呼ばれる場所を活動の拠点として、作品・資料の収集・保管・調査・研究などを行ったり、定期的に展覧会の企画・開催などを行うことが主な業務になる。文化的な作品・資料の持つ本当の価値を、美術館や博物館といった場所で、たくさんの人々に伝えていくことが最大の使命だと言えるだろう。今年度は計4回の学芸員講座を実施した。ギャラリートークとアーティストトークをタイアップすることで充実が図られた。

回	期 日	曜日	講座名	担当
1	8月31日	土	「沖縄を描いた画家1930-1950's」	豊見山愛
2	10月5日	土	「美術品の保存について」ー保存修復の現場からー	梶原正史
3	1月11日	土	「真喜志勉ドローイング展」	大城さゆり
4	1月19日	日	「コレクションと展示」	亀海史明



梶原学芸員



豊見山学芸員



亀海学芸員

10 教職員講座・実技研修会

図工・美術における授業の指導向上や美術館を利用した鑑賞授業の方法などを紹介し、学校現場での教育普及に役立ててもらうことを目的とした。沖縄県造形教育連盟と共催で、県内の中学校美術教諭、並びに小学校・幼稚園教諭を対象として、美術館内のアトリエにおいて図画工作・美術に関する研修を定期的に開催した。図工・美術における授業の指導向上や美術館を利用した鑑賞授業の方法などを紹介し、学校現場での教育普及に役立ててもらうことを目的とした。今年度は、第57回沖縄県造形教育研究大会・テーマ 思いがつながる造形教育（那覇大会）の会場として本館が活用された。

●第57回 沖縄県造形教育研究大会（那覇大会）

- 【日 時】8月6日（火）・7日（水）・8日（木）
- 【会 場】美術館 県民・子どもアトリエ・博物館講座室
- 【参加者】保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・特別支援学校・画工美術関係者
- 【後 援】沖縄県教育委員会・那覇市教育委員会
沖縄県立美術館
- 【協 賛】ぺんてる株式会社
- 【内 容】①幼稚園・小学校・中学校実践研究発表
②記念講演会 ③ワークショップ



小 学 校 部 会



中 学 校 部 会

	午前の部	午後の部
8/6（火）	①「造形活動から見る幼児の『10の姿』」 うるま市立伊波幼稚園教諭：伊波薫 ②ワークショップ「画材技法の基礎講座」 講師：大塚義孝（ぺんてる株式会社）	③記念講演「発達段階にみる造形活動の支援」 講師：西村貞雄（琉球大学名誉教授）

	午前の部	午後の部
8/7 (水)	①ワークショップ「画材技法の基礎講座」 (特別支援教育向け) 講師:大塚義孝 (ぺんてる株式会社)	②「クミクミックス (3年) の実践を通して」 那覇市立開南小学校教諭:喜捨場美也子 ③「動きをとらえて 形を見つけて (6年)」 那覇市立壺屋小学校教諭:瑞慶山佑輝 ④「図画工作における基本的技法」造形会員
8/8 (木)	①「地域とつながるパッケージデザイン」 名護市立久志中学校教諭:島本京子 ②自己肯定感を育む表現指導の工夫 「造形活動における対話的な交流授業」 うるま市立あげな中学校教諭:富銘直樹	③美術館と学校連携の取り組み 「沖縄美術の流れ」教育普及プログラム -中学校鑑賞プログラム「ニシムイ」教材- 県立美術館学芸員:富原圭子 ④授業実践紹介 県立開邦中学校・宜野座中学校教諭:有川愛乃 琉球大学附属中学校教諭:酒井織恵 那覇市立神原中学校教諭:照屋真紀子 那覇市立城北中学校教諭:木村憲一

11 ボランティア活動

美術館のボランティアスタッフは、学校団体に向けた作品鑑賞を実施するガイドボランティア、作品づくりのワークショップをサポートするワークショップボランティア、美術関連書籍を整理する資料整理ボランティアと3つのグループに分かれ、それぞれが特技を活かし美術館の活動を盛り上げている。

【ボランティア養成講座 2019】

回	月 日	プログラム	講義内容
1	4月17日	活動説明会+振り返り	前年度振り返り・美術班自己紹介・概要説明
2	5月8日	鑑賞実践①+勉強会	展示場鑑賞
3	6月12日	館外研修	那覇市立壺屋焼物博物館
4	7月17日	展示解説	担当学芸員による展示解説・展示室で作品検討
5	8月21日	館外研修	西村貞雄氏 首里城巡見
6	11月13日	展示解説	担当学芸員による解説
7	3月末日	今年度の振り返り	今年度を振り返り (成果と課題)

(コレクション展に関する内容と鑑賞法の講義 10:00~12:00) 対象:登録ボランティア員



鑑賞実践①+勉強会



壺屋焼物博物館



学芸員による展示解説会

12 職場体験

職場体験とは、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動である。美術館・博物館では、バックヤード施設見学や展示室で鑑賞プログラムを体験したり、学芸員の仕事の手伝いをする。接客業務や企画展の交流員として、お客様の対応にも挑戦できる。多くの仕事に触れられる内容としている。

【対 象】本島域内中学校・高等学校

【方 法】各学校の依頼受け入れ

【場 所】コレクション展示室・バックヤード・美術館資料室

【内 容】施設見学、美術館班資料整理、各業務体験

回	月 日	曜日	学校名	見学者
1	6月26日	水	那覇市立小緑中学校（2年）	4
2	7月10日	水	沖縄県立沖縄水産高等学校（2年）	2
3	7月31日	水	アメラジアンスクール・イン・オキナワ（中学3年）	3
4	9月18日	水	沖縄県立沖縄工業高等学校（2年）	4
5	12月18日	水	浦添市立仲西中学校（1年）	4
6	1月22日	水	那覇市立安岡中学校（特別支援学校）	6



新聞記事スクラップ



概要説明



広報物発送準備

13 出前授業

来館前の出前授業で、先生方に鑑賞授業のレクチャーを行った。ティーチャーズキットやアートカードを活用した鑑賞の授業とマナーについて学んだ。

当日、児童にとってこの体験が美術館鑑賞のスタートとなり、今後の美術館での鑑賞に大きな期待をもたらしきっかけになる。さらに今年度は、中学校鑑賞支援プログラムの作成にも取り組んだ。各自が自分の視点で作品鑑賞できる鑑賞サポートシートも作成した。出前授業時に各学校に配布した。



回	月 日	学校名	回	月 日	学校名
1	5月15日	琉大付属中学校	11	10月1日	糸満市立真壁小学校
2	5月17日	県立開邦中学校	12	10月3日	浦添市立浦添中学校(特支学級)
3	6月14日	那覇市立城北中学校	13	10月6日	うるま市立赤道小学校
4	6月20日	県立島尻特別支援学校(小学部)	14	10月7日	沖縄市立安慶田小学校
5	6月27日	県立島尻特別支援学校(高等部)	15	10月9日	県立鏡が丘特別支援学校(高等部)
6	7月10日	那覇市立寄宮中学校(特支学級)	16	11月20日	那覇市立神原小学校
7	9月4日	読谷村立渡慶次小学校	17	11月28日	那覇市立那覇小学校
8	9月11日	沖縄市立山内中学校(特支学級)	18	1月6日	県立鏡が丘特別支援学校(中学部)
9	9月18日	浦添市立当山小学校(特支学級)	19	2月5日	豊見城市立伊良波中学校
10	9月27日	沖縄市立越來中学校			

14 複製制作

当館収蔵作品一部の複製作品を制作することにより、その活用が積極的に行われ、作品の紹介とともに沖縄の美術作家への興味関心を抱かせる機会につながればと考えた。

2018年度から進められている収蔵作品複製計画は、関係者間で意見交換と作品選定を行った上で制作し、2019年度の「美術館出前授業」・「移動展」で活用が実現した。



南風原朝光 《窓》 1954年

美術館教育普及事業の一つとして実施している「美術館出前授業」において、美術館収蔵作品を紹介する必要がある。授業展開を深める目的で、できるだけ原画に近い色合いや、大きさに近づけ、子どもたちにはできるだけ原画と思わせるような作品を鑑賞させたいという思いで制作した。



山元恵一 〈あなたを愛する時と憎む時〉 1951年



作品撮影



色校正の様子



納品

(富原 圭子)

IV 資料収集・保存管理

1 収蔵作品現在高

2020年3月31日 現在

分類	購入	寄贈	移管	その他	小計	寄託	総計
平面	368	1,420	64	2	1,854	187	2,041
立体	30	221	0	8	259	15	274
写真・映像	376 (映像:20)	2,153 (映像:6)	0	0	2,529 (映像:26)	767 (映像:0)	3,296 (映像:26)
その他	13	12	1	3	29	41	70
総計	787	3,806	65	13	4,671	1,010	5,681

※「写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

2 2019年度(平成31・令和元) 新収蔵作品高

分類	購入	寄贈	移管	小計	寄託	総計
平面	1	83	0	84	7	91
立体	0	0	0	0	5	5
写真・映像	10	1	0	11	0	11
その他	0	0	0	0	0	0
総計	11	84	0	95	12	107

3 2019年度(平成31・令和元) 新収蔵作品目録

【購入】

2019年4月1日～2020年3月31日

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平面 絵画	北川 民次	海王丸(エンジンルーム)	1939年	水彩、キャンバス	1
写真・映像 写真	平数 兼七 ほか	美風第2号	1986年	青焼き複写印刷、冊子	1
	平数 兼七 ほか	美風第4号	1986年	青焼き複写印刷、冊子	1
	平数 兼七 ほか	美風第6号	1987年	青焼き複写印刷、冊子	1

分 類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
写真・映像	写真	平敷 兼七 ほか	美風第8号	1988年	オフセット印刷、冊子	1
		平敷 兼七 ほか	美風第9号	1988年	オフセット印刷、冊子	1
		平敷 兼七 ほか	美風第10号	1988年	オフセット印刷、冊子	1
		平敷 兼七 ほか	美風第11号	1989年	オフセット印刷、冊子	1
		平敷 兼七	南灯寮	1996年	青焼き複写印刷、冊子	1
		平敷 兼七	俑	1987年	オフセット印刷、冊子	1
		平敷 兼七	UCHINANCHU	1996年	青焼き複写印刷、冊子	1

【寄 贈】

分 類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	翁長 以清	沖縄風景（仮）	1977年	油彩・キャンバス	1	翁長 哲夫
		翁長 以清	那覇郊外	1974年	油彩・キャンバス	1	翁長 哲夫
		翁長 以清	高原学園	1949年	油彩、キャンバス	1	翁長 哲夫
		翁長 以清	白い坂道	不明	油彩、キャンバス	1	翁長 哲夫
		高江洲 盛一	沖縄風景（仮）	調査中	油彩、キャンバス	1	小林 藤子
		高江洲 盛一	梯梧咲く	調査中	油彩、キャンバス	1	小林 藤子
		大城 精徳	墓と家	1957年	油彩、キャンバス	1	小林 藤子
		真喜志 勉	VISUAL LANGUAGE 01	1981年	ミクストメディア、キャンバス	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	題不詳	2005年	鉛筆、水彩、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	題不詳	2005年	鉛筆、水彩、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	題不詳	2005年	鉛筆、水彩、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	題不詳	2005年	鉛筆、水彩、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	題不詳	2005年	鉛筆、水彩、紙	1	真喜志 民子
	版画	真喜志 勉	大日本帝国復帰記念	1972年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	イーゼルプリント01	1978年	シンナープリント、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	イーゼルプリント02	1978年	シンナープリント、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	イーゼルプリント03	1978年	シンナープリント、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	SUNNY DAY	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 01	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 02	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 03	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 04	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 05	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 06	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 07	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 08	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 09	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 10	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 11	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 12	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 13	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子

分 類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平 面	版 画	真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 14	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 15	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 16	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 17	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 18	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 19	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 20	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	VISUAL MAGNETISM 21	1980年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 01	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 02	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 03	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 04	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 05	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 06	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 07	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 08	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 09	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	DRAWING AND PRINT 10	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	ジムダインのブラシ 01	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	ジムダインのブラシ 02	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	ジムダインのブラシ 03	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	パッドワイザーをください	1982年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	SHADOW DRAWING (オスプレイ影絵)	2012年	シルクスクリーン、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 01	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 02	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 03	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 04	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 05	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 06	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 07	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 08	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 09	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 10	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 11	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 12	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	WHAT A WILD WORLD 13	2014年	ミクストメディア、紙	1	真喜志 民子
	そ の 他	真喜志 勉	MAX as MONK 01	2002年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	MAX as MONK 02	2002年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	PAC. 3. 02	2006年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子

分 類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	その他	真喜志 勉	Henoko as Iojima 02	2007年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	scramble 01	2008年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	scramble 02	2009年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	W氏に捧ぐ 01	2009年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	W氏に捧ぐ 02	2009年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	if・・・ 01	2010年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	if・・・ 02	2010年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	I LOVE MARILYN NOT MARINE 01	2011年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	I LOVE MARILYN NOT MARINE 02	2011年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	I LOVE MARILYN NOT MARINE 03	2011年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	SHADOW DRAWING	2012年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	SHADOW DRAWING 02	2012年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
		真喜志 勉	SHADOW DRAWING 03	2012年	ミクストメディア、 木製パネル	1	真喜志 民子
映像	写真・ 写真	平敷 兼七	日常性（卒業制作）	1971年	ゼラチン・シルバー・ プリント、紙	1	東京総合 写真専門学校

【寄託】

分 野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	所有者
平面	絵画	大城 精徳	沖縄風景	1956年	油彩、キャンバス	1	琉球物流 株式会社
		名渡山 愛順	松岡政保 卒業肖像画	1932年	油彩、キャンバス	1	松岡 啓
		玉那覇 正吉	風景画（ウェリング准将 閣下沖縄訪問記念）	1948年か	油彩、キャンバス	1	松岡 啓
		仲嶺 康輝	山岳風景（仮）	1968年	油彩、キャンバス	1	松岡 啓
		儀間 比呂志	ふるさとA	1960年	油彩、キャンバス	1	天王寺谷 貴
		山城 えりか	vortex	2007- 2011年	アクリル、キャンバス	1	山城 えりか
		平良 優季	薫風	2016年	岩絵具、箔、高知麻紙、 寒冷紗（綿）	1	平良 優季
立体		水谷 篤司	とある風景 水平線 1	2015- 2017年	アクリル絵具、顔彩、 垂木	1	水谷 篤司
		水谷 篤司	とある風景 水平線 2	2015年	アクリル絵具、顔彩、 垂木	1	水谷 篤司
		照屋 勇賢	Life Saver	2007年	ミクストメディア	1	照屋 勇賢
		照屋 勇賢	The Giving Tree Project	2007年	ミクストメディア	1	照屋 勇賢
		照屋 勇賢	My Foolish Heart Invita tionシリーズ	2009年	ミクストメディア	1	照屋 勇賢

4 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

令和元年度は、1回の美術品等収集委員会を実施し、購入11点、寄贈84点、寄託12点について諮った。作品の収集に当たっては、事前調査をもとに、美術館学芸会議で審査を行い、県内の有識者で構成された収集委員会で審議した。その結果を参考に所定の手続きを経て収集した。購入は、北川民次、平敷兼七らの作品であった。寄贈は、翁長以清、高江洲盛一、大城精徳、真喜志勉、平敷兼七の作品であった。寄託は、名渡山愛順の戦前の作品をはじめ、新進作家の作品の寄託もあった。

(亀海 史明)

5 保存管理事業

(1) 保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫歯害予防(ペストコントロールを含む)が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

(2) 収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部委託の依頼はなかった。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

(3) 収蔵品修復(館内処置)

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
大城皓也	紅型の女	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がり剥落周縁部の固着。和紙による表打。木枠とキャンバスを分離し、キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。裏面へのシート状の合成樹脂の貼付。新しい画布へホットテーブルによる全面裏打ち。新調した木枠への張り込み。画面洗浄。剥落部への充てん整形、捕彩。ニス吹付による画面保護。額装の改善、裏板の設置。	当館収蔵・2次資料
斧山萬次郎	裸婦	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がり剥落周縁部の固着。和紙による表打。木枠とキャンバスを分離し、キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。裏面より破れ部分に和紙と合成樹脂によるパッチの接着。画面へ合成樹脂の塗布。ホットテーブルによるプレス。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み。画面洗浄。剥落部への充てん整形、捕彩。ニス吹付による画面保護。額装の改善、裏板の設置。	H31年度常設展
斧山萬次郎	守礼門	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	H31年度常設展

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
宮平清一	花	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がり、剥落周縁部の固着。和紙による表打。木枠とキャンバスを分離し、キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。画面へ合成樹脂の塗布。ホットテーブルによるプレス。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み。画面洗浄。 ニス吹付による画面保護。額装の改善、裏板の設置。	当館収蔵作品
山川清	墳墓	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がり、剥落周縁部の固着。和紙による表打。木枠とキャンバスを分離し、キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。裏面より破れの繕い、合成樹脂による接着。画面へ合成樹脂の塗布。ホットテーブルによるプレス。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み。画面洗浄。 剥落部への充てん整形、捕彩。ニス吹付による画面保護。 額装の改善、裏板の設置。	R 1 年度常設展
山川清	那覇久米町の家	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置。	R 1 年度常設展
山川清	壺屋町の井戸	油彩・キャンバス	画面洗浄、額装の改善。	R 1 年度常設展
鳥海青児	沖縄美人	鉛筆、パステル・紙	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄。	R 1 年度常設展
糸数晴甫	鶴と亀	水彩・絹本	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄。	R 1 年度常設展
アマンダ・ヘン	もうひとりの女 (10)	発色現像方式印画	ブックマウント、作品固定方法の改善。額装の改善。	R 1 年度常設展
アマンダ・ヘン	もうひとりの女 (9)	発色現像方式印画	ブックマウント、作品固定方法の改善。額装の改善。	R 1 年度常設展
アマンダ・ヘン	もうひとりの女 (4)	発色現像方式印画	ブックマウント、作品固定方法の改善。額装の改善。	R 1 年度常設展
大城精徳	貝がらとヤシの実	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がり、剥落周縁部の固着。和紙による表打。木枠とキャンバスを分離し、キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。裏面より破れの繕い、合成樹脂による接着。画面へ合成樹脂の塗布。ホットテーブルによるプレス。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み。画面洗浄。ニス吹付による画面保護。 額装の改善、裏板の設置。	R 1 年度常設展
大城精徳	沖縄風景	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更。	R 1 年度常設展
大城精徳	カンナと石垣	セメント、油彩・合板	額装の改善、吊金具変更。	R 1 年度常設展
大城精徳	墓と家	油彩・キャンバス	画面洗浄、裏面清掃、吊金具変更。	R 1 年度常設展
真喜志勉	DRAWING AND PRINT01、他5点	シルクスクリーン・紙	ブックマウント、作品固定方法の改善。	R 1 年度常設展
真喜志勉	Untitled、他11点	鉛筆・紙	ブックマウント、作品固定方法の改善。	R 1 年度常設展

※額装の新調や展示方法などの改善は含まない

注記

・館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復学芸員 梶原正史が行った。
額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

・修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

6 作品貸出

2019年度は、下記のとおり 1 件の館外貸出を行った。なお美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち合い、作品状態の点検を行っている。

①事業名：「2019年度ハンセン病市民学会」
会場：石垣市民会館中ホール(沖縄県石垣市)
貸出期間：2019年 5 月15日～2019年 5 月17日
貸出作品：1 点（収蔵品 1 点）

	作家名	作品名	制作年	作品_材質
1	吉野 二郎	執念の毒蛇	1932年	ブルーレイディスク 当館クレジット入

(梶原 正史)

一般財団法人 沖縄美ら島財団 (指定管理者)

- I 沖縄美ら島財団の概要
- II 運営方針
- III 組織
- IV 展示活動
- V 教育・イベント活動
- VI 広報事業に関する業務
- VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動
- VIII その他

I 沖縄美ら島財団概要

【沿革】

1976年（昭和51）7月、海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年8月1日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。1991年（平成3）首里城基金を設立。1992年（平成4）11月、首里城公園（国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭）の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設（正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等）の管理運営を開始。2002年（平成14）11月、営業契約により特定公園施設（沖縄美ら海水族館）の管理運営を開始。2004年（平成16）12月、ISO14001認証取得。2008年（平成20）12月、総合研究センター発足。2012年（平成24）10月1日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。

【業務内容】

1976年（昭和51）8月開園以来海洋博公園の維持管理業務、1992年（平成4）11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務の受託を行っている。首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館については、独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営していたが、2019年（平成31）2月から沖縄県が管理者となったことから、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）」及び、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）」の指定管理者として運営している。2006年度（平成18）からは指定管理者として県営首里城公園、2013年度（平成25）から県立名護青少年の家、2014年（平成26）からなごアグリパーク（名護市農産物6次産業支援拠点施設）の管理運営を行うほか、2015年（平成27）より名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。2014年より国際通りの沖縄美ら海水族館アンテナショップ「うみちゅらら」、2015年より、なごアグリパーク内に設置された沖縄本島北部の農産物加工品や健康食品等を扱うショップ「しまちゅらら」、2019年より那覇空港内に「うみちゅらら那覇空港店」を開店・運営している。また、2008年（平成20）に「総合研究センター」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王朝文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、2014年には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。2016年（平成28）4月より沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として同館の管理・運営にあたっている。指定期間は2016年4月～2021年（令和3）3月までの5年間。

II 運営方針

1 管理運営の基本方針

（1）基本的な考え方

沖縄県立博物館・美術館の設置目的及び基本理念等を理解し、業務仕様書に基づき沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課や博物館・美術館との調整を的確に実施し、管理運営上の課題に適切に対応していきます。

また、当財団では以下に示す管理理念の下、6つの基本方針と具体的な取組を展開することで施設が保有する多くの貴重な収蔵品等を守り、育み、伝える使命を果たすとともに、県民をはじめ多くの方に開かれた館となることを目指し21世紀ビジョン等に掲げられた施策目的が達成できるよう努めます。

2 管理理念

理念1：「沖縄の輝き」を守り育み、御万人へ、そして未来へとつなぎます。

沖縄県立博物館・美術館（以降、本館という）が保有する多くの貴重な資料は、守り、育み全ての方へそして未来へつないでいくべき「沖縄の輝き」です。

私たち（一財）沖縄美ら島財団（以下、財団）は「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」等、沖縄県を代表する博物館や文化施設の運営を行うとともに、当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究・普及啓発活動により、沖縄の自然、文化、歴史等の「沖縄の輝き」を守り育み、多くの方へ伝えて参りました。そのノウハウや人材、ネットワークを活かし、本館が行う博物館資料の保管や展示、調査研究普及啓発事業を強力にサポートし、県全体の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の発展に寄与します。

理念2：観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝えます。

沖縄県は「唯一無二の素晴らしい」自然文化、歴史を持つ「魅力的な」地域です。博物館・美術館には、その沖縄を代表する沢山の収蔵品がありますが、情報量が多くアカデミックな展示であるため、沖縄の魅力が観覧者の心に伝わりにくいという一面もあります。私たちは心に響く「鮮烈な」展示解説やライブプログラムによる「体験」を充実させることで観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝える管理運営を目指します。

理念3：観光客を誘致し「観光立県おきなわ」の推進に寄与します。

「観光立県」を標榜する沖縄県において「沖縄の自然・歴史・文化・美術作品をトータルに紹介」できる本館の役割は非常に重要です。私たちは沖縄県の観光事業を牽引する「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」を支えるブランディング力、プロモーションネットワーク、誘客力を活かし、沖縄を訪れる多くのお客様を、積極的に本館に誘致し、地域の活力向上に寄与します。

3 運営方針

方針1：誰もが使いやすい「開かれた博物館・美術館」を目指します。

・法令の遵守と平等性の確保

本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。

・リスクマネジメント

事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。

・お客様の立場に立った接客

観光施設で培ったホスピタリティ溢れる接客・接遇を行うとともに、お客様の声を収集し、サービスの向上に努めます。

・「利用しやすい」環境の整備

ユニバーサルデザインの推進と海外観光客対応の強化のため、サインやHP等を見直すとともに県民活動の場としても利用しやすい環境を整えます。

・総合案内機能の向上

沖縄県の自然・歴史文化・美術作品に関する案内やレファレンスサービスの強化を図るとともに沖縄の観光案内も行います。

・衛生的で快適な施設の提供

清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整えます。

方針2：沖縄県が目指す「博物館・美術館の将来像の実現」をサポートします。

・関連計画に掲げられた目標達成への努力

「沖縄21世紀ビジョン」や「沖縄県教育振興基本計画」、「沖縄県立博物館・美術館中長期事業計画」等に表示された将来像の実現と入館者数の達成を目指します。

・本館の「拠点機能」「ネットワークハブ機能」構築のサポート

本館が目指す沖縄県の教育学習や県内文化芸術関連施設、沖縄県の主要観光資源のネットワークハブ機能構築に向けて当財団が保有する国内外観光・学術ネットワークを最大限に活用し、その構築をサポートします。

方針3：「博物館・美術館の本来機能の向上」を強力にサポートします。

・膨大な標本等資料・美術工芸品を活用した展示サポート

当財団が所有する沖縄の生物・植物標本（約51,000点）や琉球王朝に関連する美術工芸品（約1,400点）を活用し、本館の展示をサポートします。

・調査・研究成果、豊富な普及啓発プログラムの活用

当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究の成果や普及啓発プログラムを活用し、本館の調査・研究や普及啓発事業をサポートします。

・本館での学びを助ける「活動フィールド」と「研究人材」の提供

体験・活動フィールドと、それをサポートする人材の提供により本館での学びをサポートします。

・（独）東京文化財研究所主催の「保存担当学芸員講習受講者」による適切な資料管理

首里城公園で美術工芸品を扱う「保存担当学芸員講習受講者」の指導の下、適切な資料管理をサポートします。

方針4：「沖縄県の主要観光施設」に相応しい経営と運営を行います。

・本館の魅力を引き出し高める「ブランディング・マーケティング」の実施

沖縄観光の二大拠点を支えるブランディング・マーケティングノウハウを基に、「経営戦略会議」を引き続き実施し本館の企画や運営を総合的に検討します。

・観覧者の心に響く「展示解説」の工夫と「ライブプログラム」の実施

観覧者の心に響く「鮮烈な展示解説」や観覧者が「参加・体験でき、思い出に残るプログラムやイベント」、展示を短時間で分かりやすく解説する「ガイドツアー」、観覧者の興味・注目を引き付ける「誰かに伝えたい」情報の発信を行います。

・首里城公園や沖縄美ら海水族館との連携による「新たな沖縄観光」の提案

首里城公園と連携した「琉球王朝文化ガイドツアー」や「催し」を実施し、「首里城公園」や「沖縄美ら海水族館」の半券提示で企画展が割引になるサービスや、旅行会社へ営業活動を行う中でクーポン券でのセット割引サービスの導入を検討します。

方針5：県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

・「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信

国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手元に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーション展開を行います。

・国内外の観光客に「選ばれるため」に積極的な誘客・広報活動を行います。

旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の造成や修学旅行の誘致について旅行社への営業、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動を行います。

・質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用

沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・PR経験者を「企画広報事業部責任者」に配置します。また、当財団の実績豊富なデザイナーやIT技術者が、デザイン制作及びITを活用したPRをバックアップします。

方針6：「地域に愛され・地域を育む」博物館・美術館を目指します。

・地域コミュニティを育成するイベントや取り組みの実施

お祭りやワークショップ等の「地域と連携したライブイベント」の実施や本館を拠点とした「教室・文化サークル」の運営、カフェやホワイエを活用した「ギャラリー」「定期講演会」等を実施し県民が集い・学び・発表できる「地域活動の舞台づくり」を検討します。

・開館10周年にちなんだ「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売

館の収蔵品などを活用した「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売を検討します。

・地域活動団体、博物館・美術館支援組織との「協働」による館の運営

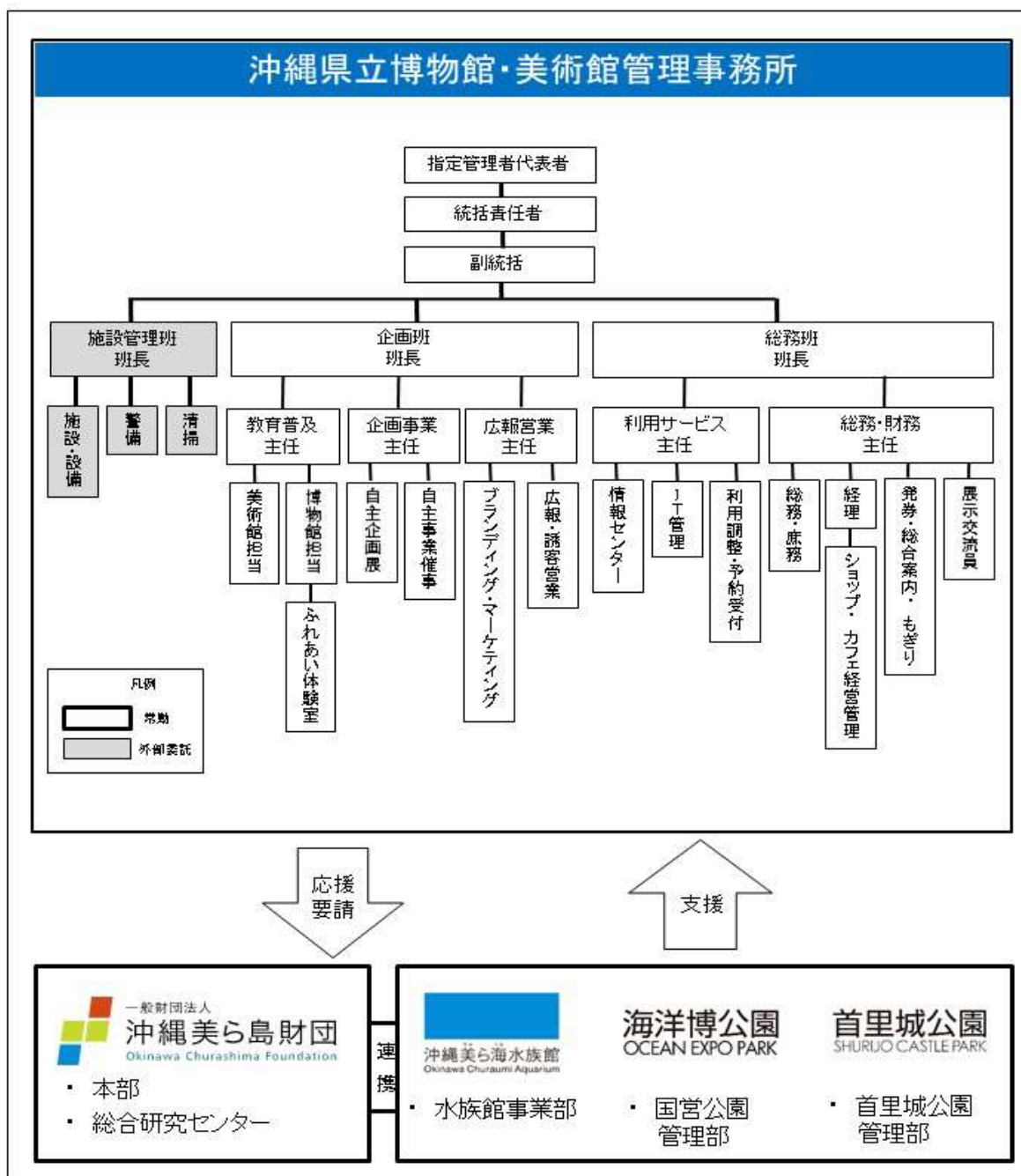
地域活動団体である「那覇市新都心通り会」とともに、団体が行う「アートのまちづくり」活動等を連携して行います。また、博物館支援団体「博物館友の会」、美術館支援団体「NPO happ」「博物館・美術館ボランティア」との「連絡会議」を行い、意見や情報交換の活発化、業務連携による事業効率化、研修会等人材育成事業のサポートを行います。

Ⅲ 組織

1 管理組織図

前年度同様に下図のとおり実施します。

管 理 組 織 図



【職員構成】

2020年3月31日 現在

	氏 名	担 当 業 務
統 括	内間 仁春	指定管理業務の統括に関すること
副統括	木下 龍太	総務全般、県や博物館・美術館との現場調整に関すること
総務班	総務・財務 平良 亜紀子	予算、料金申請、人事管理（展示交流員等）に関すること
	仲里 沙也加	総務補助、クーポン券やその他総務全般に関すること
	名嘉 百恵	ショップ、カフェの管理、施設維持管理に関すること

		氏 名	担 当 業 務
総務班	利用サービス	具志堅 春樹	企画、施設貸出に関すること
		玉城 照美	施設貸出に関すること
		宮里 宗彦	施設貸出に関すること
		仲本 美奈子	情報センターの管理・運営に関すること
		仲宗根 めぐみ	情報センター業務
		花城 喬	情報システムに関すること
企画班	学芸業務	金城 美奈子	自主事業、広報業務に関すること
		國吉 貴奈	自主事業、広報業務に関すること
		渡久地 雅代	自主事業、広報業務に関すること
		川島 祥子	自主事業、広報業務に関すること
	教育普及	大瀨 萌子	教育普及（博物館業務）に関すること
		保久村 智恵	教育普及（美術館業務）に関すること
		植田 瑞生	教育普及（博物館、美術館業務）に関すること
		比嘉 麻乃	ふれあい体験室、教育普及に関すること
	広報	福治 広規	営業、広報業務に関すること
		金城 正仁	営業、広報業務に関すること
		棚原 美帆	営業、広報業務に関すること

【人事異動】

2020年3月31日 現在

	氏 名	適 用
転 入	内間 仁春	2019年6月1日 転入
	川島 祥子	2019年4月1日 転入
	棚原 美帆	2019年10月1日 転入

IV 展示活動

1 展示活動概要

一般財団法人沖縄美ら島財団の指定管理4年目となる令和元年度は、自主企画事業として「驚異の写実－ホキ美術館名品展」「サメ肌のふしぎ展」「在りし日の首里城パネル展」「みんなのレオ・レオーニ展」の4つの展覧会を開催した。

2 指定管理者主催企画展等

（1）自主企画展「驚異の写実－ホキ美術館名品展」

会 期：2019年4月6日（土）～5月20日（月）（開催日数40日）

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般1,300円（1,000円）、高校・大学1,000円（800円）、小・中学生700円（500円）、
一般ペア2,400円

※（ ）は前売及び20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は当日料金の半額

観覧者数：26,099名（1日平均652.4名）

担当学芸員：國吉貴奈

【開催形式】

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送株式会社

【開催趣旨】

千葉市にある写真絵画専門の美術館、ホキ美術館から26人の作家の64点の作品を借用し展示した。森本草介や野田弘志、中山忠彦など日本における「写真絵画」の第一人者の作品から中堅、若手までの作品を紹介する内容となった。作品展示のほか、「写真絵画」の解説や画家のアトリエの写真、制作過程を示したパネルも展示し、作品をより深く理解し楽しむことができる展示構成とした。



展示室内の様子

【展示内容】

油彩画64点、アトリエ・制作についてのパネル7点、画家のこぼれ7点、用語・美術館解説パネル3点

【関連催事】

①開会式

日 時：2019年4月6日（金）9:15～9:30

場 所：美術館企画ギャラリー入口

あいさつ：保木博子（ホキ美術館 館長）

久保田憲二（沖縄テレビ放送株式会社 代表取締役社長）

花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長）

テープカット：保木博子（ホキ美術館 館長）

田名真之（沖縄県立博物館・美術館 館長）

久保田憲二（沖縄テレビ放送株式会社 代表取締役社長）

花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長）

②ギャラリートーク

日 時：2019年4月6日（土）13:00～14:00

場 所：企画ギャラリー

講 師：安田茂美（元東京藝術大学客員教授）

参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要

内 容：展示作品と作家について、展覧会企画者である安田氏が解説した。

参加者数：30名（定員なし）

③講演会

日 時：2019年4月7日（日）14:00～16:00

場 所：博物館講座室

講 師：保木博子（ホキ美術館館長）、安田茂美（元東京藝術大学客員教授）

参 加 費：無料 ※本展入場券または半券が必要

内 容：ホキ美術館設立の経緯とコンセプト、そして開館以来継続している活動について館長自らが説明。また安田氏が収蔵作家と作品について、スライドをつかって解説した。

参加者数：40名（定員100名）

④「魂のリアリズム」上映会

日 時：2019年4月20日（土）14:00～15:15

場 所：美術館講座室

参 加 費：無料 ※本展入場券または半券が必要

内 容：ホキ美術館の収蔵作家である野田弘志氏の制作の様子に迫ったドキュメンタリー映画を上映した。

参加者数：35名（定員50名）

⑤ピアノコンサート

日 時：2019年4月28日（日）14:00～14:30

場 所：エントランスホール

演 奏：宮城知子（ピアニスト）

参 加 費：無料

内 容：音楽と絵画を楽しむというコンセプトで、ピアノ演奏会を実施。印象派の絵画と親和性がある19世紀の音楽を中心に演奏した。

参加者数：220名（定員なし）

⑥写真絵画教室

日 時：2019年5月5日（日）14:00～17:00

場 所：県民アトリエ、子どもアトリエ

講 師：安彦文平（画家、宮城教育大学准教授）

参 加 費：1,000円

内 容：写実的な描画法を体験するためのワークショップを実施。講師が準備した写真コピーを画面の中央に置き、その周辺の風景を定規や鉛筆を使って想像しながら描いた。

参加者数：22名（定員20名）

⑦安彦文平講演会

日 時：2019年5月6日（月）11:00～12:00

場 所：博物館講座室

講 師：安彦文平（画家、宮城教育大学准教授）

参 加 費：無料 ※本展入場券または半券が必要

内 容：ホキ美術館の収蔵作家である講師が、自らの画業とテーマについて豊富なスライドを使って説明した。「写真絵画」と一言と言われる絵画の、多様なテーマ性や画家の関心のあり方を知る機会となった。

参加者数：84名（定員100名）

⑧「魂のリアリズム」上映会・野田弘志講演会

日 時：2019年5月11日（土）14:00～16:15

場 所：講堂

講 師：野田弘志（画家）

参 加 費：無料 ※本展入場券または半券が必要

内 容：ドキュメンタリー映画「魂のリアリズム」を上映後、野田弘志氏が企画者の安田茂美氏、担当学芸員の質問に答える形で、自身の作品について語った。初期の作品から最新の作品、また今後の制作展望までを語った。会場からの質問もあり、一作家の制作について知る機会となった。

参加者数：137名（定員200名）

⑨藤田貴也ギャラリートーク・サイン会

日 時：2019年5月19日（日）13:30～14:00（サイン会14:00～14:30）

場 所：企画ギャラリー2

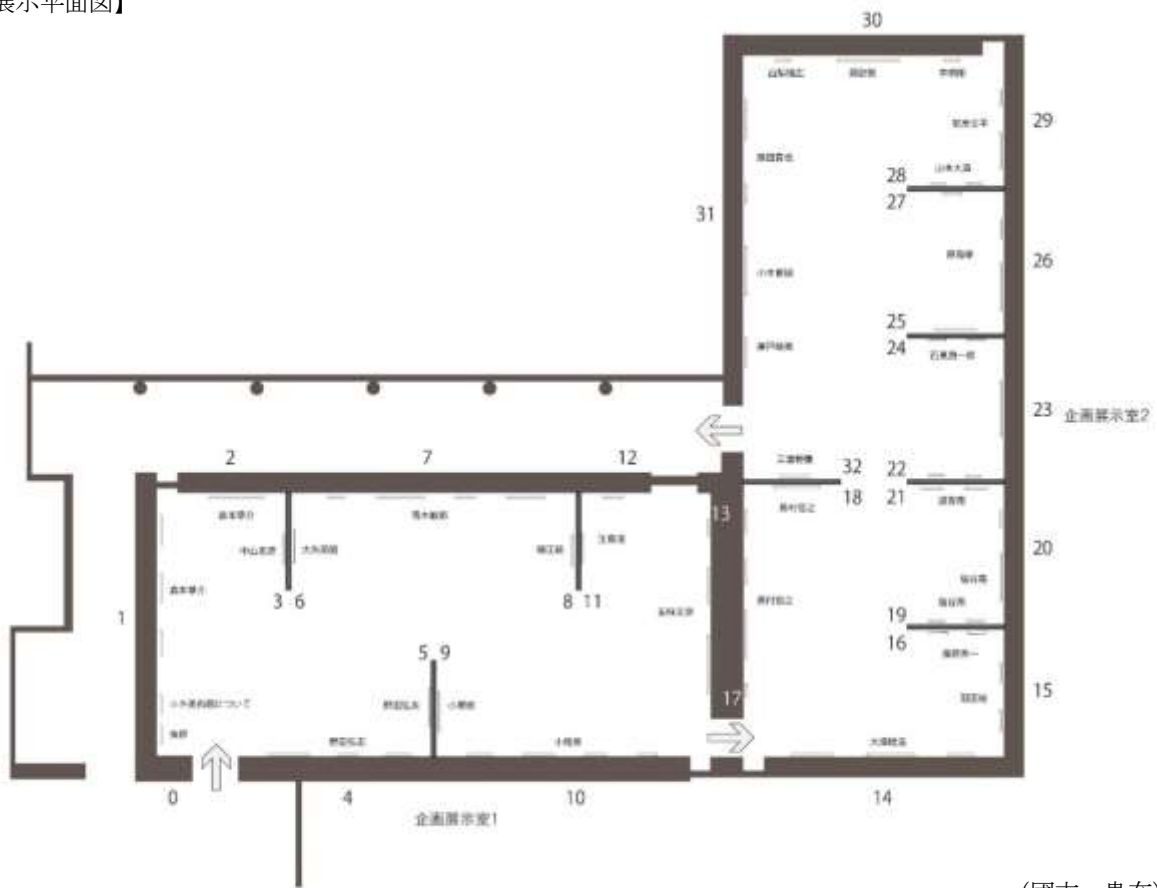
講 師：藤田貴也（画家）

参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要

内 容：ホキ美術館の収蔵作家で、本展覧会広報のメインビジュアルとしても作品を取り上げた藤田氏に、来場いただき、出品作品の解説を行った。その場で来場者からの質問にも答える形で、一般には明らかにされない作品制作の裏側について語ってもらった。

ギャラリートーク参加者数：約50名 サイン会参加者数：20名（定員なし）

【展示平面図】



(國吉 貴奈)

(2) 自主企画展 2019年夏休み企画「サメ肌のふしぎ展」

会 期：2019年7月11日（木）～8月24日（日）（40日間）

会 場：3階ホワイエ

観覧料：無料

観覧者数：16,090名（1日平均402.2名）

担当学芸員：横山季代子、塚原 誠（一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄美ら海水族館 魚類課）、國吉貴奈

【開催形式】

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団

【企画概要】

2018年に沖縄美ら海水族館魚類課が企画したサメ肌に焦点を当てたパネル展を、家族連れで賑わう沖縄県立博物館・美術館でも展示した。さまざまなサメの楯鱗を標本や模型、解説パネルによって紹介したほか、サメ肌を利用した商品や生物模倣の先端技術についても紹介した。会期中は、関連イベントも実施し、小さな子どもから大人まで楽しめる内容とした。

【展示内容】

解説パネル（アナグリフ含む）11点、3Dプリンター模型9点、乾燥標本1点、顎骨標本1点、日用応用商品3点

【関連催事】

①ふれあい水族館（活魚車）

日 時：8月10日（土）12:00～17:00

場 所：沖縄県立博物館・美術館 駐車場

参加費：無料

内 容：沖縄美ら海水族館の活魚車を、夏休みで多くの子どもや家族連れで賑わう当館に招致し、水族館でしか見られない魚を楽しんでもらう機会とした。

参加者数：1,230名



展示の様子

②サメの歯化石のレプリカづくり

日 時：8月11日（日）14:00～15:30

時 間：①10:00～ ②11:00～ ③14:00～ ④15:00～

場 所：3階ホワイエ

講 師：比嘉麻乃

参 加 費：500円

内 容：お湯で柔らかくなるカラフルな樹脂を使って、サメの歯のレプリカを作るワークショップを実施。古代のサメ・メガトロンについて簡単に学びながら、最終的には樹脂をペンダントやバッジにして持ち帰ってもらった。

参加者数：①15名 ②13名 ③12名 ④5名 （定員：各回15名）

③サメ博士の講演会

日 時：8月12日（月）14:00～15:30

場 所：講堂

講 師：松本瑠偉、村雲清美（一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄美ら海水族館）

参 加 費：無料

内 容：沖縄美ら海水族館の研究員と看護師を招請し、海外でのサメの調査について、記録映像や写真を使いながら語ってもらった。先端のサメ研究を知る機会とした。

参加者数：70名（定員200名）

④サメの解剖教室

日 時：8月18日（日）14:00～15:30

場 所：博物館実習室

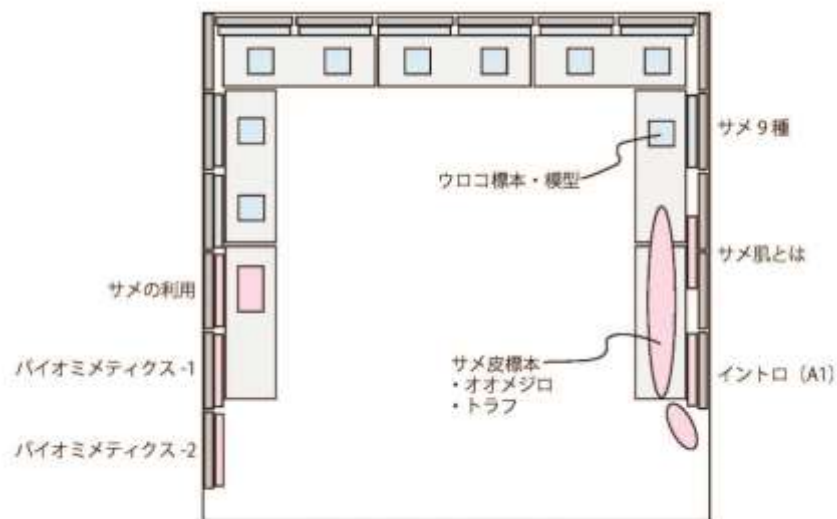
講 師：宮本 圭（一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター）

参 加 費：無料

内 容：財団・総合研究センター動物研究室の研究員を招請し、サメの解剖を行った。水族館で見ただけでなく、解剖を通してその体の仕組みを知り、生物学的な観点から理解を深める機会とした。

参加者数：24名（定員20名）※事前申込制

【展示平面図】



（國吉 貴奈）

（3）自主企画展「在りし日の首里城」パネル展

会 期：2020年1月2日（木）～3月15日（日）（開催日数61日）

会 場：3階ホワイエ

観 覧 料：無料

観覧者数：4,478名（1日平均73.4名）

担当学芸員：渡久地雅代

【開催形式】

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団



展示会場の様子

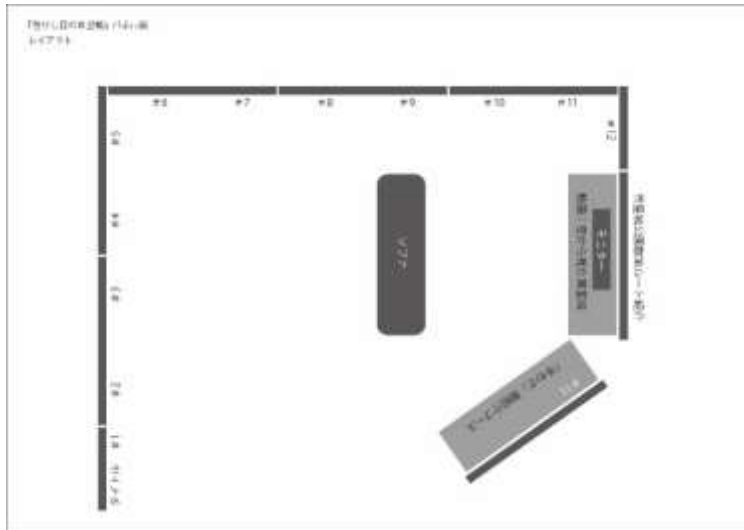
【企画概要】

令和元年10月31日の首里城火災をうけ、那覇市内の観光先を求める観光客が沖縄県立博物館・美術館に来館するケースが急増した。本事業は首里城観光を期待する観光客のニーズにできる限り応えることを目的として実施した。展示内容は戦前、森 政三によって撮影された首里城正殿や守礼門の写真パネルと、焼失前の首里城の様子を写した写真パネル（合計13点）、「空から見た首里城公園」の空撮映像を紹介した。また、県主催のグスク展や、財団と沖縄県立博物館・美術館が取り組んでいる「琉球王国文化遺産集積・再興事業」も併せて紹介し、特に首里城復元にむけて「手わざ」再興の重要性をアピールした。

【展示内容】

首里城古写真、焼失前の首里城、「空から見た首里城公園」空撮映像

【展示平面図】



（渡久地 雅代）

（3）自主企画展「みんなのレオ・レオーニ展」

会 期：2020年2月28日（金）、3月18日（水）～4月9日（木）（開催日数21日）

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般・大学生1,200円（1,000円）、高校生1,000円（800円）、小・中学生600円（500円）、フリーパス2,400円

※（ ）は前売および20名以上の団体料金。

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は半額。

観覧者数：4,200名（1日平均200名）

担当学芸員：國吉貴奈

【開催形式】

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送株式会社、朝日新聞社

企画協力：Blueandyellow、LLC、コスモマーチャンダイズィング

協 力：好学社、あすなろ書房、至光社

協 賛：東江メガネ

【企画概要】

教科書に掲載され日本中で親しまれている黒い魚の物語『スイミー』。その作者として知られているレオ・レオーニ（1910～1999）の作品を紹介する美術展。絵本原画のほか、本業として制作したグラフィック作品、油彩画、彫刻、アニメーション作品などを展示し、多方面にわたるレオーニの芸術活動を知る機会とした。新型コロナウイルスの流行により、感染防止措置として開幕後の2月29日から中断。また、4月9日をもって中止となった。

【展示内容】

絵本原画約105点、油彩・グラフィック・アニメーション資料・彫刻約91点

映像・インタラクティブ作品約6点

【関連催事】

①午前中はおしゃべりOK

日 時：毎日午前中

場 所：美術館企画ギャラリー1・2

②絵本のよみきかせ

日 時：毎週土曜日 10:00～12:00

場 所：エントランスホール、県民・こどもアトリエ

講 師：沖縄こども専門学校の皆さん他

定 員：なし

参 加 費：無料



展示会場の様子

③メッセージカードをつくろう！

日 時：毎週土曜日 14:00～16:00

場 所：エントランスホール、県民・こどもアトリエ

講 師：又吉実輪（まちづくりファシリテーター）

定 員：なし

参 加 費：無料

④ワークショップ「スイミーの海はどんな海？」

日 時：3月8日（日）14:00～16:00

場 所：県民・こどもアトリエ

講 師：しろませいゆう（絵本作家）

定 員：20名

参 加 費：無料

⑤絵本のつづきをかながえるーみんな、小さなねずみになってみる

日 時：3月29日（日）14:00～16:00

場 所：県民・こどもアトリエ

講 師：野入直美（琉球大学人文社会学部准教授）、石垣綾音（まちづくりファシリテーター）

定 員：10名

参 加 費：無料

※①は2月28日のみ実施。他は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントを取りやめた。

【展示平面図】



(國吉 貴奈)

V 教育・イベント活動

博物館、美術館のファン育成を目的とし、大人から子どもまで気軽に参加できる楽しいプログラムを企画立案、実施した。

1 ワークショップ等

(1) ふれあい体験室ワークショップ

体験キットと開催中の展覧会の充実・発展を目的に、博物館の学芸員や専門の指導者と協力し3か月毎に4つのプログラムを提供した。未就学児から大人まで幅広い世代に参加してもらえるよう、難易度を調整したり、講座の要点をまとめた「博士カード」を参加者へ配布し、短時間で楽しく学びを深められるよう工夫した。また、今年度から夏休み限定で前半に博物館常設展示室で30分の展示解説を行い、後半はワークショップを行うプログラムを実施した。

講師：比嘉麻乃、大濱萌子

場所：ふれあい体験室前エントランスホール

① 4、5、6月「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キットNo.19「いろいろな玩具」に関連して、沖縄の昔ながらの草編み玩具を画用紙やソフトテープを使って制作した。

時間：10:00「カジマヤー」／10:30「馬グワー」

11:00「星コロ」／11:30「ハブグワー」

参加費：300円

実施日・参加者数：4月6日(土) 18名、13日(土) 8名、
20日(土) 18名、27日(土) 15名、
5月4日(土) 29名、11日(土) 10名、
18日(土) 22名、25日(土) 14名
6月1日(土) 25名、8日(土) 22名、
15日(土) 7名、22日(日) 16名

※各日定員40名(各回10名)



② 7、8、9月「ふれたい博士の封入標本」

体験キットNo.2「小さな生き物の大きな仕事」に関連して、植物や化石を閉じ込めた封入標本を制作した。また、8月24日、9月14日の4回目のみ博物館常設展の展示解説会付きワークショップを開催し、標本の種類や見どころについて詳しく解説した。

時 間：10:00「サメの歯化石」／10:30「サンダンカ」
11:00「星砂」／11:30「ホラシノブ」

参 加 費：400円

実施日・参加者数：7月13日（土）31名、20日（土）26名、
27日（土）39名
8月3日（土）26名、10日（土）58名、17日（土）52名、
24日（土）54名、31日（日）44名
9月7日（土）34名、14日（土）19名、28日（土）22名

※9月21日は台風襲来のため中止した

※7月は各日定員40名（各回10名）、8月以降は各日定員60名（各回15名）へ増員



③ 10、11、12月「ペーパービーズでアクセサリーづくり」

博物館企画展「台湾展」に関連して、台湾原住民が装飾品に用いるビーズに着目し、不要になったポスターを利用してペーパービーズのアクセサリーを制作した。

時 間：10:00／10:45／11:30

参 加 費：300円

実施日・参加者数：10月5日（土）14名、12日（土）20名、
19日（土）16名、26日（日）11名
11月2日（土）27名、4日（月）30名、9日（土）16名、16日（土）8名、
23日（土）10名、30日（土）16名
12月7日（土）21名、14日（土）8名、21日（土）4名、28日（土）21名

※各日定員30名（各回10名）



④ 1、2、3月「ふれたい博士のびんがたデザイン」

体験キットNo.21「衣からわかること」に関連して、紅型に見られる図柄の意味や形について学びながらスタンプを使って紅型模様のトートバッグを制作した。

時 間：10:00／10:30／11:00／11:30

参 加 費：400円

実施日・参加者数：1月4日（土）19名、11日（土）18名、
18日（土）17名、25日（土）3名
2月8日（土）11名、15日（土）6名、22日（土）7名

※2月29日から3月末まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※各日定員40名（各回10名）



⑤ 移動展ワークショップ「かんたん化石のレプリカづくり」

「第12回移動展 in 伊江島」の関連催事としてワークショップを実施。プラスチック樹脂粘土を使ってアンモナイトや三葉虫などの化石のレプリカを制作した。

日 時：2月2日（日）10:00／11:00／13:00／14:30

場 所：伊江村農村環境改善センター

講 師：比嘉麻乃

参 加 費：300円

参加者数：65名（定員60名）



（比嘉 麻乃）

(2) サイエンスカフェ

①「美ら島サイエンスカフェ サメ編」

「サメ肌展」関連催事として、サメの種類や形態・生存戦略について、研究者の目線で珍しくておもしろいエピソードを盛り込んで解説した。

日 時：7月12日（金）18：00～19：30

場 所：3階カフェ カメカメキッチン

講 師：佐藤圭一（一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄美ら海水族館
水族館事業部 統括）

参 加 費：800円

参加者数：11名（定員20名）



②「美ら海出張講座サイエンスカフェ 深海ザメ編」

7月に実施した同イベントが、大変好評で参加者からのリクエストもあったため、第2弾として実施。未知の世界に住む深海ザメをテーマに知られざる種類や形態・生存戦略について解説した。

日 時：2月22日（土）18：00～19：30

場 所：3階カフェ カメカメキッチン

講 師：佐藤圭一（一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄美ら海水族館
水族館事業部 統括）

参 加 費：800円

参加者数：16名（定員20名）



(3) 「おきみゅーで ほうかご美術のきょうしつ」

県内の子供たちが放課後に美術館へ足を運び、美術に触れるきっかけを作ることを目的に美術の教室を開講した。今回は、博物館常設展示室の資料をモチーフに参加者が自由に絵本を製作した。

日 時：8月2日（金）17：30～19：00

9月6日（金）17：30～19：00

10月11日（金）17：30～19：00

11月1日（金）17：30～19：00

場 所：県民アトリエ・こどもアトリエ

講 師：絵本作家SAVA（和田瑞希）

参 加 費：5,000円（全4回）

参加者数：10名（定員20名）

作 品 展：会期／11月1日（金）～ 2月27日（木）

会場／情報センター



(4) 「おきみゅーで大人の美術の教室」

美術に触れる機会の少ない大人を対象に作品をつくることの楽しさを伝えることを目的とした美術教室。今回は、様々な素材で玄関に飾れる小さな作品づくりに挑戦した。

日 時：8月24日（土）18：00～19：30

9月28日（土）18：00～19：30

10月26日（土）18：00～19：30

11月16日（土）18：00～19：30

場 所：県民アトリエ・こどもアトリエ

講 師：絵本作家SAVA（和田瑞希）

参 加 費：5,000円（全4回）

参加者数：18名（定員20名）

作 品 展：会期／12月3日（火）～12月8日（木）

会場／県民ギャラリー3



(5) 「【入門編】古文書勉強会～博物館の収蔵・展示資料をよむきっかけ～」

館所蔵の古文書を通して、初心者向けに文字を読む楽しさや魅力を伝えることを目的とした。

日 時：8月16日（金）18：00～19：30

9月13日（金）18：00～19：30

10月18日（金）18：00～19：30

11月15日（金）18：00～19：30

1月10日（金）18：00～19：30

2月14日（金）18：00～19：30

※3月13日（金）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

場 所：博物館講座室

講 師：田名真之（沖縄県立博物館・美術館 館長）

参 加 費：500円

参加者数：253名（定員480名／各回80名）



（大瀨 萌子）

（6）沖縄県立芸術大学古典芸能公演

当館のエントランスホールや野外展示場などで学生たちの活躍の場を提供し沖縄の芸術文化を担う人材育成の機会を創出することを事業の目的とし実施した。

①沖縄県立芸術大学生による「琉球伝統芸能の世界」

日 時：7月7日（日）11：00～11：45／14：00～14：45（2回実施）

場 所：エントランスホール

出 演 者：琉球舞踊 猪野屋楓、歌三線 新垣勝裕、ファゴット 松原妃名子

司 会：山内昌也（沖縄県立芸術大学准教授）

参加者数：137名（1回目65名／2回目72名）（定員なし）



②沖縄県立芸術大学生による「琉球古典音楽の世界」

日 時：12月28日（土）11：00～11：45／14：00～14：45（2回実施）

場 所：屋外展示場（民家）

出 演 者：歌三線 照屋綺恵、歌三線 山内昌也（沖縄県立芸術大学准教授）

参加者数：131名（1回目70名／2回目61名）（定員なし）



③沖縄県立芸術大学生による「琉球古典音楽の世界」

日 時：3月開催予定

場 所：屋外展示場（民家）

出 演 者：沖縄県立芸術大学音楽学部琉球芸能専攻有志

参加者数：なし（定員なし）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（植田 瑞生）

（7）組踊上演300周年記念特別展「THE KUMIODORI 300～組踊の歴史と拡がり～」関連イベント

【企画概要】

2019年は、1719年首里城で組踊が初上演されてから300年という節目にあたり、それを記念して開催された組踊上演300周年記念特別展「THE KUMIODORI 300～組踊の歴史と拡がり～」（一般財団法人沖縄美ら島財団主催、会期：7月11日（木）～8月25日（日））に関連したイベントを実施した。

① 沖縄県立芸術大学生による琉球伝統芸能公演（計6回実施）

a) 「執心鐘入」より抜粋

日 時：7月11日（木）11：00～11：20

場 所：組踊展会場内

出 演 者：舞踊 宮崎花澄、歌三線 佐久本純、箏 町田倫士

参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要

内 容：展示室内の仮設舞台において、玉城朝薫作の組踊「執心鐘入」より抜粋した踊りと歌三線の公演を行った。

参加人数：40名（定員なし）



琉球伝統芸能公演（7／11）の様子

b) 琉球古典音楽の会

日 時：7月26日（金）18：30～19：15

場 所：組踊展会場入口前

出 演 者：歌三線 下地彩香、新垣勝裕、安齋克則、箏 林杏佳

司 会：山内昌也（沖縄県立芸術大学准教授）

参 加 費：無料

内 容：琉球古典音楽の「かぎやで風節」「恩納節」「ごえん節」「こてい節」「稲まづん節」「踊こはでさ節」「干瀬節・七尺節」の演奏を行った

参加人数：38名（定員なし）

c) 琉球古典音楽・民謡の会

日 時：8月3日（土）11:00～11:45

場 所：組踊展会場入口前

出 演 者：歌三線 山内昌也（沖縄県立芸術大学准教授）、下地彩香、宮城マナミ

参 加 費：無料

内 容：琉球古典音楽と民謡を聞き比べるという趣旨で、「かぎやで風節」「恩納節」「ごえん節」「干瀬節」「子持節」「遊びションガネ節」「仲風節」の演奏を行った。

参加人数：42名（定員なし）

d) 琉球古典音楽の会

日 時：8月4日（日）11:00～11:45

場 所：組踊展会場入口前

出 演 者：歌三線 佐久本純、新垣勝裕、安齋克則、箏 林杏佳

参 加 費：無料

内 容：琉球古典音楽の「かぎやで風節」「恩納節」「ごえん節」「稲まづん節」「干瀬節」「子持節」「散山節」「金武節・白瀬走川節」の演奏を行った。

参加人数：37名（定員なし）

e) 琉球箏曲の会

日 時：8月12日（月）11:00～11:45

場 所：組踊展会場入口前

出 演 者：箏 町田倫士、林杏佳

参 加 費：無料

内 容：箏のみによる「瀧落菅攪」「七段菅攪」「船頭節」「赤田花風節」「天川節」「仲順節」「ていんさぐの花」の演奏を行った。

参加人数：48名

f) 琉球古典舞踊・琉球古典音楽の会

日 時：8月25日（日）11:00～11:45

場 所：組踊展会場内

出 演 者：舞踊 西村綾乃（卒業生）、歌三線 山内昌也（沖縄県立芸術大学准教授）、佐久本純

参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要

内 容：展示室内の仮設舞台において、琉球古典音楽の「作田節」「稲まづん節」「かせかけ」「なからた節」「瓦屋節」「しょんがね節」「かぎやで風節」の演奏および踊りの公演を行った。

参加人数：56名

③ 58組踊（ゴーパチクミオドリ）

日 時：7月12日（金）18:30～20:00

場 所：博物館屋外展示場 民家

出 演 者：歌三線 仲嶺良盛、MC お笑い芸人キンピラゴボウ（富川盛光、金城大河）

参 加 費：1,000円（茶菓子付）

内 容：伝統芸能である組踊を気軽に楽しめるよう、お笑い芸人のトークを交え、若手実演家による実演や解説、カラオケ組踊などを行った。

参加人数：5名（定員20人）



58組踊の様子

③ ギャラリートーク（計10回実施）

a) 1、2回目

日 時：7月13日（土）1回目 11:00～12:00／2回目 13:00～14:00

場 所：組踊展会場内

講 師：鶴田 大（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室）
参 加 費：無料 ※当日有効の展覧会チケットが必要
内 容：組踊展企画担当者による、資料解説会を行った。
参 加 者：9名（1回目5名／2回目4名）

b) 3、4回目

日 時：7月21日（日）3回目 11:00～12:00／4回目 13:00～14:00
場 所：組踊展会場内
講 師：上江洲安享（沖縄美ら島財団首里城公園管理事務所）
参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要
内 容：組踊展企画担当者による、資料解説会を行った。
参加人数：11名（3回目7名／4回目4名）（定員なし）

c) 5、6回目

日 時：7月27日（土）5回目 11:00～12:00／6回目 13:00～14:00
場 所：組踊展会場内
講 師：仲宗根あい
（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室）
参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要
内 容：組踊展企画担当者による、資料解説会を行った。
参加人数：18名（5回目11名／6回目7名）（定員なし）



ギャラリートーク（7/27）の様子

d) 7、8回目

日 時：8月10日（土）7回目 11:00～12:00／8回目 13:00～14:00
場 所：組踊展会場内
講 師：鶴田 大（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室）
参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要
内 容：組踊展企画担当者による、資料解説会を行った。
参加人数：19名（7回目12名／8回目7名）（定員なし）

e) 9、10回目

日 時：8月17日（土）9回目 11:00～12:00
10回目 13:00～15:30（子ども向けの展示解説会と組踊壁新聞作り）

場 所：組踊展会場内
講 師：仲宗根あい

（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室）

参 加 費：無料 ※本展の当日入場券が必要
内 容：午前中（9回目）は、組踊展企画担当者による子ども向けの資料解説会を行い、午後（10回目）は組踊壁新聞作りを行った。



参加人数：32名（9回目8名／10回目20名、壁新聞作り4名）（定員なし）

壁新聞作りの様子

④ 組踊コスプレ

日 時：1回目 7月14日（日）9:00～18:00／2回目 8月12日（月）13:00～18:00
場 所：1回目 博物館講座室／2回目 組踊展会場入口前
参 加 費：500円
内 容：実際に組踊の舞台で使用されている衣裳を、着衣体験できるイベントを行った。
参加人数：3名（1回目2名／2回目1名）（定員なし）

⑤ 銘苅小学校児童による組踊「銘苅子」

日 時：7月21日（日）14:00～15:30
場 所：講堂

出 演 者：那覇市立銘苅小学校児童

監 修：島袋光尋（国指定重要無形文化財「組踊」立方保持者）

参 加 費：500円（未就学児は無料）

内 容：那覇市銘苅に伝わる羽衣伝説を題材にした玉城朝薫作の組踊「銘苅子」を、地元の児童が演じた。



組踊「銘苅子」公演の様子

参加人数：94名（定員200名）

⑥ 中城村南上原子ども組踊塾生による創作組踊「糸蒲の縁」

日 時：8月10日（土）15:00～16:00

場 所：講堂

出 演 者：中城村南上原子ども組踊塾生

監 修：宮城能鳳（人間国宝）

指 導：東江裕吉、新垣悟、比嘉侑子

参 加 費：500円

内 容：平成24年に創作された創作組踊「糸蒲の縁」を、中城村南上原子ども組踊塾生が演じた。

参加人数：160名（定員200名）



創作組踊「糸蒲の縁」公演の様子

⑦ 語り組踊「執心鐘入」

日 時：8月16日（金）18:00～19:15

場 所：講堂

出 演 者：唱え 宮崎花澄、山城峻称、歌三線 仲嶺良盛、笛 大城建太郎、太鼓 宮里和希

参 加 費：1,000円

内 容：通常の組踊公演とは異なり、地謡の演奏と唱え（せりふ）のみで物語を進行する、語り組踊を行った。

参加人数：50名（定員200名）

⑧ 組踊かるた

日 時：8月17日（土）14:00～15:00

場 所：博物館実習室

出 演 者：読み手 仲嶺良盛、進行 チューリップ平岡

参 加 費：500円

内 容：組踊の演目「銘苅子」「執心鐘入」「二童敵討」から、台詞を抜粋して作成された沖縄版百人一首を使い、実演家の演奏と唱えによるかるた遊びをしながら、組踊に親しむことができるイベントを行った。

参加人数：9名（定員16名）



組踊かるたの様子

（川島 祥子）

VI 広報事業に関する業務

広報業務では、一般財団法人沖縄美ら島財団本部と連携し財団のネットワークや管理施設を活用した広報及び、有料・無料の媒体利用により当館の展覧会や事業・活動を県民や観光客に広くアピールし、博物館・美術館活動への理解を深めてもらうとともに一層の集客を図った。

当館で開催される展示会と関連イベント、教育普及事業、講演会、県民ギャラリーなどの催しについては「県立博物館・美術館 週間展示会・イベント情報」及びニュースリリースを作成し、県内の主要マスコミ各社※へFAXやメールで配信し、情報の告知や取材を依頼した。

※マスコミ各社：新聞社（沖縄タイムス社、琉球新報社）、テレビ局（NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、沖縄ケーブルネットワーク）、ラジオ局（RBCiラジオ、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、FM沖縄）

沖縄タイムス紙面の朝刊情報面には当日開催の展覧会情報を発信している（休館日を除く）。また文化面・社会面などに随時展覧会や講演会、県民ギャラリーの催事情報を掲載。琉球新報でも情報面や文化面、社会面で展覧会や催事情報を掲載。沖縄タイムスの副読紙「週刊ほーむぷらざ」や琉球新報の副読紙「週刊レキオ」、そのほか県内外で発行される観光・ガイド・情報関連誌、当館の公式SNS（Facebook、Instagram、Twitter、LINE）も幅広く活用し、館情報の発信に努めた。

（1）年間行事案内

前年度の1月に展覧会の会期や内容を掲載した「2019年度 沖縄県立博物館・美術館 展覧会のご案内」（リーフレット15,000部）を作成。県内外の文化・観光施設やホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社などへ配布・設置の依頼をし、配布に努めた。さらにパンフレット配布業者へ委託し全島の観光施設、ホテルなどにも設置した。

(2) チラシ・ポスター

県内の学校や図書館、文化施設、教育機関、銀行、病院等へ展覧会ごとにチラシやポスターを配布し、展覧会の告知を行った。また県内の観光施設やレンタカー会社、書店、観光案内所、モノレール駅、那覇空港等、観光客が利用する場所にもチラシやポスターの設置協力を求めた。また展覧会によってはコープ配達会員へのチラシ折込みを活用し、誘客に努めた。さらに沖縄美ら島財団独自のネットワーク約1,900か所に毎月チラシを発送し全島にPRした。

(3) 広報誌

季刊広報誌として「おきみゅー通信」【8P・カラー】を発行し、展覧会やイベント情報、他様々な取組みなどをわかりやすく掲載し当館の活動をPRした。県内の図書館や文化施設、銀行、病院などに送付し県内全域に行き渡るようにした。またホームページ上でも専用ページを設け、最新号〜バックナンバーまで閲覧できるようにしている。

(4) 懸垂幕

館外正面入口側に横2m×縦6mの懸垂幕を設置し、博物館企画展や美術館企画展の告知を行った。

(5) 館内外ターポリン

館内では博物館企画展示室入口付近に横3m×縦3.8mのターポリンを、美術館企画展示室入口付近に横3.6m×縦3.4mのターポリンを掲出した。館外には多目的広場付近に博物館（左側）、美術館（右側）2か所に横2.85m×縦3.4mのターポリンを掲出した。

(6) 沖縄美ら海水族館・首里城公園との連携（トートトリップキャンペーン）

沖縄美ら島財団が管理運営する二大観光施設である「沖縄美ら海水族館」「首里城公園（2019年10月末まで）」と連携し誘客促進に努めた。両施設のどちらかの半券提示でミュージアムショップゆいむいでガチャを回してノベルティグッズが当たるキャンペーンを実施。同キャンペーン参加者数は年間3,875名（昨年度4,841名）で首里城火災の影響により、昨年度実績を下回る結果となった。



当選者の様子



首里城公園特設情報コーナー

(7) モノレール駅内広告

沖縄都市モノレール（ゆいレール）では有料スペース県庁前駅ドアステッカー広告で全館や展覧会情報を告知した。その他、おもろまち駅改札外付近に当館までの誘導サインの立て看板として港川人の立て看板とチラシラックを設置し、当館の情報を発信した。



県庁前駅ドアステッカー



改札出口正面

(8) 新聞紙面（無料）・新聞広告（有料）掲載603回

無料告知では展覧会や開会式、関連催事やワークショップの取材依頼や、沖縄タイムス「インフォ」副読誌「ほーむぷらざ」、琉球新報「情報市場」副読誌「週間レキオ」に毎週の情報掲載を依頼した。有料広告では「ホキ

美術館名品展」を琉球新報で2回、「台湾展」では沖縄タイムスの副読誌「週刊ほーむぷらざ」で2回（うち1回は特集記事）と琉球新報副読誌「週刊レキオ」で2回、「みんなのレオ・レオーニ展」で1回出稿した。

（9）テレビ 放送56回

無料告知では展覧会や開会式、関連催事やワークショップの様子などを取材依頼しニュースなどで報道してもらえるように努めた。今年度の実績ではNHK沖縄放送局「おきなわHOTeye」、沖縄テレビ「OTV Live News it!」「ひーぷー☆ホップ」「ウィンウィン」、琉球放送「RBC THE NEWS」「Aランチ」、琉球朝日放送「QAB NEWS Headline」、OCN「OCNインフォメーション」などがある。また番組によっては無料告知枠で視聴者向けに招待券などのプレゼント企画を実施し誘客を図った。「ホキ美術館名品展」「みんなのレオ・レオーニ展」では共催相手の沖縄テレビでテレビCMやニュース番組内での紹介、ニュース番組内ボード告知などを中心に広報展開ができた。

（10）ラジオ 放送247回

無料告知では展覧会や開会式、関連催事、ワークショップの様子などの取材依頼をFAXで渡しニュースで報道してもらえるように努めた。パブリシティやラジオカーの無料告知枠を活用し、その他コミュニティFMなども展覧会告知のため担当学芸員が出演する取り組みも実施した。全館告知CMでは沖縄美ら島財団のスケールメリットを活かし「首里城と博物館・美術館のコラボCM」を10月末まで毎日放映した。

（11）雑誌、機関紙 掲載83回

雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努力した。県民へのPRを目的として県内イベント情報誌「おきなわ倶楽部」「オキナワグラフ」「be-o」「筥柄暦」「話くわっちー」「モモト」などに展覧会の告知を掲載。沖縄美ら島財団の広告枠を利用し県内在住外国人向けの「2019-2020 Welcome to the Pacific」「Stripes OKINAWA」「SAMURAI GATE」で展覧会情報などの告知を行った。無料告知枠「ちゅらナビ」「ココミル沖縄」「るるぶ沖縄ベスト19」「JAFPLUS」「るるぶこどもと行く沖縄18」「沖縄ロードマップ」「楽楽沖縄」などでは主に博物館常設展や美術館コレクション展を紹介した。また有料出稿では、「ホキ美術館名品展」「みんなのレオ・レオーニ展」を那覇市や浦添市など13万世帯でポスティングされる「ぼすbee」に有料広告を出稿した。その他、「グスク展」を中高年の読者層である「オキナワグラフ」で全6頁特集記事（5頁+1頁広告）を紹介した。

（12）インターネット 掲載90回

様々なイベント情報サイトで広報展開した。今年度の実績では、館全体のPRを目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんnet」「観光ガイド」「JTBるるぶインターネットサイト」など、個別の展覧会の告知を目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんnet」「JTBるるぶインターネットサイト」「ミュージアムカフェ」「CALEND-OKINAWA」「筥柄暦」「Art scape」「Internet Museum」「Art Show.jp」「Artgene」「美術手帖」などへ掲載し告知を図った。

その他、動画共有サイト「YouTube」にテレビCMを放映した動画をアップロードし、展覧会ホームページに埋め込みを行い、いつでも見ることができるようにした。また「台湾展」「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」「グスク展」「作家と現在」ではオリジナル動画を制作し館内入口付近のモニターでの動画放映の他、FacebookやInstagram、YouTubeにアップし告知を行った。

（13）地域との連携

おもろまち周辺施設と連携して制作した「OMOROMACHI SHOPPING MAP」（外国人向け誘客リーフレット）を1万部増刷。モノレール全駅や那覇空港、MAP掲載商業施設、近隣ホテルで配布し、当館の認知度を高め、海外観光客への来館を促した。

（14）台湾向けインフルエンサーマーケティング

台湾の有名ブロガー（2組）を起用し、館を取材してもらい、台湾人向けにインフルエンサーマーケティングを実施した。

（15）誘客パンフレット

「みるたび、しるたび、ふれるたび…おきみゅーであたらしい沖縄に出会う旅。」をコンセプトとし、日本人観光客向けに当館での楽しみ方や魅力をわかりやすく紹介した新パンフレットを3万部印刷した。また外国人誘客パンフレットについては【簡・韓】を各1万部追加で印刷した。各言語の誘客パンフレットは県内ホテルやレンタカー営業所、ゆいレールなどの全215か所に設置しており、今後も常に設置している状態を保っていく予定。



新日本語版誘客パンフレット



海外用誘客パンフレット【英・繁・簡・韓】

(16) プレイガイド

前売券の販売及びチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイド（ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぶれ（もしくはコープおきなわ）、ファミリーマート各店（イープラス）、ローソン各店、セブンイレブン各店、ジュンク堂書店那覇店など）で販売を行った。コープあぶれで前売券を販売している企画展では、展覧会情報をコープあぶれ発行の「Ap1e」に無料で掲載し、前売券の販売促進を行った。その他、「みんなのレオ・レオーニ展」ではローソン沖縄全店舗での告知と併せて前売券を販売した。

また、観光客向けには沖縄ツーリストラウンジ・レンタカー営業所で博物館常設展、美術館コレクション展の前売券の販売を行った。

(17) SNS

日々、展覧会情報やイベント情報等の最新の館のニュースをFacebookおよびInstagramで発信した他、11月からは新たに公式TwitterとLINEを開設し、同アカウントでも情報を発信した。

また、「ホキ美術館名品展」「台湾展」「グスク展」「みんなのレオ・レオーニ展」は有料のSNSバナー広告（Facebook・Instagram・Youtube）を配信し、情報拡散および誘客促進を図った。

他、展覧会などでもSNSキャンペーンを実施した。

(18) おきみゅースタンプラリー

屋外展示作品をめぐるスタンプラリーを実施し、展示作品（「旧大聖禅寺鐘」「民家」「高倉」「シーサー」「湧田窯」「CONCRETE AND STEEL」「太陽と月のロマンス」）のPR及びお客様満足度の向上を図った。今年度は7,867人が参加した。

(19) 1 DAY PASSPORT

開催中の全ての展覧会が観覧できるお得な一日利用券として「1 DAY PASSPOOT」を販売。販売数15,661枚。特に観光客に好評で、博物館と美術館および展覧会間の相互送客促進に成功した。

(20) GWイベント（4月27日～5月6日）

大型連休となったGW期間中に「おもちゃづくり」をテーマに親子で参加できる様々なワークショップを開催した。連日多くの家族連れの来館（平均2,046人／日）があり、ほとんどの催事が定員に達するなど大盛況に終わった。特にエントランスで実施した「みんなでつくる巨大キラキラこいのぼり」では、想定を上回る参加者があった。また、期間中はエントランスホール中央にPRブースを設け、夏開催のジブリ展や組踊展のを紹介し、年間パスポートの購入促進を図った。

(21) おきみゅー誕生祭（11月2日～4日）

開館12年目を祝う誕生祭として2日～4日（3日間）に「おきみゅー誕生祭」を実施した。今年度は開催中の「台湾展」に絡め、「台湾」をテーマに食・文化・音楽・映画に関する催しを集めた。催事の中では県内各地の台湾の飲食店を集めて実施した台湾食の市が特に好評で、屋外に設置した飲食テーブルは常時、大勢のお客様で賑わっていた。また本催事に協賛をいただいた「沖縄伊藤園」と「むら咲むら」も、先方スタッフが自らプレゼンターや講師として催事に参加するなど協力企業とも一体となって開催できた。3日の文化の日には、無料開放とした「博物館常設展」と「美術館コレクション展」への観覧促進として、スタンプラリーに加え昨年に引き続き展示を題材とした穴埋めクイズを出題し、展示室へ足を運ぶように工夫した。

(22) 旧正月イベント（2月24日～26日）

オープニングイベントとして、今年度も小禄高校芸術教養コース書道パフォーマンスを旧正月の前日（24日）に開催。マスコミ4社（テレビ2局・新聞2紙）の取材があり、同日夕方のテレビニュースで紹介された。その

他、期間中「旧正月関連パネル展示」「琉球伝統公演」「さんびん茶とナントウのふるまい」「おもちゃづくりワークショップ」「沖縄芝居」「島唄ライブ」などを開催した。

(23) 表通り街路樹への展覧会ポスター掲出

那覇市に申請し、館正面表通り街路樹（10本）へB2サイズ立て看板20基を設置。9月上旬まで展覧会告知ポスターを掲出していた（9月下旬に街路樹が撤去され終了）。

(24) 博物館常設展 新音声ガイド 「ON THE TRIP」

館のPRおよび博物館常設展への誘客促進として、スマートフォン向け音声ガイドアプリ「ON THE TRIP」にて、新しく音声ガイドを制作。3月20日よりサービスを開始した。

（福治 広規）

VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動

1 調査・研究等

金城美奈子（企画班長／学芸員）

○調査・研究等

- ・「スケスケ展—スケると見える仕組みの世界」展示調査（新潟県立自然科学館・新潟県／2019年9月1日）
- ・中川伊作に関する作品調査（沖縄市／2020年3月1日）

○講演・発表等

- ・名称：「金城安太郎展」ギャラリートーク
- 日時：2019年9月7日（土）
- 場所：美術館講座室
- 依頼機関：沖縄県立博物館・美術館

國吉貴奈（学芸業務担当主任／学芸員）

○調査・研究等

- ・「みんなのレオ・レオーニ展」展示調査（損保ジャパン日本興亜美術館・東京都／2019年7月28日）
- ・中川伊作に関する作品調査（沖縄市／2020年3月1日）

川島祥子（学芸業務担当／学芸員）

○調査・研究等

- ・「特別展 昆虫」展示調査（大阪市立自然史博物館・大阪府／2019年9月26日）

比嘉麻乃（教育普及業務担当／学芸員）

○調査・研究等

- ・「全部見せます！あくあぴあの子どもワークショップ」展示調査（高槻市立自然博物館・大阪府／2020年1月12日）

2 職員研修（研修会）

金城美奈子（企画班長／学芸員）

- ・「令和元年度博物館学芸員専門講座」（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター・東京都／2019年12月11～13日）
- ・「令和元年度 沖縄県博物館協会 秋の研修会」（沖縄県立博物館・美術館／2019年10月31～11月1日）
- ・「常設展示の魅力再発見！—ひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかた—」（沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）

國吉貴奈（学芸業務担当主任／学芸員）

- ・「令和元年度首里城公園休場日職員全体研修」（玉陵および首里公民館／2019年7月3日）
- ・「令和元年度 沖縄県博物館協会 秋の研修会」（沖縄県立博物館・美術館／2019年10月31～11月1日）
- ・「常設展示の魅力再発見！—ひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかた—」（沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）

- ・「やさしい日本語セミナー」（ロワジールホテル那覇・那覇市／2020年2月20日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！ ～ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

渡久地雅代（学芸業務担当／学芸員）

- ・「令和元年度首里城公園休場日職員全体研修」（玉陵および首里公民館／2019年7月3日）
- ・「令和元年度 沖縄県博物館協会 秋の研修会」（沖縄県立博物館・美術館／2019年10月31～11月1日）
- ・「常設展示の魅力再発見！ーひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー」（沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）
- ・「第71回 清里インタープリターズキャンプ（展示）～心が動き、学びに導く展示をつくる～」 （清泉寮 公益財団法人キープ協会・山梨県／2020年2月17～19日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！ ～ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

川島祥子（学芸業務担当／学芸員）

- ・「令和元年度首里城公園休場日職員全体研修」（玉陵および首里公民館／2019年7月3日）
- ・「令和元年度 沖縄県博物館協会 秋の研修会」（沖縄県立博物館・美術館／2019年10月31～11月1日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！～博物館ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

大濱萌子（教育普及業務担当主任／学芸員）

- ・「2019年度 文化庁『大学における文化芸術推進事業 学芸員技術研修会（ユニバーサル・ミュージアム）』」（沖縄市立郷土博物館・沖縄県／2020年1月27日）
- ・「常設展示の魅力再発見！ーひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー」（沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！～博物館ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

保久村智恵（教育普及業務担当／学芸員）

- ・「2019年度 文化庁『大学における文化芸術推進事業 学芸員技術研修会（ユニバーサル・ミュージアム）』」（沖縄市立郷土博物館／2020年1月27日）

植田瑞生（教育普及業務担当／学芸員）

- ・「令和元年度 ミュージアムエデュケーション研修」（東京都美術館、国立科学博物館・東京都／2019年9月25日～9月27日、2020年2月6・7日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！～博物館ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

比嘉麻乃（教育普及業務担当／学芸員）

- ・「2019年度 文化庁『大学における文化芸術推進事業 学芸員技術研修会（ユニバーサル・ミュージアム）』」（沖縄市立郷土博物館・沖縄県／2020年1月27日）
- ・「常設展示の魅力再発見！ーひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー」（沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！～博物館ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

福治広規（広報営業担当）

- ・「やさしい日本語セミナー（主催：沖縄県、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）」 （ロワジールホテル那覇・那覇市／2020年2月20日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！ ～ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

金城正仁（広報営業担当）

- ・「常設展示の魅力再発見！ーひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー（協催：沖縄県立博物館・美術館、認定NPO法人大阪自然史センター）」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！ ～ボランティア学習会②～」 （沖縄県立博物館・美術館／2020年3月

16日)

棚原美帆(広報営業担当)

- ・「常設展示の魅力再発見！ーひと手間でこんなにかわる？子どもたちへの伝えかたー（協催：沖縄県立博物館・美術館、認定NPO法人大阪自然史センター）」（沖縄県立博物館・美術館／2020年2月10日）
- ・「博物館常設展の魅力を探そう！ ～ボランティア学習会②～」（沖縄県立博物館・美術館／2020年3月16日）

全館共同事業

- I 学芸員実習
- II 国際博物館の日
- III 移動展
- IV 燻蒸・消毒処理
- V 全体研修
- VI 刊行物
- VII 展覧会一覧

I 学芸員実習

1 博物館実習

当館では、1969年（昭和44）に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回（6月、8月）に実施している。

2019年度の学芸員実習は前期（6月11日～24日）、後期（8月20日～9月2日）とも内容は下記のとおり実施した。実習生のミニ企画展のテーマは、前期は「おかしのむかし」、後期は「うちなー英語からみる戦後沖縄の辱文化について」、「雨よ乞いー沖縄の雨乞いあれこれ」「柄がガラッと変わる！」であった。

（1）実習内容と指導職員

講義・実習	指導者
博物館施設・事業概要	大湾
IPMへの取り組み	宇佐美
沖縄県立博物館・美術館の沿革	園原
博物館展示の実際	大湾
課題研究 実習生は前期では「民俗・美工」の学芸員指導のもと1班、後期は「民俗」、「美工・歴史」、「自然史」の3班に分かれ、ロビーで3日間のミニ企画展を実施した。その過程には次の作業が含まれる。 ・展示企画立案 ・資料調査・選定・借受交渉 ・展示環境調査（美工・歴史班） ・パネル・キャプション作成 ・資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品 ・資料配置・撤収	「自然史班」 菊川、宇佐美 山崎、澤浦 「美工・歴史班」 與那嶺、篠原 伊禮、外間、 久部良 「民俗・考古班」 阿利、山本 勝連
教育普及実習	大川、玉城

（2）実習生

前 期			後 期		
1	宮城 真実	琉球大学	1	与那嶺 沙季	琉球大学
2	金城 ひかり	沖縄国際大学	2	有賀 和	
3	大濱 碧暉		3	種山 穂奈美	
4	河野 裕子		4	笹本 理沙子	
5	親富祖 顕吾	千葉大学	5	上地 智貴	沖縄県立芸術大学
			6	永田 千裕	
			7	村本 佳也乃	
			8	前田 美海	沖縄国際大学
			9	志賀 彩那	
			10	渡久山 沙織	
			11	金城 美結	山口県立大学
			12	中宮 麻那	
			13	平地 美樹子	立正大学
			14	上原 まさ子	京都先端科学大学

（大湾 ゆかり）

2 美術館実習

美術館では、開館3年目の2009年から実習受入を行っている。受け入れにあたっては、学芸員資格養成課程を有する県内の（琉球大学、県立芸術大学）を優先し、人員枠にゆとりがある場合、県外大学に在籍する県出身の学生を優先的に受け入れている。定員は10名以内としている。時期は8月中旬から2週間で、美術館学芸員全員でそれぞれの専門分野の講義にあたっている。

【美術館学芸員実習カリキュラム】

		実習内容（午前）	実習内容（午後）
第1日	月	開講式、オリエンテーション、IPM	美術館業務の考え方・博物館施設説明
第2日	火	美術館活動の概要及び施設・設備	常設展示の実際Ⅰ、共通課題研究
第3日	水	共通課題研究、収集事業概要	資料の修復実習、教育普及事業Ⅰ
第4日	木	共通課題研究、資料の分類	常設展示の実際Ⅱ、保存修復の実際
第5日	金	共通課題研究、常設展の実際Ⅲ	調査研究概要、企画展の実際Ⅰ
第6日	月	共通課題研究、資料に関する情報処理	立体資料の取扱い実習（彫刻）
第7日	火	共通課題研究、平面資料の取扱い（油彩・水彩画）	平面資料の取扱い（版画）
第8日	水	共通課題研究、教育普及Ⅱ	平面資料の取扱い実習Ⅰ・Ⅱ
第9日	木	共通課題研究、作品調査の方法	平面資料の取扱い実習Ⅲ・Ⅳ
第10日	金	共通課題発表、平面資料の実習Ⅴ	実習のまとめ、閉校式



立体の梱包



資料整理



共通課題発表

（富原 圭子）

Ⅱ 国際博物館の日

名 称：2019年5月18日「国際博物館の日」
 会 期：2019年5月8日（水）～5月26日（日）（19日間）
 会 場：①パネル展／エントランスホール
 ②ワークショップ／ふれあい体験室前

【開催趣旨】

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：アイコム）によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館活動を広く報せ、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。

【実施内容】

博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるためにエントランスホールにてパネル展示を実施した。無料入館日の設定や、バックヤードツアー、ワークショップ等を実施した。

○パネル展 2019年5月8日（水）～5月26日（日）

パネル展の目的、ICOM・「国際博物館の日」の説明、今年度の行事や講座などの紹介、沖博協加盟館の紹介、「沖縄の博物館ガイド」の紹介、展示会の様子、学芸員の仕事、ボランティア・友の会・happ等の活動の様子、指定管理者の仕事、過去に実施した展覧会のチラシ展示、

○無料入館日 2018年5月18日（土）（企画展はのぞく）

○博物館 取り組み

- ①展示解説 自然史 宇佐美賢 菊川 章 2019年5月18日(土)
 ②バックヤードツアー 外間一先 2019年5月18日(土)
 ③学芸員講座「今、明かされる琉球王国の手わざ」 篠原あかね 2019年5月11日(土)

○ワークショップ ふれたい博士の「てづくりおもちゃ」

日 程：2019年5月11日(土)、18日(土)
 時 間：1回目10:00 2回目10:30 3回目11:00 4回目12:00 ※各回30分(同一内容)
 受 付：9:00～ ふれあい体験室にて
 定 員：当日先着40名(各回とも10名まで)
 参加料：100円

(外間 一先)

Ⅲ 移動展

名 称：第12回 沖縄県立博物館・美術館 移動展 in伊江島
 会 期：2020年1月31日(金)～2月2日(日)
 開催時間：午前9時～午後5時(金曜日は11時から)
 開 催 地：伊江村農村環境改善センター
 対 象：一般
 観 覧 料：無料

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、(一財)沖縄美ら島財団、伊江村、伊江村教育委員会
 協 力：県立博物館友の会、県立美術館支援会happ

【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収蔵資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として実施する。

(1) 移動展の実施状況

①展示内容・参加人数・関連催事

内容	期 日	内 訳			
展示内容	博物館展示	■「世界の化石と輝く石」……………恐竜の骨格標本、岩石の展示 ■沖縄の地学・生物・歴史・民俗・考古・美術工芸に関する総合展示 ■伊江島関連映像(1977年制作)上映 ■ドローン撮影による、伊江島風景映像上映 ■デジタルミュージアム事業成果資料展示 ■伊江村教育委員会収蔵資料展示			
	美術館展示	□「展覧会展示パネル」……………これまでの展覧会概要パネルの展示 □美術館収蔵資料(彫刻(レプリカ)、絵画)展示 □「沖縄の映画」……………県出身映画監督作品を上映			
来場人数		1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	計
	70歳以上	8	11	24	43
	一 般	83	104	106	293
	高 大	5	6	43	54
	小 中	135	118	97	350
	未就学児	70	63	37	170
	計	301	302	307	910

内容	期 日	内 訳
来場 人数	1月29日(木) ～ 1月31日(金)	■デジタルミュージアム上映会 (1) 1/29(水) 通所介護事業所いえしま 参加：55名 (2) 1/30(木) 伊江村合同ミニデイ 参加：100名 (3) 1/30(木) 伊江村立中央保育所 参加：45名 (4) 1/31(金) 伊江村立東保育所 参加：21名 講 師：阿利 よし乃
関連 催事	1月31日(金)	■関連催事① 館長による講座「近世の伊江島」 ①参 加：27名(定員40名) ②時 間：19:00～20:30 ③場 所：伊江村農村環境改善センター中会議室 ④講 師：田名 真之(沖縄県立博物館・美術館 館長)
	2月1日(土)	■関連催事② 「フィールドツアー in 伊江島」(博物館) ①参 加：12名(定員20名) ②時 間：9:00～12:00 ③集合場所：伊江村農村環境改善センター前 ④講 師：玉榮 飛道(伊江村教育委員会)、宇佐美 賢、澤浦 亮平 ⑤準 備：送迎用バス、救護車両1台～、各車両ドライバー、そのほか必要品 ⑥参加費：100円(保険ほか)
	2月2日(日)	■関連催事③ 「かんたん化石のレプリカづくり」 ①参 加：65名(定員60名) ②時間・回数：各30分、計4回 10:00、11:00、13:00、14:30開始 ③場 所：伊江村農村環境改善センター1階ロビー ④講 師：比嘉 麻乃 ⑤参加費：各回300円

【展示品リスト ―博物館―】

〔地 学〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別	
1	プロバクトサウルス	1	資 料	20	ティラノサウルス化石	2	資 料	
2	プロトケラトプス	1	資 料	21	恐竜の卵	3	資 料	
3	プロトケラトプスの卵	1	資 料	22	虫入り琥珀	4	資 料	
4	パレイアサウルス	2	資 料	23	水晶	1	資 料	
5	タルボサウルス（頭骨）	2	資 料	24	カルサイト	1	資 料	
6	アンモナイト大（北海道）	1	資 料	25	レインボーストーン	1	資 料	
7	マンモスの歯	1	資 料	26	黒曜石	1	資 料	
8	マンモスの毛	1	資 料	27	メノウ	1	資 料	
9	アンモナイト小（北海道、沖縄産）、（模型）	3	資 料	28	赤鉄鉱	1	資 料	
10	ハロピア	1	資 料	29	黄鉄鉱	1	資 料	
11	珪化木	1	資 料	30	黄銅鉱	1	資 料	
12	三葉虫、模型	2	資 料	31	ガーネット	1	資 料	
13	貝化石	1	資 料	32	ザクロ石片麻岩（南極）	1	資 料	
14	植物化石	1	資 料	33	螢 光 鉱 物 一 式	①マンガンカルサイト	1	資 料
15	魚化石	1	資 料	34		②フランクリン石	1	資 料
16	昆虫化石（トンボ、セミ？、ウミサソリ）	3	資 料	35		③蛍石	1	資 料
17	アンモライト	1	資 料	36		④ウェルネル石	1	資 料
18	ティラノサウルス歯	1	資 料	37		⑤石膏	1	資 料
19	ティラノサウルス歯レプリカ	1	資 料	38		⑥ソーダライト	1	資 料

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
39	アメジスト	1	資 料	44	蛍光鉱物説明用パネル	1	パネル
40	琉球石灰岩	1	資 料	45	地質年表	1	パネル
41	伊江島の岩石（伊江島関連資料）	7	資 料	46	古地理図	1	パネル
42	隕石	1	資 料	47	琉球石灰岩＋チャート パネル	6	パネル
43	地質図	1	パネル	48	琉球列島海底地形鳥瞰図床面シート	1	パネル

〔生 物〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	ナミエガエル	1	レプリカ	20	アオサギ	1	本剥製
2	ホルストガエル	1	レプリカ	21	クロツラヘラサギ	1	レプリカ
3	イシカワガエル	1	レプリカ	22	オオコノハズク	1	本剥製
4	ハナサキガエル	1	レプリカ	23	ハシビロガモ	1	本剥製
5	イボイモリ	1	レプリカ	24	ヤマシギ	1	本剥製
6	ヤエヤマセマルハコガメ	1	本剥製	25	ハシブトガラス	1	本剥製
7	リュウキュウヤマガメ	1	本剥製	26	ハチクマ	1	本剥製
8	アカマタ	1	本剥製	27	カワウ	1	本剥製
9	ハブ	1	本剥製	28	ササゴイ	1	本剥製
10	ヨナグニシュウダ	1	本剥製	29	コハクチョウ	1	本剥製
11	リュウキュウアカショウビン	1	本剥製	30	イリオモテヤマネコ	1	本剥製
12	ミサゴ	1	本剥製	31	オリイオオコウモリ	1	本剥製
13	ホウロクシギ	1	本剥製	32	カグラコウモリ	1	本剥製
14	コゲラ	1	本剥製	33	ケナガネズミ	1	本剥製
15	ヤンバルクイナ	1	本剥製	34	オキナワトゲネズミ	1	本剥製
16	アマツバメ	1	本剥製	35	オキナワトゲネズミ	1	骨格標本
17	ツクシガモ	1	本剥製	36	アクリル大ケース 2個	1	標 本
18	カワセミ	1	本剥製	37	アクリル小ケース 6個	1	標 本
19	アオツラカツオドリ	1	本剥製				

〔人 類〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	港川人復元模型	1	模型・背景 [※]	8	琉球列島更新世の動物	1	パネル
2	港川人1号頭骨複製	1	複 製	9	リュウキュウジカ（オス）	1	レプリカ
3	山頂洞101号人頭骨	1	複 製	10	リュウキュウムカシキョン（メス）	1	レプリカ
4	クロマニヨン人頭骨	1	複 製	11	カダ原洞穴人模型	1	レプリカ
5	ホモサピエンスの拡散	1	パネル	12	ゴヘズ洞穴人模型	1	レプリカ
6	沖縄県内の出土人骨	1	パネル	13	具志原貝塚出土人骨	1	資 料
7	大山盛保氏と港川人の発券	1	パネル				

〔民 俗〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	ニシチー	1	資 料	4	マッタクー	1	資 料
2	八角風（八重山風）	1	資 料	5	チンチンウマグワー（張り子）	1	資 料
3	風弾	1	資 料	6	虎グワー（張り子）	1	資 料

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
7	ウッチリクブサー（張り子）	3	資 料	11	駒	1	資 料
8	ビー玉（複数）		資 料	12	手まり	3	資 料
9	お手玉（複数）		資 料	14	伊江島ウジョー	1	資 料
10	駒	1	資 料	15	民話の動画コンテンツ	25	資 料

〔歴 史〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	旧首里城正殿鐘（複製）・台	2	レプリカ	8	琉球国図（複製絵図&パネル）	2	パネル
2	琉球人行列記	1	レプリカ	9	中山世鑑（複製）	3	レプリカ
3	間切図（国頭）（複製、写真パネル）	1	レプリカ	10	花ひらく協同の力（DVD）	1	資 料
4	金円通宝・世高通宝・大世通宝	3	資 料	11	間切図説明パネル	9	パネル
5	琉球通宝	4	資 料	12	琉球王国写真パネル	5	パネル
6	おもろさうし（複製 巻1～3）	3	レプリカ	13	万国津梁の鐘の拓本	1	レプリカ
7	汗水節の拓本	3	レプリカ	14	聞得大君御殿雲龍黄金簪	1	レプリカ

〔美術工芸〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	黒漆雲龍螺鈿盆	1	資 料	10	紅型の道具キット	1	キット
2	沖縄の漆器（ミニパネル）	1	パネル	11	芭蕉布	1	資 料
3	螺鈿づくり用キット	3	キット	12	芭蕉布について（ミニパネル）	1	パネル
4	金城次郎 線彫魚文抱瓶	1	資 料	13	芭蕉の糸づくりキット	1	キット
5	金城次郎 指描角瓶	1	資 料	14	苧麻の糸づくりキット	1	キット
6	金城次郎 線彫花文蓋物	1	資 料	15	玉陵石獅子（レプリカ）	2	レプリカ
7	やきものについて（パネル）	1	パネル	16	玉陵（パネル）	1	パネル
8	木綿白地飛鳥に流水蛇籠葵菖蒲文様衣裳	1	レプリカ	17	沖縄の彫刻（パネル）	1	パネル
9	紅型について（ミニパネル）	1	パネル				

〔考 古〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	荻堂式土器	1	資 料	8	イモガイ製貝輪（横型）	1	レプリカ
2	伊波式土器	1	資 料	9	貝匙	1	レプリカ
3	蝶形骨器	1	資 料	10	沖縄考古学年表	1	パネル
4	ゴホウラ製貝輪（金隈型）	1	レプリカ	11	先史時代の生活	1	パネル
5	ゴホウラ製貝輪（立岩型）	1	レプリカ	12	遺跡から出土する生物の生息域	1	パネル
6	ゴホウラ製貝輪（大友型）	1	レプリカ	13	貝が運ばれた道	1	パネル
7	イモガイ製貝輪（縦型）	1	レプリカ	14	イモガイ・ゴホウラ製品の主な出土地	1	パネル

【展示品リストー美術館ー】

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	吉屋 チルー物語	1	映 像	5	少年像（玉那覇 正吉）	1	資 料
2	沖縄列島	1	映 像	6	サンゴシリーズ1（ゴヤ フリオ）	1	資 料
3	パラダイスビュー	1	映 像	7	三美德（ゴヤ フリオ）	1	資 料
4	目しいた野良猫（玉那覇 正吉）	1	資 料	8	ポライオーロ（丸山 映）		資 料

No.	名 称	数	種 別
9	僻日（西村 貞雄）		資 料

（大川 剛・富原 圭子）

Ⅳ 燻蒸・消毒処理

2019年度は、2007年度から実施している総合的防害虫管理（IPM）の運用を継続して行い、活動として、年2回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等を行い、毎月1回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行っている。その目的は、収蔵資料の保存管理のため、定期的な消毒作業を行い、保存環境の適正化に努めている。

（１）2019年度 全館燻蒸・消毒処理

○第1回 全館燻蒸・消毒

期 間：2019年6月28日（木）～7月6日（金）9日間

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

○第2回 燻蒸・消毒

期 間：2020年2月18日（火）～2月21日（金）4日間

消毒箇所：収蔵庫・バックヤード（美）・実習準備室

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

（２）簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館3か所、美術館2か所、県民ギャラリー1か所）を設置、毎日深夜に散布（スミスリン乳剤）開閉する場所の害虫駆除に実施している。

又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろう君」（二酸化炭素）を実施している。

（宮里 宗彦）

Ⅴ 全体研修

沖縄県立博物館・美術館では、県組織（「総務班」、「博物館班」、「美術館班」）と指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団、また、博物館・美術館支援組織（友の会、happ）など、館の運営に係わるすべての職員に対して、年に数回全体研修を行っている。

①消防総合訓練

日 時：6月28日（金）9：30～11：00

場 所：全館

講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：150名

②地震訓練

日 時：11月5日（火）9：30～10：30

場 所：全館

講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：75名

③救命講習

日 時：12月23日（火）9：00～12：00

場 所：博物館講座室

講 師：那覇市消防局 救命課 職員

参 加 者：24名

④夜間消防訓練

日 時：2020年1月21日（火）20：00～20：45
場 所：全館
講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）
参 加 者：17名

⑤救命講習

日 時：2020年2月17日（月）9：00～12：00
場 所：博物館講座室
講 師：那覇市消防局 救命課 職員
参 加 者：24名

VI 刊行物

（全 体）

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	沖縄県立博物館・美術館 年報（平成30年度実績報告）No.13	定 期	400	A 4（216）	前年度の博物館・美術館活動報告

（博物館班）

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	企画展「新収蔵品展 ―平成30年度収蔵資料―	不定期	500	A 4（24）	企画展図録
2	『台湾』	不定期	1,000	A 4（87）	企画展図録 外部資金活用
3	『グスク・ぐすく・城』	不定期	700	A 4（98）	特別展図録
4	『手わざー琉球王国の文化ー』	不定期	1,200	A 4（39）	特別展図録
5	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第13号	定期	500	A 4（156）	博物館学芸員の調査研究報告書
6	令和元年度 博物館教育普及活動報告書	定期	800	A 4（73）	博物館教育普及活動報告
7	『朝薫踊り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー』	不定期	10,000	A 4（30）	組踊上演300周年美術工芸部門特別展示図録

（美術館班）

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	上條文穂と波多野泉 現代彫刻展図録	不定期	500	（112）	企画展図録
2	「作家と現在」展図録	不定期	800	（111）	企画展図録
3	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第9号	定期	500	（64）	美術館学芸員の調査研究報告書
4	令和元年度美術館教育普及活動報告書	定期	800	（50）	美術館教育普及活動の報告書

（指定管理者）

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	おきみゅー通信 vol.11 春号	季刊誌	6,000	A 4、8 頁	館広報誌
2	おきみゅー通信 vol.12 夏号	〃	〃	〃	〃
3	おきみゅー通信 vol.13 秋号	〃	〃	〃	〃
4	おきみゅー通信 vol.14 冬号	〃	〃	〃	〃
5	2020年度展覧会年間スケジュールリーフレット	年1回	15,000	蛇腹折(14頁)	年間展覧会スケジュール
6	沖縄県立博物館・美術館誘客リーフレット	増刷	10,000	A3縦書き三巻折	誘客パンフレット
7	沖縄県立博物館・美術館海外用誘客リーフレット（簡体）		10,000	〃	〃
8	沖縄県立博物館・美術館海外用誘客リーフレット（韓）		10,000	〃	〃

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規 格 (頁)	内 容
9	沖縄県立博物館・美術館誘客リーフレット	増刷	12,000	〃	誘客パンフレット
10	年間パスポート 購入者用招待券		2,000		誘客チケット
11	沖縄県立博物館・美術館誘客リーフレット新バージョン	不定期	30,000	〃	誘客パンフレット
12	OMOROMACHI SHOPPING MAP新バージョン	〃	10,000	〃	〃
13	GWはおきみゅーへ行こう	年1回	10,000	A 4	イベント告知チラシ
14	おきみゅー誕生祭2019	〃	30,000	〃	〃
15	おきみゅースタンプラリー (誕生祭ver)	〃	1,200	A 5	スタンプラリー台紙
16	旧正月はおきみゅーへ行こう2020	〃	15,000	A 4	イベント告知チラシ
17	夏休み1DAY PASSPORT販促チラシ	不定期	20,000	A 5	1DAY PASSPORT販促用
18	貸館チラシ	〃	6,000	A 4	貸館宣伝チラシ

Ⅶ 展覧会一覧 (2019年度)

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
1	博物館常設展海と島に生きる ー豊かさ、美しさ、平和を求めてー	博物館常設展示室 総合展示室	沖縄県 (博物館班)	4/1～3/31
2	博物館常設展部門展示 正月、清明、ユッカヌヒー、 旧盆、十五夜、ムーチャー、冬至 (仏前供物替え)	博物館 民俗部門展示室	沖縄県 (博物館班)	各時季
3	博物館常設展部門展示 「那覇港へ往来する人とモノ～」	博物館 歴史部門展示室	沖縄県 (博物館班)	通年
4	驚異の写真ーホキ美術館名品展	美術館企画ギャラリー ー1・2	(一財) 沖縄美ら島財 団、沖縄テレビ放送	4/6～5/20
5	博物館常設展部門展示 第1期「時代を越える名品」	博物館 美術工芸部門展示室	沖縄県 (博物館班)	4/16～7/28
6	企画展 「新収蔵品展ー平成30年度収蔵資料ー」	博物館企画展示室・ 特別展示室1	沖縄県 (博物館班)	4/30～6/23
7	企画展 大嶺薫コレクション展「探求す る心とその世界」	博物館特別展示室2	沖縄県 (博物館班)	5/8～6/23
8	ロビー展「愛鳥週間ミニ展示 大鳥類展!～「愛 鳥週間」は、博物館で鳥(とり)三昧(さんまい)～」	エントランスホール	沖縄県 (博物館班)	5/8～5/26
9	ロビー展 国際博物館の日 パネル展 「博物館・美術館をもっと知ろう」	エントランスホール	沖縄県 (博物館班・美術館 班)、(一財) 沖縄美ら島財団	5/8～5/26
10	ロビー展「めざせ 与那国!! - 3万年前の 航海徹底再現プロジェクトを応援しよう! -」	エントランスホール	沖縄県 (博物館班)	6/25～7/15
11	サメ肌のふしぎ展	3階ホワイエ	(一財) 沖縄美ら島 財団	7/11～8/25
12	沖縄美術の流れ (前期)	コレクションギャラ リー3	沖縄県 (美術館班)	7/13～10/13
13	金城安太郎展	コレクションギャラ リー1	沖縄県 (美術館班)	7/13～10/13
14	沖縄を描いた画家1930ー1950's	コレクションギャラ リー2	沖縄県 (美術館班)	7/13～10/13
15	博物館常設展部門展示 「沖縄とスポー ツー国体・オリンピックの軌跡」	博物館 歴史部門展示室	沖縄県 (博物館班)	7/30～9/29
16	博物館常設展部門展示 第2期「朝薫踊 り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー」	博物館 美術工芸部門展示室	沖縄県 (博物館班)	8/6～12/1
17	企画展「台湾ー黒潮でつながる隣 (とう ない) ジマー」	博物館企画展示室・ 特別展示室1	沖縄県 (博物館班)	9/6～11/4

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
18	企画展 「上條文穂と波多野泉 現代彫刻展」	美術館企画ギャラリー1・2	沖縄県（美術館班）	9/20～11/4
19	ロビー展 「石灰岩の大地と化石」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	10/1～10/20
20	真喜志勉 ドローイング展	コレクションギャラリー1	沖縄県（美術館班）	10/19～2/9
21	作家の視点、作品の視点	コレクションギャラリー2	沖縄県（美術館班）	10/19～2/9
22	沖縄美術の流れ（中期）	コレクションギャラリー3	沖縄県（美術館班）	10/19～2/9
23	ロビー展 「冬鳥展」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	10/22～12/22
24	特別展「グスク・ぐすく・城ー動乱の時代に生み出された遺産ー」	博物館企画展示室・特別展示室1・2	沖縄県（博物館班）	11/19～1/19
25	ロビー展 第71回GODACセミナー「南極で活躍する女性たち」関連ミニ展示「南極大陸の石たち」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	12/3～12/15
26	博物館常設展示部門展示「記録の中の沖縄Okimuおきみゅーコレクションから」	博物館 歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	12/3～3/1
27	博物館常設展示部門展示 第3期「手わざの秘密」	博物館 美術工芸部門展示室	沖縄県（博物館班）	12/10～4/5
28	ロビー展 「ゆくとしくるとし展」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	12/24～2/27
29	企画展「作家と現在」	美術館企画ギャラリー1・2	沖縄県（美術館班）	12/24～2/2
30	「在りし日の首里城」写真パネル展	3階ホワイエ	（一財）沖縄美ら島財団	1/2～3/15
31	ロビー展 「シマのムラー掘り出された八重山の近世集落ー」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	1/7～1/26
32	特別展「手わざー琉球王国の文化ー」	博物館企画展示室・特別展示室1・2	沖縄県（博物館班）	2/4～3/15
33	沖縄美術の流れ（後期）	コレクションギャラリー3	沖縄県（美術館班）	2/15～
34	石田尚志展	コレクションギャラリー1	沖縄県（美術館班）	2/15～
35	大城精徳の仕事	コレクションギャラリー2	沖縄県（美術館班）	2/15～
36	みんなのレオ・レオーニ展 READING LEO LIONNI, AGAIN.	美術館企画ギャラリー1・2	（一財）沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送、朝日新聞社	2/28～5/10 ※2/29～3/17まで一時中断、4/10で打ち切り

その他の活動

- I 沖縄県博物館協会
- II 全国組織との関わり
- III 沖縄県立博物館友の会
- IV NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ

I 沖縄県博物館協会

沖縄県博物館協会（沖博協）は、1977年（昭和52）に、「沖縄の特色ある自然・歴史・文化を一般県民に広く認識していただき、もって地域文化の向上発展に寄与する」ことを目的に発足当初24団体23館から発足した。現在69団体64館が加盟する県内最大の博物館関連組織である。毎年春と秋の年2回、本島北部、中部、南部、宮古、八重山、奄美地区の6ブロックに分けて、輪番制に総会並びに研修会を開催し、学芸員や事務職員の資質向上を図っている。

当館からの参加者については「博物館 I. 調査研究等の活動 7. 職員研修」の項を参照のこと。

【総会・春の研修会】

期 日：2019年5月16日（木）～17日（金）

総 会：宜野湾市真志喜公民館

内 容：議案第1号 平成30年度事業実施報告について
議案第2号 平成30年度収支決算報告について
議案第3号 令和元年度事業計画案について
議案第4号 令和元年度予算案について
議案第5号 役員の改選について
議案第6号 沖縄県博物館協会・春の研修会及び秋の研修会の割当について
議案第7号 沖縄県博物館協会事務局の輪番制の見直しについて
その他 新規入会者について
事務局からの連絡事項
顕彰者表彰

研修会1日目 会場：宜野湾市真志喜公民館

- ・講演：「博物館連携協働事業について」
講師：小川義和氏（国立科学博物館 連携推進・学習センター長）
- ・報告：「おきみゅーの外部連携事業について」
講師：山崎真治氏（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

研修会2日目 会場：宜野湾市立博物館および周辺「宜野湾市の文化財めぐり」

- Aコース「羽衣伝説と察度王の足跡をたどる」（徒歩）
森の川（県指定）、中山王察度の楼閣といわれる黄金宮等
- Bコース「大山貝塚と大山集落めぐり」（徒歩）
大山貝塚、大山集落内に残る拝所、大山マヤーガマ等
- Cコース「湧き水めぐり」バス（定員25名）
大山地域の湧水、喜友名泉（国指定）、森の川等

【秋の研修会】

期 日：2019年10月31日（木）～11月1日（金）

研修1日目 会 場：沖縄県立博物館・美術館 「博物館における防災管理」

- 講 演：「危機管理教養～迫り来る災害～」
大城靖氏（沖縄県知事公室防災危機管理課）
- 報告Ⅰ：「奄美豪雨災害からの復興」
福原凡香氏（一般財団法人奄美文化財団原野農芸博物館）
- 報告Ⅱ：「博物館の防災ネットワーク」
大湾ゆかり氏（沖縄県立博物館・美術館 博物館班班長）
- 報告Ⅲ：「岩手県震災復興支援派遣について」
具志堅清大氏（沖縄県立埋蔵文化財センター）

研修2日目 会 場：沖縄県立博物館・美術館

- 研 修：施設概要説明及び施設見学
- ① 博物館自然コース
 - ② 博物館人文コース
 - ③ 美術館コース

Ⅱ 全国の組織との関わり

1 日本博物館協会

(1) 日本博物館協議会参与会

日 時：2019年7月2日（火）

場 所：日本博物館協会黒田記念館別館

参加者：田名真之（館長）

(2) 全国博物館館長会議

日 時：2019年7月3日（水）

場 所：文部科学省講堂

参加者：田名真之（館長）

(3) ICOM京都大会2019

日 時：2019年9月3日（火）

場 所：国立京都国際会館

参加者：篠原あかね（学芸員）

(4) ICOM京都大会2019 ポストコンファレンス イン 沖縄

日 時：2019年11月8日（金）

場 所：沖縄県立博物館・美術館

参加者：世界各地から学芸員等博物館職員25名、当館学芸員全員

2 九州博物館協議会

(1) 九州博物館協議会理事会・総会・現地研修

日 時：2019年5月16日（木）～17日（金）

場 所：長崎歴史文化博物館

参 加 者：田名真之（館長）、大湾ゆかり（博物館班長）

(2) 九州博物館協議会秋季研修会

日 時：2019年10月31日（木）～11月1日（金）

場 所：鹿児島県歴史・美術センター黎明館

参 加 者：田名真之（館長）、外間一先（主任学芸員）

Ⅲ 沖縄県立博物館友の会

沖縄県立博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員274名、家族会員45家族（90名）、賛助会員3ヶ所。

博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした研修会を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。

2019年度（平成31・令和元）の事業内容は以下のとおり。

	事業名及び事業内容	
1	【自然観察会】 『「ぶながやの里」を訪ねる』 開催日：2019年4月5日（金） 内 容：大宜味村役場旧庁舎、喜如嘉板敷海岸の板千瀬（いたびし）、「笑味の店」、芭蕉布会館、オクラレルカ畑 参加者：42名	

	事業名及び事業内容	
2	【展示交流員研修】 『展示交流員研修・懇親会』 開催日：2019年7月22日（月） 研 修：玉陵 講 師：鈴木悠（学芸員）、宮城春彦（管理指導員） 懇親会：首里杜館（すいむい） 参加者：52名	
3	【文化講演会】 『近世琉球の罪と罰ー親の言うことを聞かない気随意者（ボーチラー＝問題児）は島流しー』 開催日：2019年9月7日（土） 共 催：（一財）沖縄美ら島財団 講 師：田名真之氏（沖縄県立博物館・美術館館長） 聴 講：約180名	
4	【学芸員講座】 『琉球王国の貨幣』 開催日：2019年9月29日（日） 講 師：山本正昭主任学芸員 聴 講：約100名	
5	【民族探訪】 『壺屋まーい』 開催日：2019年10月18日（金） 内 容：壺屋焼物博物館、南ヌ窯、シムヌカー、壺屋区役所跡の説明版、スージグワァー、東ヌ窯、アガリヌカー 参加者：24名	
6	【民族探訪】 『小禄まーい』 開催日：2019年12月7日（土） 講 師：波平エリ子氏（沖縄女子短期大学准教授） 内 容：当日は荒天のため、小禄老人福祉センターでの座学となった。当初の行程は真玉御嶽、ヌルガー、ノロ殿内、ビジュン、カニマン御嶽。 参加者：20名	
7	【体験教室】 『グスクから出土する琉球銭造り体験教室』 講 師：山本正昭主任学芸員 1 回目開催日：2019年12月22日（日） 参加者：午前11名、午後17名 2 回目開催日：2020年1月13日（日） 参加者：午前15名、午後16名	

事業名及び事業内容	
8	【歴史探訪】 『首里の石碑めぐり～首里城西南地方～』 開催日：2020年1月27日（月） 講 師：高里盛国氏（友の会会員、交流員） 参加者：22名 

（１）会誌発行

年１回『博友』

（２）会員への情報提供

- ①友の会通信「ちゃーびら」隔月発行・送付
- ②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

（３）サークル活動

家譜サークル（毎月１回勉強会実施）
辺境&市場サークル（海外研修の実施）

（４）博物館サポート

- ①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
- ②文化講演会および学芸員講座当日の資料整理と受付
- ③「ボランティア通信」発送、支援
- ④博物館・美術館移動展支援

IV happ（特定非営利活動法人 沖縄県立美術館支援会happ）



happは2005年（平成17年）に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生した。同年９月特定非営利活動法人認証を受ける。名称は、happyやhappenの起源となるスカンジナビア語の「happ（幸福）」、h=happiness（しあわせ）・happening（できごと）、a=art（アート）p=people（人々）、p=place（場所）の意味を込めている。アートを身近に感じ、アートを創造するような活動を通じて、それぞれの「happ=しあわせ」を見つけられる場所づくりを行う。

1 基本理念

沖縄県立美術館と連携し、優れた文化芸術に触れる活動や文化を創造する活動に参加できる機会を広く提供することにより、地域に根ざした魅力ある美術館づくりに寄与することを目指す。

2 基本方針

（１）「沖縄県立美術館との連携」

- ①美術館側の学芸員や副館長との連携の強化を図る。
- ②展示企画を行う指定管理者との連携を円滑に行うことを目指すために、相互間の月例会議を設ける。
- ③美術館に多くの来客を呼び込み、楽しんで頂けるように互いの協力体制の強化を目指す。

（２）「文化を創造する活動に参加出来る機会を広く提供する」

- ①学芸員の協力の必要性を重要視する。
- ②日頃からの学芸員との協力体制を整える。
- ③来客者やクリエイター（作家）にその文化を創造する機会を多く作り育てること。

（３）「地域に根ざした魅力ある美術館づくりに寄与する」

- ①美術館の館内において、より魅力を感じ、楽しんで頂ける企画を立案する。

- ②多くの方々に美術館に通って頂き「私の美術館、僕の美術館」と言われるような美術館づくりに寄与することを目指す。

3 部会役割

(1) 企画部会

- ①happのこれまでの活動成果を検証し、現状の課題を分析しながら、今後の中長期的なビジョンの策定を図る。
②happの基本理念と基本方針に即し、活動活性化の為に事業企画の発案を行う。
③他の部会との連携による企画の発案を行う。

(2) 美術館活性化アクション部会

- ①美術館の活性化を目指し、happならではの事業を企画立案し、美ら島財団と協同で来館者へ文化芸術に親しむ機会を提供することを目的とする。
②多くの方々に美術館に足を運んで頂けるような、型にはまらない楽しい企画立案を行う。
③美術館及び美ら島財団主催の企画展に積極的に協力を行うと共に、企画展とつながるhapp独自の事業を開催することを目指す。

(3) 教育普及活動部会

- ①美術館が企画運営する文化芸術に関する教育普及活動への支援を行う。
②文化芸術に関する教育普及活動につながるワークショップ等を開催し広く一般市民に文化芸術を親しんでもらうことを目指す。

(4) 地域連携部会

- ①那覇新都心通り会及び地域自治会等との連携及び相互交流を図ることにより、美術館近隣地域の住民及び各企業に親しみを持ってもらうことを目的とする。
②近隣地域のみならず、沖縄県内の県民全てから県民の財産であるという意識をもって頂くことを目指すことにより、沖縄の文化芸術の価値創造につなげることを目的とする。
③県外及び海外の方々にも誇れるような美術館づくりに貢献することを目的とする。

(5) 情報発信部会

- ①happが主催する事業の発信に努め、県民に広くhappの活動を周知させることを目的とする。
②美術館の企画展等の情報発信に努め、美術館が県民にとってもより身近な存在として親しまれるように美術館の来館者増加を目的とする。
③沖縄のアート情報の収集に努めると共に、情報の発信を行うことを目的とする。
④県外、海外のアート情報の収集に努めると共に、情報の発信を行うことを目的とする。

(6) ボランティア活動部会

- ①会員の方々にボランティア活動への参加を呼びかけるため、これまで永年鑑賞ツアー活動をしていた会員が集い、鑑賞ツアーや展示交流員などの楽しさを語り、参加を促す。
②企画を立て、活動へのお誘いなど、会員サービスを行う。
③ボランティアの声を理事会へ届ける役割を行う。

理事・監事・事務局構成

2020年3月31日 現在

氏 名	役 職	所 属
添石 幸伸	理事長	税理士法人添石総合会計事務所 所長
仲本 賢	副理事長	沖縄県立芸術大学美術工芸学部教授・写真家
大鋸 義則	理事	JIN AIR Sales Japan 沖縄空港支店 支店長兼営業部長
大山 盛稔	理事	沖縄カナダ協会 沖縄パンアメリカン連合会 会長
小林 純子	理事	沖縄県立芸術大学美術工学部 学部長
大城 直輝	理事	(株)ヤブサチ 代表取締役社長
與儀 美奈子	理事	Mina Lab. 代表 3DCGデザイナー
坂井 浩二	理事	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ会長 松島中学校PTA会長

氏 名	役 職	所 属
金城 章	理事	沖縄県ペタンク協会 事務局次長
平得 永太郎	理事	銘苅小学校区まちづくり協議会 会長
西村 麻紀	理事	ペチャクチャナイト宜野湾 オーガナイザー
上原 正弘	理事	一般社団法人琉球フィルハーモニック 代表理事
有銘 寛之	監事	有銘会計事務所 公認会計士
寺本 典加	事務局	
伊藤 みつ	事務局	
金城 ひかり	事務局	

4 平成31年・令和元年度活動報告

(1) 自主事業

① 情報発信部会 ラジオ番組FMレキオ happ step jumpミュージアムアワー事業

日 時：2019年（平成31・令和元）4月～5月30日 毎週木曜12時～12時25分放送

場 所：FMレキオ

担 当：國吉宏昭、金城章、坂井浩二

地域に根ざした美術館づくりに寄与するために、平成24年4月からFMレキオで毎週ゲストをお呼びしてトークする美術館バラエティラジオ番組「ハップ・ステップ・ジャンプ」を放送してきた。今後の情報発信の方法を検討することから一旦番組を休止することとした。毎週、展示に関した学芸員、アーティストから大学教授、地域で活躍している方など毎回多彩なゲストとしてお招きし、博物館・美術館のイベント情報発信、沖縄県内外でのアートを通じたネットワークの構築に大きな成果をあげることができた。5月30日（木）「最終放送回」では金城理事、大鋸理事、仲本理事、坂井理事が出演し、國吉宏昭理事の番組に対する思いとメッセージなどを語った。



② 情報発信部会 オタカラレター（会報誌）発行事業

発行時期：2019年（令和元）10月秋号、2020年（令和2）1月冬号、3月春号

発行部数：700部／回（3月号は600部）全カラー8ページA4サイズ

担 当：金城章、和田瑞希、與儀美奈子、寺本典加

美術館やhappの活動を紹介する会報誌“オタカラレター”を発行した。構成はhappの活動に賛同する画家やアーティストなどを取材しアーカイブ化、対談形式で人物を紹介する「オタカラ人物図鑑」。1シーズンごとに美術館の魅力やhappの活動を紹介する特集ページ。裏面には会員募集のお知らせを掲載。今年よりオタカラ人物図鑑ページでは法人インタビューにチャレンジ。令和2年1月冬号、3月春号は沖縄県立芸術大学助成金を活用したプロムナードコンサート事業と連携して、プロムナードコンサート情報を掲載。会員の皆様、県内の美術館や文化施設、公民館、法人企業等76カ所に配布、設置を行った。



③ 美術館活性化アクション部会、情報発信部会連携

【沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成事業】広報物「オタカラレター」を活用した地域社会との芸術文化交

流と集客増のためのプロジェクト「おきみゅープロムナードコンサート」

実行委員会：美ら島財団／福治広規、金城美奈子、沖縄オペラアカデミー黒島舞季子
happ／上原正弘、寺本典加

場 所：沖縄県立美術館(エントランスホール、館内入口前、古民家)

公演回数：全8回

来場者数：合計約770名

- a) 弦楽四重奏：2019年10月13日 来場者数80名
- b) ソプラノ・アコーディオン：2019年10月20日 80名
- c) クラシックコンサート：2019年11月3日 150名
- d) クリスマスコンサート：2019年12月8日 100名
- e) 大度室内楽団：2019年12月22日 120名
- f) 那覇シティミューゼ・少年少女合唱団：2020年1月19日 100名
- g) 島唄ライブ：2020年1月26日 80名
- h) 木管五重奏：2020年2月9日 60名

※アコーディオン（2月23日）、ガムラン演奏会（3月1日）、オペラを100倍楽しむ方法（3月21日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

基本事業である美術館活性化事業、若手家支援事業、エントランスコンサート等の開催を視野に入れた美術館ロビー等で開催する「プロムナードコンサート」の提案を美ら島財団に提案し実行委員会を組織し、話し合いを重ねてきた。エントランスホールにて計8回の定期的なプロムナードコンサートを開催し、日頃から美術館を訪れる機会のない客層の開拓につながることができた。また、県立芸術大学の学生と連携するなど、美術館における地域団体の文化活動や発表の機会の創出に大きく貢献することができ、オタカラレーターの発行においては内容の充実を図り、情報発信拡充を有効に行うことができた。



④ 企画部会、ボランティア活動部会、アクション部会連携 ミュコン（ミュージアムコンパ）事業

日 時：2019年11月23日（土）、12月14日（土）

計2回開催、2020年1月11日（土）延期

場 所：美術館企画展示室、県民ギャラリー1・2・3

懇親会：美々堂withやぶさち

参加者：男性8名、女性7名の計15名

担 当：西村麻紀、大城直輝、與儀美奈子、金城章

happ主催のゆんたくミュージアムツアーに街コンの要素をプラス。男女混合のグループで常設展を観てもらいながらゆんたくミュージアムツアーを開催。美術館が好き、アートに興味があるなど、共通の趣味や話題を持つ者同士で仲良くなってもらう。場所を移動して懇親会も開催し、参加者が楽しめるゲームもあり、街コンのような男女の出会いもセッティング。今年はクラフトビール、ワイン、日本酒などテーマを決めて開催した。



⑤ ボランティア活動部会 ゆんたくミュージアムツアー 沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展対話型鑑賞ツアー

日 時：2020年2月15日（土）15:30～16:15

場 所：美術館企画展示室

参加者：4名～5名（大人4人、小人1人）

担 当：與儀美奈子

今年も、沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展に



て、一般の方向けの鑑賞ツアーを行った。主に企画展示室の作品を順番に対話しながら鑑賞。卒制展は例年作者が在室していることが多いので、質問をしてみたり、参加者は皆、興味津々であつという間の1時間となった。

⑥ 販売事業（関連冊子の販売）

ミュージアムショップ ゆいむいにて昨年に引き続き、関連冊子の販売を行った。令和元年「美術館収蔵品目録」50冊 納品。

（2）共催・協力事業

① 【共催】子供音楽劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」出演子役ワークショップ in 美術館

主 催：一般社団法人沖縄オペラアカデミー

日 時：2019年6月15日（土）～7月12日（金）毎週土、日

場 所：こどもアトリエ、県民アトリエ

参 加：52名（沖縄県内の子供たち。外国籍の子供たちも含む）

担 当：事務局 與儀美奈子

7月14日に公演する子供音楽劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」に出演するための歌、ダンス、演劇のワークショップを行った。約1ヶ月、小学1年生から高校生まで幅広い県内各地から集まった子どもたちが、ワークショップを通じて、協力仕合いながら練習をしていた。7月12日俳優の広崎うらんさん、鶴見辰吾さんが指導。ハードなスケジュールにもかかわらず、嫌がる子もなく、皆、のびのびと楽しそうに参加していた。



② 地域連携部会・教育普及部会連携 【協力】第8回なは紙ヒコーキ大会 似顔絵体験

主 催：なは紙ヒコーキ大会実行委員会

共 催：那覇市、那覇新都心通り会

日 時：2019年11月17日（日）9:30～13:00

場 所：那覇新都心公園大原っぱ

似顔絵師：沖縄県立芸術大学教員及学生5名

参加者：約120名

担 当：仲本賢

晴天に恵まれ、こどもたちは紙ヒコーキを楽しそうに飛ばしたり、芝生の上で元気に遊び、似顔絵を描いたり今年も紙ヒコーキ大会は大いに盛り上がり。似顔絵コーナーも、ドクターヘリのイベント等と共に人気のコーナーとなった。また、happ理事の審査による紙ヒコーキのデザインを高く評価する『happ賞』も贈られた。



③ ボランティア活動部会 ゆんたくミュージアムツアー事業

依 頼：一般財団法人 沖縄美ら島財団 対話型鑑賞ツアーゆんたくデー連携企画

日 時：2019年11月3日（日）16:00～17:30

場 所：美術館コレクションギャラリー1. 2. 3

参加者：3～5名（大人4名、小人1名）

担 当：與儀美奈子、金城章

11月3日（土）文化の日、ゆんたくミュージアムツアーを開催。この日はコレクションギャラリーの入場料が無料開放。参加者は大人3名だったが、途中、小学生のお子さま連れの親子に参加してもらって、1作品のみ5名となった。今回のコレクションギャラリーの展示は、展示替えが行われてから間もなくの開催となり、ガイドも新しい発見がいくつもあった。参加者も、ガイドも、両方が気づきのあるツアーとなり、楽しい時間を過ごした。また、直前にエントランスコンサートも行っており、大勢のお客様が美術館を訪れていた。



（3）委託事業

① 展示交流員監視ボランティア事業

依 頼：一般財団法人 沖縄美ら島財団

期 間：2019年4月～2020年2年3月

場 所：美術館コレクションギャラリー

一年を通じて美術館の監視業務を、展示交流員ボランティアの方々に協力してもらった。今年は美ら島財団による地震避難訓練1回、消防訓練2回、救急救命講習（希望者のみ）が行われた。消防訓練では実際に避難経路を通り、1人1回消火器を使うなど非常事態に備えて訓練を実施。年に数回あるコレクションギャラ



リー展示替えの時には、美術館学芸員による新しい展示についての説明会が行われ8割の方が参加。カフェカメカメキッチンにてhappツアーや講座について楽しくお茶をしながら今後の交流員さんの活動について語らう機会づくりにも取り組んだ。

② 教育普及部会 夏休みこどもフェスタ2019 教室運営事業 「身近な人の似顔絵を描こう！」

日 時：2019年7月28日（土）13:00～15:00

場 所：県民・こどもアトリエ

依 頼：一般財団法人 沖縄美ら島財団

講 師：又吉浩（冲芸大准教授）

助 手：浦添莉乃、宮城果林（学部4年生）

担 当：仲本賢

家族、友達と参加して似顔絵の描き方を教える講座で、多くは親子で参加しました。今回も定員の15組（30名）の参加者があり、スケッチブックに、鉛筆、色鉛筆を使って思い思いの似顔絵を描きました。講座は始終和やかな雰囲気で行われ、参加者からは「楽しかった」「ためになった」などの高評価だった。



③ 教育普及部会 令和元年度 沖縄県文化振興会主催美術体験教室 似顔絵体験教室事業

日 時：2019年11月16日（土）13:00～17:00

場 所：沖縄県立博物館・美術館 エントランスホール

依 頼：公益財団法人沖縄県文化振興会

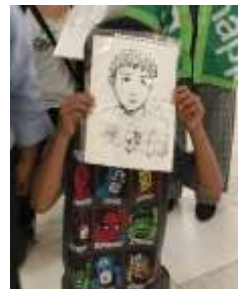
似顔絵師：5名（沖縄県立芸術大学学生／喜友名美沙希、宮城花林、渡邊愛端未、野原桃佳、當間奈津菜）

参加者：55名

参加費：無料

担 当：仲本賢

昨年同様、美術体験教室として実施。熱心な呼びかけと制作活動を実践した常時教室は稼働していた。参加者のほとんどが「いい体験になった！」との感想を残し満足していた。参加者55名の内、外国人は9名で、2割近くが外国人だった。



④ 展示交流員監視ボランティア事業 中学・高校生写真コンクール2019

～第9回沖縄ふるさとづくりコンクール～ 展示交流員受付・展示監視業務

期 間：2019年12月10日～14日

場 所：県民ギャラリー

依 頼：一般社団法人沖縄しまたて協会

沖縄県内の中・高校生が道路・河川・ダム・公園・トンネル等の公共施設に関心を高め、そのありがたさや大切さを考え、理解し、感謝の気持ちを育んでもらうことを目的とする写真コンクールの展示が4日間開催され、最終日には表彰式も行われた。入賞作品展示の受付・監視を監視ボランティアの方々にご協力いただいた。



【通常総会】2019年5月25日（土）

【理事会】2019年4月～2020年3月 事業計画、運営のための会議等

関係法規抄録

- 博物館法
- 博物館法施行規則
- 沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
- 沖縄県立博物館・美術館管理規則
- 沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱
- 博物館法施行令
- 博物館の登録に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館館長職務規程

関係法規抄録

○博物館法（抄）

昭和26年12月 1 日法律第285号
〔最終改正〕平成29年 5 月31日法律第 41号

第1章 総則

（この法律の目的）

第1条 この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

（定 義）

第2条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法 による公民館及び図書館法（昭和25年法律第118号）による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人（独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2条第1項 に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。）を除く。）が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。

2 この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。

3 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）をいう。

（博物館の事業）

第3条 博物館は、前条第1項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- （1）実物、標本、模写、模型、文獻、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
 - （2）分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
 - （3）一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
 - （4）博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
 - （5）博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
 - （6）博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - （7）博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
 - （8）当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
 - （9）社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
 - （10）他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
 - （11）学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
- 2 博物館は、その事業を行うに当つては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。

（館長、学芸員その他の職員）

第4条 博物館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

（学芸員の資格）

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- （1）学士の学位（学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第2項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものに限る。）を含む。）を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
 - （2）大学に2年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補の職にあったもの
 - （3）文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者
- 2 前項第2号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

（学芸員補の資格）

第6条 学校教育法第90条第1項 の規定により大学に入学することのできる者は、学芸員補となる資格を有する。

（学芸員及び学芸員補の研修）

第7条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、学芸員及び学芸員補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第8条 文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第9条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第9条の2 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するように努めなければならない。

第2章 登録

(登録)

第10条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県教育委員会（当該博物館（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市をいう。以下この条及び第29条において同じ。）の区域内に所在する場合にあっては、当該指定都市教育委員会。同条を除き、以下同じ。）に備える博物館登録原簿に登録を受けるものとする。

(登録の申請)

第11条 前条の規定による登録を受けようとする者は、設置しようとする博物館について、左に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県教育委員会に提出しなければならない。

- (1) 設置者の名称及び私立博物館にあっては設置者の住所
- (2) 名称
- (3) 所在地
- 2 前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。
 - (1) 公立博物館にあっては、設置条例の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び予算の歳出の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面
 - (2) 私立博物館にあっては、当該法人の定款の写し又は当該宗教法人の規則の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び収支の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面

(登録要件の審査)

第12条 都道府県教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつた場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めたときは、同条第1項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めたときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。

- (1) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。
- (2) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。
- (3) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。
- (4) 1年を通じて150日以上開館すること。

(登録事項等の変更)

第13条 博物館の設置者は、第11条第1項各号に掲げる事項について変更があつたとき、又は同条第2項に規定する添付書類の記載事項について重要な変更があつたときは、その旨を都道府県教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県教育委員会は、第11条第1項各号に掲げる事項に変更があつたことを知つたときは、当該博物館に係る登録事項の変更登録をしなければならない。

(登録の取消)

第14条 都道府県教育委員会は、博物館が第12条各号に掲げる要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて登録した事実を発見したときは、当該博物館に係る登録を取り消さなければならない。但し、博物館が天災その他やむを得ない事由により要件を欠くに至つた場合においては、その要件を欠くに至つた日から2年間はこの限りでない。

2 都道府県教育委員会は、前項の規定により登録の取消しをしたときは、当該博物館の設置者に対し、速やかにその旨を通知しなければならない。

(博物館の廃止)

第15条 博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、すみやかにその旨を都道府県教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県教育委員会は、博物館の設置者が当該博物館を廃止したときは、当該博物館に係る登録をまつ消ししなければならない。

(規則への委任)

第16条 この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県教育委員会の規則で定める。

第17条 削除

第3章 公立博物館

(設置)

第18条 公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

(所管)

第19条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第23条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

(博物館の補助)

第24条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第25条 削除

(補助金の交付中止及び補助金の返還)

第26条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し第24条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消が虚偽の申請に基いて登録した事実の発見に因るものである場合には、既に交付した補助金を、第三号及び第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- (1) 当該博物館について、第十四条の規定による登録の取消があつたとき。
- (2) 地方公共団体が当該博物館を廃止したとき。

- (3) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
- (4) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第4章 私立博物館

(都道府県教育委員会との関係)

第27条 都道府県教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。

2 都道府県教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第28条 国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

第5章 雑則

(博物館に相当する施設)

第29条 博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県教育委員会（当該施設（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市教育委員会）が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものについては、第27条第2項の規定を準用する。

○博物館法施行令

昭和27年3月20日 政令第47号
〔最終改正〕 昭和34年4月30日 政令第157号

(政令で定める法人)

第1条 博物館法（以下「法」という。）第2条第1項の政令で定める法人は、次に掲げるものとする。

- 1 日本赤十字社。
- 2 日本放送協会。

(施設、設備に要する経費の範囲)

第2条 法第24条第1項に規定する博物館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 1 施設費 施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費
- 2 設備費 博物館に備えつける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費。

附 則（昭和34年4月30日 政令第157号） 抄

(施行期日)

- 1 この政令は、公布の日から施行する。

○博物館法施行規則

昭和30年10月4日 文部省令第24号
〔最終改正〕 平成27年10月5日 文部科学省令第34号

第1章 博物館に関する科目の単位

(博物館に関する科目の単位)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第5条第1項第1号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	2

- 2 博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第6条第3項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

(博物館実習)

第2条 前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第2条第1項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第29条の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県教育委員会若しくは指定都市（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市をいう。以下同じ。）の教育委員会の指定した博物館に相当する施設（大学においてこれに準ずると認めた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

- 2 博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

第2章 学芸員の資格認定

(資格認定)

第3条 法第5条第1項第3号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、この章に定める試験認定又は審査認定（以下「資格認定」という。）の合格者とする。

(資格認定の施行期日等)

第4条 資格認定は、毎年少なくとも各1回、文部科学大臣が行う。

- 2 資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。

(試験認定の受験資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者で2年以上学芸員補の職(法第5条第2項に規定する職を含む。以下同じ。)にあった者
- (3) 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第2条第1項に規定する教育職員の普通免許状を有し、2年以上教育職員の職にあった者
- (4) 4年以上学芸員補の職にあった者
- (5) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

(試験認定の方法及び試験科目)

第6条 試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

2 試験認定は、2回以上にわたり、それぞれ1以上の試験科目について受けることができる。

3 試験科目は、次表に定めるとりとする。

試験科目	試験認定の必要科目	
必須科目	生涯学習概論	上記科目の全科目
	博物館概論	
	博物館経営論	
	博物館資料論	
	博物館資料保存論	
	博物館展示論	
	博物館教育論	
	博物館情報・メディア論	
選択科目	文化史	上記科目のうちから受験者の選択する2科目
	美術史	
	考古学	
	民俗学	
	自然科学史	
	物理	
	化学	
	生物学	
	地学	

(試験科目の免除)

第7条 大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

第8条 削除

(審査認定の受験資格)

第9条 次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

- (1) 学位規則(昭和28年文部省令第9号)による修士若しくは博士の学位又は専門職学位を有する者であつて、2年以上学芸員補の職にあった者
- (2) 大学において博物館に関する科目(生涯学習概論を除く。)に関し2年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあった者であつて、2年以上学芸員補の職にあった者
- (3) 次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦する者
 - イ 学士の学位を有する者であつて、4年以上学芸員補の職にあった者
 - ロ 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者であつて、6年以上学芸員補の職にあった者
 - ハ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者であつて、8年以上学芸員補の職にあった者
 - ニ その他11年以上学芸員補の職にあった者
- (4) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

(審査認定の方法)

第10条 審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

(受験の手続)

第11条 資格認定を受けようとする者は、受験願書(別記第1号様式により作成したもの)に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の7第3項の規定により同法第30条の5第1項に規定する本人確認情報の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第3号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

- (1) 受験資格を証明する書類
- (2) 履歴書(別記第2号様式により作成したもの)
- (3) 戸籍抄本又は住民票の写し(いずれも出願前6月以内に交付を受けたもの)
- (4) 写真(出願前6月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの)

2 前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。

3 第7条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。

4 審査認定を願い出る者については、第1項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。

- (1) 第9条第1号又は同条第2号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
- (2) 第9条第3号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
- (3) 第9条第4号により出願する者にあつては、前2号に準ずる資料又は書類

(試験認定合格者)

第12条 試験科目(試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。)の全部について合格点を得た者(試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下、「筆記試験合格者」という。)であつて、1年間学芸員補の職にあつた後に文部科学大臣が認定した者を試験認定合格者とする。

2 筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第3号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

（審査認定合格者）

第13条 第10条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

（合格証書の授与等）

第14条 試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第4号様式によるもの）を授与する。

2 筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第5号様式によるもの）を授与する。

3 合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

（合格証明書の交付等）

第15条 試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書（別記第6号様式によるもの）を交付する。

2 筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第7号様式によるもの）を交付する。

3 1以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第17条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の証明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第8号様式によるもの）を交付する。

（手数料）

第16条 次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上欄	下欄
1 試験認定を願い出る者	一科目につき1,300円
2 審査認定を願い出る者	3,800円
3 試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者	800円
4 合格証書の書換え又は再交付を願い出る者	700円
5 合格証明書の交付を願い出る者	700円
6 筆記試験合格証明書の交付を願い出る者	700円
7 筆記試験科目合格証明書を願い出る者	700円

2 前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書にはるものとする。ただし、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律（平成14年法律第151号）第3条第1項の規定により申請等を行った場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。

3 納付した手数料は、これを返還しない。

（不正の行為を行った者等に対する処分）

第17条 虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行った者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

2 試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになったときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

3 前2項の処分をしたときは、処分を受けた者の氏名及び住所を官報に公告する。

第3章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第18条 法第22条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

第4章 博物館に相当する施設の指定

（申請の手続）

第19条 法第29条の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県教育委員会の指定を受けようとする場合は、博物館相当施設指定申請書（別記第9号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2号第1項に規定する独立行政法人をいう。第21条において同じ。）が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県教育委員会に、それぞれ提出しなければならない。

- （1）当該施設の有する資料の目録
- （2）直接当該施設の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及び図面
- （3）当該年度における事業計画書及び予算の収支の見積に関する書類
- （4）当該施設の長及び学芸員に相当する職員の氏名を記載した書類

（指定要件の審査）

第20条 文部科学大臣又は都道府県教育委員会は、博物館に相当する施設として指定しようとするときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

- （1）博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料を整備していること。
- （2）博物館の事業に類する事業を達成するために必要な専用の施設及び設備を有すること。
- （3）学芸員に相当する職員がいること。
- （4）一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。
- （4）1年を通じて100日以上開館すること。

2 前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

第21条 文部科学大臣又は都道府県教育委員会の指定する博物館に相当する施設（以下「博物館相当施設」という。）が第20条第1項に規定する要件を欠くに至つたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第22条 削除

第23条 文部科学大臣又は都道府県教育委員会は、その指定した博物館相当施設に対し、第20条第1項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

（指定の取消）

第24条 文部科学大臣又は都道府県教育委員会は、その指定した博物館相当施設が第20条第1項に規定する要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて指定した事実を発見したときは、当該指定を取り消すものとする。

第5章 雑則

(学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)
第25条 第5条第1号及び第9条第3号イに規定する学士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。
(1) 旧大学令(大正7年勅令第388号)による学士の称号を有する者
(2) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第155条第1項第2号から第8号までのいずれかに該当する者
(短期大学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)
第26条 第5条第2号及び第9条第3号ロに規定する大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者には、次に掲げる者を含むものとする。
(1) 旧大学令、旧高等学校令(大正7年勅令第389号)、旧専門学校令(明治36年勅令第61号)又は旧教員養成諸学校官制(昭和21年勅令第208号)の規定による大学予科、高等学校高等科、専門学校又は教員養成諸学校を修了し、又は卒業した者
(2) 学校教育法施行規則第155条第2項各号のいずれかに該当する者
(修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)
第27条 第9条第1号に規定する修士の学位を有する者には、学校教育法施行規則第156条各号のいずれかに該当する者を含むものとする。
(博士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)
第28条 第9条第1号に規定する博士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。
(1) 旧学位令(大正9年勅令第200号)による博士の称号を有する者
(2) 外国において博士の学位に相当する学位を授与された者
(専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)
第29条 第9条第1号に規定する専門職学位を有する者には、外国において専門職学位に相当する学位を授与された者を含むものとする。

附則(平成24年6月29日文部科学省令第24号)
(施行期日)
1 この省令は、住民基本台帳法の一部を改正する法律(平成21年法律第77号)の一部及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律(平成21年法律第79号)の施行の日(平成24年7月9日)から施行する。
(経過措置)
2 この省令の施行の日から起算して6月を経過する日までの間における改正後の博物館法施行規則第11条第1項第3号の規定の適用については、同号中「住民票の写し」とあるのは、「住民票の写し(日本の国籍を有しない者にあつては、住民票の写し又は出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律第4条の規定による廃止前の外国人登録法(昭和27年法律第125号)に規定する登録原票の写し若しくは登録原票記載事項証明書)」とする。

附 則(平成27年10月2日文部科学省令第34号) 抄
(施行期日)
1 この省令は、平成27年10月5日から施行する。

○博物館の登録に関する規則 昭和50年5月8日 教育委員会規則第5号
〔最終改正〕平成6年3月31日 教育委員会規則第2号

(趣 旨)
第1条 この規則は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第16条の規定に基づき博物館の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。
(登録原簿等の様式)
第2条 法第10条、第11条第1項及び第11条第2項に規定する登録原簿等の名称及び様式は、次の表に掲げるとおりとする。

根拠条項	名称	様式
法第10条	博物館登録原簿	第1号様式
法第11条第1項	博物館登録申請書	第2号様式
法第11条第2項	博物館資料目録	第3号様式

(博物館登録申請書の添付書類)
第3条 博物館登録申請書には、法第11条第2項に規定する書類のほか、職員名簿(第4号様式)を添付するものとする。
(登録要件の審査)
第4条 法第12条の規定による登録要件の審査及び法第14条第1項の規定による登録の取消しを県教育委員会が行う場合は、当該博物館に対し、必要な資料を求め実地調査及び学識経験者の意見を聴くことができる。
(登録事項等の変更)
第5条 法第13条第1項の規定による変更の届出は、そのつど博物館登録事項等変更届出書(第5号様式)によつて行うものとする。ただし、博物館資料目録の軽微な変更については、毎年3月末日に届け出るものとする。
(博物館の廃止)
第6条 法第15条の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届(第6号様式)により行うものとする。
(公 示)
第7条 県教育委員会は、博物館の登録若しくは登録事項等の変更があつたとき、又は登録の取消し若しくはまつ消を行つたときは、その旨を沖縄県公報により公示するものとする。
附則
(平成6年3月31日教育委員会規則第2号)
この規則は、平成6年4月1日から施行する。

第 1 号様式
(第 2 条関係)

No. _____

備 考	所 在 地	名 称	※設置者の 名称及び 住所	事 項	博物館登録原簿	
					記号番号	年月日
					第 号	年月日
				年月日		登録 変更
				年月日		登録 変更

(※公立の場合は設置者の名称のみ記入)

(A 4 版)

第 2 号様式
(第 2 条関係)

博物館登録申請書

文 書 番 号
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

申請者 氏名 印

博物館法第11条第 1 項の規定により、下記施設を博物館として登録されるよう別添関係書類等を添えて申請します。

記

設置者の名称

私立博物館設置者の住所

名称

所在地

備考 この申請書には、次の書類を添付すること。

- (1) 公立博物館にあつては設置条例の写し、私立博物館にあつては、法人の定款若しくは寄附行為の写し又は宗教法人の規則の写し
- (2) 館則の写し
- (3) 直接博物館の用に供する建物及び面積を記載した書面並びにその図面
- (4) 当該年度における事業計画書及び公立博物館にあつては予算の歳出の見積もり、私立博物館にあつては収支の見積もりに関する書類
- (5) 博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種類ごとの氏名を記載した書面
- (6) 学芸員は、その資格を有することを証するにたる書類

博物館名

(A 4 版)

(A 4 版)

第 5 号様式
(第 5 条関係)

博物館登録事項変更届出書

文 書 番 号
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

施 設 名
届出者氏名 印

博物館法第 1 3 条第 1 項の規定により、下記のとおり変更届を提出します。

記

変 更 年 月 日		年 月 日
変 更 の 理 由		
変 更 事 項 の 種 類		
変更事項の内容	旧	
	新	

(A 4 版)

第 6 号様式
(第 6 条関係)

博物館廃止届

文 書 番 号
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

施 設 名
届出者氏名 印

博物館法第 1 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届けます。

記

廃 止 年 月 日	年 月 日
廃 止 し た 理 由	
廃 止 後 の 財 産 処 分	
その他参考となるべき事項	

(A 4 版)

○**沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則**
平成23年3月31日 教育委員会規則第2号

(趣 旨)

第1条 この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の7の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(委 任)

第2条 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和47年沖縄県条例第32号）第2条第8号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成19年沖縄県教育委員会規則第1号）第2条第3項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

- (1) 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。
- (2) 博物館法（昭和26年法律第285号）第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

(合議等)

第3条 前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規定により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。

2 前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

3 沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第11条第8号を次のように改める。

(8) 博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第2号）により委任される事務に関するものを除く。）。

(沖縄県立教育機関組織規則の一部改正)

4 沖縄県立教育機関組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）」を削る。

第4条を削り、第4条の2を第4条とする。

第6条を次のように改める。

(職制等)

第6条 総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

2 所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第7条及び第8条を削り、第9条を第7条とする。

第9条の2の表中「総合教育センター（総務班を除く。） 博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第8条とする。

第10条を第9条とし、第11条を第10条とし、第11条の2を第11条とする。

第12条第1項中「及び博物館・美術館」を削る。

第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。

第18条中「第7条から第16条まで」を「第6条から第18条まで」に改め、同条の表中

「	学芸員	上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。」
---	-----	------------------------------

及び

「	学芸員補	上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。」
---	------	----------------------

を削り、同条を第20条とする。

第17条を第19条とする。

第16条中「第7条」を「第6条」に改め、同条を第18条とする。

第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の4を第15条とする。

第12条の3第1項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。

第12条の2を第13条とする。

(沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正)

5 沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第22号）の一部を次のように改正する。

第4条第2項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

○**沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則**

平成23年3月31日 規則第8号

(趣 旨)

第1条 この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第2号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成19年沖縄県条例第72号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

(博物館・美術館の管理に関する事務の所掌)

第2条 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行

政組織規則」という。)第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。

2 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

(内部組織)

第3条 博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

(所掌事務)

第4条 総務班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (4) 博物館・美術館協議会に関すること。
- (5) 指定管理者との連絡調整に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

2 博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。

3 美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術館資料の利用に関すること。
- (3) 美術館施設の利用に関すること。
- (4) 美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。

(職の設置)

第5条 博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。

2 博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

(職の職務内容)

第6条 前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- (2) 副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
- (3) 班長は、班の事務を処理する。
- (4) 主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
- (5) 主事は、一般的な事務を処理する。
- (6) 学芸員は、学芸業務に従事する。
- (7) 主任学芸員は、学芸業務を処理する。
- (8) 主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
- (9) 主任は、一般的な事務を分掌する。
- (10) 専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。

(その他組織に関する事項)

第7条 第3条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第5条に規定する公の施設とみなして、同規則の規定を適用する。

(委任された事務に係る決裁等)

第8条 教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規定(昭和48年沖縄県訓令第89号)の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。

2 教育委員会事務委任規則第2条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則(昭和53年沖縄県規則第67号)の規定(第3条、第5条及び第13条を除く。)を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第2条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。

4 館長は、前2項の規定又は教育委員会事務委任規則第3条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。

(委任された事務以外の事務の委任及び決裁)

第9条 博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第2条第1項第1号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。

(委 任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については官庁がそれぞれ定める。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

平成18年12月27日 条例第72号
〔最終改正〕平成26年3月31日 条例第11号

（設 置）

第1条 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料（以下「博物館・美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）を設置する。

（位置及び施設）

第2条 博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち3丁目1番1号とする。

2 博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 博物館施設
- (2) 美術館施設
- (3) その他施設

（事 業）

第3条 博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館・美術館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館・美術館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

（博物館・美術館の管理）

第4条 博物館・美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務
- (2) 第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務
- (3) 第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18条第2項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務
- (4) 第19条及び同条第3項において準用する第11条第5項から第7項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第19条第3項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第3項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務
- (5) 博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (6) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

（指定管理者の指定の申請）

第6条 第4条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

（指定管理者の指定）

第7条 教育委員会は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

（指定管理者の指定等の告示）

第8条 教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

（休館日）

第9条 博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 前項第1号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

（開館時間）

第10条 博物館・美術館の開館時間は、午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）までとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

（観覧料）

第11条 常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

- 2 常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第1に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,090円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定める

ものとする。

- 4 前2項の規定にかかわらず、1年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第2に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 5 指定管理者は、第2項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
- 6 教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
- 7 観覧料は、指定管理者の収入とする。

一部改正〔平成26年条例11号〕

（観覧料の減免）

第12条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

（観覧料の返還）

第13条 既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

（利用の許可）

第14条 別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めたときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしないことができる。
 - （1） 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
 - （2） 公益を害するおそれがあると認められるとき。
 - （3） 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - （4） 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

（利用期間）

第15条 施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

（権利の譲渡等の禁止）

第16条 利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（許可の取消し等）

第17条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第1項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- （1） この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- （2） 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- （3） 許可に付した条件に違反したとき。
- （4） 第14条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

（原状回復の義務）

第18条 利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。

- 2 指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

（利用料金）

第19条 利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 利用料金は、別表第3に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 第11条第5項から第7項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。

（事業報告書の提出）

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

（博物館・美術館協議会）

第21条 博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
- 3 委員の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 第2項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成24年条例46号〕

（教育委員会規則への委任）

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。（平成19年6月教育委員会規則第11号で、同19年11月1日から施行）

（準備行為）

- 2 第7条の規定による指定管理者の指定、第11条第5項の規定による観覧料の承認及び第19条第3項において準用する第11条第5項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第6条から第8条まで、第11条第2項から第6項まで並びに第19条第2項並びに同条第3項において準用する第11条第5項及び第6項の規定の例により行うことができる。

（沖縄県立教育機関設置条例の一部改正）

3 沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第5条及び第6条を削り、第6条の2を第5条とし、第7条を第6条とし、第7条の2を第7条とする。

第8条中「、第5条及び第6条の2」を「及び第5条」に改める。

（沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正）

4 沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「別表第1又は別表第2」を「別表」に改め、同条第2項を削る。

別表第1を削り、別表第2を別表とする。

附 則（平成26年3月31日条例第11号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第11条関係）

区分		基準額（1人につき）	
		個人の場合	団体の場合
博物館施設	一般	410円	330円
	大学生及び高校生	260円	210円
	中学生及び小学生	150円（県外の中学生及び小学生に限る。）	120円（県外の中学生及び小学生に限る。）
美術館施設	一般	310円	250円
	大学生及び高校生	210円	170円
	中学生及び小学生	100円（県外の中学生及び小学生に限る。）	80円（県外の中学生及び小学生に限る。）

備考

1 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

2 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

4 「団体の場合」とは、20人以上の団体で観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第2（第11条関係）

区分		基準額（1人につき）		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,230円	770円	460円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展、企画展及び特別展	4,320円	2,670円	1,650円（県内の中学生及び小学生にあつては、1,180円）
美術館施設	常設展	930円	620円	310円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展及び企画展	4,010円	2,670円	1,340円（県内の中学生及び小学生にあつては、1,030円）

備考

1 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

2 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第3（第14条、第19条関係）

1 施設利用料金

（1）博物館施設利用料金

区分		基準額（1日につき）
企画展示室	入場料を徴収しない場合	29,930円
	入場料を徴収する場合	89,790円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	39,190円
	入場料を徴収する場合	117,570円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,260円
	入場料を徴収する場合	27,770円
講座室	入場料を徴収しない場合	16,350円
	入場料を徴収する場合	49,060円

(2) 美術館施設利用料金

区分		基準額（1日につき）
県民ギャラリー1		8,330円
県民ギャラリー2		7,710円
県民ギャラリー3		7,710円
県民ギャラリースタジオ		8,430円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,200円
	入場料を徴収する場合	21,600円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,710円
	入場料を徴収する場合	23,140円
企画展示室1	入場料を徴収しない場合	33,740円
	入場料を徴収する場合	101,210円
企画展示室2	入場料を徴収しない場合	41,860円
	入場料を徴収する場合	125,590円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,360円
	入場料を徴収する場合	28,080円

(3) その他施設利用料金

区分		基準額（1時間につき）
講堂	入場料を徴収しない場合	3,500円
	入場料を徴収する場合	10,490円

2 附属設備利用料金

種別	単位	基準額
舞台器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	1時間につき	3,000円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額

備考

1 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。

2 利用料金の基準額が1時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。

(1) 午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあっては、午後8時）までの間は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の120を乗じて得た額

(2) 午後6時（金曜日及び土曜日にあっては、午後8時）後は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の150を乗じて得た額

一部改正〔平成26年条例11号〕

○沖縄県立博物館・美術館管理規則

平成19年3月16日 教育委員会規則第1号

〔最終改正〕 平成27年3月24日 教育委員会規則第4号

(趣 旨)

第1条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。）の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条第1号及び博物館法（昭和26年法律第285号）第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(寄贈及び寄託)

第2条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書（第1号様式）又は博物館・美術館資料寄託申請書（第2号様式）を提出しなければならない。

2 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書（第3号様式）又は博物館・美術館資料受託承認書（第4号様式）を交付するものとする。

3 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）が必要と認めた場合はこの限りでない。

4 第2項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

5 第2項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

(寄贈資料及び寄託資料の管理等)

第3条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

2 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第4条 条例第6条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第5号様式）によるものとする。

2 条例第6条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

(観覧券の交付)

第5条 指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

(観覧料の免除)

第6条 条例第12条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書（第6号様式）を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

2 条例第12条第2項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
- (2) 県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
- (3) 70歳以上の者が常設展を観覧する場合
- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
- (5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
- (6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(入館の禁止等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
- (2) その他指定管理者が適当でないと認める者

(施設利用の許可等)

第8条 条例別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書（第7号様式）を提出しなければならない。

(利用期間)

第9条 条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。

- (1) 博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室1及び企画展示室2並びにこれらの施設の冷房設備 6月
- (2) 前号に掲げる施設等以外の施設 7日

2 条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願（第8号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の免除)

第10条 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第3条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。

2 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書（第9号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

3 指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書（第10号様式）を利用者に交付するものとする。

(事業報告書の内容等)

第11条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 博物館・美術館の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 博物館・美術館の利用状況
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(博物館・美術館協議会の組織等)

第12条 博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。

- 2 協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 3 会長は協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 6 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 8 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 9 協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。
- 10 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(観覧料の割引)

第13条 条例別表第1備考4に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

(附属設備の利用料金の基準額)

第14条 条例別表第3第2項の表の教育委員会が定める額は、別表に掲げるとおりとする。

(補 則)

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月1日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為として行う申請に必要な申請書等)

2 条例附則第2項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第4条の規定の例による。

(沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止)

3 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 沖縄県立博物館の管理に関する規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号)

(2) 沖縄県立博物館協議会規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号)

(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

4 沖縄県教育庁組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。

第31条第3号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

附 則(平成27年3月24日教育委員会規則第4号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する第33条第4号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

別表(第14条関係)

1 附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種別	品名	単位	基準額
舞台器具	演台	1台	310円
	花台	1台	100円
	司会台	1台	150円
音響器具	メインスピーカー	1式	1,030円
	コンデンサーマイク	1本	310円
	ワイヤレスマイク	1本	620円
	ダイナミックマイク	1本	210円
	ビデオテープレコーダー	1台	720円
	DVDプレーヤー	1台	1,290円
	CD、MDプレーヤー	1台	410円
	HD/DVDレコーダー	1台	1,290円
照明器具	ボーダーライト	1列	310円
	サスペンションライト	1列	510円
	アッパーホリゾンタライト	1列	720円
	シーリングライト	1列	620円
	センターピンスポットライト	1台	410円
その他	書画カメラ	1台	820円
	ビデオプロジェクター	1台	1,440円
	電動スクリーン	1式	1,130円
	35ミリフィルム映写機	1式	5,140円

備考 附属設備利用料金の基準額は、1ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 冷房設備の利用料金

	区分	単位	基準額
博物館施設	企画展示室	1時間までごとに	650円
	特別展示室	1時間までごとに	850円
	実習室	1時間までごとに	200円
	講座室	1時間までごとに	350円
美術館施設	県民ギャラリー1	1時間までごとに	180円
	県民ギャラリー2	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリー3	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリースタジオ	1時間までごとに	190円
	県民アトリエ	1時間までごとに	150円
	子供アトリエ	1時間までごとに	170円
	企画展示室1	1時間までごとに	730円
	企画展示室2	1時間までごとに	910円
	講座室	1時間までごとに	210円
その他施設	講堂	1時間までごとに	610円

第1号様式
(第2条関係)

博物館・美術館資料寄贈申込書	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館長 殿	
申込者 住 所 氏 名	印
私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。	
記	
1 種 別	
2 作 者 名	
3 作 品 名	
4 製作年月日	
5 附 属 品	
6 資料所在地	
7 時価見積額	
8 寄贈の理由	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第2号様式
(第2条関係)

博物館・美術館資料寄託申請書	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館長 殿	
申請者 住 所 氏 名	印
私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。	
記	
1 種 別	
2 作 者 名	
3 作 品 名	
4 製作年月日	
5 附 属 品	
6 資料所在地	
7 寄 託 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第 3 号様式
(第 2 条関係)

博物館・美術館資料受贈受諾書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長 印

年 月 日付け申込のあつた博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾
します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第 2 条第 4
項の規定により返却されません。

記

1 種 別

2 作 者 名

3 作 品 名

4 製作年月日

5 附 属 品

6 資料所在地

7 時価見積額

8 寄贈の理由

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列 4 判とする。

第 4 号様式
(第 2 条関係)

博物館・美術館資料受託承認書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長 印

年 月 日付け申請のあつた博物館・美術館資料の寄託については下記により受託
します。

記

1 種 別

2 作 者 名

3 作 品 名

4 製作年月日

5 附 属 品

6 受託期間 年 月 日 から
年 月 日 まで

7 備 考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列 4 判とする。

第 5 号様式
(第 4 条関係)

年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

申請者所在地
団体の名称
代表者の氏名

印

指定管理者指定申請書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第 6 条の規定により申請します。

添付書類

1 事業計画書

2 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

3 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書
(市区町村長が発行するものに限る)

4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他経理的
基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属する事業年度に設立された法人に
あつては、その設立時における財産目録）

6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

7 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列 4 判とする。

第 6 号様式
(第 6 条関係)

観覧料免除申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者

殿

申請者住所
氏名

電話

印

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館管
理規則第 6 条第 1 項の規定に基づき申請します。

記

1 観覧者団体名
引率者名

2 観覧者数 人

3 観覧日時 年 月 日（曜日） 時～ 時

4 申請理由

.....

.....

承認証

殿

年 月 日付け申請の博物館・美術館の観覧料免除の件、申請どおり承認します。

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者

印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列 4 判とする。

第7号様式
(第8条関係)

博物館・美術館施設利用許可申請書	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館 指定管理者	殿
申請者 氏 名 電 話	印
下記により貴館施設を利用したいので、申請します。	
記	
1 利用者 団 体 名 代表者名 住 所	印 職業 () 電話
2 利用目的	
3 利用する施設	
4 利用する日時及び期間 自： 年 月 日 時 分 } () 日間 至： 年 月 日 時 分 }	
5 予定参加人数 人	
許 可 証 年 月 日付け申請の () 使用の件、申請どおり許可します。 年 月 日 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 印	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第8号様式
(第9条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館 指定管理者	殿
申請者 住 所 団 体 名 代表者氏名 電 話 番 号	印
沖縄県立博物館・美術館管理規則第9条第2項の規定により次のとおり利用期間の変更を願 い出ます。	
記	
1 催物の名称	
2 利用する日時及び期間 自： 年 月 日 時 分 } () 日間 至： 年 月 日 時 分 }	
3 利用期間の変更を願ひ出る理由	
4 備考	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第 9 号様式
(第 1 0 条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者 殿

申請者 住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号 印

次のとおり利用料金の免除を申請します。

記

1 催物の名称

2 利用目的

3 催物の内容

4 利用する日時及び期間
自： 年 月 日 時 分
至： 年 月 日 時 分 } () 日間

5 減額・免除を申請する理由

6 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第 1 0 号様式
(第 1 0 条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者 印

次のとおり利用料金の免除を承認します。

記

1 催物の名称

2 利用目的

3 催物の内容

4 利用する日時及び期間
自： 年 月 日 時 分
至： 年 月 日 時 分 } () 日間

5 利用料金免除額

6 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程

平成23年4月1日 訓令第103号
〔最終改正〕 平成25年3月30日 訓令第63号

（趣 旨）

第1条 沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の館長（以下「館長」という。）を地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関しては、この訓令によるものとする。

（任命及び任期）

第2条 館長は、博物館・美術館の管理運営に関し識見及び能力を有する者のうちから知事が任命する。

2 館長の任期は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。

3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

（報酬等）

第3条 館長の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

（勤務条件）

第4条 館長の勤務場所は、博物館・美術館とする。

2 館長の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は文化観光スポーツ部長が別に定める。

3 館長の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

（服 務）

第5条 館長は、その職務の遂行に当たつて、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

2 館長は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

3 館長は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

4 館長は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

（解 任）

第6条 知事は、館長が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、任期内であつても解任することができる。

（1）館長の職務を怠つたとき。

（2）前条の規定に違反したとき。

（3）館長として不適当と認められる行為をしたとき。

（4）心身の故障その他の理由により職務を行うに適しくなつたとき。

（5）任命の必要がなくなつたとき。

（補 則）

第7条 この訓令に定めるもののほか、館長を非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月30日訓令第63号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年3月14日 教育長決裁
平成28年12月28日 最終改正

（目 的）

第1条 この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

（定 義）

第2条 この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

- （1）展示会等における原資料等の借用。
- （2）同資料の撮影。
- （3）原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。
- （4）撮影等による複製品の製作。
- （5）原資料等の閲覧。
- （6）教育普及資料の借用。

（許可の基準）

第3条 博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

- （1）資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。
- （2）好ましくない用途に供されると認められる場合。
- （3）館の事務処理に支障が生じると認められる場合。
- （4）資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- （5）過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。
- （6）その他、許可することが適当でないと認められる場合。

（許可申請の手続き）

第4条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

- （1）原資料等の借用（第1号様式）
- （2）写真撮影、原板・印画の借用（第2号様式）
- （3）複製品の製作（第3号様式）
- （4）原資料等の閲覧（第4号様式）
- （5）教育普及資料の借用（第5号様式）

（審査及び決定）

第5条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- （1）事業の趣旨及び内容。
- （2）事業の主体者。

- (3) 事業計画。
- (4) その他必要な事項。

(許可書の交付)

第6条 資料利用を許可する決定を行ったときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおり条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りでない。

- (1) 原資料等の借用（第1－1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2－1号様式）
- (3) 複製品の製作（第3－1号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4－1号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5－1号様式）

2 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

附 則

この要領は、平成14年4月1日から実施する。

附 則

この要領は、平成19年11月1日から実施する。

別表（第6条関係）各申請の資料利用の許可条件

利用申請の内容 (各申請様式)	資 料 利 用 の 許 可 条 件	
	共 通 条 件	個 別 条 件
原資料等の借用 (第1号様式)	①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館所蔵」と明記すること。 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。	①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。 ④借用によつて生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。
写真撮影、原板・印画の借用 (第2号様式)		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ③写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 ④郵送費は申請者が負担すること。 ⑤資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
複製品の製作 (第3号様式)		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。 ③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。 ④製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ⑤写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 ⑥資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
原資料等の閲覧 (第4号様式)		①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 ②閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 ③閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
教育普及資料の借用のの (第5号様式)		①与期間は1週間以内とする。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。 ④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

第1号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(原資料等の借用)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印
 申請者 団 体 名：
 （担当者氏名）
 住 所：〒
 TEL：
 FAX：

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いいたします。

記

事業名			
借用希望期間	年 月 日 ～ 月 日		
目的			
展示等場所			
資料名	員数	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 - ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
 - ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
 - ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
 - ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。
 - ⑨借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第1-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(原資料等の借用)博 美 第 号
平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可します。

記

事業名			
借用期間	年 月 日 ～ 月 日		
目的			
展示等場所			
資料名	員数	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 - ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
 - ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
 - ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
 - ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。
 - ⑨借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2号様式（第4条関係）

資料利用申請書 (写真撮影、原板・印画の借用)					
平成 年 月 日					
沖縄県立博物館・美術館長 殿					
代表者名：					印
申請者 団 体 名：					
(担当者氏名)					
住 所：〒					
TEL：					
FAX：					
下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いします。					
記					
利 用 区 分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む	
希望日時・期間	年 月 日 ～ 月 日 時 ～ 時				
目 的	事 項	名 称	部 数	制作予定日	備 考
	出版物				
	映 画				
	テレビ				
	DVD C D その他				
資 料 名			数 量	仕 様	備 考
1.					
2.					
3.					

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
- ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
- ⑦製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
- ⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
- ⑨郵送費は申請者が負担すること。
- ⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書 (写真撮影、原板・印画の借用)					
博 美 第 号 平成 年 月 日					
殿					
沖縄県立博物館・美術館長					
平成 年 月 日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。					
記					
利 用 区 分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む	
日 時・期 間	年 月 日 ～ 月 日 時 ～ 時				
目 的	事 項	名 称	部 数	制作予定日	備 考
	出版物				
	映 画				
	テレビ				
	DVD C D その他				
資 料 名			数 量	仕 様	備 考
1.					
2.					
3.					

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
- ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
- ⑦製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
- ⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
- ⑨郵送費は申請者が負担すること。
- ⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(複製品の製作)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印
 申請者 団 体 名：
 (担当者氏名)
 住 所：〒
 TEL：
 FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利 用 区 分	1 写真原板使用		2 撮影	3 掲載	※○で囲む	
希望日時・期間	年 月 日 ～ 月 日 時 ～ 時					
目 的						
製 作 仕 様						
製 作 予 定 日	平成 年 月 日	製作点数	点	販売価格	円	
資 料 名		数 量	仕 様	備 考		
1.						
2.						
3.						

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
 ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
 ⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
 ⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
 ⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
 ⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
 ⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(複製品の製作)博 美 第 号
平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	1 写真原板使用 2 撮影 3 掲載 ※○で囲む					
日 時 ・ 期 間	年 月 日 ～ 月 日 時 ～ 時					
目 的						
製 作 仕 様						
製 作 予 定 日	平成 年 月 日		製作点 数	点	販 売 価 格	円
資 料 名			数 量	仕 様	備 考	
1.						
2.						
3.						

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
 ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
 ⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
 ⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
 ⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
 ⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
 ⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(原資料等の閲覧)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印
 申請者 団 体 名：
 (担当者氏名)
 住 所：〒
 TEL：
 FAX：

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

記

目	的						
閲覧希望日時	平成	年	月	日	時～時	閲覧人員	
資料名			員数		備考		
1. 2. 3. 4. 5.							

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 - ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
 - ⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
 - ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。
 - ⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(原資料等の閲覧)博 美 第 号
平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた資料の閲覧については、下記により許可します。

記

目 的			
閲覧日時	平成 年 月 日 時～ 時	閲覧人員	
担当学芸員			
資料名	員数	備考	
1. 2. 3. 4. 5.			

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 - ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
 - ⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
 - ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。
 - ⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(教育普及資料の借用)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印
 申請者 団 体 名：
 (担当者氏名)
 住 所：〒
 TEL：
 FAX：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利 用 区 分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
希望日時・期間	年 月 日 (時) ～ 年 月 日 (時)		
行 事 名		参 加 人 員	
目 的			
資料名	数量	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 - ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
 - ⑥貸与期間は1週間以内とする。
 - ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
 - ⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
 - ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(教育普及資料の借用)博 美 第 号
平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
日 時 ・ 期 間	年 月 日 (時) ～ 年 月 日 (時)		
行 事 名		参 加 人 員	
目 的			
資料名	数量	備考	
1.			
2.			
3.			
4.			

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
 - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
 - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
 - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
 - ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
 - ⑥貸与期間は1週間以内とする。
 - ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
 - ⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
 - ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領

平成23年5月23日 部長決裁

(目的)

第1条 この要領は、沖縄県立博物館・美術館が共催又は後援等を行う事業について必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 共催 事業の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該事業について責任の一部を負担することをいう。

(2) 後援等 後援、協力、協賛等で、当該事業の趣旨に賛同し、事業の実施について協力することをいう。

(名義)

第3条 この要領による共催又は後援等の名義は「沖縄県立博物館・美術館」とする。

(承認基準)

第4条 共催又は後援等の承認基準は別表1のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

(申請手続き)

第5条 共催又は後援等の承認を受けようとするものは、別記第1号様式又は次の事項を記載した書面を、原則として事業開催の14日前までに、沖縄県立博物館・美術館長に提出するものとする。

- (1) 事業の名称、目的及び内容
- (2) 主催者の職、氏名及び事務局等連絡先
- (3) 開催日時(期間)及び開催場所
- (4) 参加対象者及び参加見込者数
- (5) 他の共催者及び後援者等(予定者を含む)
- (6) 参加料金その他参考事項

(決定)

第6条 前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館・美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは別記第2号様式の回答書により、承認できないときはその旨を、それぞれ当該申請者に通知するものとする。

(事業計画の変更)

第7条 共催又は後援を承認した事業であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

(承認の取消)

第8条 共催又は後援等を承認した事業であっても、その内容が第4条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。

2 前項の規定による承認の取消については、第6条の規定を準用する。

(事業の完了報告)

第9条 共催又は後援等を承認した事業のうち、必要があると認める場合は、別記第3号様式もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

(雑則)

第10条 共催又は後援の承認の手続きを経ずに、第3条に規定する名義を無断使用した場合(承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。)は、警告書を出すとともに、以後の共催又は後援等の承認は認めないものとする。

附 則

この要領は、平成23年5月23日から施行する。

別表1(第4条関係)

共催又は後援等の承認基準

主催者についての承認基準	1 国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体 2 教育機関及び教育研究団体 3 新聞社、放送局等報道関係 4 公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に 寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除く。)
事業内容についての承認基準	1 県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、 教育施策上からの効果が期待できるものであること。 2 博物館・美術館の所掌業務と関連するもので、高い公益性 を有すると認められるもの。 3 政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を 意図するものでないこと。 4 特定の団体の利益を目的とするものでないこと。 5 事業の内容及び規模からみて、営利を目的とするもので ない と客観的に判断されるものであること。

備考

- 1 主催者については、主催者についての承認基準の1から4までのいずれかに該当するものでなければならない。
- 2 事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでなければならない。

第 1 号様式

平成 第 年 月 号 日	
沖縄県立博物館・美術館 館長 殿	
申請者 代表者名 団体名 所在地 (電話)	印
行事の共催、後援等について (申請)	
次のとおり行事を開催するについて、沖縄県立博物館・美術館の共催 (後援) (協力) (協賛) の承認を得たいので、申請します。	
記	
1 事業名	
2 事業の趣旨・内容 (なるべく具体的に記入すること。)	
3 主催者、共催者 及び後援者	
4 参加者及び参加方法	
5 参加者数	
6 開催日時及び場所	
7 経費負担の区分	
8 その他の必要事項	

第 2 号様式

博 美 第 号 平成 年 月 日	
殿	
沖縄県立博物館・美術館 館長	
の について (回答)	
平成年月日付け第号で申請のあった標記のことについては、以下の条件を付して承認します。	
記	
1 事業名	
2 名義使用の方法	
3 名義使用の期間	
4 経 費	
5 実施結果の報告の有無	
6 その他	

沖縄県立博物館・美術館 館

第 号
平成 年 月 日

申請者
代表者名
団体名
印
所在地
(電話)

の結果について(報告)

平成年月日付博美第 号により承認のあった標記の事業の結果について、
次のとおり報告します。

記

I 事業報告

1 事業名	
2 事業の概要	
3 参加者	
4 日時及び場所	
5 所見 (事業の効果等を含む)	
6 備考	

II 収支決算

1) 収入の部

2) 支出の部

合計

円
円
円
円
円

円
円
円
円
円

○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

平成20年2月19日 教育長決裁

(設 置)

第1条 沖縄県立博物館・美術館が収取しようとする美術品等（以下「美術品等」という。）に関し、必要な事項を検討するため、沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）を設置する

(任 務)

第2条 委員は次の事項について意見を述べる。

- (1) 美術品等の評価に関すること。
- (2) その他美術品等の収集に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、委員7人以内で組織する。

2 委員は次の各号にそれぞれ該当する者のうちから、会議ごとに教育長が選任する。

- (1) 美術品等について専門的な知識及び学識経験を有する者。
- (2) 美術品等と利害関係が無く、公正な判断ができる者。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある場合には、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 委員会は教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(守秘義務)

第6条 委員は、職務上知りえた秘密を他に漏らしてはならない。

(庶 務)

第7条 委員会の庶務は、沖縄県立博物館・美術館において処理する。

(雑 則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、沖縄県立博物館・美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成20年2月19日から実施する。

沖縄県立博物館・美術館年報 No. 13（平成 31・令和元年度実績）

2020 年（令和 2）10 月 30 日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館

住 所：〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3 丁目 1 番 1 号

T E L：098-941-8200（代表）

F A X：098-941-2392（代表）

ホームページ：<https://okimu.jp>

（沖縄県立博物館・美術館ホームページ）

印 刷：有限会社アイドマ印刷

住 所：沖縄県那覇市字上間 244（3F）

